取扱説明書

FOMA® F880iES ’05.5

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA F880iES」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA F880iES は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
  FOMA F880iES は、バイリンガル機能には対応しておりません。
- お客様は SSL をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様による SSL のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社

取扱説明書の構成

FOMA F880iES の取扱説明書は『取扱説明書』、『かんたん操作ガイド』の 2 冊で構成されています。目的に合わせてお読みください。
なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

FOMA F880iES 取扱説明書（本書）

- **F880iES のすべての機能を詳しく説明しています。**
- **留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。**
- **「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて説明しています。**

FOMA F880iES 取扱説明書　かんたん操作ガイド

- **F880iES の代表的な機能を、簡単な表現でわかりやすく説明しています。**

この「FOMA F880iES 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA F880iES」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

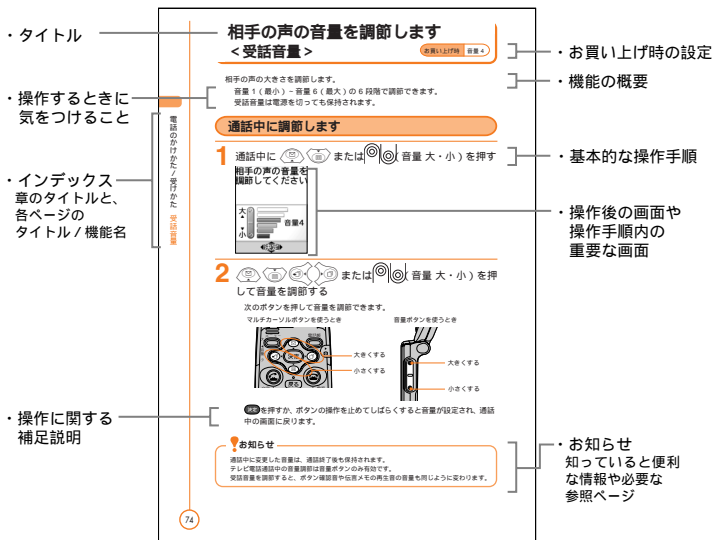
※「安全上のご注意」は、P6 に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた <クイックマニュアル記載→ P646 >

ここでは、本書の構成や説明方法について紹介します。

●操作の方法は、主にショートカット操作（→ P30）で説明しています。
　各機能のショートカット操作については、メニュー一覧（→P580）をご覧ください。

●本書では、（マルチカーソルボタン）を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。

●操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法で説明しています。

メインメニュー

待受画面で メニュー を押してメニュー画面を表示し、目的の機能を実行します。→P29

サブメニュー

画面の左下に メニュー が表示されているときは、メニュー を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。→ P31

本書の引きかた

●表紙とインデックスから引く
　表紙や本書中のインデックスから操作したい項目や機能を選んで引きます。各章の先頭には各項目や機能の詳細なページを掲載しており、そこから選んで引きます。

●目次から引く
　目次（→ P2）から操作したい項目や機能を選んで引きます。

●索引から引く
　索引（→ P635）、目的別索引（→ P628）から操作したい項目や機能名を選んで引きます。

●特徴から引く→ P4

お知らせ

●本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

FOMA F880iES の特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

楽しいｉモード機能

ｉモード（有料） →P240

簡単なボタン操作でサイトやインターネットホームページに接続し、情報を閲覧できるオンラインサービスです。

ｉモードメール →P313

ｉモードをご契約の携帯電話はもちろん、パソコンなどとのメールのやり取りができます。

ｉモーションメール →P324

FOMA端末内蔵のカメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取り込んだｉモーションを、ｉモードメールに添付して手軽に送信することができます。

ｉモーション →P420

サイトやインターネットから映像や音を取得して楽しむことができます。

多彩なあんしん設定

個人情報表示制限 →P184

メールや電話帳データ、FOMA端末内蔵のカメラで撮影した写真などをディスプレイに表示しないように設定することができます。見られたくないデータがあるときに便利です。

履歴表示制限 →P186

リダイヤルや着信履歴などを表示しないように設定することができます。知られたくない発信・着信情報があるときに便利です。

迷惑メールなどの受信拒否 →P364、P368

知らないアドレスからのメールや不要な勧誘メールなどを受信しないように設定することができます。シークレットコード登録やアドレス指定による受信拒否など、さまざまな迷惑メールへの対処方法があります。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1 →P483
- デュアルネットワークサービス（有料）※1※3 →P495
- 話中着信サービス（キャッチホン）（有料）※1 →P486
- 転送でんわサービス※1 →P488
- 番号通知お願いサービス※2 →P494
- ショートメッセージサービス（SMS）※2 →P383
- 迷惑電話ストップサービス（有料）※1 →P492
- 発信者番号通知※2※3 →P48

※1：お申し込みが必要となります。
※2：お申し込みは不要です。
※3：設定の際にネットワーク暗証番号が必要になります。→P171

F880iES ならではの便利な機能

光ナビゲーション →P66、P94

電話がかかってくると、ボタンが明るく点滅します。音声電話がかかってきたときは、テレビ電話がかかってきたときはとテレビ電話が点滅するので、どのボタンを押せば電話に出られるのかが一目でわかります。周りが暗いときなどに役立つ機能です。

ワンタッチダイヤル →P148

ディスプレイの下の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能。相手とのコミュニケーションがさらに楽しくなります。登録相手の変更もできます。

音声読み上げ →P207

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。
FOMA 端末を折り畳んでいるときに右側面のを1秒以上押せば、日時を声でお知らせ。読み上げの声質や速さの変更も可能なので聞きやすい読み上げ動作を設定することができます。

音声認識 →P201、P206

名前や単語を音声登録して、電話帳や各機能を簡単に呼び出すことができます。

簡単メール →P313

画面の表示に従って操作すると、手軽にメールを作成できます。写真やビデオの添付も簡単。さらに、伝えたいことをその場で録音し、メールに託して送信することもできます（音声メール）。

その他の便利な機能

ツインカメラ →P220

テレビ電話に便利な外側カメラと内側カメラを搭載。FOMA 端末の右側面の（）を押せば、ワンタッチでカメラが起動します。写真撮影画面からは簡単にビデオに切り替えて撮影、保存することができます。

オートスピーカーホン →P70

着信音が約 4 秒間鳴った後自動応答させれば、FOMA 端末を置いたままでもお話しすることができます。

新着情報 →P27

新しい不在着信・受信メール・伝言メモなどがあると、待受画面にはその内容を確認するためのボタンが表示されます。簡単なボタン操作で、未確認の情報を確認することができます。

テレビ電話 →P90

テレビ電話に対応した FOMA 端末どうしで、画面に映し出される相手の顔を見ながら通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、FOMA 端末を置いたままでもお話しすることができます。

2.4 インチ大画面高精細 TFT 液晶ディスプレイ →P25

240 × 320 ドットの QVGA 液晶画面に、細かい画像や文字などを表示します。

ガイド表示 →P559

文字の入力方法がわからなくなったときに電話帳を押すと、文字入力のガイドを見ることができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	説明
⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠ 危険

指示 **FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。**

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F06　　卓上ホルダ　F06
ACアダプタ　F03　　DCアダプタ　F01

その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠ 警告

禁止 **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止 **ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。**

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止 **電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタを入れないでください。**

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠ 注意

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**

故障の原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止 **直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。**

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となります。

指示 **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示 **子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。**

けがなどの原因となります。

FOMA 端末の取扱いについて

警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

分解禁止

分解､改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど､高温の場所での使用､放置はしないでください。

発熱､発火などの事故または故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

注意

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。（指示）

落雷、感電の原因となります。

FOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。（禁止）

火災、故障、感電の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。（指示）

下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	外部カメラ部の周囲
マグネシウム合金	ディスプレイ表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。（禁止）

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

誤ってディスプレイ部、カメラのレンズ部を破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。（指示）

けがの原因となります。
ディスプレイ部、カメラのレンズ部の表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万が一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

FOMA 端末を濡らさないでください。（水濡れ禁止）

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。（禁止）

レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

ストラップなどを持ってFOMA 端末を振り回さないでください。（禁止）

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤ってディスプレイ部を破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。（指示）

失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。（指示）

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止

分解、改造しないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

指示

電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックの取扱いについて（つづき）

⚠ 警告

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA 端末から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（AC アダプタ、DC アダプタ、卓上ホルダ）の取扱いについて

⚠ 警告

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

警告

指示 指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外での使用は故障などの原因となります。
ACアダプタ：
　AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：
　DC12V・24V（マイナスアース車専用）

禁止 ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

電源プラグを抜く 万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

水濡れ禁止 アダプタを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止 アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止 充電中は、卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

分解禁止 分解、改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止 コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

指示 DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属性ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

指示 プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ）の取扱いについて（つづき）

⚠ 注意

指示 **アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。**

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止 **濡れた電池パックを充電しないでください。**

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものを載せたりしないでください。**

感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。**

感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠ 警告

禁止 **電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。**

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠ 注意

指示 **FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。**

手や指を傷つける可能性があります。

分解禁止 **FOMAカードを分解、改造しないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

禁止 **FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。**

故障の原因となります。

指示 **FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。**

指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

禁止 **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障の原因となります。

FOMA カードの取扱いについて（つづき）

注意

ICを傷つけないでください。

故障の原因となります。

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

FOMA カード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。

故障の原因となります。

FOMA カードはほこりの多い場所には保管しないでください。

故障の原因となります。

FOMA カードを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMA カードを火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMA カードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は､FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止､持ち込み禁止などの場所を定めている場合は､その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で､植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には､電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

■共通のお願い

● 水をかけないでください。

・FOMA端末、電池パック、アダプタは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

・FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

● お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることなどがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

・急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

● 電池パックやアダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■FOMA端末についてのお願い

● 使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

● 極端な高温、低温は避けてください。

・温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

● お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

・故障、破損の原因となります。

● **ストラップなどを挟んだまま、FOMA 端末を折り畳まないでください。**
- 故障、破損の原因となります。

■電池パックについてのお願い

● **電池パックは消耗品です。**
- 十分に充電しても使用状態などによって異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

● **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

● **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

● **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

● **不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
- 不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、ドコモショップなど窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

■アダプタについてのお願い

● **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

● **次のような場所では、充電しないでください。**
- 周囲の温度が 5℃以下、または 35℃以上になるところ
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

● **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

● **DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
- 車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ FOMA カードについてのお願い

● **極端な高温・低温は避けてください。**

● **IC 部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**

● **ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**

● **使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

● **他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

● **IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

● **お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。**

● **お客様ご自身で、FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉメロディ／アイメロディ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「ドライブモード」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「マルチアクセス」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass／ファーストパス」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「M-stage Vライブ」「musea／ミュゼア」「クイックキャスト」および「FOMA」「ｉ-mode」ロゴはＮＴＴドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFront®および**NetFront**は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
- Windows XP、2000 Professional、Me、98SE、98のように併記する場合があります。
- Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

その他

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はインターネット機能としてNetFront® v3.0 for FOMAを搭載しています。

  NetFront® v3.0は株式会社ACCESSの製品です。

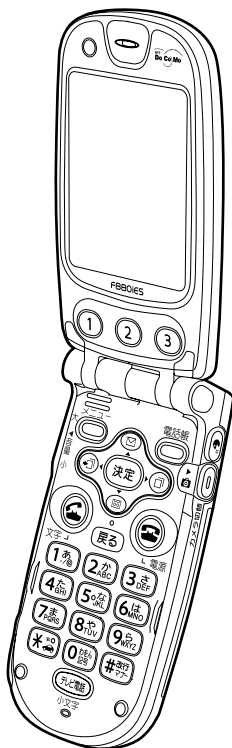
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

  4,901,307　5,600,754　5,267,261　5,506,865　5,710,784
  5,504,773　5,416,797　5,568,483　5,228,054　5,778,338
  5,109,390　5,490,165　5,414,796　5,544,196
  5,535,239　5,101,501　5,659,569　5,337,338
  5,267,262　5,511,073　5,056,109　5,657,420

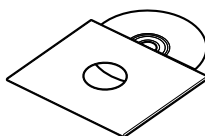
本体付属品および主なオプション品について

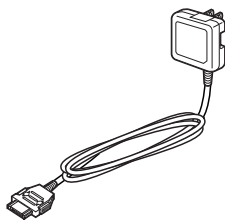
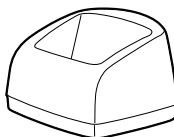
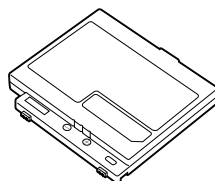
■ 本体付属品

FOMA F880iES
（保証書・リアカバー F06 含む）

FOMA F880iES
取扱説明書（本書）

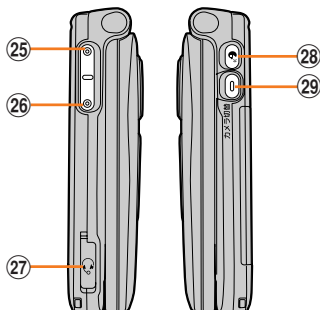
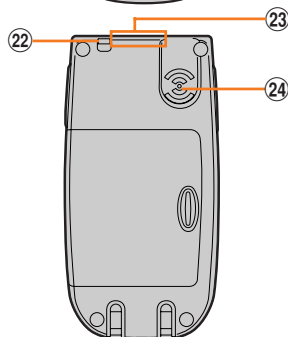
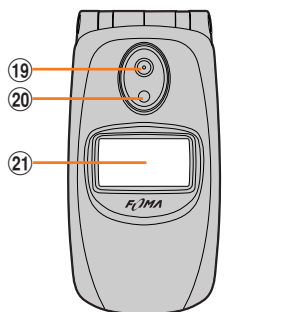
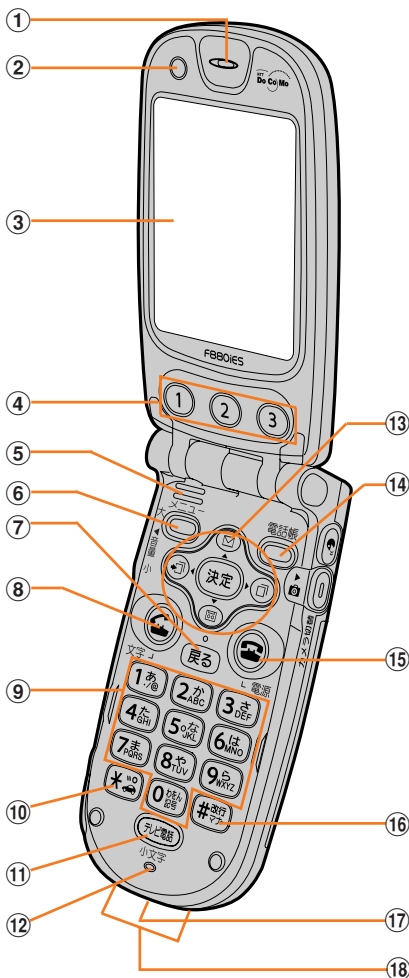
FOMA F880iES
かんたん操作ガイド

※ P646にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA F880iES 用
CD-ROM

■ 主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01
または AC アダプタ F03
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F06
（取扱説明書付き）

電池パック F06
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→ P603

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ 103 ×幅 51 ×厚さ 23
※高さ、厚さは折り畳み時
質量（g）　：約 120
※電池パック装着時

① **受話口**※
相手の声がここから聞こえます。

② **内側カメラ**
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。→ P220

③ **ディスプレイ→ P25**

④ ①②③**ワンタッチダイヤルボタン 1 ／ 2 ／ 3**
ワンタッチダイヤルの登録や発信などに使います。→ P138、P148

⑤ **スピーカー**※
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。→ P55、P70、P92

⑥ （メニュー）**メニューボタン**
メニューの表示、ガイド行の左に表示される操作の実行、機能の音声呼び出しなどに使います。

⑦ （戻る）**戻るボタン**
文字入力時の入力内容の消去、1 つ前の画面に戻る、新着情報表示の消去などに使用します。

⑧ 開始／スピーカーホン／文字ボタン
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での音声電話発信や通話切り替え、留守番電話の伝言メッセージ再生、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

⑨ ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

⑩ ＊／ドライブモードボタン
「＊」の入力、ドライブモードの設定／解除などに使います。→P79

⑪ テレビ電話開始
テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、文字入力時の大文字／小文字切り替えなどに使います。

⑫ 送話口／マイク
自分の声を伝えます。

- 通話中やビデオ撮影中などに送話口／マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声などが録音されない場合があります。

⑬ マルチカーソルボタン

決定ボタン
選択した操作の実行、ｉモードメニューの表示などに使います。

メール／↑ボタン
メールメニューの表示、新規メール作成、カーソルの上方向への移動、音量の調節などに使います。

伝言メモ／↓ボタン
伝言メモの再生／削除、伝言メモの設定／解除、カーソルの下方向への移動、音量の調節などに使います。

着信履歴／←（前へ）ボタン
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動などに使います。

リダイヤル／→（次へ）ボタン
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動などに使います。

⑭ 電話帳ボタン
電話帳メニューの表示、ガイド行の右に表示される操作の実行、電話帳の音声呼び出しなどに使います。

⑮ 電源／終了／応答保留ボタン
電源を入れる／切る、通話の終了、操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除などに使います。

⑯ ＃／マナーモード／改行ボタン
「＃」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。→P160

⑰ 外部接続端子
各種オプション類などを接続します。

⑱ 充電端子

⑲ 外側カメラ
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。→P220

⑳ 着信ランプ／充電ランプ
電話の着信時やメールの受信時、カメラの起動中や充電中などに点灯／点滅します。

㉑ 背面ディスプレイ→P25
電話の着信時やメールの受信時、アラーム設定時刻になったときなどに情報を表示します。

㉒ ストラップ取付口
ここにストラップを取り付けます。

㉓ アンテナ部分
- 通話中や通信中はアンテナ部分を指で覆わないようにしてください。

㉔ スピーカー※
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。→P55、P70、P92

㉕ （音量 大）音量ボタン大 →P24

㉖ （音量 小）音量ボタン小 →P24

㉗ イヤホンマイク端子
スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。→P475

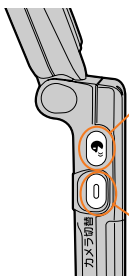
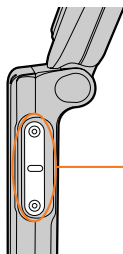
㉘ 音声読み上げボタン→P24
日時や機能説明などの読み上げの開始や停止に使います。

㉙ （📷）カメラ切替ボタン →P24
写真撮影画面の起動、外側カメラと内側カメラの切り替えに使います。

※：読み上げの音声はここから聞こえます。
→P210

お知らせ
- アンテナは本体に内蔵されています。
- 操作の説明では各ボタンをイラストで表しています。→P22、P23

サイドボタンでできる主な操作

FOMA端末の左右側面には音量ボタン（(音量 大・小))、、()の3種類のボタンがあります。本書ではこれらのボタンをまとめて「サイドボタン」と表記しています。
FOMA端末ではサイドボタンを押していろいろな操作ができますが、主な操作は次のとおりです。

ボタン	操　作	FOMA 端末の状態
音量ボタン	**受話音量の調節**	通話中、通話中着信中、受話音量調節中
	着信音量の調節	着信中、着信音量調節中、64Kデータ通信着信中※1、外部機器接続時のテレビ電話着信
	読み上げ音量の調節	読み上げ音量設定中、読み上げ中
	再生音量の調節	メロディ再生中、動画／ｉモーション再生中※1
読み上げボタン	**目覚まし音の停止**	目覚まし起動中※2
	読み上げ開始	読み上げアイコン（）表示中
	読み上げ停止	読み上げ中※2
	時刻の読み上げ	待受画面表示中※3
()	**カメラ（写真撮影画面）の起動**	待受画面表示中※1
	カメラの切り替え	テレビ電話通話中※1、写真／ビデオ撮影待機中※1

※1：FOMA端末を開いた状態でのみ操作できます。
※2：FOMA端末を折り畳んでいても停止できます。
※3：FOMA端末を折り畳んでいるときは1秒以上押します。

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときにいずれかのサイドボタン（(音量 大・小)、、()）を押すと、背面ディスプレイが点灯します。
- 音量ボタン（(音量 大・小)）で操作する場合は、ボタンの上下端の「◎」を押すようにしてください。ボタンの中心の凸部を押すと、操作が正常に行われない場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでを1秒以上押して読み上げを行う場合、以外のサイドボタンを同時に押さないようにしてください。読み上げない場合があります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイに表示されるマーク（アイコンなど）の説明をします。

■ ディスプレイ

■ 背面ディスプレイ

① ：電池残量の表示→P43

② ：受信レベルの表示→P45

圏外：圏外の表示→P45

Self ：セルフモードの設定中→P183

TML ：ターミナルリンク中

：データ転送（送受信）中／データリンクソフトの使用中→P504、P605

③ ：iモード接続中・パケット通信中→P247

SSL ：SSLページ表示中→P248

：パソコンを接続してパケット通信中→P504、P541

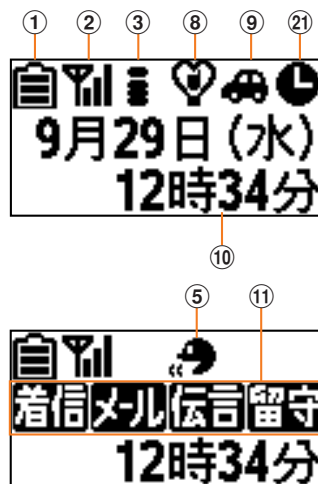
：パソコンを接続してデータ送受信中→P504、P541

④ ：シークレットモードの設定中→P187

⑤ ：音声電話の通話中→P54

64K ：テレビ電話の通話中（64K）→P90

32K ：テレビ電話の通話中（32K）→P90

64K ：64Kでデータ通信中→P522、P541

：外部機器と接続してテレビ電話通話中→P105

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P207

⑥ ：メールの受信完了通知→P339
※待受画面に戻ると表示が消えます。

⑦ ：スピーカーホン機能の動作中→P55、P92

AUTO ：オートスピーカーホン機能の設定中→P70

通信中：iモード通信中→P247

取得中：iモーションデータの取り込み中→P420

⑧ ：マナーモードの設定中→P160

SV ：音声電話のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中

V ：音声電話のバイブレータを設定中→P155

S ：着信音量を消音に設定中→P76

次ページへ続く

漢かな／半角ｶﾅ／英字／
数字／全角かな／全角カナ：
文字入力モードの表示→P560
:メールの受信中→P339
R(青):メッセージRの受信中→P287
F(青):メッセージFの受信中→P287
⑨ :ドライブモードの設定中→P79
:FOMAカードを読み込み中
→P45
⑩日付・時刻の表示→P46
⑪新着情報の表示→P27
⑫※ :伝言メモが満杯→P82
:未確認の伝言メモあり→P86
:伝言メモの設定中→P81
⑬ :未確認の不在着信情報あり
→P72
⑭※ :未読メール・ショートメッセージ（SMS）が満杯で、FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が満杯→P340、P390
:未読メール・ショートメッセージ（SMS）が満杯→P340
:FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が満杯
→P390
:未読のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）あり
→P339、P389
⑮R／R(青／赤)：
未読メッセージRあり／満杯
→P287、P288
⑯F／F(青／赤)：
未読メッセージFあり／満杯
→P287、P288

⑰※ :センターにｉモードメールとメッセージR/Fが満杯
→P288、P340
／／
:センターにｉモードメール、またはメッセージR/Fが満杯
→P288、P340
:センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
→P288、P340
／／
:センターに未受信のｉモードメール、またはメッセージR/Fあり→P288、P340
⑱ :ソフトウェア更新の予約中
→P621
⑲ :FOMA USBケーブルの接続中
→P507
⑳※ :個人の情報表示の制限中
→P184
:ダイヤル入力での発信を制限中
→P185
㉑ :目覚ましを設定中→P468
㉒ ｉモード 決定 長押し：
ｉモードの接続操作の表示
→P247
※待受画像を標準の画像（草原）、または「表示なし」に設定したときのみ表示されます。
留守番 長押し：
留守番電話の伝言メッセージあり→P485

※：現在優先度の高いものが1つ表示されます。
優先度の高い順に上から掲載しています。

お知らせ

- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - F880iESのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
  - 誤ってFOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。
  - FOMA端末を開いた状態でしばらくの間同じ画面を表示していると、何か操作を行って画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

新着情報の表示

メールの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報があることをお知らせします。

● 上記のように表示されているときは次の操作ができます。

画面表示	ボタン操作	説　明
メールあり	を押す	受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→P345
着信あり	を押す	着信履歴の表示画面が表示されます。→P72
伝言あり	を押す	伝言メモの件数確認画面が表示されます。→P87
留守番 長押し	を1秒以上押す	留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→P485

● を1秒以上：新着情報の表示を消します。新たに情報が追加されると、新着情報が再表示されます。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。→P25

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます。

表示位置とボタンは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を用いて説明しています。

ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

● ガイド行の は、マルチカーソルボタンの に対応しています。

背面ディスプレイの主な表示

FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにFOMA端末の状態や日時、新着情報が表示されます。→P25、P27

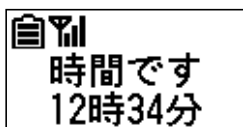
また、FOMA端末を折り畳んでいるときに電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

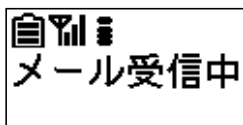
■ 音声電話やテレビ電話の状態表示

<音声電話がかかってきたとき>

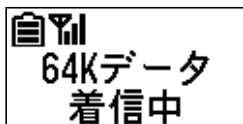
通話中や応答保留中、切断中などの状態が表示されます。

●音声電話の受けかた→P66
●テレビ電話の受けかた→P94
●外部機器と接続してテレビ電話を利用→P105

■ 目覚ましの指定時刻になったとき

●目覚ましについて→P468

■ iモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/F受信中のとき

<iモードメール受信中のとき>

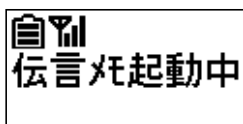
●iモードメール受信→P339
●ショートメッセージ（SMS）受信→P389
●メッセージR/F受信→P287

■ パケット通信や64Kデータ通信、USB通信の状態表示

<64Kデータ着信中のとき>

着信中や通信中などの状態が表示されます。

●パケット通信→P504、P512、P541
●64Kデータ通信→P504、P512、P541
●USB通信→P507

■ 伝言メモの状態表示

伝言メモ起動中

応答ガイダンス中や録音中に表示されます。

●伝言メモ→P81

- 背面ディスプレイのバックライトが消灯したときは、サイドボタン（ ）（音量 大・小）、 、 （ ））を押すと点灯します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が自動的に切り替わった場合は、バックライトが自動的に点灯します。
- 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定しているときは、電話がかかってきても相手の発信者情報（電話番号や名前）は背面ディスプレイに表示されません。→P163
- 背面ディスプレイの時計表示方法を設定する→P166
- スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときにFOMA端末を折り畳んでも、背面ディスプレイに各状態が表示されます。

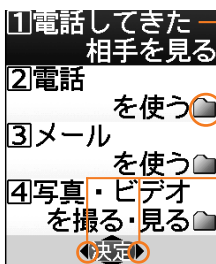
メニュー操作のしかた

待受中に、メインメニューや電話帳メニューなどのメニュー画面から各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタンを押して選択する方法と、各機能に対応したダイヤルボタンを押して選択する方法の2とおりの方法があります。

マルチカーソルボタンでメニューから機能を選択します

〈例〉「電話を受けた時の音量を調節する」を実行するとき

1 待受画面で メニュー を押す

1電話してきた相手を見る
2電話を使う
3メール を使う
4写真・ビデオを撮る・見る
決定

現在選択されている機能の色が変わります。

次の階層のメニューがあることを示します。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。
を押して画面をスクロールしなくても、 を押して画面を切り替えて表示できます。

2 を押して「2 電話を使う」を選択し、決定を押す

「電話を使う」のメニュー画面が表示されます。

- ：カーソルが上の機能に移動します。
- ：カーソルが下の機能に移動します。

次ページへ続く

3 を押して「5 電話を受けた時の音量を調節する」を選択し、決定を押す

4 またはを押して（音量 大・小）を押して音量を調節し、決定を押す

● 操作方法→ P76
● 音量 6 のときに ／ ／ （音量 大）：
「だんだん大きく」（消音→音量 1 →…→音量 6）に設定します。
● 音量 1 のときに ／ ／ （音量 小）：
消音に設定します。

5 決定を押す

電話の呼出音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

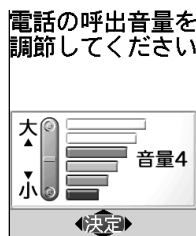
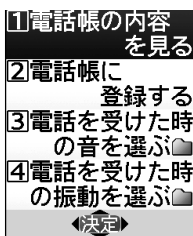
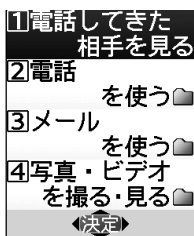
お知らせ

● メニュー画面から選択して実行できる機能については、メニュー一覧をご覧ください。
→ P580

ダイヤルボタンでメニューから機能を選択します（ショートカット操作）

各機能にはそれぞれ番号や記号が割り当てられており、各機能の左側に表示されています。機能は、対応するダイヤルボタン（0～9）、または記号（＊）を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。
本書では、待受画面でメニューを押してメニュー画面を表示し、該当するダイヤルボタンを順番に押すショートカット操作を、次のように表記しています。

〈例〉「電話を受けた時の音量を調節する」を実行するとき

1 待受画面で メニュー ▶「2 電話を使う」▶「5 電話を受けた時の音量を調節する」を押す

2 または（音量 大・小）を押して音量を調節 ▶ 決定 を押す

- 操作方法→ P76
- 音量 6 のときに ／ ／ （音量 大）：
  「だんだん大きく」（消音→音量 1 →…→音量 6）に設定します。
- 音量 1 のときに ／ ／ （音量 小）：
  消音に設定します。

3 決定 を押す

電話の呼出音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や 1 つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、待受画面や 1 つ前の画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る ：1 つ前の画面に戻ります。

：待受画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択します

ガイド行の左側に メニュー が表示されているときは、メニュー を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

次ページへ続く

〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示するとき

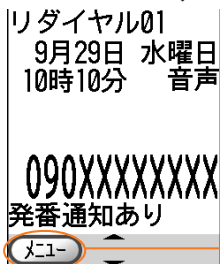
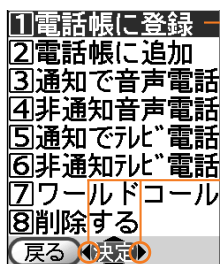
1 待受画面で を押す

リダイヤル01
9月29日 水曜日
10時10分 音声

090XXXXXXXX
発番通知あり
メニュー

ガイド行の左側にメニューが表示されます。

2 メニュー を押す

1電話帳に登録
2電話帳に追加
3通知で音声電話
4非通知音声電話
5通知でテレビ電話
6非通知テレビ電話
7ワールドコール
8削除する
戻る 決定

現在選択している機能の色が変わります。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。を押して画面をスクロールしなくても、を押して画面を切り替えて表示できます。

3 を押して機能を選択し、決定を押す

機能が実行されます。

- 画面左端に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押しても選択できます。
- サブメニュー表示中にメニューを押すと、サブメニューが閉じます。

お知らせ

- 機能の実行が制限されている場合（→P185）や、FOMAカードが挿入されていない場合などは、実行できない機能の文字がグレーなどで薄く表示され、その機能は選択できません。

FOMAカードを使います

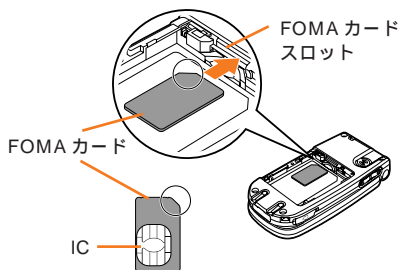
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA対応の端末に挿入して使用します。

- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
- FOMAカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳んだ状態で、手で持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

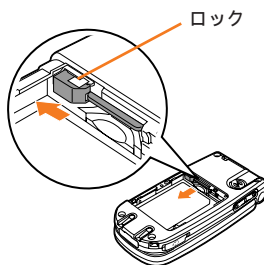
FOMAカードを取り付けます

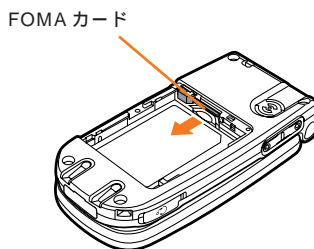
① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向へスライドさせて外します。電池パックが取り付けられている場合は、取り外してください。→P39

② FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカードスロットへ矢印方向に差し込みます。

③ 図のようにロックがスライドしてFOMAカードが固定されるまで、さらに差し込みます。

④ 電池パックとリアカバーを取り付けます。→P38

FOMAカードを取り外します

① リアカバーと電池パックを取り外します。→P39
FOMAカードに指が触れないようにロックを矢印方向にスライドさせ、FOMAカードを少し飛び出させます。

② FOMAカードをまっすぐ静かに取り出します。
このときFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが変形や破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押しつけないでください。変形や破損することがあります。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指が触れるなどしてカードの飛び出し量が少なく、FOMAカードが取り外しにくい場合は、奥まで差し込んで再度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。→P171
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の数字で任意に変更することができます。→P175、P177

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態でサイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付のデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMA端末に別のFOMAカードが取り付けられている場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

• 画像（アニメーションを含む）	• ｉモーション	• メロディ
• 画面メモ	• メッセージR/F	
• ｉモードメールに添付されているデータ		

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。
- データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

FOMA カードの機能差分について

FOMA カードには緑色と青色の 2 種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMA カード（緑色）	FOMA カード（青色）	参照先
FOMA カード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大 26 桁	最大 20 桁	P121
FirstPass を利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P298
WORLD WING サービスの利用	利用可	利用不可	下記
サービスダイヤル	「ドコモ故障窓口」および「ドコモ総合案内・受付」の利用	利用不可	P498

WORLD WING

WORLD WING とは、FOMA カード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM 方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数	参照先
メール	受信メール※1※2	最大200件	最大100件	P345、391、409
	送信メール※1※2	最大50件	最大25件	P337、387、409
	未送信メール※2	最大50件	最大25件	P337、387、409
	例文	10件	―	P332
FOMAカードのショートメッセージ（SMS）※3		最大20件	―	P396
メッセージR※4		最大50件	最大25件	P294、296
メッセージF※4		最大50件	最大25件	P294、296
ブックマーク		最大50件	―	P261
画面メモ※1		最大50件	最大25件	P269、271
画像※1		最大200件	―	P222、272、350
メロディ※1		最大30件	―	P273、357
動画／iモーション※1※5		最大50件	―	P226、353、423

※1：保存・登録するデータのサイズにより、実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：iモードメールとショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
※3：送信ショートメッセージ（SMS）、受信ショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
※4：保存できる件数はメッセージR/Fのサイズによって変わります。
※5：音声は動画データとして保存されます。

お知らせ

- FOMA端末に保存・登録されているデータは、電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも約1ヶ月は保持されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のF880iES用CD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P605

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のアダプタで充電してからお使いください。

●電池パックの詳しい取り扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源をOFFにして、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA 端末の電源を ON にして充電した場合、充電時間は長くなります。

AC アダプタ　F03	約 130（分）
DC アダプタ　F01	約 135（分）

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、下表の時間は変動します。

連続待受時間（静止時）	約 380（時間）
連続待受時間（移動時）	約 290（時間）
連続通話時間（音声電話通話時）	約 120（分）
連続通話時間（テレビ電話通話時）	約 85（分）

● 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
● 連続待受時間はF880iESを折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になる場合があります。i モード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や i モード通信をしなくても、i モードメールを作成したり、音声読み上げをすると通話（通信）・待受時間は短くなります。
● データ通信やマルチアクセス実行時、カメラの使用などによっても、通話（通信）・待受時間は短くなります。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。

● **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
充電時に FOMA 端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電完了後、FOMA 端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、充電完了直後よりも短い時間しか使用できず、すぐに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合もう一度正しく充電し直してください。
再充電の際は FOMA 端末を一度 AC アダプタ（卓上ホルダ）または DC アダプタから外して、再度セットをし直してください。

次ページへ続く

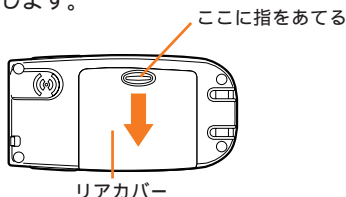
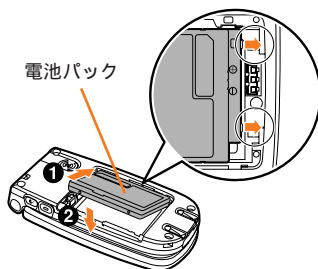
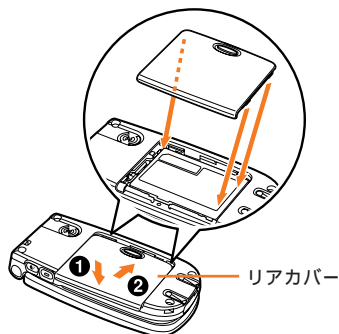
● **電池パックの寿命は？**
電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。

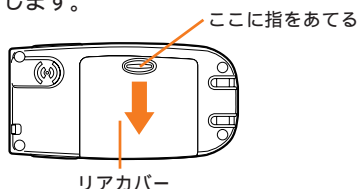
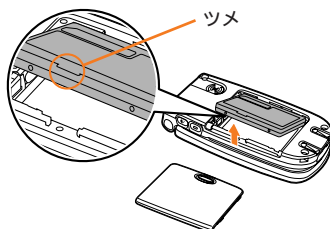
● **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

電池パックを取り付けます／取り外します

● 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳んだ状態で、手で持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

取り付けます

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

② 電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの3箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーのすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外します

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

②電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがありますのでご注意ください。
- 力を入れすぎるとリアカバーが破損する恐れがあります。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行うと、FOMA端末やリアカバーが破損する恐れがあります。

携帯電話を充電します

ここでは、FOMA 端末を充電する方法を説明します。

- 電池パック単体での充電はできません。

充電時の留意事項

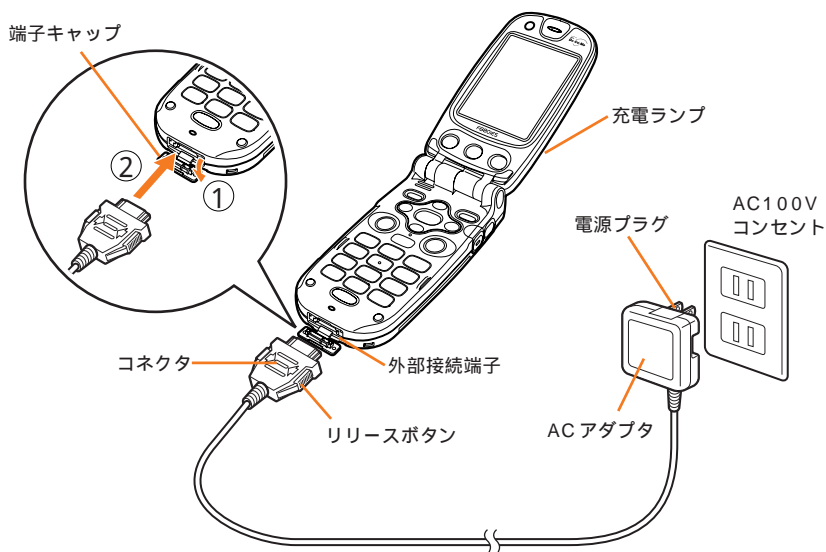
- 充電中に充電ランプが点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→P608
- 環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、故障ではありません。しばらくしても点灯しない場合は、FOMA 端末を一度 AC アダプタ（卓上ホルダ）または DC アダプタから取り外し、再度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくしても点灯しない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。
- 高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA 端末が高温になり、充電が正常に完了しない場合があります。この場合は、FOMA 端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にメールの受信やカメラの起動で着信ランプが使用されると、充電ランプが一時的に消灯したり、着信ランプの緑色と充電ランプの赤色が交互に点灯したりします。
- 充電開始と完了を音で知らせないように設定していると確認音は鳴りません。→P157
- 音声読み上げ機能を設定しているときは、充電の完了を音声でお知らせします。→P207

AC アダプタでの充電方法

必ず AC アダプタ F03 の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA 端末に電池パックを取り付けます。
（2）FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、AC アダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして FOMA 端末と水平に差し込みます（②）。
（3）AC アダプタの電源プラグを起こし、AC100V コンセントへ差し込みます。
（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。
- 充電中は FOMA 端末や電池パック、AC アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。

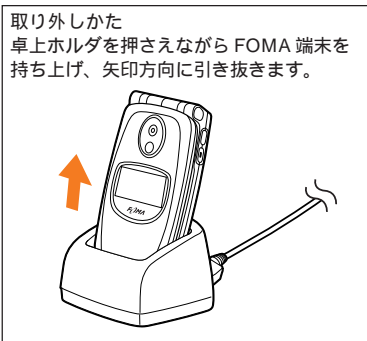
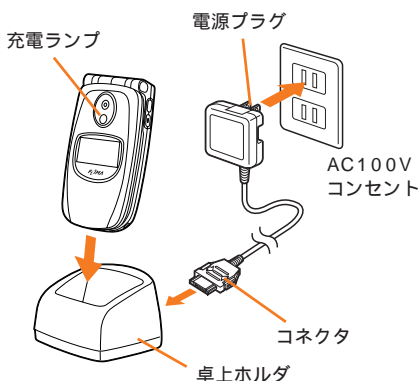
（5）充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンの点滅も止まります。

（6）充電が終わったら、AC アダプタをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押して FOMA 端末から水平にコネクタを外します。
（7）端子キャップを閉じてください。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

必ず卓上ホルダ F06の取扱説明書もご覧ください。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- ACアダプタと卓上ホルダ F06を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開かなくても充電できます。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- 卓上ホルダだけでは充電することはできません。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。

(1) ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。
(2) ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます。
(3) 電池パックを取り付けたFOMA端末と卓上ホルダの端子を合わせてFOMA端末を差し込みます。
(4) 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
  - 待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。
  - 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
(5) 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
  - ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンの点滅も止まります。
(6) 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。
  - 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

DC アダプタ（別売）での充電方法

必ず DC アダプタ F01 の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA 端末に電池パックを取り付けます。

（2）FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、DC アダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして差し込みます（②）。

（3）DCアダプタのシガーライタプラグを、車のシガーライタソケットへ差し込みます。DC アダプタの動作ランプが赤く点灯したことを確認します。

（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。

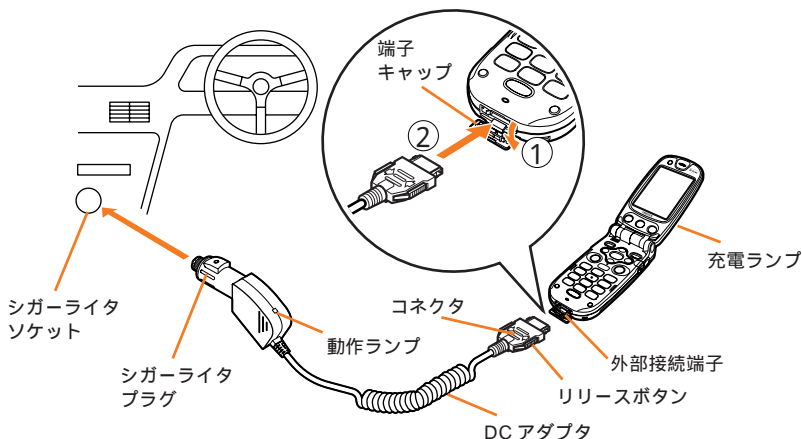
● 待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。

● 充電中はFOMA端末や電池パック、DC アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。

（5）充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。

● ディスプレイ、背面ディスプレイの電池アイコンの点滅も止まります。

（6）充電が終わったら、コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から外し、シガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。

（7）端子キャップを閉じてください。

お知らせ

● DCアダプタをシガーライタソケットに接続したままエンジンを止めると、車のバッテリーが消耗する場合があります。使用しないときや車から離れるときは、DC アダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外して、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。

● ヒューズ（1A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた<電池残量>

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

- 3段階で表示されます。
- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご覧ください。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。→P25

電池アイコン

電池残量3 （十分残っています）	電池残量2 （少なくなっています）	電池残量1 （充電することをおすすめします）
→	→	

電池残量を音と表示で確認します<電池残量確認>

- 次の場合は電池残量確認音は鳴りません。
  - ボタンを押した時の音を鳴らさないように設定中→P156
  - マナーモードを設定中
  - 着信音量を消音に設定中

1　待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「2 電池残量を確認する」を押す

（電池残量3）

音が3回鳴ります

（電池残量2）

音が2回鳴ります

（電池残量1）

音が1回鳴ります

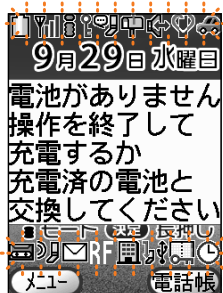
しばらく電池残量が表示された後、メニュー画面に戻ります。

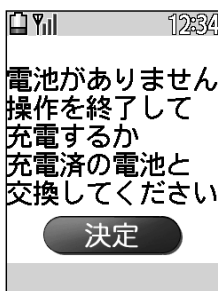
- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、ディスプレイのメッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すれば電池残量警告音は止まりますが、電池残量警告音をすぐに止めたい場合はを押してください。

〈例〉待受中の場合

電池残量警告音が鳴ります。ディスプレイに表示されているすべてのアイコンが点滅して、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。を押すと電池残量警告音は止まり、約１分後に自動的に電源が切れます。

〈例〉通話中の場合

受話口から電池残量警告音が聞こえ、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。電池残量警告音が聞こえてから約２０秒後に通話が切れて、待受中と同じ電池残量の警告メッセージが表示されます。その後、約１分後に自動的に電源が切れます。

● FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と点滅表示されます。

電池残量警告音を鳴らさないようにします<電池残量警告音>

お買い上げ時　鳴らす

● 次の場合、本機能を「鳴らす」に設定していても、電池残量警告音は鳴りません。
・マナーモードを設定中
・ドライブモードを設定中

1　待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「2 電池残量の警告音を設定する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2　「2 鳴らさない」を押す

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。
●「1 鳴らす」：電池残量警告音を鳴らすようにします。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 通話中に電池が切れそうになったときは、本機能の設定やマナーモード、ドライブモードの設定に関わらず、電池残量がない旨のメッセージが表示され、受話口から電池残量警告音が鳴ります。

電源を入れます／切ります
＜電源ON／OFF＞

電源を入れます

1 (終話キー)を2秒以上押す

「起動中 しばらくお待ちください」とメッセージが表示された後、待受画面が表示されます。

電池アイコン、受信レベル

FOMAカードの読み込みが始まると表示され、終わると消えます。

日付・曜日・時刻

待受画面

電波の状態表示	
(強い) → (中) → (弱い)	圏外
強 ―――→ 弱	サービスエリア外や電波の届かないところ

日付と時刻を
設定してください

決定

● 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。決定を押して、日付・時刻を設定してください。→P46

電源を切ります

1 **（電源キー）を 2 秒以上押す**

「電源切断中です」とメッセージが表示された後、電源が切れます。

お知らせ

- FOMAカードが取り付けられていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMA カードを取り付けてから電源を入れ直してください。→ P33
- 設定により、PIN1 コード入力画面が表示されることがあります。→ P174
- サービスエリア外や電波が届かないところで「圏外」が表示されているときは、表示が消える場所まで移動してください。ただし、Yıllが表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。

日付・時刻を合わせます ＜日付時刻設定＞

FOMA 端末の日付と時刻を設定します。

- 設定した時刻は、電池パックを交換しても保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は再度、日付・時刻の設定を行ってください。

1 **待受画面で（メニュー）▶「8 初めに行う設定」▶「8 時計を設定する」▶「1 日付と時刻を設定する」を押す**

2 日付を入力する

● 西暦は下２桁を入力します。西暦、月、日が１～９のときは、前に０を付けます。
● 2000年１月１日から2050年12月31日まで設定できます。
● ：変更する数字を選択できます。
● ：日付と時刻の入力を切り替えます。

3 時刻を入力する

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2004年09月29日
時刻
12時34分
確定

● 24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が０～９のときは、前に０を付けます。
● ：変更する数字を選択できます。
● ：日付と時刻の入力を切り替えます。

4 決定を押す

日付・時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
- 目覚ましを使う→P468
- 電源が入る時刻を設定する→P463
- 電源が切れる時刻を設定する→P465
- 再生・保存期間や期限が設定されているｉモーションの取り込み→P446
- ソフトウェアを更新する→P617

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
- リダイヤル→P58
- 着信履歴→P71
- 伝言メモ→P81
- カメラで撮影した写真／ビデオの保存日時（データ名）→P222、P223
- 送信メール・未送信メールの日時→P337、P388

相手に自分の電話番号を通知します
<発信者番号通知>

電話をかけたとき、相手の電話機（ディスプレイ）へお客様の電話番号（発信者番号）を知らせることができます。

●本機能の設定には「ネットワーク暗証番号」の入力が必要になります。ネットワーク暗証番号とは、お買い上げのときにお客様ご自身が指定した４桁の暗証番号です。→P170、P171

●発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する設定に変更するときには、十分にご注意ください。

●相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号の表示が可能なときに表示されます。

●発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。

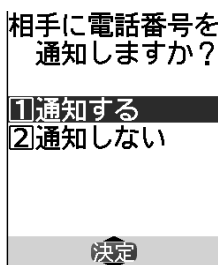
●サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

●詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「1 発信者番号通知を使う」▶「1 発信者番号通知を設定する」を押す

ネットワーク暗証番号の入力画面が表示されます。

●ネットワーク暗証番号→P170、P171

2 4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す

3 「1 通知する」を押す

ネットワークに接続され、発信者番号通知が設定された旨のメッセージが表示されます。

●「2 通知しない」：発信者番号を通知しません。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。相手の電話番号が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109
● 次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

発信者番号非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通信される場合もあります。）

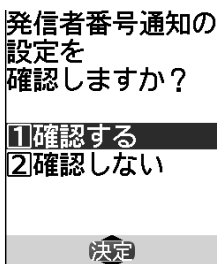
● 通話ごとに、発信者番号を相手に通知する／通知しないを選択する→ P60

設定内容を確認します

1 待受画面でメニュー ▶「8 初めに行う設定」▶「1 発信者番号通知を使う」▶「2 発信者番号通知設定を確認する」を押す

発信者番号通知の
設定を
確認しますか？

1確認する
2確認しない

決定

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

●「2 確認しない」：確認操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

自分の電話番号を確認します<個人情報表示>

お客様の FOMA 端末の電話番号（自局電話番号）や個人情報（名前やメールアドレスなど）を確認します。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。
→ P184

1 待受画面で［メニュー］▶「[0] 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス
詳細　修正

●お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。

■ 詳細情報を確認するとき

① **［決定］を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

• 端末暗証番号→ P170

② **4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶［決定］を押す**

詳細画面が表示されます。

• ［決定］: 基本画面と詳細画面を切り替えます。

2 ［戻る］を押す

メニュー画面に戻ります。

●［終話］を押すと待受画面に戻ります。

個人情報を登録・修正します<修正>

お客様の FOMA 端末の電話番号（自局電話番号）以外の電話番号や名前、メールアドレスなどを登録します。

●登録できるのは次の項目です。

- 名前、フリガナ
- 電話番号（FOMA 端末の電話番号を含めて最大 3 件）
- メールアドレス（最大 3 件）

1 待受画面で メニュー ▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録

電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

詳細　修正

2 電話帳 ▶ 4 〜 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

3 名前を入力 ▶ 決定 を押す

個人情報登録
鈴木太郎

フリガナを
入力してください
ｽｽﾞｷﾀﾛｳ

メニュー　確定　ガイド

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大 16 文字、半角で最大 32 文字入力できます。

4 フリガナを確認 ▶ 決定 を押す

2 件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 32 文字入力できます。

5 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

- 「1 入力する」　：他の電話番号を登録します。
- 「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。操作 8 に進みます。

次ページへ続く

6 電話番号を入力▶決定を押す

3件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
●最大26桁入力できます。

7 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

●「1 入力する」　：他の電話番号を登録します。操作6を繰り返します。
●「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 メールアドレスを入力▶決定を押す

2件目のメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。
●半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
●半角で最大50文字入力できます。
●何も入力しないで決定　：メールアドレスを入力しません。操作10に進みます。
●英字入力モード時に1　：「@」「.」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。
●英字入力モード時に＊　：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

9 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

「2入力しない」を押すと個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。
●「1 入力する」　：他のメールアドレスを登録します。操作8を繰り返します。
●「2 入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

10 決定を押す

基本画面に戻ります。
●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末に記録されます。
●個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。
●ｉモードのメールアドレスを確認する→P363
●ｉモードのメールアドレスを変更する→P361
●文字入力のしかた→P558

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかけます

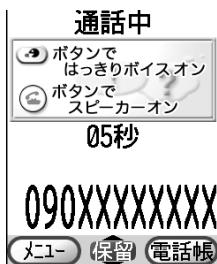
FOMA 端末では、音声のみで利用する音声電話と、映像を利用するテレビ電話の 2 種類の方法で電話をかけることができます。
ここでは、音声電話のかけかたを説明します。

- 相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- ダイヤル入力での発信を制限しているときには、緊急通報（110番、119 番、118 番）以外はダイヤルボタンを押して電話をかけることはできません。→P185

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHS にかける	070 － XXXX － XXXX

- 最大 80 桁入力できます。
- 戻る：電話番号を訂正できます。1 秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 を押す

「プッ プッ プッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

■ ツーツーという音が聞こえたとき

相手がお話し中です。を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P58

■ 発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

を押していったん発信を終了し、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
→P48、P60

3 お話しが終わったらを押す

- FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

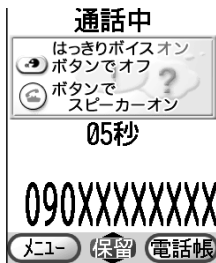
お知らせ

- 他の機能を実行していると、電話をかけることができない場合があります。→P601
- (発信キー)を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P48
- 通知／非通知で電話をかける→P60
- 2つの通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P460
- 電話帳の検索のしかた→P124
- 通話中保留のしかた→P56
- スイッチ付イヤホンマイクの使いかた→P475

はっきりボイスの設定を行います

騒音が多い中でも通話中の相手の声が強調されて聞き取りやすくなります。

- スピーカーホン機能動作中は、本機能は無効となります。

1 通話中に(はっきりボイスキー)を押す

- はっきりボイスを設定中に(はっきりボイスキー)：
  はっきりボイスを解除します。

お知らせ

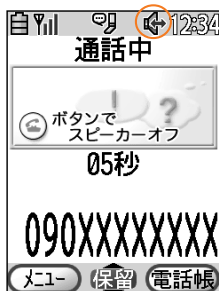
- 本機能は音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量の調節を行ってください。→P74

スピーカーホン機能を利用して通話します

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で音声電話をかけることができます（スピーカーホン機能）。

- スイッチ付きイヤホンマイクを接続中は、本機能を利用できません。
- FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に障害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

次ページへ続く

1 待受画面で電話番号を入力▶を１秒以上押す

電話がかかり、ディスプレイ上部に が表示されます。

●発信中、通話中に ：
　通常の通話とスピーカーホン機能を利用した通話を切り替えます。

●通常の通話に切り替えると、 の表示が消え、音声が受話口から聞こえます。

お知らせ

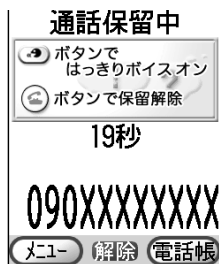
●通話中、周囲の相手側の雑音の大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は通常の通話に切り替えてください。

通話中に保留にします<通話中保留>

自分の声を相手に聞こえないように通話を保留にします。

●通話保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。

1 通話中に 決定 を押す

通話保留中
ボタンで
はっきりボイスオン
ボタンで保留解除
19秒
090XXXXXXXX
メニュー
解除
電話帳

左の画面が表示され、着信ランプが緑色で点滅します。自分と相手の端末にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

● 決定 または ：保留を解除します。

お知らせ

●保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更することができません。

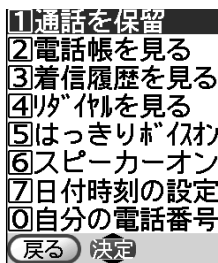
●スイッチ付イヤホンマイクを接続中でも設定できます。ただし、保留中にスイッチを１秒以上押すと、通話は切断されます。

●通話保留中、スイッチ付きイヤホンマイクを接続中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「通話保留中」が表示されます。

音声電話通話中の操作について

音声電話の通話中にサブメニューから次の操作ができます。→P31

●通話中には、受話音量を調節することもできます。→P24、P74

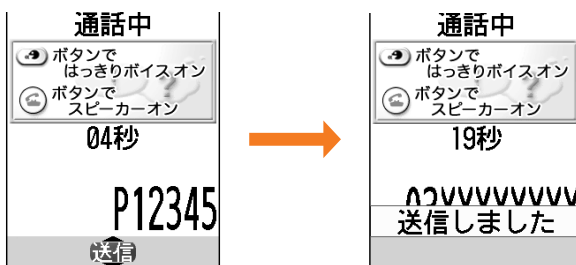
1通話を保留
2電話帳を見る
3着信履歴を見る
4ﾘﾀﾞｲﾔﾙを見る
5はっきりﾎﾞｲｽｵﾝ
6スピーカーオン
7日付時刻の設定
0自分の電話番号
戻る　決定

「1 通話を保留」／「1 保留を解除」：
　　通話を保留または保留を解除します。→P56
「2 電話帳を見る」：
　　電話帳を表示します。→P124
「3 着信履歴を見る」：
　　着信履歴を表示します。→P71
「4 リダイヤルを見る」：
　　リダイヤルを表示します。→P58
「5はっきりボイスオン」／「5はっきりボイスオフ」：
　　はっきりボイスを設定または解除します。
　　→P55
「6 スピーカーオン」／「6 スピーカーオフ」：
　　スピーカーホン機能を設定または解除します。
　　→P55
- 通話保留中はオン／オフを切り替えられません。

「7 日付時刻の設定」：
　　日付・時刻を設定します。→P46
「0 自分の電話番号」：
　　自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。
　　→P50

ポーズ、タイマー、「＋」を入力します

ポーズ、タイマー、「＋」を入力して電話をかけられます。

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき

電話がつながった後に決定を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送信されます。

ポーズ「P」を入力するには

＊ を1秒以上押す

ポーズ（「P」）は、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。

- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。
- ポーズの入力後に「＊」を入力しても、サブアドレスの区切りとしては使えません。

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く

タイマー「T」を入力するには

#改行マナー を 1 秒以上押す

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどにタイマー（「T」）を利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されるようになります。

●タイマー 1 つにつき、約 1 秒の間隔をとります。
●タイマーは連続して入力できます。
●電話番号の先頭に入力すると発信できません。
●タイマーの入力後に「＊」を入力しても、サブアドレスの区切りとしては使えません。

「＋」を入力するには

0わをん記号 を 1 秒以上押す

電話番号の先頭に「＋」を入力することができます。

お知らせ

●プッシュ信号（DTMF）を送信する際、受信側の機器によっては信号を受信できない場合があります。
●チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送信する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。

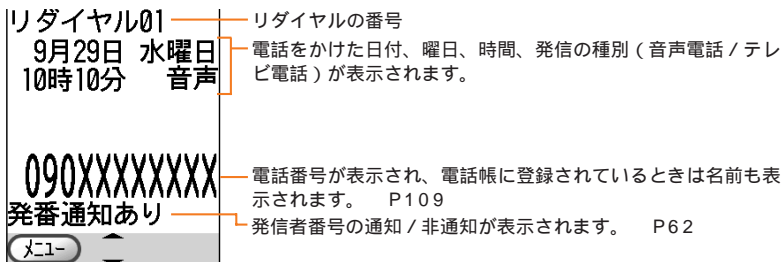
前にかけた相手にかけ直します ＜リダイヤル＞

相手が話し中の場合などに、もう一度かけ直します（リダイヤル）。
日付時刻設定（→ P46）で日付・時刻が設定されていると、電話をかけた最新の日時が記録されます。

●最大 30 件記録されます。
●同じ相手にかけた場合は、通知または非通知でそれぞれ最新の 1 件のみが記録されます。
●シークレットモードで呼び出した電話番号へ発信した場合でも、リダイヤルに相手の電話番号が記録されます。電話番号を他の人に知られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
●履歴の表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→ P186
●ダイヤル入力での発信を制限したり、個人の情報表示を制限すると、リダイヤルは削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤルに記録され、リダイヤルから電話をかけることができます。→ P184、P185

リダイヤルを表示します

1 **待受画面で** ▶   **を押してかけ直すリダイヤルを表示する**

- リダイヤルの番号
- 電話をかけた日付、曜日、時間、発信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。
- 電話番号が表示され、電話帳に登録されているときは名前も表示されます。→P109
- 発信者番号の通知／非通知が表示されます。→P62

2 **を押す**

音声電話がかかります。

● テレビ電話：テレビ電話がかかります。

お知らせ

- リダイヤルが30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- リダイヤルに記録されている電話番号を電話帳に登録する→P117

リダイヤルを削除します

1件ずつ削除したり、すべてのリダイヤルをまとめて削除したりします。

1 **待受画面で** ▶ **を押して削除するリダイヤルを表示する**

リダイヤルの表示画面が表示されます。

2 **メニュー ▶「8 削除する」を押す**

「1 選択1件」：表示していた1件を削除します。
「2 全件」　　：記録されているすべてを削除します。

次ページへ続く

3 「1 選択1件」を押す

選択したリダイヤルを削除した旨のメッセージが表示されます。
● 「2 全件」：リダイヤルを全件削除します。

4 決定を押す

リダイヤルの表示画面に戻ります。リダイヤルがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。
● ☎を押すと待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします＜186／184＞

電話をかけるたびに相手先電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

● 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
● 自分の電話番号を相手に通知するには、次の方法があります。

あらかじめ一括して設定する	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P48
ダイヤルするときに設定する	電話をかけるたびに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P62
特定の番号を付けて電話をかける	電話番号の前に特定の番号を付けます。	P61

特定の番号を付けて電話をかけます

特定の番号（186）を付けて発信します

相手に電話番号を通知します。

1 待受画面で 1 8 6 ▶ 相手の電話番号を入力する

● ＊ 3 1 # を押してから相手の電話番号を入力しても、発信者番号を通知します。

2 を押す

電話がかかります。

● テレビ電話 ：テレビ電話をかけます。

3 お話しが終わったら を押す

● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

特定の番号（184）を付けて発信します

相手に電話番号を通知しません。

1 待受画面で 1 8 4 ▶ 相手の電話番号を入力する

● # 3 1 # を押してから相手の電話番号を入力しても、発信者番号を通知しません。

2 を押す

電話がかかります。

● テレビ電話 ：テレビ電話をかけます。

3 お話しが終わったら を押す

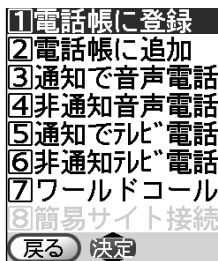
● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

ダイヤルするときに通知／非通知を設定します

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を設定します。また、電話帳やリダイヤルなどから電話番号を表示させてから設定することもできます。

〈例〉発信者番号を通知して音声電話をかけるとき

1 待受画面で電話番号を入力 ▶ メニュー を押す

1電話帳に登録
2電話帳に追加
3通知で音声電話
4非通知音声電話
5通知でﾃﾚﾋﾞ電話
6非通知ﾃﾚﾋﾞ電話
7ワールドコール
8簡易サイト接続
戻る 決定

「3 通知で音声電話」：発信者番号を通知して音声電話をかけます。

「4 非通知音声電話」：発信者番号を通知しないで音声電話をかけます。

「5 通知でテレビ電話」：発信者番号を通知してテレビ電話をかけます。

「6 非通知テレビ電話」：発信者番号を通知しないでテレビ電話をかけます。

2 「3 通知で音声電話」を押す

音声電話がかかります。

- 「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」を押すと通信速度（→P90）の選択画面が表示され、「1 64Kテレビ電話」または「2 32Kテレビ電話」を押すとテレビ電話がかかります。

お知らせ

- 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 以下の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。
  ①相手の番号の前に「186」／「184」を付けた場合
  ②発信時にサブメニューから番号通知方法を選択した場合
  ③発信者番号通知の設定をした場合
  ただし、上記の番号通知方法を同時に設定・操作すると、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
- 国際電話では「186（＊31#）」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用します
<WORLD CALL>

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

●通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶市外局番▶相手先電話番号▶ (発信) を押す ※上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録することができます。 ※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

●通話先は世界約220の国と地域です。

●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。

●申込手数料・月額使用料は不要です。

※FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

●国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

●詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モード（発信時に テレビ電話 を押す）で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。 ●接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。 ●国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で国際電話をかけます

1 待受画面で国番号を含めた電話番号を入力する

2 メニュー ▶「7 ワールドコール」を押す

3 を押す

国際電話がかかります。

● テレビ電話 ：国際電話をテレビ電話でかけます。

4 お話しが終わったら を押す

● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

お知らせ

● 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。→ P110

再接続するときのアラームを設定します <再接続アラーム>

お買い上げ時 高音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「5 再接続した時の音を選ぶ」を押す

再接続した時の
アラーム音を
選んでください

1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない

決定

「1 高音で鳴らす」：再接続アラームを高音で鳴らします。
「2 低音で鳴らす」：再接続アラームを低音で鳴らします。
「3 鳴らさない」　：再接続アラームを鳴らしません。

2 「1 高音で鳴らす」～「3 鳴らさない」のいずれか1つの番号を押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

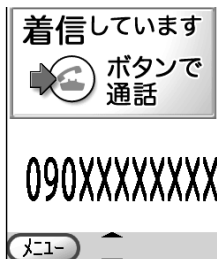
お知らせ

- 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

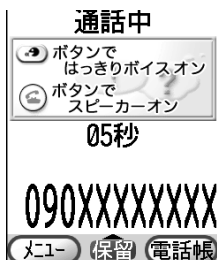
電話を受けます

ここでは、音声電話の受けかたを説明します。

● FOMA 端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯して、着信ランプ、が点滅します。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」が点滅表示されます。→P28

2 を押す

お話しください。

ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 お話しが終わったらを押す

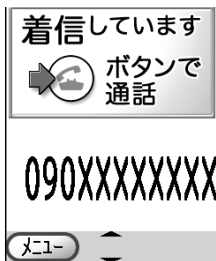
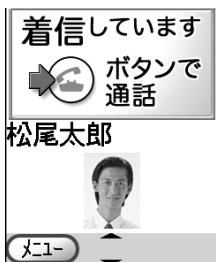
● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

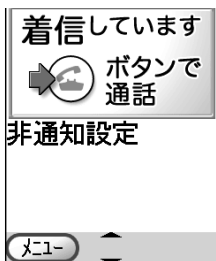
ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。

● 電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。→ P109

• 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定しているときは表示されません。→ P163

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます。

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→P109
ワンタッチダイヤルに登録されている場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定されている着信画像が表示されます。→P138

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき

通知されなかった理由が表示されます。→P49

音声電話着信中の操作について

音声電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。→ P31
通話中着信動作選択（→ P499）を「通常着信する」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ※1	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 留守番電話※2	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※3	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
4 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※1：通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
※2：留守番電話サービスをご契約いただき、音声電話がかかってきた場合のみ有効です。
※3：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

● 着信中には、着信音量を調節することもできます。→ P24、P76

お話し中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス	留守番電話サービスセンターへ転送します。→ P483
キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→ P486
転送でんわサービス	転送登録先へ転送します。→ P488

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスの場合、通話中着信設定を「開始する」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、上記の各動作が選択できます。→ P499、P500

お知らせ

- マナーモードやドライブモードを設定中は、着信音は鳴りません。
- 電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P193
- ｉモード中でも音声電話の着信を受けることができます。通話を終了すると、通話前に表示していたサイト画面に戻ります。
- 2つの通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P460
- 転送された他のFOMA端末からの電話がかかってきた場合は、着信中画面の左下に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されません。転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。
- 通話中にメールを受信すると受信中に、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部にが表示されます。通話を終了して待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読のメールがあることを示す、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/FがあることをR/Fがディスプレイ下部に表示されます。また、メールを受信した場合は新着情報（→P27）も表示されます。
- ビル電話・PBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へもかけられません。
- 応答保留のしかた→P78
- 通話中保留のしかた→P56
- スピーカーホン機能の利用のしかた→P55
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- スイッチ付イヤホンマイクの使いかた→P475
- 音声電話通話中の操作→P56

自動で電話を受けます <オートスピーカーホン機能>

お買い上げ時 解除する

音声電話がかかってきて着信音が約４秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

- スピーカーホン機能を利用するときには、FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- 本機能を設定すると、音量が大きく聞こえ、耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
- マナーモードを設定中は、解除してから本機能を設定してください。→P160

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[2] 電話の詳細を設定する」▶「[8] オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1] 設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 解除する」：既に設定しているオートスピーカーホン機能を解除します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。
- オートスピーカーホンを設定中はディスプレイ上部に(AUTO)が表示されます。

お知らせ

- 本機能はテレビ電話には対応していません。
- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を利用した通話と同様です。→P55
- 本機能が動作して電話を受けると、ディスプレイ上部にが表示されます。
- 本機能を設定中にマナーモードやドライブモードを設定すると、本機能は動作しません。
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前にを押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を折り畳んでいる場合
  - スイッチ付イヤホンマイクや外部機器などを接続中の場合
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定している場合、設定した時間によって動作の優先が異なります。
- 発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→P191）、着信を拒否／許可する相手（→P188）、電話帳登録外の着信の拒否（→P195）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能と伝言メモを同時に設定している場合、設定した時間によって動作の優先が異なります。
- 本機能と無音着信時間（→P193）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒に設定すると、着信のタイミングによっては本機能が動作するまでの間に、着信音が鳴る場合があります。

着信履歴を利用します<着信履歴>

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。
日付時刻設定（→P46）で日付・時刻が設定されていると、電話がかかってきた日時が記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号も記録されます。

- 最大30件記録されます。
- 不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。
- 履歴の表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P186
- 個人の情報表示を制限すると、着信履歴は削除されます。ただし、設定後にかかってきた電話は着信履歴に記録され、着信履歴から電話をかけることができます。→P184
- ダイヤル入力での発信を制限すると、着信履歴は削除されます。ただし、設定後にかかってきた電話は着信履歴に記録され、「制限しない」に設定すると着信履歴から電話をかけることができます。→P185

着信履歴を表示します

1 **待受画面で** ▶ **を押して目的の着信履歴を表示する**

画面表示	説明
着信履歴01	着信履歴の番号
不在	不在着信の場合は「不在」、伝言メモが録音されている場合は「伝言」が表示されます。
9月29日 水曜日 11時35分 音声	電話がかかってきた日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話／データ通信）が表示されます。
松尾太郎 090XXXXXXXX	電話番号が表示され、電話帳に登録されているときは名前も表示されます。→P109 発信者番号が非通知の場合は非通知理由が表示されます。→P49
呼出：8秒	不在着信の場合は呼出時間が表示されます。
メニュー	

●無音着信時間内の不在着信（→P193）のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P27）と が表示されます。

また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに **着信** が表示されます。

お知らせ

- 着信履歴が30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 無音着信動作が設定されているときは、無音着信時間内の不在着信は表示されません。→P193
  該当する不在着信を表示する場合は、着信履歴の表示画面で（メニュー）▶「0表示切替」▶「2呼出なし着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は（メニュー）▶「0表示切替」▶「1呼出あり着信」を押します。
- 登録外着信拒否が設定されているときは、電話帳に登録されていない相手からの着信は拒否され、着信履歴に記録されます。→P195
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 着信履歴の表示画面で を押すと音声電話、（テレビ電話）を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。→P62
- スピーカーホン機能の利用のしかた→P55、P92
- 通知／非通知で電話をかける→P60
- 着信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録する→P117

着信履歴を削除します

1 件ずつ削除したり、すべての着信履歴をまとめて削除したりします。

1 **待受画面で［左］▶［上］［下］を押して削除する着信履歴を表示する**

着信履歴の表示画面が表示されます。

2 **［メニュー］▶「8 削除する」を押す**

「1 選択 1 件」：表示していた 1 件を削除します。
「2 全件」　：記録されているすべてを削除します。

3 **「1 選択 1 件」を押す**

選択した着信履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 全件」：着信履歴を全件削除します。

4 **［決定］を押す**

着信履歴の表示画面に戻ります。着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

相手の声の音量を調節します <受話音量>

お買い上げ時　音量 4

相手の声の大きさを調節します。

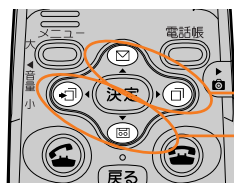
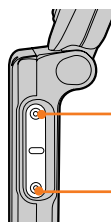
- 音量 1（最小）〜音量 6（最大）の 6 段階で調節できます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

通話中に調節します

1 通話中に または (音量 大・小) を押す

2 または (音量 大・小) を押して音量を調節する

- 次のボタンを押して音量を調節できます。

〈マルチカーソルボタンを使うとき〉

〈音量ボタンを使うとき〉

- 決定を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中に変更した音量は、通話終了後も保持されます。
- テレビ電話通話中の音量調節は音量ボタンのみ有効です。
- 受話音量を調節すると、ボタン確認音や伝言メモの再生音の音量も同じように変わります。

待受中に調節します

1 **待受画面で メニュー ▶「2 電話を使う」▶「6 相手の声の音量を調節する」を押す**

2 **（音量 大・小）を押して音量を調節する**

● 操作方法→ P74

3 **決定 を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

着信音の音量を調節します ＜着信音量＞

お買い上げ時　音量 4

着信音の大きさを調節します。

●消音、音量 1 ～音量 6 の 7 段階で調節できます。待受中は「だんだん大きく」にも設定できます。

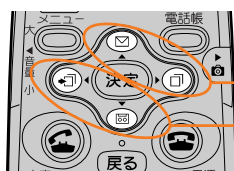
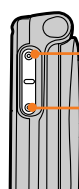
●着信音量は電源を切っても保持されます。

着信中に調節します

1 着信中に（上）（下）または（音量 大・小）を押す

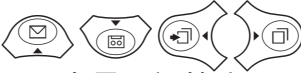
2 （上）（下）（左）（右）または（音量 大・小）を押して音量を調節する

●次のボタンを押して音量を調節できます。

〈マルチカーソルボタンを使うとき〉

〈音量ボタンを使うとき〉

●決定、戻る、（終話）を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると、音量が設定されます。

お知らせ

●着信中に変更した音量は、通話終了後も保持されます。

●マナーモードを設定中は、着信中に音量調節はできません。→ P160

待受中に調節します

1 **待受画面で メニュー ▶「2 電話を使う」▶「5 電話を受けた時の音量を調節する」を押す**

2 **（音量 大・小）を押して音量を調節する**

- 操作方法→ P76
- 音量６のときに ／ ／ (音量 大)：
  「だんだん大きく」（消音→音量１→…→音量６）に設定します。
- 音量１のときに ／ ／ (音量 小)：
  消音に設定します。

3 **決定を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 着信音量を消音に設定しているときは、待受画面にSが表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に音声電話のバイブレータを設定中は、SVが表示されます。
- 着信音量を調節すると、電池残量確認音の音量も同じように変わります。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P155、P163

電話のかけかた／受けかた　応答保留

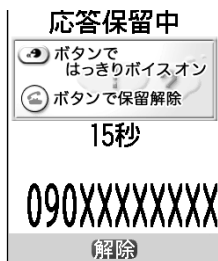
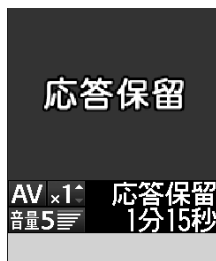
すぐに電話に出られないとき保留にします<応答保留>

電話がかかってきたとき、すぐに出られない場合は保留にします。

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[電話]を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

●テレビ電話の場合は、相手には応答保留ガイダンスとともにテレビ電話応答保留画像が送信されます。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

●応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」または「テレビ電話応答保留中」が表示されます。

●応答保留中に[電話]を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら[通話]を押す

保留が解除されます。

●音声電話の応答保留中に[通話]　：保留を解除します。

●テレビ電話の応答保留中に[テレビ電話]　：保留を解除しカメラ画像を送信します。

●テレビ電話の応答保留中に[通話]　：保留を解除しカメラオフ画像(→P97)を送信します。

お知らせ

●オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間で応答保留の操作を行ってください。→P70

運転中に電話を受けないようにします＜ドライブモード＞

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手には運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 「圏外」が表示されているときでも、本機能の設定や解除ができます。
- 本機能を設定中は、電話の着信やメール・メッセージR/Fの受信、目覚ましが起動しても、着信音や目覚まし音は鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。FOMA端末を折り畳んでいるときに電話の着信やメール・メッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報（→P27）が表示されます。
- 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。
- 本機能を設定中でも電話はかけられます。
- ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- 詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

設定します

待受中にドライブモードを設定していて電話がかかってきたときは、次のように動作します。

- 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話をかけてきた相手の端末には運転中のため電話にでられない旨のメッセージが表示され、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P27）と が表示され、着信履歴に記録されます。

1 待受画面で ＊ を1秒以上押す

ドライブモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定 を押す

待受画面に戻ります。

- 本機能を設定中は待受画面に が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに が表示されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、本機能の設定が優先されます。

解除します

1 ドライブモード中に［＊］を 1 秒以上押す

ドライブモードを解除した旨のメッセージが表示されます。

2 ［決定］を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を設定中でも電話をかけることができます。ただし、緊急通報（110 番、119 番、118 番）をすると、本機能は解除されます。
- 本機能を設定中は、オートスピーカーホン機能は動作しません。
- 本機能を設定中は、伝言メモを設定していても相手にはドライブモードのガイダンスが流れ、伝言メモは動作しません。
- 本機能を設定中の着信と、各ネットワークサービスの関係は次のとおりです。ネットワークサービス→ P482

サービス名	動　作
留守番電話サービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。お客様のFOMA 端末は着信動作を行いません。待受画面には新着情報（→ P27）と［アイコン］が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、留守番電話サービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「運転中のため電話にでられません」と表示され、お客様の FOMA 端末には接続されず、着信履歴に記録されます。
転送でんわサービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、指定した転送先に転送されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行いません。待受画面には新着情報（→ P27）と［アイコン］が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合の動作→ P489
キャッチホン	• 音声電話通話中に音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れます。音声電話やテレビ電話通話中にテレビ電話をかけてきた相手の端末には「接続できませんでした」と表示されます。テレビ電話通話中に音声電話をかけてきた場合、相手の端末には話中音が流れます。いずれの場合もお客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→ P27）と［アイコン］が表示され、着信履歴に記録されます。

サービス名	動　作
迷惑電話ストップサービス	• 音声電話をかけてきた相手が着信拒否に登録されている場合、相手の端末には着信拒否ガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「接続できませんでした」と表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。
番号通知お願いサービス	• 音声電話をかけてきた相手が電話番号を通知していない場合、相手の端末には番号通知お願いガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「運転中のため電話にでられません」と表示され、お客様のFOMA端末には接続されず、着信履歴に記録されます。

電話に出られないときに用件を録音します<伝言メモ>

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスを再生し、相手の用件を録音します。
日付・時刻が設定されていると、用件を録音した日時も自動的に記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号なども記録されます。

● 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
● テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音され、画像は録画されません。
● 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを設定します

お買い上げ時　停止する

● 履歴の表示を制限しているときや、個人の情報表示を制限しているときには、伝言メモを設定／停止することはできません。→P184、P186

1　待受画面で [伝言メモ] を1秒以上押す

伝言メモを開始した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

2 決定を押す

伝言メモが設定されます。

- 伝言メモを設定中は待受画面にが表示されます。
- 本機能を停止する場合は待受画面でを 1 秒以上押して決定を押します。

お知らせ

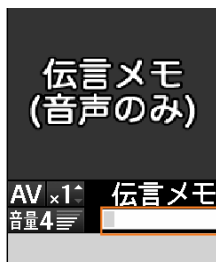
- 伝言メモが 4 件録音されると、待受画面にが表示されます。
- 伝言メモが既に 4 件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。不要な伝言メモを消去してから操作をやり直してください。→ P88
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。→ P84
- 応答ガイダンスは変更することができます。→ P85

伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中の画面が表示され、自動的に伝言メモが応答します。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」または「テレビ電話伝言メモ中」が表示されます。
- 着信中／応答ガイダンス中に：
  音声電話またはカメラオフ画像（→P97）でテレビ電話に出ることができます。
- 着信中／応答ガイダンス中にテレビ電話：
  テレビ電話に出ることができます。

2 相手のメッセージが録音される

<音声電話伝言メモ録音中>

<テレビ電話伝言メモ録音中>

- 録音の開始時と終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。
- 音声電話またはテレビ電話伝言メモ録音中に[通話キー]：
  音声電話、またはカメラオフ画像（→P97）でテレビ電話を受けます。それまでの録音データは破棄されます。
- テレビ電話伝言メモ録音中に[テレビ電話]：
  テレビ電話を受けます。それまでの録音データは破棄されます。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面には新着情報（→P27）と[アイコン]が表示されます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに 伝言 が表示されます。

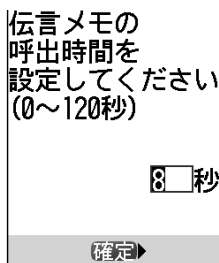
お知らせ

- 「圏外」が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。また、着信中にクイック伝言メモを動作させることもできません。
  伝言メモ機能またはクイック伝言メモを動作させるには、録音されている不要な伝言メモを消去してください。→P88
- ドライブモードを設定中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。
- 音声電話の場合、相手の声を録音中は、FOMA端末の受話口から録音中の相手の声が聞こえます。
- 伝言メモ録音中に電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続し、着信履歴に記録されます。
- 応答ガイダンス再生中や相手のメッセージ録音中は、FOMA端末の開閉に関わらず、応答ガイダンスや相手の声がFOMA端末の受話口から漏れることがあります。

録音が始まるまでの時間を設定します<呼出時間設定>

お買い上げ時 8秒

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。
● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 待受画面で メニュー ▶「2 電話を使う」▶「7 伝言メモを使う」▶「2 伝言メモを開始する」▶「3 呼出時間設定」を押す

2 応答時間を入力 ▶ 決定 を押す

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。
● 0 〜 120 秒の範囲で設定できます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定している場合、各サービスの呼出時間設定で設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。
● 伝言メモが既に 4 件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
● イヤホンマイク接続時に自動で着信する設定の応答時間と、伝言メモの応答時間は同じ時間に設定できません。→ P478
● 本機能とオートスピーカーホン機能を同時に設定している場合、本機能の呼び出し時間を 3 秒以下に設定していると本機能が動作します。→ P70
● 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→ P193

伝言メモの応答メッセージを選択します<伝言メモメッセージ選択>

お買い上げ時 標準

伝言メモの応答ガイダンスを設定します。

●応答ガイダンスは、次の 3 種類から選択できます。

種　類	内　容
1 標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。
2 会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30 秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。
3 移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30 秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。

1 待受画面でメニュー▶「2 電話を使う」▶「7 伝言メモを使う」▶「3 伝言メモのメッセージを選ぶ」を押す

伝言メモの
応答メッセージを
選んでください

1標準
2会議中用
3移動中用

決定 再生

●電話帳：応答メッセージを確認します。

●応答メッセージ確認中に または （音量 大・小）：再生中の応答メッセージの音量を調節します。

2 「1 標準」～「3 移動中用」のいずれか 1 つの番号を押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

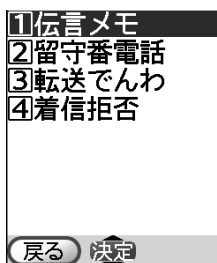
お知らせ

●応答メッセージを再生中は、音量を一時的に消音にすることができます。

着信中の電話に出られないときに用件を録音します<クイック伝言メモ>

伝言メモが停止中でも、電話の着信時に伝言メモを一時的に動作させることができます。

● この操作を行っても、伝言メモは設定されません。

1 電話がかかってくる ▶ メニュー を押す

2 「1 伝言メモ」を押す

伝言メモガイダンス中の画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

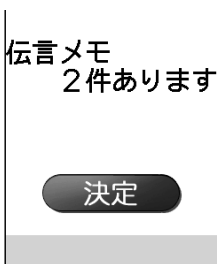
伝言メモを再生／削除します

録音された伝言メモを再生／削除します。

● 未確認の伝言メモがあるときは、待受画面には新着情報（→P27）と が表示されます。

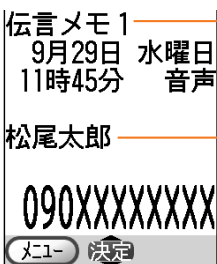
● 履歴の表示を制限していたり、個人の情報表示を制限していると、本機能を利用できません。→P184、P186

伝言メモを再生します

1 待受画面で [ボタン] を押す

伝言メモ
2件あります
決定

●伝言メモが録音されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 決定 を押す

伝言メモ1
9月29日 水曜日
11時45分 音声
松尾太郎
090XXXXXXXX
メニュー 決定

伝言メモの番号

伝言メモを録音した日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。

電話番号が表示され、電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。→P109
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P49

3 [ボタン] [ボタン] を押して再生する伝言メモを表示 ▶ 決定 を押す

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。
再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 決定 ：伝言メモの再生を途中で停止します。
- [ボタン] [ボタン] または [ボタン] [ボタン]（音量 大・小）：再生中の伝言メモの音量を調節します。
- [ボタン] ：伝言メモがスピーカーから聞こえるようになります。

4 「1 削除する」または「2 削除しない」を押す

■ 削除するとき

①「1 削除する」を押す

伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

② 決定を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。

●次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

■ 削除しないとき

「2 削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 伝言メモの表示画面でを押すと音声電話、テレビ電話を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。

● 伝言メモを再生中は、音量を一時的に消音にすることができます。

● 伝言メモに記録されている電話番号を電話帳に登録する→P117

伝言メモを削除します

1件ずつ削除したり、すべての伝言メモをまとめて削除したりします。

1 待受画面で ▶ 決定 ▶ を押して削除する伝言メモを表示する

伝言メモの表示画面が表示されます。

2 メニュー ▶「9 削除する」を押す

削除する
伝言メモを
選んでください

1選択1件
2全件

決定

「1 選択1件」：表示していた1件を削除します。

「2 全件」　：録音されているすべてを削除します。

3 「1 選択1件」を押す

選択した伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 全件」：伝言メモを全件削除します。

4 決定を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。また、自分の映像の代わりにカメラオフ画像（→P97）などを送信することもできます。

テレビ電話通話中の画面の見かた

表　示		説　明
①	親画面	－
②	通信速度	64K：64K　32K：32K
③	テレビ電話の状態	表示なし：通常の通話中 ：スピーカーホン機能利用中
④	子画面	－
⑤	チャンネル開設状態	AV：音声チャンネル開設 AV：映像チャンネル開設 AV：音声・映像チャンネル開設
⑥	表示倍率	×1：標準～×3：3倍（外側カメラ） ×1：標準～×2：2倍（内側カメラ）
⑦	受話音量／スピーカーホン音量	音量1～音量6： 受話音量／スピーカーホン音量
⑧	通話時間	分・秒の形式で表示

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※ 1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※ 2：3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

● テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
- 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
- 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話をかけます

ここでは、テレビ電話のかけかたを説明します。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、緊急通報（110番、119 番、118 番）以外はダイヤルボタンを押して電話をかけることはできません。→P185
●テレビ電話をかけるときはスピーカーホン機能を利用するか、スイッチ付イヤホンマイクなどを接続してご利用ください。→P92、P475
●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用することができます。→P63

1 待受画面で電話番号を入力する

●音声電話の入力方法と同じです。→P54

2 テレビ電話を押す

●テレビ電話を 1 秒以上：スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかけます。→P92
●画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から課金が始まります。

■ ツーツーという音が聞こえたとき

相手がお話し中です。ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」が表示されます。☎を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P58
その他の表示→P93

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。
●通話中に電話帳または☎：
通常の通話とスピーカーホン機能を利用した通話を切り替えます。→P92
●相手の設定により画像が送信されなかった場合は、相手の画像は表示されず、カメラオフ画像（→P97）などが表示されます。

4 お話しが終わったら☎を押す

●FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

スピーカーホン機能を利用して通話します

相手の声がスピーカーから聞こえる状態でテレビ電話をかけることができます。
- スイッチ付きイヤホンマイクを接続中は、本機能を利用できません。
- FOMA 端末から約 50cm 以内の距離でお話しください。
- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に障害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

1 待受画面で電話番号を入力 ▶ テレビ電話 を1秒以上押す

テレビ電話がかかり、ディスプレイ上部にが表示されます。→ P90
- 発信中、通話中に：通常の通話とスピーカーホン機能を利用した通話を切り替えます。
- 通常の通話に切り替えると、の表示が消え、音声が受話口から聞こえます。

お知らせ
- 通話中、周囲の相手側の雑音の大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は通常の通話に切り替えてください。

通話中に保留にします<通話中保留>

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。
- 通話保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。

1 通話中に 決定 を押す

テレビ電話通話中保留画像

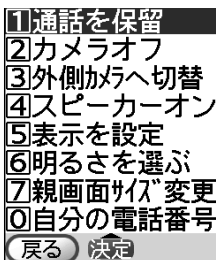
左の画面が表示され、着信ランプが緑色で点滅します。自分と相手の端末にメロディ（エンターテイナー）が流れます。
- 決定 ：保留を解除して、保留前の通話状態に戻します。
- ：保留を解除して、相手にカメラオフ画像（→ P97）を送信します。
- テレビ電話 ：保留を解除して、相手にカメラ画像を送信します。

お知らせ
- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更することができません。
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中でも設定できます。ただし、保留中にスイッチを1秒以上押すと、通話は切断されます。
- 通話保留中、スイッチ付きイヤホンマイクを接続中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「テレビ電話保留中」が表示されます。

テレビ電話通話中の操作について

テレビ電話の通話中にサブメニューから次の操作ができます。→P31

●通話中には、受話音量を調節することもできます。→P24、P74

1通話を保留
2カメラオフ
3外側カメラへ切替
4スピーカーオン
5表示を設定
6明るさを選ぶ
7親画面ｻｲｽﾞ変更
0自分の電話番号
戻る 決定

「1 通話を保留」：
　通話を保留にします。→P92

「2 カメラオフ」／「2 カメラオン」：
　カメラをオフまたはオンにします。→P97

「3 外側カメラへ切替」／「3 内側カメラへ切替」：
　外側カメラまたは内側カメラの表示に切り替えます。→P97

「4 スピーカーオン」／「4 スピーカーオフ」：
　スピーカーホン機能を設定または解除します。→P92

「5 表示を設定」：
　画面の表示を設定します。→P98

「6 明るさを選ぶ」：
　画面の明るさを設定します。→P98

「7 親画面サイズ変更」：
　親画面の大きさを変更します。→P99

「0 自分の電話番号」：
　自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。→P50

お知らせ

● テレビ電話 を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
● 他の機能を実行していると、テレビ電話をかけることができない場合があります。→P601
● カメラオフ画像を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
● 電話帳の検索のしかた→P124
● テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直し下さい	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波が届かないか電源が入っていません	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
運転中のため電話にでられません	相手がドライブモードを設定しています。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

● 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声再発信の設定（→P102）を「かけ直す」に設定中でも、32Kでの再発信が優先されます。
※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。

次ページへ続く

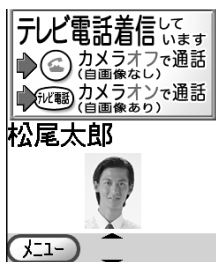
●ポーズやタイマーを入力した場合（→P57）、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
●音声や映像の送受信に失敗した場合（AVまたはAVが表示された場合）、自動的に復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。
●テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声再発信を設定する	再発信動作
64K	かけ直す	64K→32K→音声
	かけ直さない	64K→32K→切断
32K	かけ直す	32K→音声
	かけ直さない	32K→切断

●電話番号入力後に通信速度を指定しないで発信した場合は、64Kでテレビ電話がかかります。通信速度を指定してテレビ電話をかける→P62
●音声再発信の設定（→P102）を「かけ直す」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。
※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話に対応している電話機でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声再発信の設定（→P102）を「かけ直す」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（→P90）に対応していないISDNのテレビ電話など（2004年8月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
●通話中に電池が切れそうになったときは、受話口から電池残量警告音が鳴り、自動的に通話が切れます。→P44
●テレビ電話通話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。
●FOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
●通知／非通知で電話をかける→P60
●通話中保留のしかた→P92
●2つの通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P460

テレビ電話を受けます

ここでは、テレビ電話の受けかたを説明します。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯して、着信ランプ、テレビ電話、が点滅します。
●FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「テレビ電話着信」が点滅表示されます。→P28

2

を押す

相手とつながるまではテレビ電話接続中の状態となり、画面には自分の画像が表示されます。

■ カメラオフ画像でテレビ電話を受けるとき

(電話)を押す

テレビ電話がつながったときから、相手にはカメラ画像の代わりにカメラオフ画像（→P97）が送信されます。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

●相手の設定により画像が送信されなかった場合は、相手の画像は表示されず、カメラオフ画像（→P97）などが表示されます。

4 お話しが終わったら(電話)を押す

●FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

テレビ電話着信中の操作について

テレビ電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。→ P31

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
3 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が 3G-324M（→P90）に準拠したテレビ電話対応機の場合に有効です。

●着信中には、着信音量を調節することもできます。→ P24、P76

次ページへ続く

- マナーモードやドライブモードを設定中は、着信音は鳴りません。
- 音声電話・テレビ電話通話中やｉモード中、ｉモードメール送受信中、64Kデータ通信中にテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。キャッチホンを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。
  ただし、ｉモード中、ｉモードメール送受信中のテレビ電話の着信は、キャッチホン未契約でも着信履歴に不在着信が残ります。
- オートスピーカーホン機能は、テレビ電話には対応していません。
- 留守番電話サービス（→P483）、番号通知お願いサービス（→P494）は、テレビ電話には対応していません。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒にして開始に設定している場合は、テレビ電話通話中にテレビ電話がかかってくると、転送登録先へ転送されます。呼出時間を0秒以外に設定している場合は、着信履歴には不在着信として残ります。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（→P90）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。→P492
- 音声や映像の送受信に失敗した場合（AVまたはAVが表示された場合）、自動的に復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。
- テレビ電話の通話を終了したとき、端末の状態によっては切断中の画像が表示されない場合があります。
- ワンタッチダイヤルに登録されている相手から電話がかかってきた場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定されている着信画像が表示され、ワンタッチダイヤルに登録されている着信音が鳴ります。→P138
- ディスプレイの表示→P66
- 応答保留のしかた→P78
- 通話中保留のしかた→P92
- スピーカーホンを利用する→P92
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを1秒以上押すとカメラオフ画像でテレビ電話を受けることができます。→P477
- イヤホンマイク接続時は、イヤホンマイク接続時に自動で着信する設定（→P478）に従って動作して、自動的にカメラオフ画像を送信して応答することができます。
- ソフトウェア更新中（→P617）にテレビ電話を着信すると着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話着信時に外部機器を使用することができます。→P105
- テレビ電話通話中は、キャッチホンを利用できません。→P486

テレビ電話通話中に画面の設定などを変更します

テレビ電話通話中に、画面の設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
カメラをオン／オフにします	P97	親画面の大きさを変更します※	P99
外側と内側のカメラを切り替えます	P97	カメラで撮っている画像を拡大します	P99
画面の表示方法を変更します※	P98	プッシュ信号を送信します	P99
画面の明るさを変更します※	P98		

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

カメラをオン／オフにします

相手に送信する画像を、カメラで撮影中のカメラ画像とカメラオフ画像で切り替えます。自分の画像を相手に送信したくない場合などにカメラオフ画像を用います。

●カメラオフ画像に切り替えているときは、外側と内側のカメラを切り替えることはできません。→下記

1 通話中に(テレビ電話)を押す

カメラオフ画像

カメラをオン／オフに切り替えた旨のメッセージが表示され、画像が切り替わります。

●(テレビ電話)を押すたびにカメラ画像とカメラオフ画像が切り替わります。

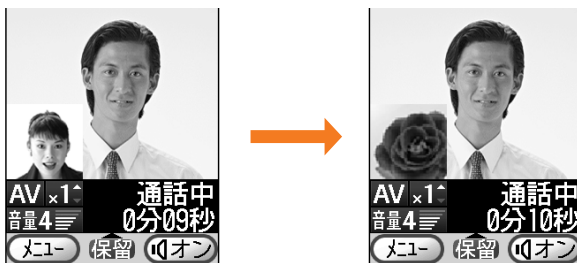
●テレビ電話接続中も同様に操作できます。→P91

外側と内側のカメラを切り替えます

通話中に使用するカメラを切り替えます。

●カメラオン（→上記）の場合のみ変更できます。

1 通話中に(⊖)(📷)を押す

外側／内側のカメラを有効にした旨のメッセージが表示され、切り替わったカメラからの画像が表示されます。

●(⊖)(📷)を押すたびに内側カメラと外側カメラが切り替わります。

お知らせ

●カメラを切り替えても、拡大の設定は保持されます。ただし、外側カメラで3倍に拡大しているときに内側カメラに切り替えた場合は、自動的に2倍の拡大に変更されます。

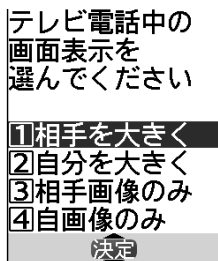
画面の表示方法を変更します

お買い上げ時　相手を大きく

テレビ電話通話中画面に表示される相手の送信画像と、自分のカメラ画像の表示方法を設定します。また、相手の送信画像のみ表示したり、自分のカメラ画像のみ表示したりすることもできます。

1　通話中に メニュー ▶「5 表示を設定」を押す

テレビ電話中の
画面表示を
選んでください

1相手を大きく
2自分を大きく
3相手画像のみ
4自画像のみ
決定

2　表示方法を選択する

●操作方法→P100

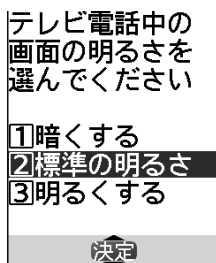
画面の明るさを変更します

お買い上げ時　標準の明るさ

テレビ電話通話中画面の明るさを設定します。

1　通話中に メニュー ▶「6 明るさを選ぶ」を押す

テレビ電話中の
画面の明るさを
選んでください

1暗くする
2標準の明るさ
3明るくする
決定

2　明るさを選択する

●操作方法→P101

親画面の大きさを変更します

お買い上げ時 拡大して表示

ディスプレイの中央に写し出されている親画面の大きさを設定します。

1 通話中に[メニュー]▶「7 親画面サイズ変更」を押す

親画面の大きさを選んでください
1標準の大きさ
2拡大して表示
決定

2 親画面の大きさを選択する

●操作方法→P104

カメラで撮っている画像を拡大します

相手に送信するカメラ画像の表示倍率を切り替えます。
●カメラオン（→P97）の場合のみ利用できます。

1 通話中に[▲][▼]を押す

カメラ画像が拡大します。

表示倍率が変更されます。

●[▲]を押すたびに次の順に切り替わります。
外側カメラ：標準（×1）→2倍（×2）→3倍（×3）
内側カメラ：標準（×1）→2倍（×2）
[▼]を押すと逆の順で切り替わります。

プッシュ信号を送信します

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送信します。
●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 通話中に[0]～[9]、[＊]、[#]を押す

プッシュ信号が送信されます。

通話中の画面表示を設定します <テレビ電話画面表示設定>

お買い上げ時 相手を大きく

テレビ電話通話中画面に表示される相手の送信画像と、自分の画像（カメラ画像）の表示方法を設定します。相手の送信画像のみ表示したり、自分の画像（カメラ画像）のみ表示したりすることもできます。

相手を大きくした場合

自分を大きくした場合

相手画像のみの場合

自画像のみの場合

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「1 テレビ電話画面の表示を設定する」を押す

テレビ電話中の
画面表示を
選んでください

1相手を大きく
2自分を大きく
3相手画像のみ
4自画像のみ
決定

「1 相手を大きく」：相手の画像を画面上に大きく表示します。
「2 自分を大きく」：自分の画像を画面上に大きく表示します。
「3 相手画像のみ」：相手の画像のみを画面上に表示します。
「4 自画像のみ」　：自分の画像のみを画面上に表示します。

2 「1 相手を大きく」～「4 自画像のみ」のいずれか１つの番号を押す

画面表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

通話中の画面の明るさを設定します
<テレビ電話画面明るさ設定>

お買い上げ時 標準の明るさ

テレビ電話通話中画面の明るさを設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「* 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「2 テレビ電話画面の明るさを設定する」を押す

テレビ電話中の
画面の明るさを
選んでください

1暗くする
2標準の明るさ
3明るくする

決定

「1 暗くする」　：画面の明るさを標準より暗くします。
「2 標準の明るさ」：画面の明るさを標準にします。
「3 明るくする」　：画面の明るさを標準より明るくします。

2 「1 暗くする」～「3 明るくする」のいずれか 1 つの番号を押す

画面の明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

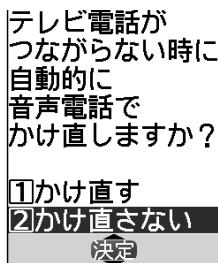
お知らせ

● テレビ電話通話中は、画面の明るさの設定（→ P165）ではなく、本機能の設定に従った画面の明るさになります。

テレビ電話がつながらないときの動作を設定します<音声再発信設定> お買い上げ時 かけ直さない

テレビ電話をかけたときに、相手の電話機がテレビ電話を受けられないなどの理由で電話が切られた場合、自動的に音声電話で再発信するように設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「3 音声再発信を設定する」を押す**

テレビ電話が
つながらない時に
自動的に
音声電話で
かけ直しますか？

1かけ直す
2かけ直さない
決定

2 **「1 かけ直す」または「2 かけ直さない」を押す**

音声再発信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

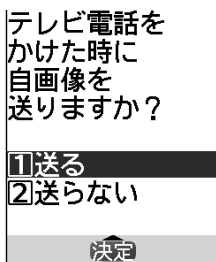
テレビ電話をかけたときに自画像を送るかどうかを設定します<発信時自画像送信設定> お買い上げ時 送る

テレビ電話をかけたときに、相手に自画像（カメラ画像）を送信するかどうかを設定します。自画像を送信しないように設定した場合は、相手にはカメラオフ画像（→P97）が送信されます。

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「4 発信時の自画像送信を設定する」を押す**

テレビ電話を
かけた時に
自画像を
送りますか？

1送る
2送らない

決定

2 **「1 送る」または「2 送らない」を押す**

自画像の送信方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

通話中の親画面の大きさを設定します <テレビ電話画面大きさ設定>

お買い上げ時 拡大して表示

テレビ電話通話中の親画面の大きさを設定します。

標準の大きさの場合

拡大して表示の場合

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「6 テレビ電話画面の大きさを設定する」を押す

親画面の大きさを
選んでください

1標準の大きさ
2拡大して表示

決定

2 「1 標準の大きさ」または「2 拡大して表示」を押す

親画面の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 （決定）を押す

メニュー画面に戻ります。

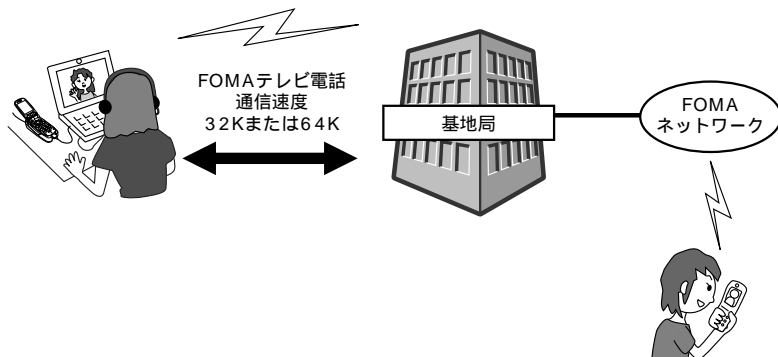
● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用します <テレビ電話着信先機器設定>

お買い上げ時 携帯電話本体

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションソフトウェアをインストールして、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器に接続されていないときは、本機能を利用できません。

※本機能は、対応するアプリケーションソフトウェアがリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。

1 待受画面で メニュー ▶「✳ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「5 テレビ電話着信先の機器を設定する」を押す

テレビ電話が
かかってきた時に
応答する機器を
選んでください

1携帯電話本体
2接続した機器

決定

2 「2 接続した機器」を押す

テレビ電話の着信応答機器を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「1 携帯電話本体」：テレビ電話の着信先をFOMA端末に設定します。

次ページへ続く

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 音声電話通話中は、テレビ電話の着信があっても、外部機器で電話を受けることはできません。キャッチホンを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。→P486
外部機器によるテレビ電話通話中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

● 外部機器によるテレビ電話は、対応するアプリケーションソフトウェアや、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。テレビ電話アプリケーションソフトウェアの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

● 2つの通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P460

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F880iESでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる情報（電話帳データ）には、次のような違いがあります。

● FOMAカードに直接電話帳データを登録することはできません。FOMAカード電話帳に登録するには、FOMA端末電話帳に登録した電話帳データをコピーしてください。→P120

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>FOMA端末電話帳</th><th>FOMAカード電話帳</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td colspan="2">電話帳登録件数</td><td>最大500件</td><td>最大50件</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="6">登録内容</td><td>名前</td><td>○</td><td>○</td><td>P112</td></tr>
<tr><td>フリガナ</td><td>○</td><td>○</td><td>P112</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td>1人につき最大3件登録可能</td><td>1人につき1件登録可能</td><td>P113</td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td>1人につき最大3件登録可能</td><td>1人につき1件登録可能</td><td>P113</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>30グループおよび「グループなし」に登録可能</td><td>10グループおよび「グループなし」に登録可能</td><td>P114</td></tr>
<tr><td>電話帳番号</td><td>○</td><td>×</td><td>P114</td></tr>
<tr><td rowspan="6">電話帳検索</td><td>50音順検索</td><td>○</td><td>○</td><td>P124</td></tr>
<tr><td>音声検索</td><td>○</td><td>×</td><td>P125</td></tr>
<tr><td>グループ検索</td><td>○</td><td>○</td><td>P126</td></tr>
<tr><td>フリガナ検索</td><td>○</td><td>○</td><td>P127</td></tr>
<tr><td>電話番号検索</td><td>○</td><td>○</td><td>P128</td></tr>
<tr><td>電話帳番号検索</td><td>○</td><td>×</td><td>P128</td></tr>
<tr><td rowspan="2">各種設定</td><td>シークレットコード入力</td><td>○</td><td>×</td><td>P133</td></tr>
<tr><td>シークレット属性設定</td><td>○</td><td>×</td><td>P136</td></tr>
</table>

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳	参照先
その他	ワンタッチダイヤル	○	×	P148
	音声呼び出し（ボイスダイヤル）	○	×	P201
	ツータッチダイヤル	○	×	P149
	ツータッチメール	○	×	P321

○：可　×：不可

名前の表示について

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳の登録状況によって、ディスプレイに表示される名前は次のようになります。

電話帳に登録されている相手に電話をかけたとき／メールを送信したとき

リダイヤルや送信メール・未送信メールなどには、次のように表示されます。

- FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳を検索して電話の発信やメールの送信を行った場合は、検索した電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスが登録されている場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力して電話の発信やメールの送信を行うと、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ｉモード端末宛ての宛先を入力したとき、電話帳に登録されているメールアドレスの「@docomo.ne.jp」の有無を含めて完全に一致した場合は名前が表示され、一致しない場合は入力した宛先がそのまま表示されます。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@より前の部分が一致すれば名前が表示されます。→P337

電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたとき／メールを受信したとき

着信履歴や伝言メモ、受信メールなどには、次のように表示されます。

- FOMA端末電話帳、またはFOMAカード電話帳のどちらか一方だけに登録されている相手からの場合は、いずれかの電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。

次ページへ続く

●電話帳にメールアドレスを登録するとき、ｉモード端末のメールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）まで含めて登録することをおすすめします。「@ docomo.ne.jp」は省略して登録できますが、省略した相手からメールを受信すると、@以降の有無も含めて完全に一致していないと名前は表示されずに送信元のメールアドレスがそのまま表示されます。また、ワンタッチダイヤル登録のメール着信時の設定では動作しません。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していても、@より前の部分が一致すれば名前が表示され、ワンタッチダイヤル登録のメール着信時の設定で動作します。→P345

お知らせ

●FOMA端末電話帳の電話帳データにシークレット属性（→P136）が設定されている場合は、シークレットモード（→P187）を設定しているときのみ相手の名前が表示されます。シークレット属性が設定されている電話帳データの相手がリダイヤルや着信履歴、伝言メモなどに表示されている場合も同様です。
●個人の情報表示を制限しているときには、電話帳に登録されている相手へ電話をかけても、または電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。相手の電話帳データがリダイヤルや着信履歴、伝言メモなどに表示されている場合も同様です。→P184
●電話帳に登録されている名前が長い場合、発着信時の画面、着信履歴や伝言メモの表示画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。

FOMA端末電話帳に登録します＜電話帳登録＞

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

●電話帳には最大500人分、1人につき電話番号を最大3件、メールアドレスを最大3件登録できます。全体ではそれぞれ1500件までになります。
●次の設定もできます。
- グループに分けて登録できます。→P114
  グループの名前は変更できます。→P119
- 電話帳番号0～9の電話帳データの1件目に電話番号やメールアドレスを登録しておくと、ツータッチダイヤル（→P149）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→P321）で簡単にメールを作成したりすることができます。
- FOMA端末電話帳に登録した電話帳データをFOMAカードにコピーすることができます。→P120

●個人の情報表示を制限していたり、ダイヤル入力での発信を制限していると、本機能を利用できません。→P184、P185

お知らせ

- 「圏外」が表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。→P605
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 機種変更時などに、ドコモショップなど窓口にて電話番号やメールアドレスを新機種へコピーすることができますが、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

FOMA端末電話帳登録の流れ

FOMA端末電話帳への登録は、次の手順で行います。

ステップ	内容	ページ
ステップ1	名前を登録します	P112
ステップ2	フリガナを登録します	P112
ステップ3	電話番号を登録します	P113
ステップ4	メールアドレスを登録します	P113
ステップ5	グループを登録します	P114
ステップ6	電話帳番号を登録します	P114
ステップ7	ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録します	P115

（灰色）：必ず行ってください。（白色）：必要に応じて行ってください。

- 文字の入力のしかたについては、「文字入力について」をご覧ください。→P558

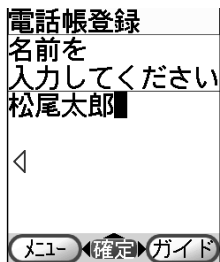
次ページへ続く

ステップ１　名前を登録します

相手の名前や会社名などを入力します。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大 16 文字、半角で最大 32 文字入力できます。

1 待受画面で［電話帳］▶「2 電話帳に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

2 名前を入力する

ダイヤルボタンで入力してください。

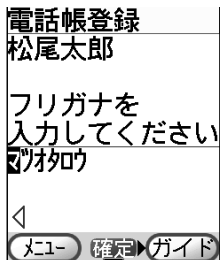
3 ［決定］を押す

フリガナの入力画面が表示されます。

ステップ２　フリガナを登録します

ステップ１で入力した名前のフリガナを確認して、必要に応じて修正します。
- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 32 文字入力できます。

1 フリガナを確認する

電話帳登録
松尾太郎
フリガナを
入力してください
ﾏﾂｵﾀﾛｳ
メニュー
確定
ガイド

フリガナを変更するにはダイヤルボタンで入力し直します。
- フリガナは電話帳の検索に使用しますので、正しく入力してください。
- 「タロウ」を「タロー」のように長音（「ー」）を使用して登録すると、電話帳の音声読み上げがより自然になります。→ P207

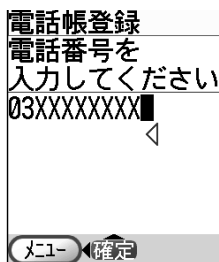
2 ［決定］を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

ステップ 3　電話番号を登録します

電話番号を市外局番から入力します。

- 最大 3 件登録できます。
- 最大 26 桁入力できます。

1 電話番号を入力する

- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を入力できます。→P57
- 186、184を付けて電話帳に登録すると、ショートメッセージ（SMS）作成時の宛先に選択した際、送信できません。

2 決定 を押す

2 件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

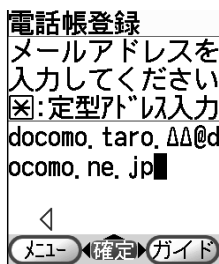
- 「1 入力する」　：他の電話番号を登録できます。ステップ 3 の操作 1、2 を繰り返します。3 件目を登録すると、自動的にステップ 4 に進みます。
- 「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。

ステップ 4　メールアドレスを登録します

メールアドレスを入力します。

- 最大 3 件登録できます。
- 半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 50 文字入力できます。

1 メールアドレスを入力する

電話帳登録
メールアドレスを
入力してください
✱:定型ｱﾄﾞﾚｽ入力
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
メニュー　確定　ガイド

- 英字入力モード時に 1 ：
  「@」「.」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。
- 英字入力モード時に ✱ ：
  「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を電話帳に登録する場合、184、186を付けて電話帳に登録すると、i モードメール作成時の宛先に選択した際、送信できません。

次ページへ続く

2 決定を押す

2件目のメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

- 「1 入力する」　：他のメールアドレスを登録できます。ステップ4の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、自動的にステップ5に進みます。
- 「2 入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

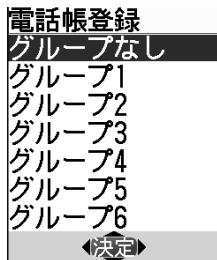
お知らせ

- 相手がシークレットコードを登録しているとき→P133
- ｉモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）を省略できます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」以外のメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録した場合には、@以降のドメイン（「@docomo.ne.jp」）を省略して登録していると、メールを受信しても設定した着信音は鳴らず、画像も表示されません。→P109

ステップ5　グループを登録します

電話帳を登録するグループを選択します。

- グループ1～30および「グループなし」から選択できます。「グループなし」以外のグループ名は変更することができます。→P119

1 グループを選択する

- ：前後のページを表示できます。

2 決定を押す

電話帳番号の入力画面が表示されます。

ステップ6　電話帳番号を登録します

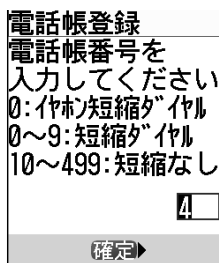
電話帳の番号を割り当てます。

- 電話帳番号0～9の電話帳データの1件目に電話番号やメールアドレスを登録しておくと、ツータッチダイヤル（→P149）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→P321）で簡単にメールを作成したりすることができます。
- スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで電話をかけるには、相手の電話番号を電話帳番号0の1件目の電話番号に登録しておきます。

電話帳

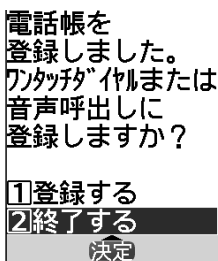
電話帳登録

1 電話帳番号（0～499）を入力する

電話帳登録
電話帳番号を
入力してください
0:ｲﾔﾎﾝ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
0～9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10～499:短縮なし
4
確定

電話帳番号の入力画面には、現在使用されていない最も小さい番号が自動的に入力されています。

- 電話帳番号が「001」のように1桁の場合や、「010」のように2桁の場合は、「1」や「10」と入力します。
- 0～499までの番号を設定してください。500以上の番号を入力した場合は、自動的に499が入力されます。

2 決定を押す

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙまたは
音声呼出しに
登録しますか？
1登録する
2終了する
決定

- 登録済みの電話帳番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「2 新規登録する」を押すと、現在使用されていない最も小さい電話帳番号に登録されます。

3 「2 終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。これで登録は終了です。

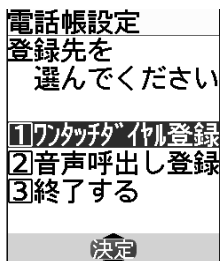
- 「1 登録する」：ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録します。ステップ7に進みます。
- （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

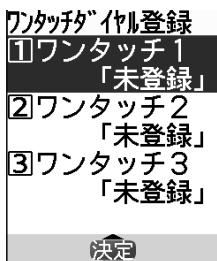
ステップ7　ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録します

電話帳データをワンタッチダイヤル（→P138）や音声呼出し（→P198）に登録します。

1 ステップ6の操作3で「1 登録する」を押す

電話帳設定
登録先を
　選んでください
1ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2音声呼出し登録
3終了する
決定

次ページへ続く

■ ワンタッチダイヤルに登録するとき

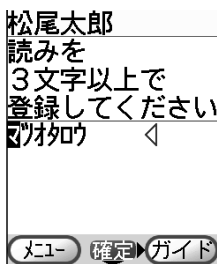
①「1 ワンタッチダイヤル登録」を押す

②「1 ワンタッチ 1」～「3 ワンタッチ 3」のいずれか 1 つの番号を押して登録する

登録が終了するとワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示され、決定を押すと登録先の選択画面に戻ります。

● すでに音声呼出しが登録されている場合は、メニュー画面に戻ります。

● 操作方法→ P139

■ 音声呼出しに登録するとき

①「2 音声呼出し登録」を押す

● 電話帳呼出し用の単語が既に100件登録されている場合は、登録ができない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、登録先の選択画面に戻ります。

② 単語を入力 ▶ 決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

● あらかじめフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。

● 半角カタカナを登録できます。

● 3 ～ 10 文字入力できます。

③ 決定を押す

登録先の選択画面に戻ります。

● すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合は、メニュー画面に戻ります。

2 「3 終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録します

リダイヤルや着信履歴などから、電話番号を電話帳に登録します。新しい電話帳データとして登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

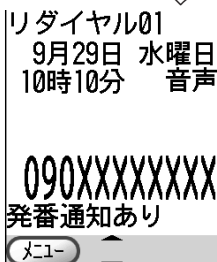
● 次の画面から登録できます。
- ダイヤル入力画面
- リダイヤルの表示画面
- 着信履歴の表示画面
- 伝言メモの表示画面

● サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→P277、P417

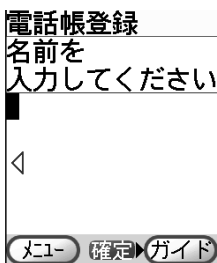
新規に登録します

〈例〉リダイヤルから登録するとき

1 **待受画面で ◎ を押す**

リダイヤル01
9月29日 水曜日
10時10分 音声
090XXXXXXXX
発番通知あり
メニュー

● ダイヤル入力画面の表示→P54
● 着信履歴の表示→P72
● 伝言メモの表示→P87

2 **◎ ◎ を押して登録する電話番号を表示▶** **▶「1 電話帳に登録」を押す**

電話帳登録
名前を
入力してください
メニュー 確定 ガイド

3 **電話帳登録と同じ方法で、名前やメールアドレスなどを登録する**

● 操作方法→P112
● 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤルの電話番号が表示されます。

次ページへ続く

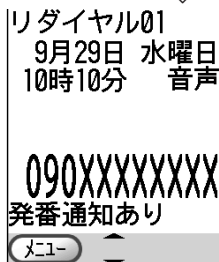
お知らせ

● ダイヤル入力画面、着信履歴の表示画面、伝言メモの表示画面から操作する場合は、それぞれの画面から登録する電話番号を表示させて、▶「電話帳に登録」▶ 決定 を押して操作します。

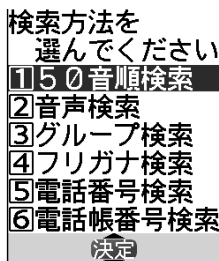
登録済みの電話帳に追加します

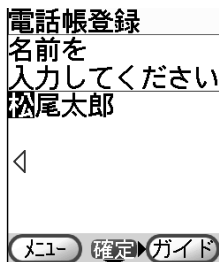
〈例〉リダイヤルから登録するとき

1 待受画面で ◎ を押す

リダイヤル01
9月29日 水曜日
10時10分 音声
090XXXXXXXX
発番通知あり
メニュー

● ダイヤル入力画面の表示→ P54
● 着信履歴の表示→ P72
● 伝言メモの表示→ P87

2 を押して追加する電話番号を表示 ▶ ▶「2 電話帳に追加」を押す

検索方法を
選んでください
1 50音順検索
2 音声検索
3 グループ検索
4 フリガナ検索
5 電話番号検索
6 電話帳番号検索
決定

3 電話帳を検索して登録先の電話帳データを選択 ▶ 決定 を押す

電話帳登録
名前を
入力してください
松尾太郎
メニュー 確定 ガイド

選択した電話番号が追加されます。

● 操作方法→ P124

● 登録先の電話帳データに電話番号やメールアドレスが既に3件登録されているときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「1 上書きする」を押します。登録してある電話帳データの 3 件目に上書き登録されます。「2 上書きしない」を押すと、電話帳の検索結果一覧に戻ります。

4 内容を確認して登録する

● 操作方法→ P111
● 2件目または3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面で「1 入力する」を押すと、選択したリダイヤルの番号が表示されます。

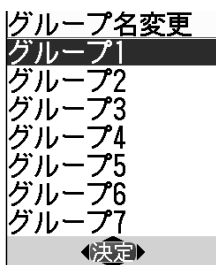
お知らせ

● ダイヤル入力画面、着信履歴の表示画面、伝言メモの表示画面から操作する場合は、それぞれの画面から登録する電話番号を表示させて、メニュー▶「電話帳に追加」▶決定を押して操作します。
● シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→ P187

グループ名を変更します <グループ名変更>

FOMA 端末電話帳の「グループ 1」〜「グループ 30」のグループ名を自由に変更することができます。

●「グループなし」のグループ名は変更できません。

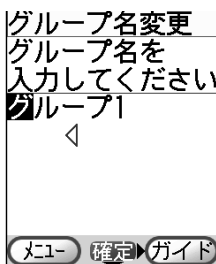
1 待受画面で電話帳▶「4 電話帳のグループ名を変更する」を押す

● ：前後のページを表示できます。

2 グループを選択▶決定を押す

グループ名変更
グループ名を
入力してください
グループ1

メニュー 確定 ガイド

次ページへ続く

電話帳　リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録します／グループ名変更

3 グループ名を入力▶決定を押す

グループ名が登録された旨のメッセージが表示されます。
- 全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。
- 何も入力しないで決定を押すと、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→ P558

電話帳をコピーします

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーしたり、FOMA カード電話帳を FOMA 端末電話帳にコピーしたりします。

- 個人の情報表示を制限していたり、ダイヤル入力での発信を制限していると、本機能を利用できません。→ P184、P185

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーします

- FOMA端末電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
- FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同じ名前のグループが登録されている場合は、同じグループにコピーされます。同じ名前が登録されていない場合は、「グループなし」にコピーされます。
- 次の項目がコピーされます。ただし、FOMA カードに保存できる最大文字数を超えた部分は切り捨てられます。
  - 名前　：名前を全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーします。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大 10 文字となります。
  - フリガナ　：フリガナを全角で最大 12 文字、半角で最大 25 文字コピーします。ただし、全角／半角が混在している場合は、最大 12 文字となります。
FOMA カードでは、半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。

• 電話番号　　　：1 件目に登録されている電話番号を最大 26 桁コピーします。FOMA カードの種類によっては最大 20 桁となります。→ P35
タイマー（「T」）が登録されている場合は削除されます。
• メールアドレス：1件目に登録されているメールアドレスを半角で最大50文字コピーします。

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→ P124

2 メニュー ▶「6 FOMA カードへコピー」を押す

電話帳選択画面が表示されます。

3 コピーする相手を選択 ▶ 決定 を押す

● 相手の□が☑に変わり、選択されます。
● 決定：電話帳データを選択／解除します。
● メニュー：すべての電話帳データを選択／解除します。

4 電話帳 を押す

FOMA カードにコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

FOMA 端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。
● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面で操作 2 を行うと、表示した電話帳データをコピーできます。

FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーします

- FOMAカード電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
- FOMAカード電話帳とFOMA端末電話帳に同じ名前のグループが登録されている場合は、同じグループにコピーされます。同じ名前が登録されていない場合は、「グループなし」にコピーされます。
- 次の項目がコピーされます。
  - 名前　　　　：名前にコピーされます。
  - フリガナ　　：フリガナにコピーされます。
    全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
  - 電話番号　　：電話番号にコピーされます。
  - メールアドレス：メールアドレスにコピーされます。

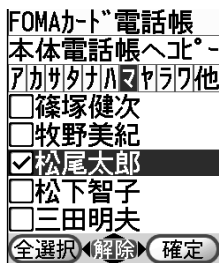
1 FOMAカード電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→P124

2 メニュー ▶「4 本体へコピー」を押す

電話帳選択画面が表示されます。

3 コピーする相手を選択 ▶ 決定 を押す

FOMAｶｰﾄﾞ電話帳
本体電話帳へｺﾋﾟｰ
ｱｶｻﾀﾅﾊﾏﾔﾗﾜ他
□篠塚健次
□牧野美紀
☑松尾太郎
□松下智子
□三田明夫
全選択 解除 確定

- 相手の□が☑に変わり、選択されます。
- 決定：電話帳データを選択／解除します。
- メニュー：すべての電話帳データを選択／解除します。

4 電話帳 を押す

FOMA端末電話帳にコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

FOMAカード電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

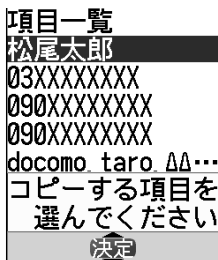
- FOMAカード電話帳の詳細画面で操作2を行うと、表示した電話帳データをコピーできます。

登録内容をコピーします

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳に登録されている電話帳データの個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→ P124

2 コピーする相手を選択▶決定▶メニュー▶「8 名前等をコピー」を押す

3 コピーする項目を選択▶決定を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

FOMA 端末電話帳の詳細画面に戻ります。

●貼付け→ P573

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「6名前等をコピー」を押して操作します。

電話帳から電話をかけます
<電話帳検索>

電話をかける相手の電話帳データを電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

● 電話帳の呼び出しかたには次の方法があります。

50音順検索	50音順に検索して表示します。	下記
音声検索※	音声で検索します。	P125
グループ検索	グループから検索します。	P126
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P127
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P128
電話帳番号検索※	電話帳番号から検索します。	P128

※：FOMAカード電話帳では利用できません。

● FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の登録内容は表示して確認できます。→P129

● シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。→P187
シークレット属性の設定されている電話帳データを選択中は、ディスプレイ上部に が点滅します。

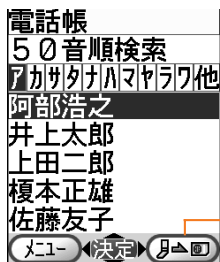
● 個人の情報表示を制限しているときには、電話帳を検索できません。→P184

● 発信方法を選択して電話をかけることができます。→P130

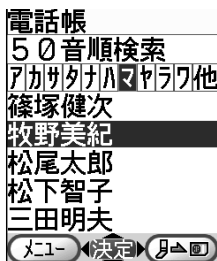
50音順に検索して表示します<50音順検索>

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶「1 50音順検索」を押す

電話帳
50音順検索
ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ 他
阿部浩之
井上太郎
上田二郎
榎本正雄
佐藤友子
メニュー 決定

● FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶ 電話帳 ▶「1 50音順検索」を押します。

電話帳 を押して、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えます。

2 [キー]を押して相手を選択する

● [0]～[9]、[#]、[*]：
ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。
たとえば、「松尾太郎」を表示する場合は「ま」に対応する[7]を押します。
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧→P592

● [キー]：
画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 [通話]を押す

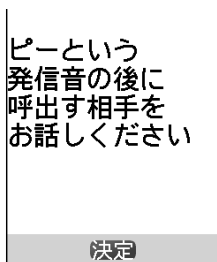
● テレビ電話をかける場合は[テレビ電話]を押して操作します。
● 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶[決定]▶電話番号を選択▶[通話]または[テレビ電話]を押します。

音声で検索します<音声検索>

音声で電話帳データを検索します。

● あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。
→P198
● 周囲の雑音が大きい場合は、「入力された音声は認識できませんでした」と表示されます。なるべく静かな場所で呼び出しを行ってください。

1 待受画面で[電話帳]▶「1 電話帳の内容を見る」▶「2 音声検索」を押す

ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください
決定

2 [決定]▶音声で検索して電話をかける

● 操作方法→P201

グループで検索します<グループ検索>

グループに登録されている電話帳データを検索します。

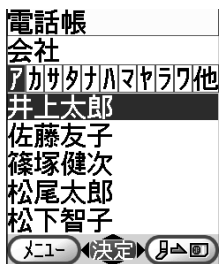
● FOMA端末電話帳にグループを設定せずに登録した電話帳データは、「グループなし」に登録されています。

● FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データのグループが次のような場合は、FOMA カード電話帳にコピーされると「グループなし」に登録されています。
- グループが設定されていないとき
- グループ 11 以降に登録されているとき
- 名前が変更されているグループに登録されているとき

1 待受画面で[電話帳]▶「1 電話帳の内容を見る」▶「3 グループ検索」を押す

グループ検索画面が表示されます。

● FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で[電話帳]▶「1 電話帳の内容を見る」▶[電話帳]▶「2 グループ検索」を押します。

2 検索するグループを選択▶[決定]を押す

電話帳
会社
アカサタナハマヤラワ他
井上太郎
佐藤友子
篠塚健次
松尾太郎
松下智子
メニュー 決定

● [0わをん記号]～[9らWXYZ]、[#改行マナー]、[*]：
ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧→P592

● [◀][▶]：
画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

● 同一グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
①50音順 ②アルファベット順 ③数字
④空白で始まるもの ⑤記号

3 相手を選択▶[通話]を押す

● テレビ電話をかける場合は[テレビ電話]を押します。

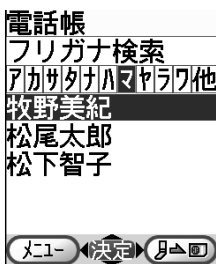
● 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶[決定]▶電話番号を選択▶[通話]または[テレビ電話]を押します。

フリガナで検索します<フリガナ検索>

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。
- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 電話帳は半角で最大 32 文字入力できます。
- FOMAカード電話帳は全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。

1 待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶「4 フリガナ検索」を押す

フリガナ検索画面が表示されます。
- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で 電話帳 ▶「1電話帳の内容を見る」▶ 電話帳 ▶「3 フリガナ検索」を押します。

2 フリガナを入力 ▶ 決定 を押す

- フリガナは一部を入力することで検索できます。

3 相手を選択 ▶ (発信) を押す

- テレビ電話をかける場合は テレビ電話 を押します。
- 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、相手を選択 ▶ 決定 ▶ 電話番号を選択 ▶ (発信) または テレビ電話 を押します。

お知らせ

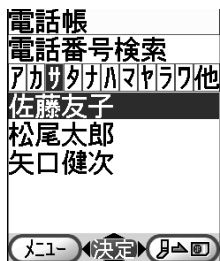
- 文字入力のしかた→ P558

電話番号で検索します<電話番号検索>

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。
●最大 26 桁入力できます。

1 待受画面で[電話帳]▶「1 電話帳の内容を見る」▶「5 電話番号検索」を押す

電話番号検索画面が表示されます。
●FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で[電話帳]▶「1電話帳の内容を見る」▶[電話帳]▶「4 電話番号検索」を押します。

2 電話番号の一部を入力▶[決定]を押す

●[0]～[9]、[#]、[*]：
ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧→P592

●[◀][▶]：
画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 相手を選択▶[発信]を押す

●テレビ電話をかける場合は[テレビ電話]を押します。
●2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶[決定]▶電話番号を選択▶[発信]または[テレビ電話]を押します。

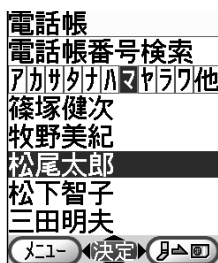
電話帳番号で検索します<電話帳番号検索>

電話帳番号を入力して検索します。

1 待受画面で[電話帳]▶「1 電話帳の内容を見る」▶「6 電話帳番号検索」を押す

電話帳番号検索画面が表示されます。

2 電話帳番号を入力▶ 決定 を押す

電話帳
電話帳番号検索
ｱ|ｶ|ｻ|ﾀ|ﾅ|ﾊ|ﾏ|ﾔ|ﾗ|ﾜ|他
篠塚健次
牧野美紀
松尾太郎
松下智子
三田明夫
ﾒﾆｭｰ 決定

- 電話帳番号が「001」のように1桁の場合や、「010」のように2桁の場合は、「1」や「10」と入力します。
- 0～499までの番号を入力してください。500以上の番号を入力した場合は、自動的に499が入力されます。

3 相手を選択▶ (発信) を押す

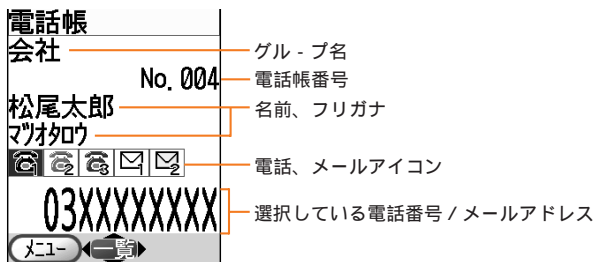
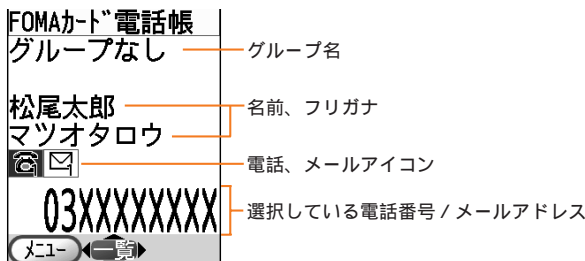
- テレビ電話をかける場合は テレビ電話 を押します。
- 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶ 決定 ▶電話番号を選択▶ (発信) または テレビ電話 を押します。

FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の詳細を表示します

登録内容を表示して確認します。

1 電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→P124

2 詳細表示する電話帳データを選択▶ 決定 を押す

＜FOMA端末電話帳＞

＜FOMAカード電話帳＞

次ページへ続く

● 0、〜 9、＊、＃ ：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧→P592

● ：前後の電話帳データの詳細画面を表示します。

● ：登録されている電話番号、メールアドレスの表示を切り替えます。

● ：音声電話をかけます。

● テレビ電話 ：テレビ電話をかけます。

発信方法を選択して電話をかけます

電話帳の検索結果一覧から発信方法を選択して電話をかけます。

● 電話帳データに電話番号が登録されていない場合は、本機能を利用できません。

1 電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→ P124

2 電話をかける相手を選択 ▶ メニュー ▶「1 電話をかける」を押す

電話の種類を
　選んでください
1音声電話
2 64Kテレビ電話
3 32Kテレビ電話
決定

「1 音声電話」 ：音声電話をかけます。
「2 64K テレビ電話」：64Kの通信速度でテレビ電話をかけます。
「3 32K テレビ電話」：32Kの通信速度でテレビ電話をかけます。

● 選択した相手の1件目に登録されている電話番号が対象になります。

● 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示 ▶ 電話番号を選択 ▶ メニュー ▶「1 電話をかける」を押します。

3 「1 音声電話」～「3 32K テレビ電話」のいずれか1つの番号を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1 電話をかける」を押す

設定した方法で電話がかかります。

● 「2 電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

お知らせ

● FOMA端末電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の検索結果一覧または詳細画面、個人情報（詳細）画面からも同様に操作できます。

● 電話をかけるかどうかの確認画面表示中に次の操作ができます。

- 電話番号を通知しないで電話をかける：メニュー▶「1非通知で電話」▶「1電話をかける」を押します。
- 電話番号を通知して電話をかける：メニュー▶「2 通知で電話」▶「1 電話をかける」を押します。
- 国際電話をかける：メニュー▶「3 ワールドコール」▶「1 電話をかける」を押します。

電話帳を修正します<電話帳修正>

FOMA 端末電話帳に登録した電話帳データの内容を修正したり、電話帳データを他のグループに移動することができます。

- FOMA カード電話帳に登録した電話帳データは、電話帳にコピーすると修正できます。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→ P124

2 修正する相手を選択 ▶ メニュー ▶「4 修正する」を押す

名前入力画面が表示されます。

3 電話帳データを修正して登録する

- 操作方法→ P111
- グループを修正／確認すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1 上書きする」を押します。上書きしないときは「2 新規登録する」を押し、他の電話帳番号を設定します。

お知らせ

- 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナについても、変更してください。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1 件目に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると 2 件目以降、繰り上げ登録されます。
- FOMA 端末電話帳の詳細画面からも同様に操作できます。

グループを変更します

電話帳データを他のグループに移動します。

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P124

2 グループを変更する相手を選択▶メニュー▶「5 グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

3 グループを選択▶決定を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

FOMA 端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

●電源キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●FOMA 端末電話帳の詳細画面からも同様に操作できます。

メールアドレスにシークレットコードを設定します<シークレットコード入力>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときや（→P185）、電話帳データにメールアドレスが登録されていないときには、本機能を利用できません。

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P124

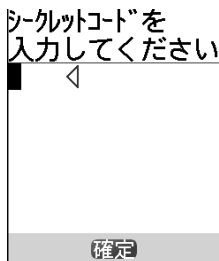
2 シークレットコードを設定する相手を選択▶決定を押す

詳細画面が表示されます。

次ページへ続く

3 メールアドレスを選択▶ メニュー ▶「0 シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

5 4桁のシークレットコードを入力▶ 決定 を押す

シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定 を押す

FOMA 端末電話帳の詳細画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットコード→ P364
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合はその相手にメールの返信ができません。また、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定し直してください。
- シークレットコードを削除するには、操作5でシークレットコードを削除して 決定 を押します。

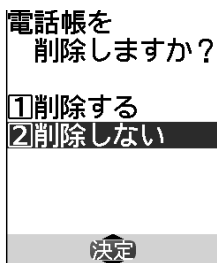
電話帳を削除します<電話帳削除>

電話帳に登録されている1人分の電話帳データ（電話帳番号 1件分）を削除します。

● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。

1 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→P124

2 削除する相手を選択▶メニュー▶「8 電話帳から削除」を押す

3 「1 削除する」を押す

電話帳を削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

FOMA 端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面、FOMA カード電話帳の検索結果一覧または詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「電話帳から削除」▶決定▶「1 削除する」を押して操作します。

知られたくない電話帳を守ります＜シークレット属性設定／解除＞

シークレット属性とは、FOMA 端末電話帳のデータを他の人に見られないようにするための設定機能です。シークレット属性を設定した電話帳データは認証操作（→P170）を行って、シークレットモード（→P187）を設定しないと表示できません。

● シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する

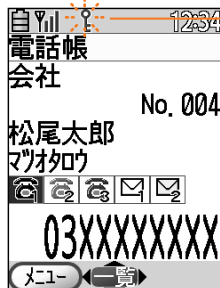
● 操作方法→P187

2 FOMA 端末電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→P124

3 設定する相手を選択▶決定▶メニュー▶「9 シークレット属性設定」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

シークレット属性が設定されていると点滅します。

電話帳の詳細画面に戻ります。

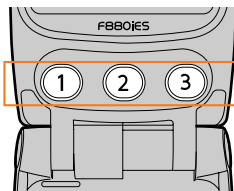
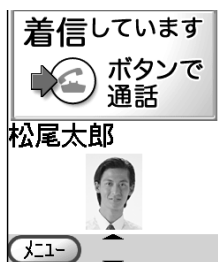
● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

● 待受画面で(終話)：シークレットモードを解除します。

お知らせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードを設定していないと検索できません。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールも利用できません。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧、背面ディスプレイなどに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前は表示されません。→P109
  また、ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データにシークレット属性を設定している場合、ワンタッチ専用の着信音や着信画像を設定していても設定した着信音は鳴らず、画像も表示されません。→P142、P144
- シークレット属性を解除する場合は、シークレットモードを設定してから、シークレット属性が設定されている電話帳データを選択▶決定▶メニュー▶「9 シークレット属性解除」を押します。→P187

よく連絡を取り合う相手を登録します <ワンタッチダイヤル登録>

頻繁に連絡を取る相手の電話番号やメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり、メールを送ったりできます。→ P148
また、着信音や画像を設定することができます。

「写真 de コール」について
画像を設定すると、待受中に電話がかかってきたときやメールを受信したときに、画像を表示して着信をお知らせします。相手の写真などを登録しておけば、誰からの電話またはメールなのか一目で分かります。設定方法→ P142

- 着信画像はワンタッチダイヤル登録した電話帳データのみに設定できます。
- 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

- ワンタッチダイヤルは最大 3 件登録できます。
- FOMA 端末電話帳の登録時に本機能を登録することもできます。→ P115
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

電話帳から相手を選択して登録します<電話帳選択>

- FOMA カード電話帳から選択することはできません。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1電話帳から選ぶ
2新規に登録する
3登録しない
決定

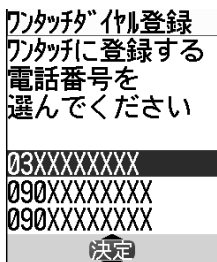
- 既に登録されているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→ P141
- FOMA 端末に 1 件も電話帳データが登録されていない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「1 新規に登録する」を押します。→ P112

2 「1 電話帳から選ぶ」を押す

FOMA 端末電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

3 登録する相手を検索して選択▶ メニュー を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁに登録する
電話番号を
選んでください

03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
090XXXXXXXX
決定

■ 電話番号が 1 件登録されているとき

表示中の電話番号を登録する旨のメッセージが表示されます。メールアドレスが登録されているときは、決定を押すと操作 4 に進みます。

- メールアドレスが登録されていないときは、決定を押すと操作 5 に進みます。

■ 電話番号が 2 件以上登録されているとき

登録する電話番号を選択▶決定を押す

- メールアドレスが登録されているときは操作 4 に進みます。
- メールアドレスが登録されていないときは操作 5 に進みます。

■ 電話番号が 1 件も登録されていないとき

- メールアドレスが登録されているときは操作 4 に進みます。
- メールアドレスが登録されていないときはワンタッチに登録した旨のメッセージが表示され、決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

4 登録するメールアドレスを選択する

■ メールアドレスが 1 件登録されているとき

表示中のメールアドレスを登録する旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作 5 に進みます。

■ メールアドレスが 2 件以上登録されているとき

登録するメールアドレスを選択▶決定を押す

- 操作 5 に進みます。

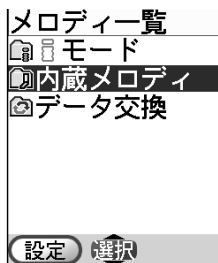
次ページへ続く

5 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

●「1 設定する」　：ワンタッチ専用の音声電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

●「2 設定しない」：ワンタッチに登録した旨のメッセージが表示されます。操作 12 に進みます。

●電話番号が登録されていない場合は、「1 設定する」を押すとワンタッチ専用のメール着信音を設定するかどうかのメッセージが表示されます。操作 11 に進みます。

6 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

●「1 設定する」　：メロディのフォルダ一覧が表示されます。

●「2 設定しない」：音声電話用の着信音を設定しません。操作 8 に進みます。

7 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

ワンタッチ専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

●操作方法→ P452

8 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

●「1 設定する」　：メロディのフォルダ一覧が表示されます。

●「2 設定しない」：テレビ電話用の着信音を設定しません。操作10に進みます。

9 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

ワンタッチ専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

●操作方法→ P452

10 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

●「1 設定する」　：メロディのフォルダ一覧が表示されます。

●「2 設定しない」：メール用の着信音を設定しません。操作12に進みます。

11 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

ワンタッチに登録した旨のメッセージが表示されます。

●操作方法→P452

12 決定を押す

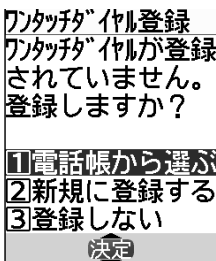
＜ワンタッチダイヤル詳細画面＞

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

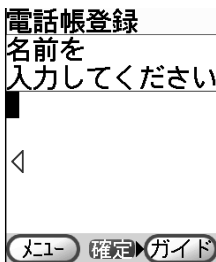
新規に相手を登録します＜新規登録＞

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、本機能を利用できません。→P185

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。登録しますか？
1電話帳から選ぶ
2新規に登録する
3登録しない
決定

●既に登録されているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→上記

登録相手を変更する→P142

2 「2 新規に登録する」を押す

3 登録する

●操作方法→P111

登録相手を変更します

登録した電話番号やメールアドレスを変更します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

● 登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。
→P138

2 メニュー ▶「1 登録相手を変更」を押す

FOMA 端末電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

3 登録する

● 操作方法→P139

お知らせ

● 登録相手の変更は、FOMA 端末電話帳に登録した相手からのみ選択できます。

登録相手の電話着信時／メール受信時に表示する画像を設定します

ワンタッチダイヤルに登録した相手に画像を設定すると、電話がかかってきたときに設定した画像を表示してお知らせします（写真 de コール→P138）。

● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

● 登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。
→P138

2 メニュー▶「5 着信画像を設定」を押す

設定する画像を
選んでください
1今から撮影する
2アルバムから選ぶ
3解除する
決定

3 「1 今から撮影する」〜「3 解除する」のいずれか１つの番号を押す

■ 写真をその場で撮影して設定するとき

①「1 今から撮影する」を押す

- 写真撮影→P223
- 写真の大きさは「Sサイズ（176×144）」固定です。
- メニュー：撮影時の設定ができます。→P228

②被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した写真が表示されます。

③決定を押す

写真が保存された旨のメッセージが表示されます。

④決定を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

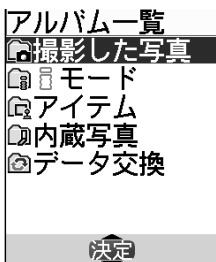
⑤決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で電話帳を押します。
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

■ 写真をアルバムから選択して設定するとき

①「2 アルバムから選ぶ」を押す

②アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

●操作方法→P428

③決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

●設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で電話帳を押します。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

■ 着信画像を表示しないとき

①「3 解除する」を押す

着信画像を解除した旨のメッセージが表示されます。

②決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「携帯電話番号@docomo.ne.jp」以外のｉモード端末のメールアドレスを登録している場合には、@以降のドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録していると、メールを受信しても設定した着信画像は表示されません。→P109

●設定した画像のサイズなどにより、着信画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

着信音を設定します

ワンタッチダイヤルに登録されている相手の音声電話用やテレビ電話用、メール用の着信音を設定します。

●ワンタッチダイヤルに登録されている相手の登録内容によっては、選択できない項目があります。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

●登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P138

2 メニュー ▶「2 電話着信音」～「4 メール着信音」のいずれか 1 つの番号を押す

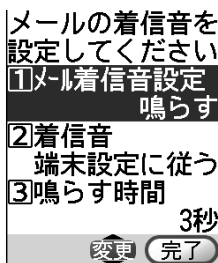
着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話着信音を設定するとき

「2 電話着信音」を押す

■ テレビ電話着信音を設定するとき

「3 テレビ電話着信音」を押す

■ メール着信音を設定するとき

①「4 メール着信音」を押す

②「1 メール着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

- 「2 鳴らさない」：着信音を鳴らしません。電話帳を押して操作5に進みます。

③「2 着信音」を押す

3 「1 設定する」を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 「2 設定しない」：設定を中止・解除します。操作 5 に進みます。

4 フォルダを選択 ▶ 決定 ▶ メロディを選択 ▶ 決定 を押す

ワンタッチ専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 操作方法→ P452

■ 操作 2 で「4 メール着信音」を選択したとき

「3 鳴らす時間」▶ 鳴らす時間を入力 ▶ 決定 ▶ 電話帳 を押す

- 1 ～ 30 秒の間で設定します。

5 決定 を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 「携帯電話番号@docomo.ne.jp」以外のｉモード端末のメールアドレスを登録している場合には、@以降のドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録していると、メールを受信しても設定した着信音は鳴りません。→P109
- 登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

登録相手の設定情報を確認します

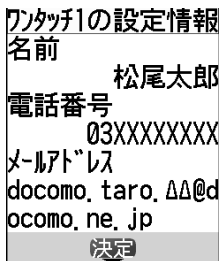
ワンタッチダイヤルに登録されている相手の設定情報（登録した電話番号やメールアドレス）を確認します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- 登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P138

2 メニュー▶「6 設定情報を確認」を押す

ﾜﾝﾀｯﾁ1の設定情報
名前
松尾太郎
電話番号
03XXXXXXXX
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
決定

- ：画面をスクロールして設定情報を表示します。
- 決定：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの登録を解除します

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- 登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P138

2 メニュー▶「7 ワンタッチ設定解除」を押す

ワンタッチ設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 解除する」を押す

ワンタッチ設定を解除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除しない」：ワンタッチ設定の解除を中止します。

4 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 登録した相手にシークレット属性（→P136）が設定されている場合、シークレットモードを解除しているときに相手から電話がかかってきたり、iモード問い合わせを行ってメールを受信したりしても、設定した着信音は鳴らず、画像も表示されません。
- 登録した相手の電話番号やメールアドレスと同じものが他のワンタッチダイヤルに登録されている場合は、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録されている電話帳データの名前が表示されます。
- ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話帳データを削除した場合は、ワンタッチダイヤルに登録したデータも削除されます。

電話帳の登録件数を確認します <登録件数確認>

FOMA端末電話帳の登録件数やシークレット属性（→P136）が設定されている電話帳データの件数などを表示して確認します。

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「1 電話帳の登録件数を見る」を押す

電話帳登録件数	
本体内	
登録数	14件
残り	486件

決定

- FOMAカード電話帳の登録件数を確認する場合は電話帳を押します。

2 確認が終わったら決定を押す

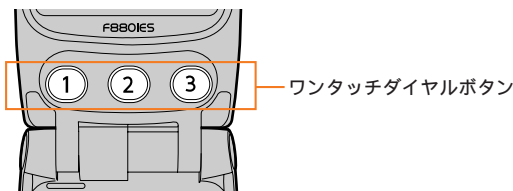
メニュー画面に戻ります。

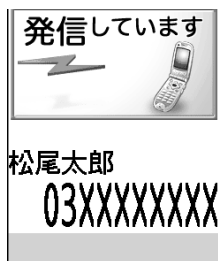
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データの件数は、シークレットモードを設定中に表示されます。→P187

ボタン 1 つで電話をかけます <ワンタッチダイヤル>

頻繁に電話をかける相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチダイヤルボタン 1 つで簡単に電話をかけることができます。

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184
- ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データに電話番号がない場合や、ワンタッチダイヤルが登録されていない場合は、ワンタッチダイヤルで電話をかけることはできません。
  ワンタッチダイヤル登録→ P138

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を 1 秒以上押す

ワンタッチダイヤルボタンに登録されている相手に音声電話がかかります。

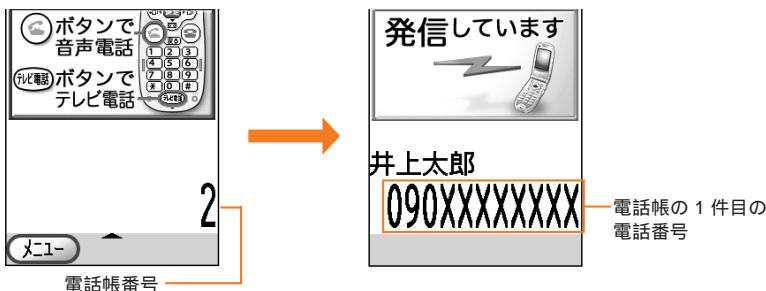
お知らせ

- ワンタッチダイヤルボタン①～③を押すと、登録されている内容が表示されます。
  内容を表示させてから、（通話）を押して音声電話、（テレビ電話）を押してテレビ電話をかけることもできます。メールアドレスを登録していれば、（メール）を押してメールを作成することもできます。
- ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データにシークレット属性（→P136）が設定されている場合、シークレットモードを解除しているときは電話をかけることができません。

少ないボタン操作で電話をかけます＜ツータッチダイヤル＞

頻繁に電話をかける相手の電話番号を電話帳番号（→P114）の0～9に登録しておくと、ダイヤルボタンと［発信］の2つのボタンを押すだけで電話をかけることができます。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 待受画面で電話帳番号（［0］～［9］）を入力▶［発信］を押す

●電話帳番号を入力して［テレビ電話］を押すと、テレビ電話をかけることができます。

お知らせ

●入力した電話帳番号の電話帳データに電話番号が登録されていない場合や、電話帳データが登録されていない場合は、［発信］または［テレビ電話］を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すと待受画面に戻ります。

●シークレット属性が設定されている電話帳データの場合、シークレットモードに設定してから操作してください。→P187

音／画面／照明設定

音の設定

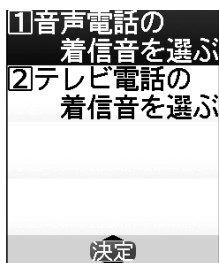
画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変えます<着信音設定>

お買い上げ時　音声電話：鳴らす／着信音１　テレビ電話：鳴らす／ハープ

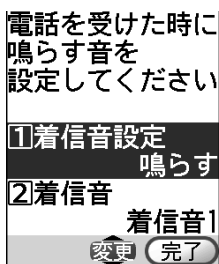
電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 待受画面で（メニュー）▶「2 電話を使う」▶「3 電話を受けた時の音を選ぶ」を押す

「1 音声電話の着信音を選ぶ」：
音声電話の着信音を設定します。

「2 テレビ電話の着信音を選ぶ」：
テレビ電話の着信音を設定します。

2 「1 音声電話の着信音を選ぶ」または「2 テレビ電話の着信音を選ぶ」を押す

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください
1着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1
変更　完了

「1 着信音設定」：
着信音を鳴らすかどうかを設定します。

「2 着信音」：
着信音を鳴らすときのメロディを設定します。

3 「1 着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

操作２の画面に戻ります。

●「2 鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。

●「鳴らさない」に設定すると、「着信音」は設定できません。

■ 着信音を鳴らすときのメロディを設定するとき

「2 着信音」▶フォルダを選択▶（決定）▶メロディを選択▶（決定）を押す

操作２の画面に戻ります。

●操作方法→P452

4 （電話帳）を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●次の機能でも着信音を設定できます。
- ワンタッチダイヤル登録→ P138
- ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）が届いたときの音の設定→ P377
- メッセージ R/F が届いたときの音の設定→ P291

●発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。
① ワンタッチダイヤルの着信音設定
② 本機能の設定

●相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→ P191）の設定に従い、テレビ電話の着信音は本機能のテレビ電話の設定に従います。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディが「内蔵メロディ」フォルダに登録されています。

分類	表　示	曲　名	作曲者
メロディ	着信音1～6	――――――	――――――
	少年時代	少年時代	井上 陽水
	ﾚｯﾄｲｯﾄﾋﾞｰ	Let It Be	JOHN LENNON、 PAUL McCARTNEY
	星に願いを	星に願いを	LEIGH HARLINE
	カノン	カノン	JOHANN PACHELBEL
	大きな古時計	大きな古時計	HENRY CLAY WORK
	きらきら星	きらきら星	WOLFGANG AMADEUS MOZART
	もみじ	紅葉	高野 辰之
	静かな湖畔	静かな湖畔	スイス民謡
	凱旋行進曲	アイーダより凱旋行進曲	GIUSEPPE VERDI
	愛の挨拶	愛の挨拶	EDWARD ELGAR
	展覧会の絵	展覧会の絵	MODEST PETROVICH MUSSORGSKY
	ｴﾝﾀｰﾃｲﾅｰ	ENTERTAINER	SCOTT JOPLIN
	G線上のアリア	G線上のアリア	JOHANN SEBASTIAN BACH
	ﾄｯｶｰﾀとﾌｰｶﾞ	トッカータとフーガ ニ短調	JOHANN SEBASTIAN BACH
	ﾍﾟｰﾙ･ｷﾞｭﾝﾄ	ペール・ギュント	EDVERD HAGERUP GRIEG
効果音・ボイス	目覚まし1、2 残念 ﾌｧﾝﾌｧｰﾚ1、2 起きて下さい ナイスショット	黒電話 モデム音 電話だよ 漫才	ハープ チャイム テレビ電話だよ 感心 癒やし ビール メールだよ くしゃみ

許諾番号：T-0470086

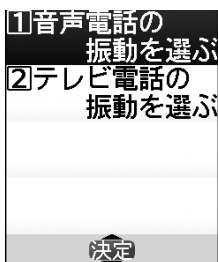
着信を振動でお知らせします<バイブレータ>

お買い上げ時　音声電話：振動させない　テレビ電話：振動させない

音声電話やテレビ電話着信時に振動（バイブレータ）でお知らせします。

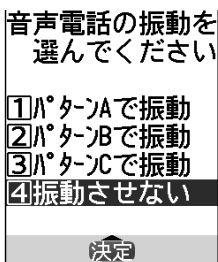
●本機能を設定して机の上などに置いたままにすると、振動で落下する恐れがあります。

●通話中に着信があった場合は振動しません。

1 待受画面で（メニュー）▶「2 電話を使う」▶「4 電話を受けた時の振動を選ぶ」を押す

「1 音声電話の振動を選ぶ」：
音声電話着信時のバイブレータを設定します。

「2 テレビ電話の振動を選ぶ」：
テレビ電話着信時のバイブレータを設定します。

2 「1 音声電話の振動を選ぶ」または「2 テレビ電話の振動を選ぶ」を押す

音声電話の振動を選んでください
1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない
決定

「1 パターン A で振動」：
0.5 秒振動→ 0.5 秒停止→ 0.5 秒振動→ 1.5 秒停止の繰り返しで振動させます。

「2 パターン B で振動」：
1 秒振動→ 2 秒停止の繰り返しで振動させます。

「3 パターン C で振動」：
0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動させます。

「4 振動させない」：
振動させません。

3 「1 パターンAで振動」～「4 振動させない」のいずれか 1 つの番号を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

●（上）（下）を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約 60 秒間振動します。

次ページへ続く

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能で音声電話のバイブレータを設定すると、待受画面にVが表示されます。また、同時に着信音量を消音に設定するとSVが表示されます。
● メールやメッセージR/F受信時に振動でお知らせするように設定することもできます。
→P293、P378

ボタンを押したときに鳴る音を設定します<ボタン確認音>

お買い上げ時 鳴らす

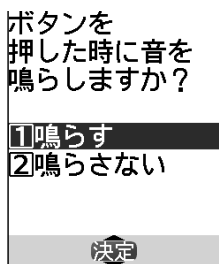
操作時にボタンが確実に押されたかどうかをボタン確認音で確認します。確認音が必要ないときは「鳴らさない」に設定します。

● 次の場合は、本機能を「鳴らさない」に設定していても、ボタン確認音は鳴ります。
- 通話中にダイヤルボタンを押した場合（受話口からプッシュ音（DTMF）が聞こえます）

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「5 ボタンを押した時の音を設定する」を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1鳴らす
2鳴らさない

決定

2 「2 鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

●「1 鳴らす」：ボタン確認音を鳴らすようにします。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（電話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「鳴らさない」に設定した場合、電池残量確認時の確認音も鳴らなくなります。→P43
●ボタン確認音の音量は受話音量と同じになります。→P74
●ボタン確認音と音声読み上げ機能の動作について→P210

充電時の確認音を設定します＜充電確認音＞

お買い上げ時 知らせる

充電の開始／終了時に充電確認音が鳴るように設定します。

●マナーモードやドライブモードを設定中は充電確認音は鳴りません。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「1 充電開始と完了時の音を設定する」を押す

充電の開始と
完了を音で
知らせますか？

1知らせる
2知らせない

決定

2 「1 知らせる」を押す

充電確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2 知らせない」：充電確認音を鳴らさないようにします。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（電話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●音声読み上げ機能を設定しているときは、充電の完了を音声でお知らせします。→P207

通話が途切れそうなときにアラームでお知らせします<通話品質アラーム>

お買い上げ時　高音で鳴らす

通話状態が悪く、途中で通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

● 急に通話状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で（メニュー）▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「4 通話状態が悪い時に音で知らせる」を押す

通話状態が悪い時のアラーム音を選んでください
1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない
決定

「1 高音で鳴らす」：通話品質アラームを高音で鳴らします。
「2 低音で鳴らす」：通話品質アラームを低音で鳴らします。
「3 鳴らさない」　：通話品質アラームを鳴らしません。

2 「1 高音で鳴らす」～「3 鳴らさない」のいずれか 1 つの番号を押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

イヤホンだけから着信音を鳴らします<スピーカー／イヤホン切替>

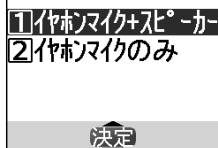
お買い上げ時　イヤホンマイク＋スピーカー

スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音をイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンマイクのみから鳴らすかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[3] 音を設定する」▶「[3] イヤホンマイク利用時の切替を設定する」を押す

イヤホンマイク使用中に
着信音の鳴る所を
選んでください

[1]イヤホンマイク+スピーカー
[2]イヤホンマイクのみ

決定

2 「[2] イヤホンマイクのみ」を押す

イヤホンマイクの切り替えを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「[1] イヤホンマイク＋スピーカー」：
  着信音がイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴ります。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- スイッチ付イヤホンマイク（別売）などが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。
- 「イヤホンマイクのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

電話から鳴る音を消します＜マナーモード＞

マナーモードは、着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

●本機能を設定中に動画／ｉモーションやメロディの再生を行うと、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。
●本機能を設定中は、ｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していても、メロディは再生されません。ただし、再生するメロディを選択して決定を押した場合は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。→P290、P382
●マナーモードを設定中でも、写真やビデオ撮影時の撮影確認音は鳴ります。

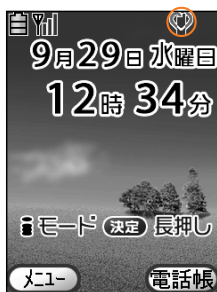
マナーモードを設定すると

マナーモードを設定すると次のように動作します。

	設定状態	説　明
バイブレータ	パターンＡで振動→Ｐ155	待受中の着信を振動で知らせます。ただし、通話中に着信があった場合は振動しません。
ボタン確認音	鳴らさない	ボタンを押しても確認音は鳴りません。
着信音量	消音	着信音は鳴りません。
電池残量警告音	鳴らさない	電池が切れそうになっても警告音は鳴りません。
目覚まし音	消音	指定した時刻に目覚まし音は鳴らず、振動と画像表示で知らせます。
オートスピーカーホン	解除する	着信があっても自動応答しません。
充電確認音	知らせない	充電を開始したときや完了したときに音で知らせません。
音声読み上げ	読み上げなし	（読み上げボタン）を押しても読み上げをしません。

設定します

1 **待受画面で #改行マナー を１秒以上押す**

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。
- マナーモードを設定中は、待受画面にが表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにが表示されます。

解除します

1 本機能を設定中に待受画面で #改行マナー を1秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

待受画面の表示を変えます ＜待受画面設定＞

お買い上げ時	標準の画像（草原）

待受画面に表示されている画像を別の画像に変更することができます。
- 個人の情報表示を制限しているときには、アルバムから画像を選択することはできません。→P184
- 画像によっては、待受画面に設定しても、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していない場合や、個人の情報表示を制限しているときには、表示されないものがあります。その場合、待受画面には標準の画像（草原）が表示されます。→P45

1 待受画面で メニュー ▶「8 初めに行う設定」▶「2 待受画面の画像を設定する」を押す

待受画面の画像を
選んでください

1 アルバムから選ぶ
2 表示なし

次ページへ続く

■ 待受画面に画像を表示しないように設定するとき

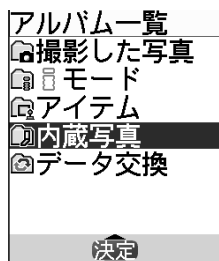
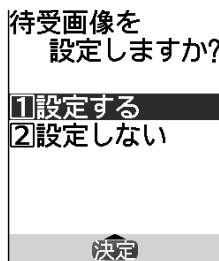
「2 表示なし」を押す

画像を解除した旨のメッセージが表示されます。操作 5 に進みます。

● 待受画面に画像を設定していた場合は、画像を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1 解除する」を押します。操作 5 に進みます。「2 解除しない」を押すと操作 1 の画面に戻ります。

2 「1 アルバムから選ぶ」を押す

3 フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

待受画像を
設定しますか?
1設定する
2設定しない
決定

● 画像一覧を表示中に電話帳：
画像表示を切り替えます。

● 画像を選択してメニュー：
画像を表示します。アニメーションの場合は表示すると自動的に再生されます。

● 画像表示中に上下キー：
前後の画像を表示します。

● 画像表示中に決定：
画像が選択され、左の画面に戻ります。

4 「1 設定する」を押す

画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 設定しない」：設定を中止します。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● アニメーションを待受画面に設定すると、待受画面表示中に FOMA 端末を開いたとき、戻るまたは終話を押したときや待受画面に戻ったときに再生します。再生中に戻るを押すと一時停止、再度戻るを押すと再生を再開します。再生中に終話を押すと停止、再度終話を押すと初めから再生します。

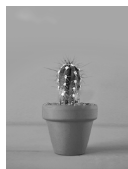
● 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。また、横縦のサイズが240×320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。
● アニメーションに再生回数が設定されていない場合、または再生回数が16回以上に設定されている場合は、最大16回まで繰り返して再生します。
● お買い上げ時には、待受画面サイズの画像として次の画像が「内蔵写真」フォルダに登録されています。

草原

バラ

いぬ

イルカ

プチトマト

サボテン

● 待受画像を変更していても、全ての操作を制限すると標準の画像（草原）が表示されます。→P182
● 設定した画像が写真のアルバムから削除されると、待受画面には標準の画像（草原）が表示されます。

電話がかかってきたときの背面ディスプレイの表示を設定します<背面表示設定>

お買い上げ時　表示する

電話がかかってきたときに、背面ディスプレイに相手の電話番号や名前を表示するかどうかを設定します。

● 本機能を「表示する」に設定しても、FOMA端末を開いているときなど背面ディスプレイの表示が消えている場合は、何も表示されません。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「7 背面の画面表示を設定する」を押す

着信時に背面に
相手の情報を
表示しますか？

1表示する
2表示しない

決定

次ページへ続く

2 「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

背面の画像表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「表示しない」に設定した場合、電話がかかってくると、背面ディスプレイには「電話です」などの状態のみが表示されます。
● 本機能を「表示する」に設定した場合、電話番号が通知されて電話がかかってくると、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。→P109

画面のカラー配色を変更します ＜画面配色設定＞

お買い上げ時 ブルー

画面の配色を変更します。

● カラー配色は 3 種類から選択できます。

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「3 画面の配色を設定する」を押す

画面の配色を
選んでください
1ブルー
2オレンジ
3白黒反転
決定

「1 ブルー」　：画面の配色を青系統の色にします。
「2 オレンジ」：画面の配色をオレンジ系統の色にします。
「3 白黒反転」：画面の配色を白黒反転にします。
● を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 「1 ブルー」～「3 白黒反転」のいずれか 1 つの番号を押す

配色を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能の設定を変更しても、背面ディスプレイの配色は変わりません。
●「オレンジ」に設定すると、待受画面で(メニュー)を押したときに表示されるメニュー項目と電話帳メニューの一部にアイコンが表示されます。

ディスプレイの照明を設定します <照明設定>

お買い上げ時　画面の明るさ：標準の明るさ　照明時間：30 秒

ディスプレイの照明の明るさや点灯時間を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「8 初めに行う設定」▶「4 画面の明るさを設定する」を押す

画面の照明を
設定してください
1画面の明るさ
標準の明るさ
2照明時間
30秒
変更　完了

「1 画面の明るさ」：ディスプレイ点灯時の明るさを設定します。
「2 照明時間」　：照明の点灯時間を設定します。

2 「1 画面の明るさ」または「2 照明時間」を押す

■ 明るさを設定するとき

「1 画面の明るさ」▶「1 暗い」～「3 明るい」のいずれか 1 つの番号を押す

●「1 暗い」　　　：画面の明るさを標準より暗くします。
●「2 標準の明るさ」：画面の明るさを標準にします。
●「3 明るい」　　：画面の明るさを標準より明るくします。

■ 照明時間を設定するとき

「2 照明時間」▶「1 10 秒」～「5 5 分」のいずれか 1 つの番号を押す

●「1 10 秒」：照明の点灯時間を 10 秒にします。
●「2 15 秒」：照明の点灯時間を 15 秒にします。
●「3 30 秒」：照明の点灯時間を 30 秒にします。
●「4 1 分」：照明の点灯時間を 1 分にします。
●「5 5 分」：照明の点灯時間を 5 分にします。

3 設定した後に(電話帳)を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● テレビ電話通話中は、本機能の設定ではなく、テレビ電話画面の明るさの設定（→P101）に従った画面の明るさになります。

音／画面／照明設定

照明設定／時計表示設定

時計の表示を設定します<時計表示設定>

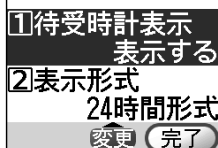
お買い上げ時　待受時計表示：表示する　表示形式：24時間形式

待受画面の時計表示の有無や、待受画面と背面ディスプレイの表示形式（24時間／12時間）を設定します。

〈時計を表示するとき〉

〈時計を表示しないとき〉

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「8 時計を設定する」▶「2 待受画面に時計を表示する」を押す

待受画面の
時計表示を
設定してください
1待受時計表示
表示する
2表示形式
24時間形式
変更　完了

「1 待受時計表示」：時計を表示するかどうかを設定します。

「2 表示形式」：時計の表示形式を24時間形式と12時間形式のどちらで表示するかを設定します。

2 「1 待受時計表示」または「2 表示形式」を押す

■ 待受時計表示を設定するとき

「1 待受時計表示」▶「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

■ 表示形式を設定するとき

「2 表示形式」▶「1 24 時間形式」または「2 12 時間形式」を押す

3 設定した後に 電話帳 を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末で利用する暗証番号について

FOMA 端末の機能には、暗証番号の必要なものがあります。暗証番号には、各種機能用の端末暗証番号、お申し込みいただくサービスで使用するネットワーク暗証番号、FOMA カード用 PIN1 コード・PIN2 コード、ｉモードパスワードの 4 種類があります。

●他の人に知られることを防ぐため、各暗証番号入力画面に入力された番号は「*」で表示されます。

●万一、暗証番号やパスワードをお忘れになった場合は、他の人に勝手に変更されることを防止するために、FOMA 端末、および契約されたご本人と確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。

●いたずら防止のため、端末暗証番号はご契約後に変更してください。また、設定した端末暗証番号は忘れないようにお気を付けください。

端末暗証番号

次の機能を利用する場合、端末暗証番号入力画面が表示されます。ダイヤルボタンで 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力して決定を押し、認証操作を行ってください。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、自由に変更することができます。→ P172

- 着信を拒否する相手を指定する
- 着信を許可する相手を指定する
- 電話帳登録外の着信を拒否する
- 発番通知のない着信を設定する
- 全ての操作を制限する
- 個人の情報表示を制限する
- 履歴の表示を制限する
- シークレットモードに設定する
- 電話帳のシークレットコード入力
- ダイヤル入力での発信を制限する
- 暗証番号を変更する
- FOMAカードのPINコードを設定する
- 各機能の全件削除※1
- 個人情報詳細表示
- 個人情報修正
- 設定を初めの状態に戻す
- 通話時間をリセットする
- ソフトウェアを更新する
- 受信したメール／送信したメールのフォルダ削除※2
- ブックマークのフォルダ内削除
- 接続先番号の編集
- 例文一覧の全件を初期状態に戻す

※ 1：機能によっては表示されません。
※ 2：フォルダ内にメールがある時のみ表示されます。

●現在の端末暗証番号の入力を 5 回連続して失敗すると、FOMA 端末の電源が自動的に切れます（再度電源を入れることはできます）。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に設定します。電話番号の下４桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザＩＤ」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。
※「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。

● PIN1コード

第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐために、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに入力する４～８桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、電話の発信、着信、各種通信機能の操作が可能になります。
お買い上げ時は、PIN1コードを入力せずにFOMA端末を使用できます。PIN1コードによるチェックを行うように設定すると、電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になります。→P173

● PIN2コード

ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号です。→P243、P298、P300

iモードパスワード

マイメニュー登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サービスのお申し込み・解約、メール設定を行う際には「パスワード」が必要になります。このパスワードはお買い上げ時は「0000」に設定されていますが、自由に変更することができます。→P256
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

端末暗証番号を変更します <端末暗証番号変更>

お買い上げ時 0000

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「6 暗証番号を変更する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 現在の4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

● 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。

3 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

● 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。

4 操作3で入力した4～8桁の端末暗証番号を再度入力 ▶ 決定 を押す

端末暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。

5 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話キー を押すと待受画面に戻ります。

PIN コードを設定します ＜ PIN コード設定＞

PIN1 コードは、FOMA 端末を不正に使用されないための 4 ～ 8 桁の暗証番号です。
PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する 4～8 桁の暗証番号です。

● PIN1 コード、PIN2 コードは変更できます。→ P175、P177

電源を入れたときに PIN1 コードを入力するように設定します＜ PIN1 コード使用＞

お買い上げ時	使用しない

FOMA 端末の電源を入れたときに PIN1 コードの入力を要求するように設定します。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMA カードの PIN コードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

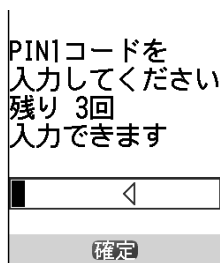
FOMAカードの
PINコードを
設定してください
1 PIN1ｺｰﾄﾞ変更
2 PIN2ｺｰﾄﾞ変更
3 PIN1ｺｰﾄﾞ使用
決定

● 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。

3 「3 PIN1 コード使用」を押す

PIN コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

4 「1 使用する」を押す

●「2 使用しない」：
FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードの入力を要求しないようにします。操作6に進みます。

5 PIN1コード入力▶決定を押す

PIN1コードを使用する旨のメッセージが表示されます。

- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (電源/終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

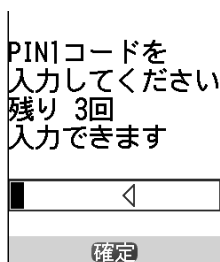
お知らせ

- 目覚まし時刻に電源を入れるように設定しているときは（→P467）、目覚ましの設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚まし音が鳴ります。(電源/終話キー)を押して目覚まし音を終了させると、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コードを入力します

ご契約時 0000

PIN1コードを使用するように設定しているときは（→P173）、FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信や、各種通信機能の操作ができません。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で(電源/終話キー)を2秒以上押す

電源が入ります。

2 PIN1コードを入力▶決定を押す

FOMAカードの読み込みが始まると表示され、終わると消えます。

PIN1コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

● 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

お知らせ

● PIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コードが自動的にロックされます。決定を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→P179

PIN1コードを変更します＜PIN1コード変更＞

ご契約時 0000

● PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→P173

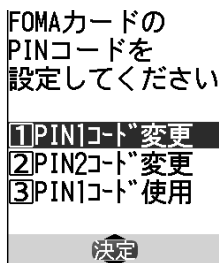
1 待受画面でメニュー▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4〜8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください
1PIN1ｺｰﾄﾞ変更
2PIN2ｺｰﾄﾞ変更
3PIN1ｺｰﾄﾞ使用
決定

● 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

次ページへ続く

3 「1 PIN1 コード変更」を押す

4 現在の PIN1 コードを入力▶決定を押す

●入力した PIN1 コードは「*」で表示されます。

5 新しい 4 ～ 8 桁の PIN1 コードを入力▶決定を押す

●入力した PIN1 コードは「*」で表示されます。

6 操作 5 で入力した 4 ～ 8 桁の PIN1 コードを再度入力▶決定を押す

PIN1 コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

●入力した PIN1 コードは「*」で表示されます。

●操作 5 で入力した新しい PIN1 コードと一致しない場合、PIN1 コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作 5 からやり直してください。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 現在のPIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コードが自動的にロックされます。決定を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P179

PIN2コードを変更します<PIN2コード変更>

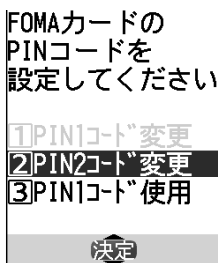
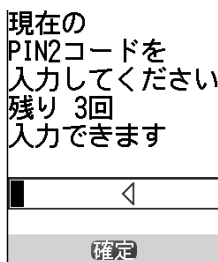
ご契約時	0000

- PIN2コードは、FirstPassのユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用します。→P243、P298、P300

1 待受画面でメニュー▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。

3 「2 PIN2コード変更」を押す

次ページへ続く

4 現在の PIN2 コードを入力▶決定を押す

新しい
PIN2コードを
入力してください

確定

●入力した PIN2 コードは「*」で表示されます。

5 新しい 4 〜 8 桁の PIN2 コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN2コードを再度
入力してください

確定

●入力した PIN2 コードは「*」で表示されます。

6 操作 5 で入力した 4 〜 8 桁の PIN2 コードを再度入力▶決定を押す

PIN2 コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

●入力した PIN2 コードは「*」で表示されます。

●操作 5 で入力した新しい PIN2 コードが一致しない場合、PIN2 コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作 5 からやり直してください。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●現在の PIN2 コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作 4 からやり直してください。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●現在の PIN2 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN2 コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN2 コードが自動的にロックされます。決定を押すと PIN ロック解除コード入力画面が表示されます。→ P179

PINロックを解除します

PINコード入力画面でPINコードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、PINロック解除コードを入力してロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。PINロック解除コードを忘れた場合やPINロックを解除できなくなった場合は、ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。
- PIN1コード、PIN2コードともに操作方法は同じです。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 PIN1コードがロックされた旨の確認画面で 決定 を押す

2 8桁のPINロック解除コードを入力▶ 決定 を押す

- 入力したPINロック解除コードは「*」で表示されます。

3 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶ 決定 を押す

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

次ページへ続く

4 操作3で入力した4～8桁のPIN1コードを再度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

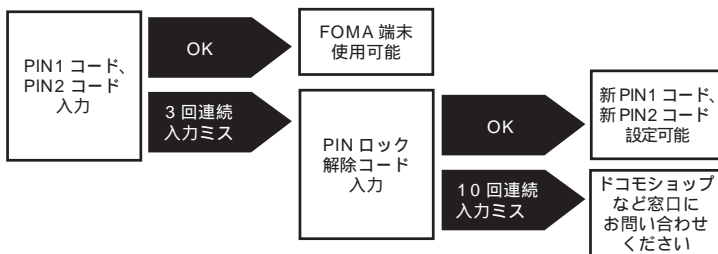
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。
- 操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA端末が自動的にロックされます。

各種ロック機能について

FOMA端末を他の人が勝手に使用したり、個人情報や電話帳データを見たりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 万一、端末暗証番号をお忘れになった場合は、他の人が勝手に変更することを防止するために、FOMA端末、および契約されたご本人と確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。
- シークレットモード以外の下記ロック機能は、電源を切っても設定は保持されます。

項　目	説　明	参照先
全ての操作を制限する	各機能の操作などができなくなり、他の人が勝手に使用するのを防ぎます。	P182
セルフモードを設定する	電話の発着信やメールの送受信などの通信機能を利用できないようにします。	P183
シークレットモードに設定する	電話帳データにシークレット属性を設定すると、そのデータは4～8桁の端末暗証番号の入力を行ってシークレットモードを設定したときのみ表示され、通常の状態では表示されなくなります。	P187
履歴の表示を制限する	リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を制限します。	P186
個人の情報表示を制限する	電話帳やメールなどが表示・編集できなくなり、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。また、本機能を設定中に電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行っても相手の名前は表示されず、メールを受信しても受信結果画面は表示されません。	P184
ダイヤル入力での発信を制限する	ダイヤルボタンで直接電話番号を入力して電話をかけることができなくなります。	P185

複数のロック機能を同時に設定します

たとえば、ダイヤルボタンによる電話発信と、電話帳や個人情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル入力での発信を制限して（→P185）、個人の情報表示を制限します（→P184）。

- 同時に設定した場合の待受画面の表示→P26

他の人が使用できないようにします <オールロック>

本機能を設定すると、各機能の操作などができなくなり、他の人が勝手にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

本機能を設定中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

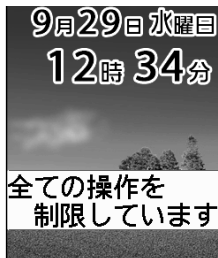
● 本機能を設定中は、緊急通報（110番、119番、118番）もできません。

設定します

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「1 全ての操作を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

待受画面に戻ります。

● 本機能を設定中は、FOMA端末を折り畳んでいるときにを押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

解除します

1 本機能を設定中に4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作の制限が解除された旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を設定中の着信は拒否されて相手には話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。本機能を解除すると待受画面にが表示されます。
- 本機能を設定中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信結果画面は表示されません。
- 本機能を設定中は、待受画像を変更していても、標準の画像（草原）が表示されます。
- 本機能を設定中は、目覚まし機能は動作しません。

発信や着信ができないようにします <セルフモード>

お買い上げ時　解除する

本機能を設定中は、電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。

- 本機能を設定中に緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「2 セルフモードを設定する」を押す

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除する」：セルフモードを解除します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を設定中は、ディスプレイ上部にselfが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときには、背面ディスプレイにselfが表示されます。

お知らせ

- 本機能を設定中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- 本機能を設定していてもメールを作成できますが、送信はできません。

電話帳やメールなどの個人情報を表示しないようにします<個人情報表示制限>

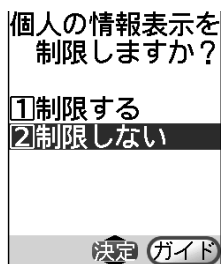
お買い上げ時 制限しない

本機能を設定して、電話帳やメールなどの個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- 電話帳登録外の着信を拒否しているときには、本機能を利用できません。→P195
- 本機能を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後にかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。また、リダイヤルと着信履歴からは電話をかけることができます。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「5 個人の情報表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

3 「1 制限する」を押す

個人の情報表示の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 制限しない」：個人の情報表示の制限を解除します。
- 電話帳：本機能の動作説明を表示します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を設定中は、待受画面にが表示されます。

個人情報の表示を制限すると

- 次の機能と一部の設定が利用できなくなります。メニュー画面を表示した場合、利用できない機能がグレーなどで薄く表示され、選択できません。
  - 電話帳
  - 発番通知のない着信を設定する
  - ブックマークを見る
  - 目覚まし
  - メール／ショートメッセージ（SMS）／メッセージR/F※
  - ｉモード問い合わせ
  - 写真
  - ビデオ
  - メロディ
  - 個人情報
  - 伝言メモ
  - ｉモード
  - 写真のアルバムを見る
  - ビデオのアルバムを見る
  - 保存した曲の詳細を設定する
  - ソフトウェアを更新する

  ※：受信されますが、受信結果画面は表示されません。
- 本機能を設定中は、電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。
- 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を設定中は設定がお買い上げ時の状態になります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」や「内蔵メロディ」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、本機能を設定してもお買い上げ時の状態には戻りません。
- 外部機器からのATコマンドによる本機能の設定／解除はできません。

ダイヤル発信を禁止します ＜ダイヤル発信制限＞

お買い上げ時　制限しない

ダイヤルボタンを押して電話をかけられない状態にします。

- 本機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。
- 本機能を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後に電話帳などからかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。リダイヤルからは電話をかけることができます。

1 **待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「8 ダイヤル入力での発信を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す**

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

3 「1 制限する」を押す

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2 制限しない」：ダイヤル入力での発信の制限を解除します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

●本機能を設定中は、待受画面に（アイコン）が表示されます。

●本機能を設定中に個人の情報表示を制限すると（→P184）、待受画面の（アイコン）は（アイコン）に切り替わります。→P26

ダイヤル入力での発信を制限すると

●次の操作はできません。
- 着信履歴からの発信
- 電話帳の修正、登録、削除
- ショートメッセージ（SMS）／iモードメールの送信（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能）
- Phone To（AV Phone To）、Mail To 機能
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

●外部機器からの AT コマンドによる本機能の設定／解除はできません。

リダイヤル・着信履歴・伝言メモの表示を制限します<履歴表示制限>

お買い上げ時　制限しない

リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を規制して、他の人に発着信情報を知られないようにします。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「4 履歴の表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

履歴の表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 制限する」を押す

履歴表示を制限した旨のメッセージが表示されます。

●「2 制限しない」：履歴表示の制限を解除します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を見ることができます。

シークレット設定されている情報を表示します<シークレットモード>

お買い上げ時 解除する

電話帳データにシークレット属性を設定したり、シークレット属性を設定したデータを表示したり、またシークレット属性を解除したりするときには、FOMA 端末をシークレットモードにする必要があります。

設定します

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「3 シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

●「2 解除する」：シークレットモードを解除します。

3 4～8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能を設定中は、待受画面に（鍵アイコン）が表示されます。

解除します

1 シークレットモードを設定中に待受画面で を押す

シークレットモードが解除されます。

お知らせ

● 電話帳データにシークレット属性を設定する→ P136

指定した電話番号からの電話だけを受けません／受けます<電話帳指定着信拒否／許可>

FOMA 端末電話帳に登録されている相手を指定して、着信を拒否／許可するように設定します。
拒否を設定すると、指定した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、指定した相手からの電話のみつながります。
相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

● あらかじめ電話帳の登録が必要です。→ P110
● 番号通知お願いサービス（→ P494）や発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→ P191）を併用されることをおすすめします。
● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

着信を拒否／許可する相手を登録します

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。
● 拒否／許可する相手は、それぞれ最大 20 件登録できます。
● FOMA カード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録するとき

1 待受画面で メニュー ▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。
● 着信を許可する相手を登録するときは、待受画面で メニュー ▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「3 着信を許可する相手を指定する」を押します。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

3 「3 相手を登録する」を押す

● ：前後のページを表示できます。

4 登録先の番号を選択▶決定を押す

電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

● 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶メニュー▶「1編集する」を押します。
● 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶メニュー▶「2 削除する」▶「1 削除する」を押します。操作6に進みます。

5 登録する相手を検索して選択▶メニューを押す

着信を拒否／許可する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。

● 操作方法→P124

6 決定を押す

登録一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 着信を拒否／許可した相手が発信者番号を通知しないで電話をかけてきた場合は、発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定に従って動作します。→P191
● 登録した相手にシークレット属性が設定されている場合、シークレットモードを解除しているときは、登録一覧には相手の名前が「***********」と表示されます。また、解除中に着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。
● 登録した相手の電話帳データを修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可を設定します

お買い上げ時 解除する

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

● 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定するとき

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す

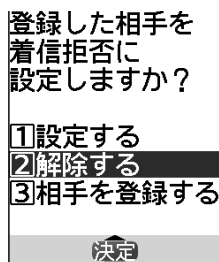
端末暗証番号入力画面が表示されます。

● 着信許可を設定するときは、待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「3 着信を許可する相手を指定する」を押します。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

1 設定する
2 解除する
3 相手を登録する

決定

3「1 設定する」を押す

着信拒否／着信許可を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 解除する」：着信拒否／許可設定を解除します。

● 着信を拒否／許可する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定 を押して相手を登録してください。
→ P188

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能の設定に関わらず、着信拒否／許可に指定した電話番号に電話をかけることができます。

● 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を 0 秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。

● ショートメッセージ（SMS）や i モードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。

発信者番号のわからない電話を受けません<非通知理由別着信設定>

お買い上げ時　非通知設定：設定を解除　通知不可能：設定を解除　公衆電話：設定を解除

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→ P49）によって異なる着信動作を設定します。

- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、電話を受けたときの音（→ P152）の設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「5 発番通知のない着信を設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

発番通知されない
着信の種類を
選んでください
1非通知設定
2通知不可能
3公衆電話
決定

「1 非通知設定」：非通知設定の着信動作を設定します。

「2 通知不可能」：通知不可能の着信動作を設定します。

「3 公衆電話」：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1 非通知設定」～「3 公衆電話」のいずれか1つの番号を押す

選んだ
発番通知なし
着信の動作を
設定してください
1着信音を選択
2着信音量を消音
3着信を拒否
4設定を解除
決定

「1 着信音を選択」：発信者番号非通知理由ごとに着信音を設定します。

「2 着信音量を消音」：着信音を鳴らさないようにします。

「3 着信を拒否」：着信を拒否します。

「4 設定を解除」：着信動作の設定を解除します。

次ページへ続く

4 「1 着信音を選択」～「4 設定を解除」のいずれか１つの番号を押す

- 「2 着信音量を消音」：操作６に進みます。
- 「3 着信を拒否」　：操作６に進みます。
- 「4 設定を解除」　：操作６に進みます。

5 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 操作方法→Ｐ452

6 決定を押す

非通知理由の選択画面に戻ります。

- 着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。設定済みの項目を選択して決定を押すと、操作３の画面が表示されます。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
  留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を０秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス（→Ｐ494）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- ショートメッセージ（ＳＭＳ）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 発信者番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、着信動作を「着信を拒否」に設定したときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、テレビ電話の着信音の設定に従って動作します。→Ｐ152

電話帳未登録の相手の着信音を無音にします ＜無音着信時間設定＞

お買い上げ時　無音着信動作：設定しない

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたときに、着信音やバイブレータ、背面ディスプレイ、着信ランプの動作（呼出動作）をすぐに開始せずに、設定した時間が経過すると呼出動作を開始するように設定します。
「ワン切り」など迷惑電話に効果的です。

●本機能を設定中は、次のように動作します。
- 待受中または通話中に音声電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は通話中着信音が受話口から聞こえます。
- 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、呼出なし着信として記録され、着信履歴に表示されません。また、新着情報と も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示することができます。→P72
- 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大 30 件記録されます。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「9 無音着信時間を設定する」を押す

「1 無音着信動作」：本機能を有効にするかどうかを設定します。
「2 無音着信時間」：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「1 無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

3 「1 設定する」を押す

無音着信時間を
設定してください
(1～99秒)

4秒間

確定

●「2 設定しない」：無音着信動作を設定しません。
操作 5 に進みます。

4 無音着信時間を入力▶決定を押す

無音着信時間の設定画面に戻ります。

●1 ～ 99 秒の範囲で設定できます。

5 電話帳を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人の情報表示を制限している場合（→ P184）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモードを解除している場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき

● 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモ、オートスピーカーホン機能を設定しているときは、本機能の設定に関わらず、着信後に設定した時間が経過すると各機能が動作します。
ドライブモード中は、本機能は動作しません。

● 発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→ P191）、着信を拒否／許可する相手（→ P188）、電話帳登録外の着信の拒否（→ P195）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

● 本機能とイヤホンマイク接続時に自動で着信する設定（→ P478）や伝言メモを同時に設定している場合は、設定した時間によって動作の優先順位が異なります。

● 本機能とオートスピーカーホン機能（→ P70）を同時に設定している場合、本機能を 4 秒に設定すると、着信のタイミングによってはオートスピーカーホン機能が動作するまでの間に、着信音が鳴る場合があります。

● 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

電話帳未登録の相手からの電話を受けません<登録外着信拒否>

お買い上げ時　許可する

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。

- 番号通知お願いサービス（→P494）や着信を拒否する相手の設定（→P188）、発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→P191）を併用されることをおすすめします。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184
- ショートメッセージ（SMS）やiモードメールは、本機能の設定に関わらず受信します。

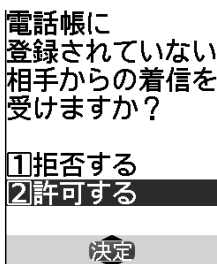
1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「2 電話の詳細を設定する」▶「4 電話帳登録外の着信を拒否する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

電話帳に
登録されていない
相手からの着信を
受けますか？

1拒否する
2許可する

決定

3 「1 拒否する」を押す

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 許可する」：電話帳登録外の着信を許可します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳に登録されていない電話番号からの着信があった場合や、電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合、またはシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード設定中以外に着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。

次ページへ続く

●留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
●本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

その他の「あんしん設定」について

次のような「あんしん設定」を利用することができます。

●迷惑メールの対策に関する設定は、別冊の『FOMA iモード操作ガイド』も合わせてご覧ください。

目　的	あんしん設定	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P342
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	P361
指定するドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	P372
iモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	iモードメールのみ受信／拒否	P370
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	P369
1日1台のiモード携帯電話から送信される200通目以降のiモードメールを拒否します。	iモード大量送信者からのメール受信制限	P369
災害時にiモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「iモード災害伝言板」サービス	『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください
受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	P371
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	P375
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P492
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P248、301
必要な場合にパケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを更新します。	ソフトウェア更新	P617

音声呼び出し／読み上げ機能

音声で呼び出す電話帳の単語を登録します<ボイスダイヤル登録>

電話帳データを音声で呼び出せるように呼出辞書データとして単語を登録することができます。

- 最大 100 件登録できます。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184
- 1 つの電話帳データに対して複数の単語を登録することはできません。
- 複数の電話帳データに対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面で 電話帳 ▶「3 音声で呼出す電話帳を登録する」を押す

電話帳呼出し用の
単語登録状況

登録数 2件
残り 98件

決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定 を押す

新規登録
井上太郎
佐藤友子

決定

単語が登録されている場合は、登録した電話帳データの一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択 ▶ 決定 を押す

電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

4 登録する相手を選択 ▶ 決定 を押す

松尾太郎
読みを
3文字以上で
登録してください
ﾏﾂｵﾀﾛｳ
メニュー 確定 ガイド

● 操作方法→ P124
● 登録済みの相手を選択した場合、同じ電話帳が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定 を押すと電話帳データの一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力 ▶ 決定 を押す

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。
● 半角カタカナを登録できます。
● 3 ～ 10 文字入力できます。
● あらかじめ電話帳に登録されているフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
● 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みが既に登録されている旨のメッセージが表示されます。決定 を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。

6 決定 を押す

電話帳データの一覧に戻ります。
● (終話) を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 文字入力のしかた→ P558
● 読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
 • 一文字目が「ン」「ー」「ァ」「ィ」「ゥ」「ェ」「ォ」「ャ」「ュ」「ョ」「ッ」「゛」「゜」
 • 認識しにくい文字
 〈例〉「ッー」「ンン」「ンー」「ンッ」「ーー」「ーッ」など
 • 空白（スペース）
● ボイスダイヤルの単語に登録されている電話帳データを削除した場合は、ボイスダイヤルに登録されている単語も削除されます。
● ボイスダイヤルの単語に登録されている電話帳データのフリガナを修正しても、ボイスダイヤルの単語の読みは変更されません。
● シークレット属性（→ P136）を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→ P187
● ボイスダイヤルに登録された単語（呼出辞書データ）は、設定リセットで削除されます。→ P479

登録した内容を確認します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

● 操作方法→ P198

次ページへ続く

2 確認する電話帳データを選択▶決定を押す

- 決定を押すと電話帳データの一覧に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→P198

2 修正する電話帳データを選択▶電話帳を押す

読みの入力画面が表示されます。

3 単語の読みを修正する

- 操作方法→P199

お知らせ

- 登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

登録した内容を削除します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→P198

2 削除する電話帳データを選択▶メニュー▶「2 削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 削除する」を押す

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

電話帳データの一覧に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

音声で電話帳を呼び出します <ボイスダイヤル>

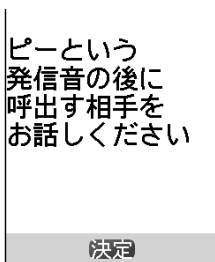
音声で電話帳を呼び出して、電話をかけることやメールを作成することができます。

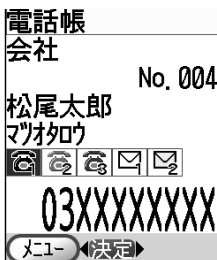
● あらかじめ電話帳をボイスダイヤルに登録しておく必要があります。→P198

● 周囲の雑音が大きい場合は、「入力された音声は認識できませんでした」と表示されます。なるべく静かな場所で呼び出しを行ってください。

● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184

1 待受画面で電話帳を1秒以上押す

ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください
決定

2 決定 ▶ FOMA端末を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスダイヤルに登録された単語の読み（→P199）を話す

電話帳
会社
No. 004
松尾太郎
ﾏﾂｵﾀﾛｳ
03XXXXXXXX
ﾒﾆｭｰ 決定

単語の読みに該当する電話帳が表示されます。

● 目的の電話帳が表示されなかった場合などは、決定を押すと待受画面に戻ります。操作1からやり直してください。

● 該当する電話帳がない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。

次ページへ続く

3 を押す

- テレビ電話をかける場合はテレビ電話を押します。
- 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかける場合は、を押して電話番号を選択▶またはテレビ電話を押します。

お知らせ

- 発信方法を選択して電話をかけることもできます。→P130
- iモードメール、ショートメッセージ（SMS）を送信することもできます。→P319、P384

音声で呼び出す機能の単語を登録します<ボイスメニュー登録>

各機能を音声で呼び出せるように呼出辞書データとして登録することができます。

- 最大50件登録できます。
- お買い上げ時は、あらかじめ15件の機能が登録されています。
- メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
- 1つの機能に対して複数の単語を登録することはできません。
- 複数の機能に対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「7 音声呼出しを登録する」▶「2 音声で呼出す機能を登録する」を押す

機能呼出し用の
単語登録状況

登録数 15件
残り 35件

決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

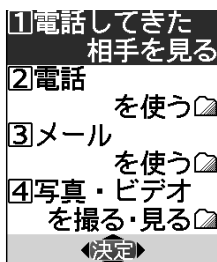
新規登録

音声電話の
着信音を選ぶ
電話を受けた時
の音量を調節する
伝言メモ
を再生する

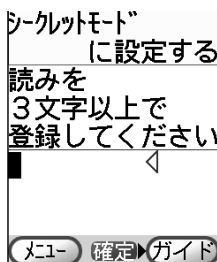
決定

登録されている機能の一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

1電話してきた相手を見る
2電話を使う
3メール を使う
4写真・ビデオを撮る･見る
決定

登録可能な機能一覧が表示されます。

4 登録する機能を選択▶決定を押す

ｼｰｸﾚｯﾄﾓｰﾄﾞに設定する
読みを３文字以上で登録してください
メニュー 確定 ガイド

<シークレットモードを選択した場合>

- が付いている機能を選択して決定を押すと、次の階層が表示されます。
- 登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと機能の一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力▶決定を押す

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 半角カタカナで入力できます。
- 3～10文字入力できます。
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みが既に登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。

6 決定を押す

機能の一覧に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P558
- 読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
  - 一文字目が「ン」「ー」「ァ」「ィ」「ゥ」「ェ」「ォ」「ャ」「ュ」「ョ」「ッ」「ﾞ」「ﾟ」
  - 認識しにくい文字
    〈例〉「ツー」「ンン」「ンー」「ンッ」「ーー」「ーッ」など
  - 空白（スペース）
- ボイスメニューに登録された単語（呼出辞書データ）は、設定リセットで削除されます。また、編集した単語はお買い上げ時の状態に戻ります。→P479

次ページへ続く

● お買い上げ時は次の機能が登録（呼出辞書データ）されています。

呼び出す機能名	単語の読み
音声電話の着信音を選ぶ	オンセイ
電話を受けた時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
届いているメール･メッセージを受信する	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真のアルバムを見る	シャシンアルバム
ビデオのアルバムを見る	ビデオアルバム
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

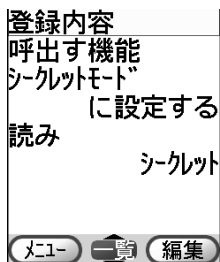
登録した内容を確認します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→ P202

2 確認する機能を選択 ▶ 決定 を押す

● 決定 を押すと機能の一覧に戻ります。
● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→ P202

2 単語を修正する機能を選択 ▶ 電話帳 を押す

読みの入力画面が表示されます。

3 単語の読みを修正する

●操作方法→ P203

お知らせ

●登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

登録した内容を削除します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→ P202

2 削除する機能を選択 ▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3「1 削除する」を押す

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定 を押す

機能の一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

音声で機能を呼び出します <ボイスメニュー>

音声で機能を呼び出して、操作することができます。

- あらかじめ機能をボイスメニューに登録しておく必要があります。→P202
- 周囲の雑音が大きい場合は、「入力された音声は認識できませんでした」と表示されます。なるべく静かな場所で呼び出しを行ってください。
- 個人の情報表示を制限しているときに利用できない機能は、音声で呼び出すこともできません。→P184
- 履歴の表示を制限しているときには、着信履歴(→P71)、伝言メモ(→P81)を呼び出すことはできません。→P186

1 待受画面で メニュー を1秒以上押す

ピーという
発信音の後に
呼出す機能を
お話しください

決定

2 決定 ▶ FOMA端末を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスメニューに登録された単語の読み(→P203)を話す

単語の読みに該当する機能が表示されます。

- 目的の機能が表示されなかった場合は、終話キーを押して操作1からやり直してください。
- 該当するデータがない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。

機能の説明やメールの内容などを音声で読み上げます

メニュー画面やサイト画面などの音声読み上げを行う画面を表示したとき、機能や項目の説明などを自動または手動で読み上げるように設定することができます。また、読み上げる声質や速さ、音量を設定することもできます。
自動で音声読み上げを行うように設定すると、次の項目などを読み上げます。

日付・時刻・曜日、新着情報（→ P27）※1※2	リダイヤルや着信履歴の内容
各機能の設定画面や編集画面などの説明	メニュー画面やサブメニューの各機能説明
伝言メモの履歴	サイト表示中の内容
待受中にダイヤルボタンを押して入力した数字	電話帳の内容や操作方法
メールやメッセージ R/F の内容	留守番電話サービスセンターにメッセージがあるとき
充電が完了したとき	文字入力モードを切り替えたとき
絵文字を選択したとき	オールロックやドライブモードなどの制限機能設定中のお知らせ※1
電卓の操作内容	

※1：（ボタン）を押すと読み上げます。
※2：日付・時刻の設定が必要です。→ P46

- 次の場合は音声読み上げを行いません。
  - マナーモードを設定中
  - 発信や着信、通話中など、電話の機能を使用中
- メールやサイトの内容、電話帳の内容などは、正しく読み上げないことがあります。
  読み上げのルール→ P211

音声読み上げを設定します＜音声読み上げ設定＞

お買い上げ時　動作：なし　声質：女声　速さ：2　音量：4

音声読み上げの動作や声質、読み上げの速さを変更できます。また、読み上げる声の大きさを調節できます。→ P24

- マナーモードを設定中は、解除してから本機能の設定を行ってください。
  → P160

次ページへ続く

1 待受画面で［メニュー］▶「8 初めに行う設定」▶「6 音声読み上げを使う」▶「1 音声読み上げを設定する」を押す

音声読み上げを
設定してください
1動作　なし
2声質　女声
3速さ　2
4音量　4
変更　完了

項　目	説　明
1 動作	読み上げの動作（自動／手動）を設定します。また、読み上げを行わないように解除することもできます。
2 声質	読み上げを行うときの声質（女声／男声）を設定します。
3 速さ	読み上げを行うときの速さを、1（低速）～ 5（高速）の 5 段階で設定できます。
4 音量	読み上げを行うときの音量を、音量 1（最小）～音量 6（最大）の 6 段階で調節できます。

2 「1 動作」を押す

読み上げる動作を
選んでください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
決定

「1 自動で読み上げ」：読み上げる画面で自動的に読み上げを行います。
「2 手動で読み上げ」：読み上げる画面で［読み上げ］を押すと読み上げを行います。
「3 読み上げなし」　：読み上げを行いません。

3 「1 自動で読み上げ」～「3 読み上げなし」のいずれか 1 つの番号を押す

読み上げる声質を
選んでください
1女性の声
2男性の声
決定

●「3 読み上げなし」：操作 7 に進みます。

4
「1 女性の声」または「2 男性の声」を押す

5 速さを設定▶決定を押す

● を押して速さを設定します。

6 または（音量 大・小）を押して音量を調節▶決定を押す

音声読み上げの設定画面に戻ります。

●操作方法→ P74

7 電話帳を押す

読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

●「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げを行う画面にが表示されます。待受画面を表示中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイにが表示されます。読み上げ中は点滅します。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいる場合は、を1秒以上押すと次の項目などを読み上げます。
  - 日付・時刻、曜日
    （日付・時刻が未設定の場合は、時計が設定されていない旨をお知らせします）
  - 新着情報
  - ドライブモード設定中のお知らせ
- FOMA端末を折り畳んでを1秒以上押して読み上げを行う場合、以外のサイドボタンを同時に押さないようにしてください。読み上げない場合があります。
- 読み上げを途中で停止したいときは、読み上げ中に、戻る、を押します。ただし、表示している画面や選択している項目により、読み上げが停止しない場合があります。読み上げを停止中にを押すと、はじめから読み上げます。
- 読み上げ中に（音量 大・小）を押すと、音声読み上げの音量を調節できます。
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、音声読み上げの送出先の設定（→下記）に関わらず、イヤホンからのみ音声が聞こえます。
- 本機能を「自動で読み上げ」に設定して、iモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していても、メールやメッセージR/Fは読み上げられずメロディが演奏されます。メロディ演奏後にを押すと、読み上げが開始されます。→P290、P382
- 本機能の「動作」とボタン確認音の設定（→P156）により、待受画面でボタンを押したときの読み上げとボタン確認音の動作は次のようになります。

動作の設定／ボタン確認音の設定	自動で読み上げ	手動で読み上げ／読み上げなし
鳴らす	0 〜 9、*、# は読み上げます。その他のボタンは確認音が鳴ります。	確認音が鳴ります。
鳴らさない	0 〜 9、*、# は読み上げます。	—

音声読み上げの送出先を切り替えます<スピーカー／受話口切替>

お買い上げ時 スピーカー

読み上げの音声を、スピーカーと受話口のどちらから送出するかを設定します。

- 音声送出先を「スピーカー」に設定すると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「6 音声読み上げを使う」▶「3 スピーカー／受話口の切替を行う」を押す

読み上げの
音声送出先を
選んでください
1スピーカー
2受話口
決定

「1 スピーカー」：音声の送出先をスピーカーにします。
「2 受話口」　：音声の送出先を受話口にします。

2 「1 スピーカー」または「2 受話口」を押す

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

音声読み上げのルールについて

メールやサイト、電話帳などの内容は、おおむね次の規則に基づいて読み上げられます。希望のとおりに読み上げが行われない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→P215

※音声読み上げ辞書に登録されている単語を別の読みかたで登録した場合は、登録した読みかたが優先されます。

● 音声読み上げの開始時、または音声読み上げ時に次のようなことが起こると、読み上げを停止します。

- 音声電話／テレビ電話がかかってきたとき
- データ通信を行ったとき
- 外部機器にデータを送信したとき
- FOMA端末を折り畳んだとき
- 電池残量を音で確認したとき
- 電池残量警告音が鳴ったとき
- 目覚ましが起動したとき
- を押したとき
- 表示中の画面で停止操作が可能なボタン（、戻る、）を押したとき※

※：サイト画面を表示している場合、、またはを1秒以上押して読み上げ動作を行ったときは、（音量 大・小）以外の任意のボタンを押したり、やを1秒以上押して連続スクロールをしても読み上げが停止します。
ただし、表示しているサイトや項目によっては読み上げを停止しない場合があります。

次ページへ続く

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
数字	●数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。 ※先頭に「0」がある場合は桁読みしません。 〈例〉12345：イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴ
英字	●読み上げ辞書に従って読み上げます。 〈例〉i － mode：アイモード ●読み上げ辞書に登録されていない英字の文字列は、次のように読み上げます。 • 英字文字列が3文字以下 〈例〉abc：エービーシー • 英字文字列が4文字以上 すべてローマ字と判定できる場合はローマ字読みで読み上げます。 〈例〉yamamoto：ヤマモト すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。 〈例〉yyyyy：ワイワイワイワイワイ
記号・絵文字	●一部の記号のみ読み上げます。 ●絵文字を読み上げます。 • 絵文字の読み上げ→ P599 ●メールなどで使われる「(ˆ ˆ)」のような顔文字の一部を読み上げます。 〈例〉(ˆ ˆ)　：ニコ (;　;)　：シクシク (ˆ _ ˆ)/~~~　：バイバイ (ˆ _ ˆ)V　：ピースなど ●同一の記号・絵文字が3つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。 該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。 〆（）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％ ＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆ ⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡　√∽∝∵∫∬Å‰♯ ♭♪†‡¶∮Σ∟⊿ 〈例〉※※※：サンコノ　コメジルシ　マーク
日付	●数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。 ※下記の形式以外の場合は日付として読み上げません。 〈例〉2004／9／29（または2004.9.29）： ニセンヨネン　クガツ　ニジュークニチ 4／9／29（または4.9.29）： ヨネン　クガツ　ニジュークニチ 9／29：クガツ　ニジュークニチ H16／9／29： ヘーセージューロクネン　クガツ　ニジュークニチ S45／1／1： ショウワヨンジュウゴネン　イチガツ　ツイタチ T10／1／1： タイショウジューネン　イチガツ　ツイタチ M10／1／1： メージジューネン　イチガツ　ツイタチ

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
時刻	●数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。 ※下記の形式以外の場合は時刻として読み上げません。 〈例〉9：30（または09：30）： クジ　サンジュップン AM11：30（または11：30AM）： ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン PM11：30（または11：30PM）： ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン 23：30： ニジューサンジ　サンジュップン 9：30：30： クジ　サンジュップン　サンジュービョウ
返信、転送	●「Re：」「Re ＞」「Re［2］：」「Re［2］＞」「Re ＊ 2：」「Re ＊ 2 ＞」「Re^2：」「Re^2 ＞」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。 これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。 ●「Fw：」「Fw ＞」「Fw［2］：」「Fw［2］＞」「Fw ＊ 2：」「Fw ＊ 2 ＞」「Fw^2：」「Fw^2 ＞」はすべて「テンソウ」と読み上げます。 これらが連続する場合は、「テンソウ」と一回のみ読み上げます。 ●「ヘンシン」と「テンソウ」が混ざって複数個連続する場合は、次のように読み上げます。 〈例〉Re：Fw：Fw：Re：Re：Re： ヘンシン　テンソウ　ヘンシン
サイト内の項目	●リンク項目は設定している声質と別の声質で読み上げます。 ●ダイレクトキーは「キー×××」と読み上げます。 ●ラジオボタン は「ボタンオン」、 は「ボタンオフ」と読み上げます。 ●チェックボックス は「チェックアリ」、 は「チェックナシ」と読み上げます。 ●プルダウンメニューは「×コノセンタクシ」のあと、選択されている項目を読み上げます。 ●文字入力枠は「モジニュウリョク」と読み上げます。文字が入力されている場合は、入力されている文字も読み上げます。 ●パスワード入力枠が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニュウリョクスミ」と読み上げます。 ●ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。 ●サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。 ●サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。 ●サイトの内容を表示中に を押すと、選択している項目を読み上げます。また、 を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。選択している項目より前は読み上げません。 ●サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。 ●サイトのリンク情報以外の項目を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。 ●サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。

次ページへ続く

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
その他	●文章の内容や記載内容（特に地名や固有名詞など）により、読み上げが行われない場合や、正しく読み上げが行われない場合があります。希望のとおりに読み上げが行われない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→P215 ●「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合や、ひらがなの「は」が先頭にある場合は、読みかたを誤る場合があります。 〈例〉はんどる　：ワンドル 　　ふるはうす：フルワウス ●読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。 ●句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。 ●1つ目の「↵」（改行マーク）を入力して改行し、2つ目を続けて次の行に入力して1行空いている場合、2つ目の位置で読み上げを区切ります。「↵」（改行マーク）を入力して改行し、次の行に続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。 ●漢字を使用した場合、正しく読み上げが行われない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。 • 句読点を多めに使ってメールを作成してください。 • 読みが難しい漢字はカタカナにしてください。 • カタカナを使う時には長音（「ー」）を多用してください。 ●電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。 ●フリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、正しく読める場合があります。 ●メールやサイトの内容を読み上げ中に（メールキー）または（カメラキー）を押すと、読み上げが一時停止する場合があります。 ●写真や動画、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。 例）１２３４５：イチニサンヨンゴ

音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します<音声読み上げ単語登録>

よく使う単語の読みかたを音声読み上げ辞書に読上辞書データとして単語を登録し、読み上げが行われるすべての場面で、登録した「読み」で読み上げられるようにします。
たとえば、お買い上げ時は「五十嶺」を「ゴジュウミネ」と読み上げられますが、読み上げ辞書に登録することで正しく「イソミネ」と読み上げられます。

- 最大50件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「8 初めに行う設定」▶「6 音声読み上げを使う」▶「2 音声読み上げ用の単語を登録する」を押す

音声読み上げ用の
単語登録状況

登録数　0件
残り　50件

決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

決定

単語が登録されている場合は、登録した単語の一覧が表示されます。

- 一覧は区点コードの順に表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

単語を
入力してください

メニュー　確定　ガイド

次ページへ続く

4 単語を入力▶ 決定 を押す

読みの入力画面が表示されます。

- ひらがな／漢字入力モードでのみ入力できます。全角の英数字や記号を入力する場合は、付録の「記号・特殊文字入力一覧」をご覧ください。→ P593
- 全角で最大 6 文字入力できます。

5 読みを入力▶ 決定 を押す

音声読み上げ用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 半角カタカナを入力できます。
- 最大 12 文字入力できます。

6 決定 を押す

単語の一覧に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 読みの登録時に長音（「ー」）を使用すると、正しく読める場合があります。
- 読みの入力で「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を正しく入力していない場合や、先頭に「ッ」や「ー」、空白（スペース）を入力した場合は、単語を登録できません。
- 音声読み上げ単語登録で登録された単語（読上辞書データ）は、設定リセットで削除されます。→ P479
- 文字入力のしかた→ P558

登録した内容を確認します

登録した読み上げ用の単語と読みを確認します。

1 単語の一覧を表示する

- 操作方法→ P215
- 一覧は区点コードの順に表示されます。

2 確認する単語を選択▶ 決定 を押す

- 決定 を押すと単語の一覧に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 区点コード一覧→ P595

登録した内容を修正します

1 単語の一覧を表示する

- 操作方法→ P215
- 一覧は区点コードの順に表示されます。

2 修正する単語を選択▶ 電話帳 を押す

単語の入力画面が表示されます。

3 単語と読みを修正する

- 操作方法→ P216

お知らせ

- 登録内容の確認画面からも同様に操作できます。
- 区点コード一覧→ P595

登録した内容を削除します

1 単語の一覧を表示する

- 操作方法→ P215
- 一覧は区点コードの順に表示されます。

2 削除する単語を選択▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す

選択した単語を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

決定

3 「1 削除する」を押す

音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 を押す

単語の一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

● 区点コード一覧→ P595

カメラ

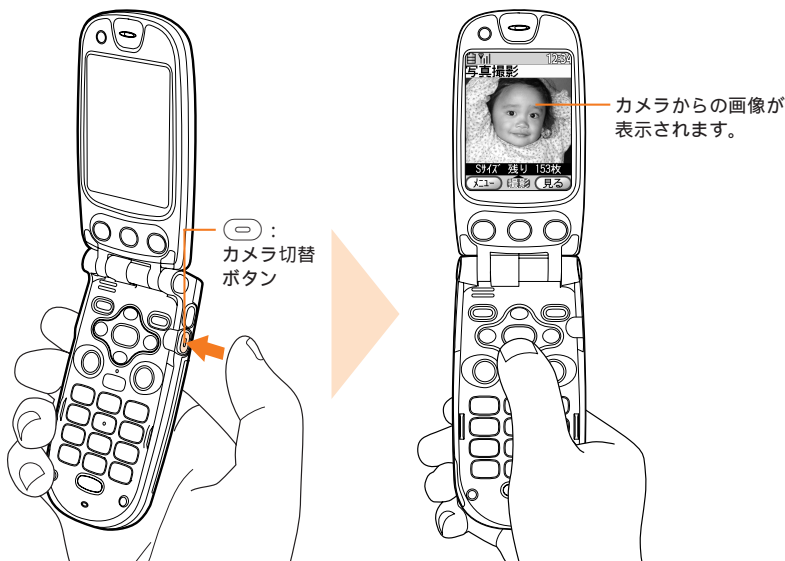
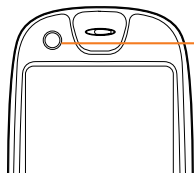
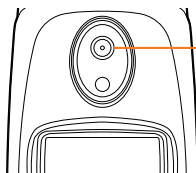
カメラをご使用になる前に

撮影して保存した静止画や動画でこんなこともできます

カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

● ｉモードメールに添付して送信→ P430、P443
● 待受画面に設定→ P431
● データ転送で送信→ P605

カメラのご使用について

カメラで撮影するときは、FOMA 端末を開いて待受画面を表示させ、カメラ切替ボタン（(📷)）を押してカメラを起動します。カメラを起動すると、ディスプレイには外側カメラからの画像が表示されます。

内側カメラと外側カメラを使って写真やビデオを撮影することができます。

内側カメラ
- 内側カメラでは、自画像は鏡像表示されます。撮影後に保存した静止画や動画は、正像となります。

外側カメラ

● カメラ画素数→ P604

お知らせ

- カメラを起動中に、FOMA端末を開いた状態のまま約5分間何も操作をしなかった場合は、カメラを終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。決定を押すと待受画面に戻ります。
- カメラを起動したままFOMA端末を折り畳んでもカメラは終了しません。次に端末を開いたときには撮影画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 外側カメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- 決定を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、決定を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、決定を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 暗い場所で写真撮影画面を表示すると、露光時間が自動的に長くなるため、ディスプレイの表示の更新がスムーズでない場合があります。
- 動画撮影の際、手ぶれをおこしたり、動きの激しいものを撮影したりすると、画像が乱れることがあります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりするドットや線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、若干粗く見えたり、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いた後で撮影したり、画像を保存したりすると、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画面が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがありますが、「明るさの調節」の設定を変更することにより、ちらつきを軽減できる場合があります。→P233
  また、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが異なることがあります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して録画や録音などされたもの並びにサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画データ）やビデオ（動画データ）の保存形式は次のとおりです。

静止画データ

項　目	説　明
データ形式	JPEG
画像サイズ	Sサイズ（176×144）、待受（240×320）、 Mサイズ（352×288）、Lサイズ（640×480）
拡張子	.jpg
データ名	撮影日時により自動設定 （例）2004年9月29日12時34分に撮影した場合 →「200409291234」 日付・時刻が設定されていない場合 →「------------」
最大保存件数	200件 ●データサイズや他の静止画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

動画データ

項　目	説　明
データ形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR
画像サイズ	176×144（QCIF）
拡張子	.3gp
データ名	撮影日時により自動設定 （例）2004年9月29日12時34分に撮影した場合 動画→「200409291234」 音声→「音声09291234」 日付・時刻が設定されていない場合 →「------------」
データサイズの制限	メール添付、300Kバイト
最大保存件数	50件 • データサイズや他の動画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

写真を撮影します<写真撮影>

さまざまな撮影方法を選択して静止画を撮影します。

● 通話中および音声録音中は写真を撮影できません。

● 外側カメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。

● 撮影（保存）可能な枚数は、「写真の大きさ」の設定（→P232）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる枚数の目安は次のとおりです。

写真の大きさ	Sサイズ（176×144）	待受（240×320）	Mサイズ（352×288）	Lサイズ（640×480）
枚数	約200（枚）	約200（枚）	約200（枚）	約152（枚）

•「アイテム」フォルダに保存されているフレームやスタンプなども枚数に含まれます。

• 残り枚数を確認できます。→P440

1 待受画面で（📷）を押す

写真撮影画面が表示されます。

着信ランプは緑色で2秒間隔で点滅します。

● メニュー：撮影時の設定ができます。→P228

● 電話帳：「撮影した写真」フォルダに保存されている撮影済みの写真を見ることができます。→P428

写真の大きさと撮影（保存）できる残りの枚数が表示されます。

次ページへ続く

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影した
写真の操作を
選んでください
1保存する
2メールで送る
3待受画面に貼る
4撮りなおす
決定 確認

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して静止画が撮影され、左の画面が表示されます。

● 電話帳：撮影した写真を確認できます。

項　目	説　明
1 保存する	撮影した写真を保存します。
2 メールで送る	撮影した写真を保存した後に、iモードメールに添付します。→P317 •「写真の大きさ」が「Sサイズ」以外のときは選択できません。→P232
3 待受画面に貼る	撮影した写真を保存した後に、待受画面に設定します。→P161
4 撮りなおす	撮影した写真を保存せずに撮り直します。

3 「1 保存する」を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

写真撮影画面に戻ります。

●「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」フォルダに保存されます。→P428

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。→P36

● 設定によっては、撮影した写真を保存するのに時間がかかる場合があります。

セルフタイマーを使って撮影します<セルフタイマー>

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で静止画を撮影します。

1 待受画面で（📷）▶メニュー▶「5 セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→P228
- 電話帳：「撮影した写真」フォルダに保存されている撮影済みの写真を見ることができます。→P428
- セルフタイマーを解除するときは再度メニュー▶「5 セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影までの残り秒数が表示されます。

カウント音が鳴り、着信ランプが緑色で点滅します。撮影時間に近づくにつれ、点滅間隔が短くなります。

- 決定：セルフタイマーを途中で中止します。

3 約10秒後に自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して静止画が撮影されます。

- 保存時の操作は通常の写真撮影と同じです。→P224

お知らせ

- セルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末を折り畳むと、その時点でカウントダウンおよび撮影が中止されます。

カメラ
写真撮影

ビデオを撮影します<ビデオ撮影>

さまざまな撮影方法を選択して動画を撮影します。また、動画と一緒に音声を録音します。

- 通話中および音声録音中は動画を撮影できません。
- 外側カメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
- 撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 撮影（保存）可能な時間は「サイズを制限」「画質の設定」の設定（→P233、P236）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる時間の目安は次のとおりです。

項　目	画質の設定	サイズの制限	
		メール添付	300Kバイト
1回あたりの撮影時間	長時間	約29(秒)	約90(秒)
	標準の画質	約14(秒)	約45(秒)
	高品質	約10(秒)	約30(秒)
最大録画時間（最大保存件数50件）	長時間	約40(分)	約40(分)
	標準の画質	約19(分)	約20(分)
	高品質	約13(分)	約13(分)

1 待受画面で（カメラ）▶ メニュー ▶「1 ビデオを撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。

着信ランプは緑色で3秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→P228
- 電話帳：「撮影したビデオ」フォルダに保存されている撮影済みの動画を見ることができます。→P441

撮影（保存）できる残り時間の目安が表示されます。

2 被写体にカメラを向けて 決定 を押す

撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプは赤色で3秒間隔で点滅します。

- 撮影終了までの時間の目安が00:00:00になると、撮影が自動的に終了して操作4の画面が表示されます。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

3 決定を押す

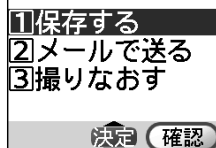
確認音が鳴り撮影が休止します。

●決定：撮影が再開されます。

4 メニューを押す

撮影した
ビデオの操作を
選んでください

1保存する
2メールで送る
3撮りなおす

決定 確認

終了確認音が鳴り、撮影が終了して左の画面が表示されます。終了した時点までのビデオが保存対象となります。

●電話帳：撮影したビデオを確認できます。

項　目	説　明
1 保存する	撮影したビデオを保存します。
2 メールで送る	撮影したビデオを保存した後に、ｉモードメールに添付します。 • 撮影したビデオが、メールに添付できるサイズを超えているときは選択できません。
3 撮りなおす	撮影したビデオを保存せずに撮り直します。

5 「1 保存する」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。
→P441

●を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の動画を削除します。→P36
- ビデオ撮影画面上の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。撮影するビデオにより誤差が生じます。
- サイズ制限を「300Kバイト」に設定して撮影しても、撮影するビデオによっては300Kバイトに到達しない場合があります。
- 撮影中に充電を開始すると、設定によっては充電の開始を知らせる音が録音されます。→P157
- 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影中（一時停止中を含む）に電話がかかってきたり、FOMA端末を折り畳んだりすると、その時点で撮影が中止されます。その後に電話を切ったり、FOMA端末を開くと、撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されます。
- 撮影中に目覚ましの設定時刻になった場合、その時点で撮影が中止されアラーム音が鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されますが、撮影したビデオの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、それまで撮影していたデータは、「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されますが、撮影したデータの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をします

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
ズームします	P229	明るさを調節します※	P233
撮影モードを切り替えます	P229	色の濃さを調節します※	P234
外側と内側のカメラを切り替えます	P230	撮影日時の記録方法を設定します※	P235
フレームを付けて撮影します	P230	ビデオの画質を設定します※	P236
写真の大きさを設定します※	P232	シャッター音を設定します※	P237
ビデオのデータサイズを設定します※	P233	ディスプレイの照明を設定します※	P238

※：撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームします

●撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。
●撮影する画像サイズによって変更できる表示倍率は次のとおりです。

設定可：○　設定不可：－

カメラ切り替え	画像サイズ	ズーム倍率		
		1倍	2倍	3倍
外側カメラ	Sサイズ（176×144）	○	○	○
	待受（240×320）	○	－	－
	Mサイズ（352×288）	○	－	－
	Lサイズ（640×480）	○	－	－
内側カメラ	Sサイズ（176×144）	○	○	－
	Mサイズ（352×288）	○	－	－

• ビデオ撮影時は、Sサイズ（176×144）固定になります。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で または （音量 大・小）を押し、ズーム倍率を変更する

現在の倍率が表示されます。

●しばらくするとズームが設定され、写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

撮影モードを切り替えます

写真撮影とビデオ撮影を切り替えます。

1 写真撮影画面でメニュー▶「1 ビデオを撮影」を押す

撮影モードが切り替わります。

●ビデオ撮影画面から操作する場合は、メニュー▶「1 写真を撮影」を押します。

外側と内側のカメラを切り替えます

撮影に使用するカメラを外側カメラと内側カメラで切り替えます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で ( ) ( ) を押す

切り替えたカメラからの画像が表示されます。

● ( )( )を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

お知らせ

● ズームを使用しているときに、カメラの切り替えを行うとズームが自動的に解除されます。
● 外側カメラで「写真の大きさ」を「待受（240×320）」または「Lサイズ（640×480）」に設定しているときに内側カメラに切り替えた場合は、自動的に「Mサイズ（352×288）」に変更されます。

フレームを付けて撮影します<フレーム選択>

FOMA 端末に保存されているフレーム用の静止画を付けて撮影します。

● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「2 フレームを選ぶ」を押す

フレームの番号／フレーム件数

● 電話帳：撮影中の画面とフレームを重ねて表示して を押すと、フレームが切り替わります。

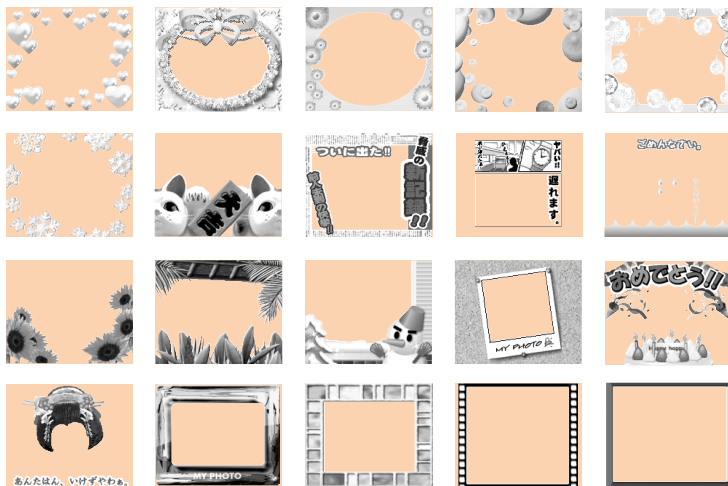
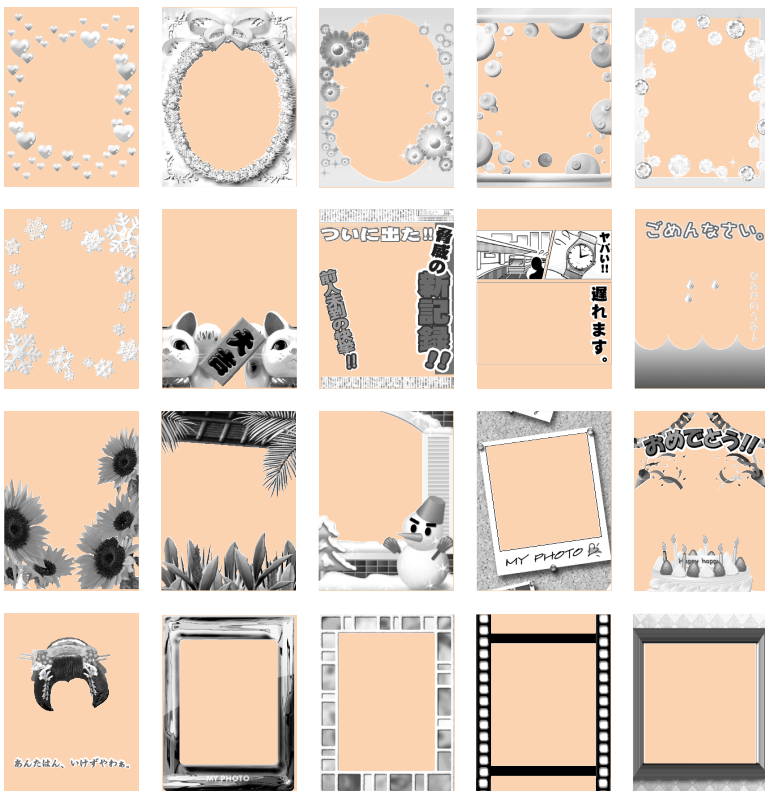
● 付けたフレームを外す場合は、メニュー ▶「3 フレームを外す」を押します。

2 フレームを選択 ▶ 決定 を押す

フレームが設定されます。

お知らせ

- フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のフレームは、「写真の大きさ」を「Sサイズ(176×144)」、「待受（240 × 320）」に設定したときに利用できます。

< 176 × 144 ドットサイズ >

< 240 × 320 ドットサイズ >

写真の大きさを設定します<写真サイズ>

お買い上げ時 Sサイズ（176×144）

撮影する写真の大きさを設定します。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。
- 写真を撮影した直後に表示される画面からメールを送る場合は、「Sサイズ（176×144）」に設定します。→P223

1 写真撮影画面でメニュー▶「6 写真の大きさ」を押す

撮影する写真の
大きさを
選んでください

1 Sサイズ（176x144）
2 待受　（240x320）
3 Mサイズ（352x288）
4 Lサイズ（640x480）
決定

画像サイズ	説　明
1 Sサイズ（176×144）	iモードメールでiモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
2 待受（240×320）	待受画面に設定するのに適したサイズです。
3 Mサイズ（352×288）	パソコンなどで表示するのに適したサイズです。
4 Lサイズ（640×480）	パソコンなどで表示するのに適したサイズです。

2 「1 Sサイズ（176×144）」〜「4 Lサイズ（640×480）」のいずれか1つの番号を押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 「Sサイズ（176×144）」以外の大きさで撮影した写真も、iモードメールに添付して送信できます。→P430

ビデオのデータサイズを設定します<ビデオサイズ>

お買い上げ時 メール添付

撮影するビデオのデータサイズを設定します。
●ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「5 サイズを制限」を押す

撮影するビデオのサイズ制限を選んでください
1メール添付
2300Kバイト
決定

データサイズ	説　明
1 メール添付	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信するときに設定します。
2 300Kバイト	「メール添付」よりも長時間撮影するときに設定します。 • 撮影後のデータサイズが100Kバイト以下ならiモードメールに添付できます。

2 「1 メール添付」または「2 300Kバイト」を押す

サイズ制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

明るさを調節します<明るさ調節>

お買い上げ時 ±0

撮影時の明るさを調節します。
●5段階で調節できます。
●撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「7 詳細を設定」▶「1 明るさの調節」を押す

現在の明るさが表示されます。

●ビデオ撮影画面から操作する場合は、(メニュー)▶「6 詳細を設定」▶「1 明るさの調節」を押します。

カメラ　撮影時の設定をします

次ページへ続く

2 [↑][↓]または[音量キー](音量 大・小)を押し、明るさを調節▶決定を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 撮影画像によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

色の濃さを調節します<色の濃さ調節>

お買い上げ時	± 0

撮影時の色の濃さを調節します。

● 5 段階で調節できます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面でメニュー▶「7 詳細を設定」▶「2 色の濃さの調節」を押す

現在の色の濃さが表示されます。

● ビデオ撮影画面から操作する場合は、メニュー▶「6 詳細を設定」▶「2 色の濃さの調節」を押します。

2 [↑][↓]または[音量キー](音量 大・小)を押し、色の濃さを調節▶決定を押す

色の濃さを調節した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 撮影画像によっては、色の濃さを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

撮影日時の記録方法を設定します＜撮影日時記録設定＞

お買い上げ時 表示しない

保存する写真に記録される撮影日時を設定します。保存後の写真を表示すると、画面右下に撮影日時が表示されます。

●記録された日付と時間は、変更や消去することはできません。

＜「日付と時間」に設定したとき＞

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「7 詳細を設定」▶「3 撮影日時の記録」を押す

撮影日時の記録を選んでください
1日付と時間
2日付のみ
3表示しない
決定

項　目	説　明
1 日付と時間	保存する写真に日付と時間が記録されます。 （例）2004年9月29日12時34分に撮影した場合 →「2004/09/29 12:34」
2 日付のみ	保存する写真に日付が記録されます。 （例）2004年9月29日に撮影した場合 →「2004/09/29」
3 表示しない	保存する写真に日付と時間が記録されません。

2 「1 日付と時間」～「3 表示しない」のいずれか1つの番号を押す

撮影日時の表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

写真撮影画面に戻ります。

ビデオの画質を設定します<画質設定>

お買い上げ時　標準の画質

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。
●撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で メニュー ▶「6 詳細を設定」▶「3 画質の設定」を押す

撮影するビデオの
画質を
選んでください

1長時間
2標準の画質
3高画質

決定

項　目	説　明
1 長時間	長時間撮影するときに設定します。 • 画質は「標準の画質」より悪くなります。
2 標準の画質	標準の画質で撮影するときに設定します。
3 高画質	最も良い画質で撮影するときに設定します。 • 撮影時間は最も短くなります。

2 「1 長時間」～「3 高画質」のいずれか 1 つの番号を押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

●画質によって撮影可能な時間が異なります。→ P226

シャッター音を設定します<シャッター音設定>

お買い上げ時　標準

撮影時のシャッター音を設定します。

●撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

1 **写真撮影画面で[メニュー]▶「7 詳細を設定」▶「4 シャッター音の設定」を押す**

シャッター音を
選んでください
1標準
2ファニー
3メタル
4チャイム
5スピード
決定　再生

●ビデオ撮影画面から操作する場合は、[メニュー]▶「6 詳細を設定」▶「4 シャッター音の設定」を押します。「1 標準」「2 コミカル」「3 メタル」「4 チャイム」「5 スピード」から選択できます。

●[電話帳]：シャッター音を確認できます。

2 **「1 標準」～「5 スピード」のいずれか1つの番号を押す**

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **[決定]を押す**

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ディスプレイの照明を設定します<照明設定>

お買い上げ時 常灯

撮影時のディスプレイの照明を設定します。

1 写真撮影画面でメニュー▶「7 詳細を設定」▶「5 照明の設定」を押す

照明の設定を
選んでください

1端末設定に従う
2常灯

決定

●ビデオ撮影画面から操作する場合は、メニュー▶「6詳細を設定」▶「5 照明の設定」を押します。

項　目	説　明
1 端末設定に従う	「画面の明るさを設定する」の「照明時間」に従うように設定します。→P165
2 常灯	撮影中は常時点灯するように設定します。

2 「1 端末設定に従う」または「2 常灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ｉモード

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

●サイト（番組）接続

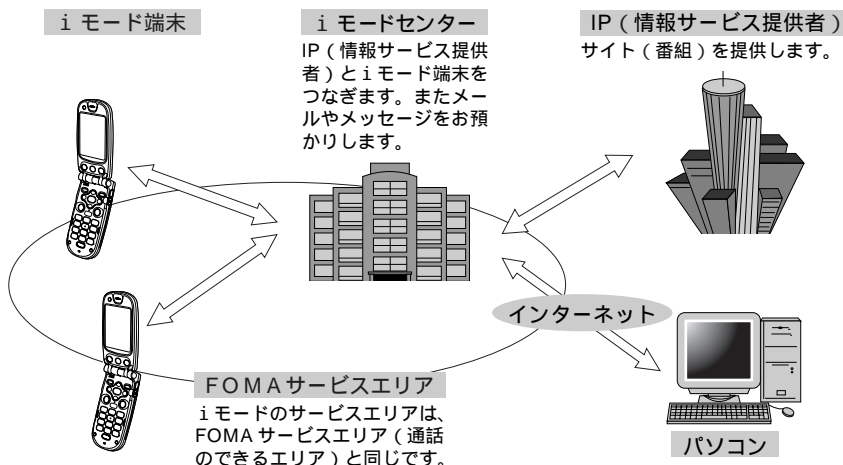
ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。

●インターネット接続

ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

●ｉモードメール

ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。→P305

サービスのしくみ

●ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

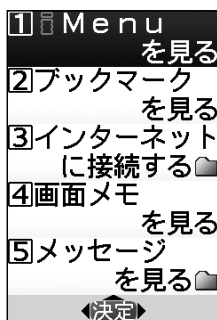
お知らせ

●新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスが利用できます。

●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。

●ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載していません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

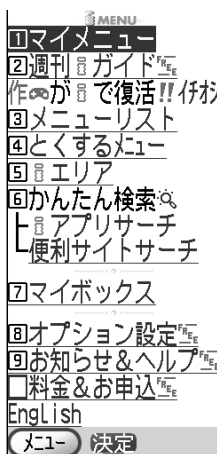
●ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモード画面について

＜全体イメージ＞

メニュー名	機　能
1 ｉ Menu を見る	ｉモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。
2 ブックマークを見る	お気に入りのホームページアドレスをｉモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。
3 インターネットに接続する	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのｉモード対応ホームページに接続することができます。
4 画面メモを見る	ｉモード端末に保存されたｉモードの画面を見ることができます。
5 メッセージを見る	受信したメッセージR/Fのリストを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

＜全体イメージ＞

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉ Menuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

サイトの表示方法→P247

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示方法が異なる場合があります。

次ページへ続く

メニュー名	機　能
マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P255 ｉMenu内の有料サイト等は自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
とくする メニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワードなどで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど、目的別に紹介しているメニューです。
便利サイト サーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスする会員向けのサービスです。
オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ＆ ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申込みができます。
English	ｉ Menu を英語表記に変更できます。

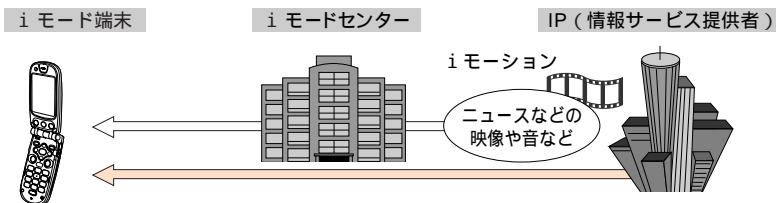
お知らせ

- ●サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- ●IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ●ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外はパケット通信料はかかりません。
- ●デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉ Menu 画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

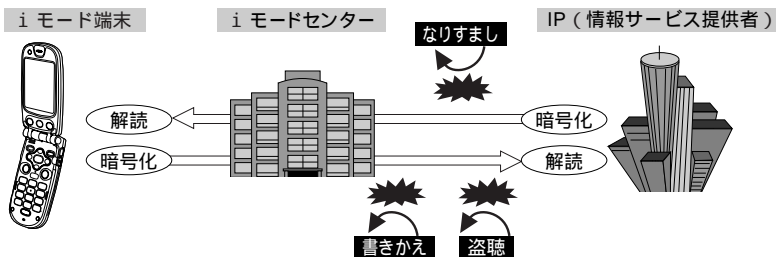
ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生して楽しむことができます。

- ｉモーションを取り込む→ P420
- ｉモーションを再生する→ P441
- ｉモーションの自動再生設定をする→ P425

- ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の２種類があります。

■ SSL 通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き替えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、FirstPassに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。

- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信ができません。
- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→ P284
- FirstPass のユーザ証明書を利用する→ P298

※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

ｉモード
ｉモードとは

次ページへ続く

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードをｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画等のファイルを動作制限します。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONにした場合は取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。→P34

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画からｉモード端末内に保存したデータについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P273

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。→P161、P142

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。

メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージフリーの設定方法→P286
- メッセージサービスの受信方法→P287
- 問い合わせ方法→P291
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

●お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
●ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

●ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問い合わせ（→P291）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申込みが必要な有料サービスです。お申込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージR→P294

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P256
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。
●表示方法→P258

次ページへ続く

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付データ（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

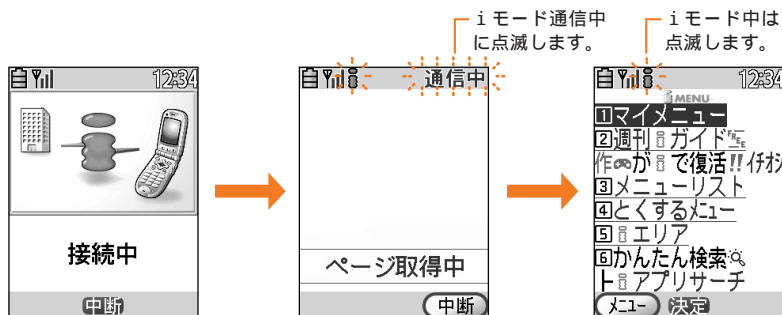
お知らせ

- パソコンをお持ちの場合は、添付のF880iES用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P605

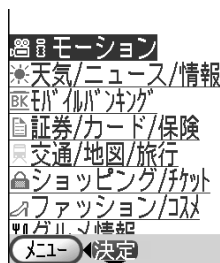
サイトを表示します＜ｉモードメニュー＞

ｉモードに接続して、いろいろなサイトを表示します。

● サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 待受画面で 決定 を1秒以上▶「1 ｉ Menuを見る」を押す

● ｉモード接続中画面で 決定 ：接続が中止されます。
● ページ取得中画面で 電話帳 ：ページの取得が中止されます。

2 「3 メニューリスト」を押す

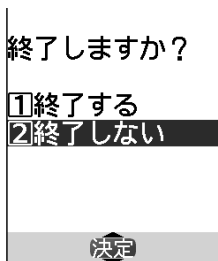
ｉモーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/チケット
ファッション/コスメ
グルメ情報
メニュー
決定

● 1、2 などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のボタンを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

3 見たい項目を選択▶ 決定 を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作3と同じ操作を行います。

次ページへ続く

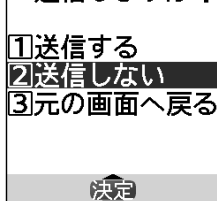
4 サイトを見終わったら[終話キー]を押す

終了しますか？
1終了する
2終了しない
決定

5 「1 終了する」を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示中からｉMenuを表示する場合は、[メニュー]▶「1 ｉMenu」を押して選択して操作します。
- サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→P279
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示されることがあります。

携帯電話情報を
送信しますか？
1送信する
2送信しない
3元の画面へ戻る
決定

・サイトからお客様の携帯電話情報が要求されたときに表示されます。「1 送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - [マーク]：「画像表示・照明を設定する」(→P280) で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - [マーク]：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  - [マーク]：画像のURLの誤りなど画像取得できないとき

SSL対応のページに接続します

SSL対応ページでは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き替えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

- SSL対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→P46
- FirstPass対応のページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります(→P35)。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は接続できません。

SSL対応のページに接続します

SSL対応のページに接続する場合は次の画面が表示されます。

● SSL対応のページが表示されるとディスプレイ上部の（点滅）が（点灯）に変わります。

● 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、メニュー▶「9URL等を確認」▶「2証明書詳細表示」を押します。→P284

SSL対応のページから通常のページに進みます

SSL対応のページから通常のページに進む場合は次の画面が表示されます。

● 「1終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部の（点灯）が（点滅）に変わります。

FirstPass対応のページに接続します

FirstPass対応のページに接続する場合は次の操作が必要になります。

①「1 送信する」▶PIN2コードを入力▶決定を押す

② 決定を押す

次ページへ続く

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1 接続する」、接続を中止するときは「2 接続しない」を押します。
- SSL通信を行うには、接続先とFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P285
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象となります。
- PIN2コード→P177

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

リンク先や項目を選択します

リンク先を表示します

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。

文字にリンク情報があるとき
選択すると反転表示されます。決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

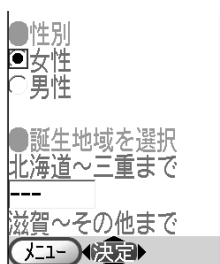
1、2 などの番号付きのリンク項目のとき
番号のボタンを押すとリンク先のサイトが表示されます（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

画像にリンク情報があるとき
選択すると枠で囲まれます。決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

お知らせ

- 読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。

ラジオボタンを選択します

◉（ラジオボタン）は、選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
◉が選択されている状態、○が選択されていない状態です。

を押してラジオボタンを選択▶決定を押す

○が◉に変わります。

iモード

iモードメニュー／サイトの見かたと操作

チェックボックスを選択します

☑(チェックボックス)は、選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。☑が選択されている状態、□が選択されていない状態です。

を押してチェックボックスを選択▶決定を押す

□が☑に変わります。

- 再度☑を選択して決定を押すと□に戻ります。

プルダウンメニューを選択します

プルダウンメニューは、選択肢が隠れた状態で表示されるメニューです。

を押してプルダウンメニューを選択▶決定▶を押してメニュー項目を選択▶決定を押す

お知らせ

- プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶決定を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に電話帳を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

文字を入力します

入力欄を選択して文字を入力します。

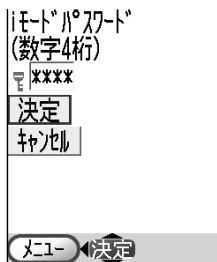
を押して入力欄を選択▶決定▶文字を入力▶決定を押す

- 入力できる文字モードと文字数は、入力欄により異なります。
- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。

お知らせ

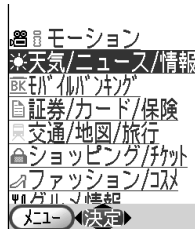
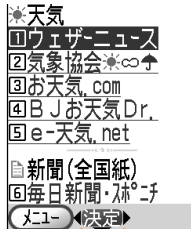
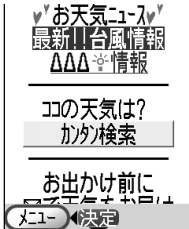
- 文字入力のしかた→P558

ボタンを押します

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

を押してボタンを選択▶決定を押す

- ボタンの名称はサイトにより異なります。

前のページに戻ります・進みます

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これにより前のページに戻したり、次のページに進めたりできます。

前のページに戻れることを示します。

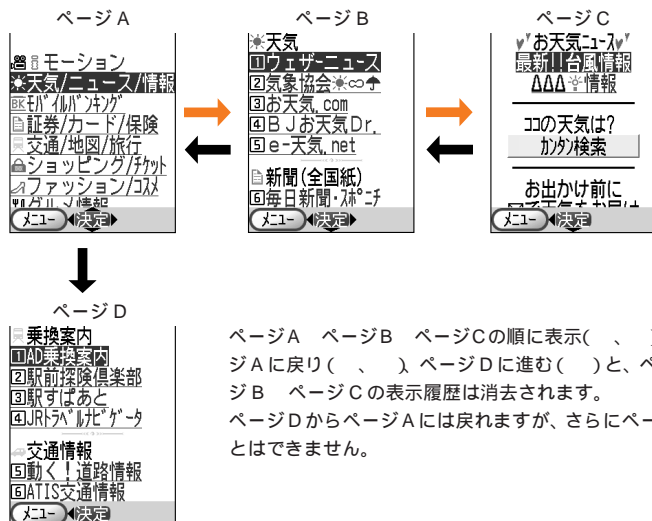
次のページに進めることを示します。

お知らせ

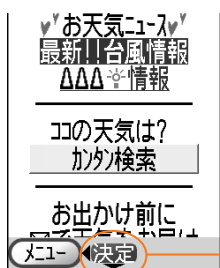
- ページの履歴からURLが削除されたページを再度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、再度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては、履歴にURLが記録されていても通信を行う場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- 次の画面例のように前のページに戻った後で別のページに進むと、古い表示の履歴は消去されます。

⑤

ページ D

乗換案内
1AD乗換案内
2駅前探険倶楽部
3駅すぱあと
4JRﾄﾗﾍﾞﾙﾅﾋﾞｹﾞｰﾀ
交通情報
5動く！道路情報
6ATIS交通情報
ﾒﾆｭｰ
決定

※ ページＡ→ページＢ→ページＣの順に表示（①、②）した後でページＡに戻り（③、④）、ページＤに進む（⑤）と、ページＡ→ページＢ→ページＣの表示履歴は消去されます。
ページＤからページＡには戻れますが、さらにページＢへ戻ることはできません。

画面をスクロールします

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fの内容などを表示中に画面をスクロールします。

● ：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールとなります。
● ：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

情報を再読み込みします

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中にメニュー▶「4 再読込みをする」を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

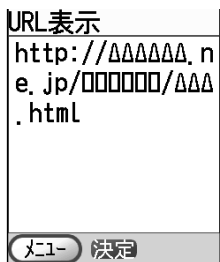
● 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、上記操作で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URLを表示します

表示中のサイトや画面メモのURLを表示します。

〈例〉サイトのURLを表示するとき

1 サイト表示中にメニュー▶「9 URL等を確認」▶「1 URLを表示」を押す

URL表示
http://ΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/□□□□□□/ΔΔΔ.html
メニュー 決定

お知らせ

● URL履歴一覧、ブックマークが一覧で表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は、メニュー▶「URLを表示」を押して操作します。

マイメニューを使います <マイメニュー>

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

●movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。

マイメニューに登録します

●マイメニュー登録にはiモードパスワードが必要です。
●マイメニューに登録できるのはiモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録します。
●マイメニューには最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録したいサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶決定を押す

iモードパスワード入力画面が表示されます。
●各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶決定を押します。

2 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。
●iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択▶決定を押す

サイトがマイメニューに登録されます。
●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

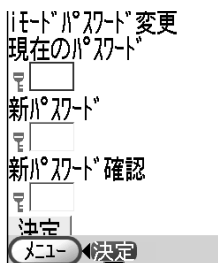
お知らせ

●有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示します

1 **待受画面で決定を１秒以上▶「1 ｉ Menuを見る」▶「1 マイメニュー」▶決定を押す**

マイメニュー一覧が表示されます。

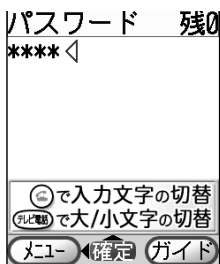
2 **表示したいサイトを選択▶決定を押す**

サイトが表示されます。
● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

ｉモード用のパスワードを変更します<ｉモードパスワード変更>

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

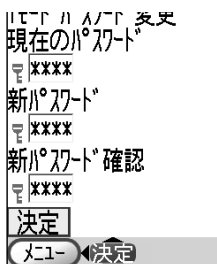
● ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモショップなど窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 **待受画面で決定を１秒以上▶「1 ｉ Menuを見る」▶「8 オプション設定」▶「2 ｉモードパスワード変更」を押す**

2 現在のパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

● ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 新パスワード欄を選択▶決定▶新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す

4 新パスワード確認欄を選択▶決定▶操作３で入力したｉモードパスワードをもう一度入力▶決定を押す

5 「決定」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

● 入力した内容に誤りや、抜けがあったときはエラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶決定を押してｉモードパスワードの設定画面に戻り、操作２から操作をやり直します。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

インターネットホームページを表示します<インターネット接続>

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「3 インターネットに接続する」▶「1 URLを入力して接続する」を押す

URL入力画面が表示されます。

● 2回目からは前回接続操作をしたURLが表示されます。

2 決定▶接続したいインターネットホームページのURLを入力▶決定▶電話帳を押す

インターネットホームページに接続されます。

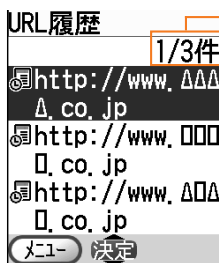
● 半角で最大256文字入力できます。
● 英字入力モード時に1：「/」「.」「-」などの記号を入力できます。
● 英字入力モード時に＊：「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などを入力できます。
● 終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「6 インターネットに接続」▶「1 URLを入力」を押して操作します。
● インターネットホームページ表示中に他のホームページに接続することができます。操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。
● 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、決定を押すと受信できた分のデータが表示されます。
● 文字入力のしかた→P558

URL履歴を使って表示します<URL履歴>

FOMA端末は、接続操作をしたインターネットホームページのURLを新しい順に最大5件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「3 インターネットに接続する」▶「2 サイトの入力履歴から接続する」を押す

●：URL履歴が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

■ **URL履歴を削除するとき**

① **削除するURLを選択▶メニュー▶「2 削除する」▶「1 選択1件」を押す**

URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- URLをすべて削除するときはメニュー▶「2 削除する」▶「2 全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

② **「1 削除する」を押す**

URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：URL履歴一覧に戻ります。

③ **決定を押す**

URL履歴一覧に戻ります。

2 表示したいインターネットホームページのURLを選択▶決定を押す

インターネットホームページに接続されます。

●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「6 インターネットに接続」▶「2 履歴から接続」を押して操作します。
- URL履歴一覧でURLが途中までしか表示されていないときは、メニュー▶「3 URLを表示」を押します。
- URL履歴が5件を超えた場合は、古いものから上書きされます。
- URLをブックマークに登録する→P261
- URLをコピーする→P276

文字を正しく表示します＜文字コード＞

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。

1 サイトやインターネットホームページ表示中にメニュー▶「0 表示を設定」▶「3 文字コード変更」▶「1 切替え」を押す

文字コードを変更して再表示します。

- メニュー▶「0 表示を設定」▶「3 文字コード変更」▶「1 切替え」を押す操作を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

お知らせ

- この操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。FOMA端末でインターネットホームページやサイトを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示します<ブックマーク>

特定の地域の天気予報や特定銘柄の株価情報など、同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

- タイトルが登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。
- サイトによってはブックマークに登録できないものがあります。

ブックマークに登録します

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

1 ブックマークに登録したいサイトを表示して(メニュー)▶「2 ブックマーク」▶「1 ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 登録先フォルダを選択▶(決定)を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

サイト表示に戻ります。

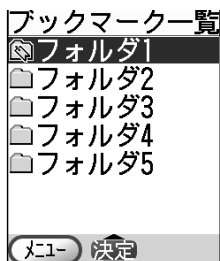
- (終話)▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

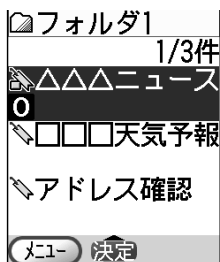
- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き替えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き替えるブックマークを選択します。→P36
- 題名を変更できます。→P264
- URLは半角で最大256文字登録できます。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合は、(メニュー)▶「ブックマークに登録」を選択▶(決定)を押して操作します。
- メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「4 登録する」▶「3 ブックマークに登録する」を押して操作します。

ブックマークからホームページやサイトを表示します

登録したブックマークからインターネットホームページやサイトを表示します。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(フォルダ)	ブックマークが保存されていない
(ブックマーク入りフォルダ)	ブックマークが保存されている

2 フォルダを選択▶決定を押す

● (左右キー)：ブックマークが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● ブックマークの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(マーク)	簡易接続に登録されていない
(マーク)	簡易接続に登録されている
0～9	簡易接続に登録されているボタンの番号

• 簡易接続に登録→P265

■ URLを確認するとき

URLを確認するブックマークを選択▶メニュー▶「4 URLを表示」を押す

URLが表示されます。

3 表示したいブックマークを選択▶決定を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

● (終話)▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「2 ブックマーク」▶「2 ブックマークを見る」を選択して操作します。

● ブックマークのURLをコピーする→P276

i モード　ブックマーク

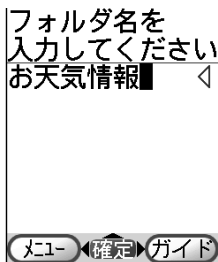
ブックマークのフォルダ名を変更します

保存されているブックマークのフォルダ名を変更します。

1 **待受画面で 決定 を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダ名を変更するフォルダを選択▶ メニュー ▶「3 フォルダ名変更」を押す**

フォルダ名を
入力してください
お天気情報
メニュー 確定 ガイド

●全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

3 **フォルダ名を入力▶ 決定 を押す**

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定 を押す**

ブックマーク一覧に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 文字入力のしかた→ P558

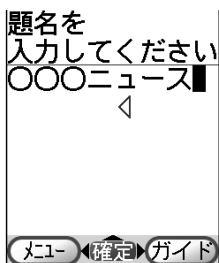
ブックマークの題名を変更します

登録されているブックマークの題名を変更します。

● ブックマークのURLは変更できません。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

ブックマークが一覧で表示されます。

2 題名を変更するブックマークを選択▶メニュー▶「1 題名を変更」を押す

● 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

3 題名を入力▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ブックマークが一覧で表示されている画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に設定されているURLなどが入力できる文字数を超えた場合、超えた分は削除されます。

● 何も入力しないで題名を登録すると、ブックマークが一覧で表示されている画面ではURLの先頭が表示されます。

● 文字入力のしかた→P558

少ないボタン操作でサイトを表示します

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

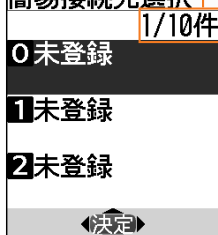
簡易接続できるように登録します

1 **待受画面で 決定 を1秒以上 ▶「2 ブックマークを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

ブックマークが一覧で表示されます。

2 **登録するブックマークを選択 ▶ メニュー ▶「2 簡易接続に登録」を押す**

簡易接続先選択
1/10件
0未登録
1未登録
2未登録
決定

簡易接続登録件数／全登録可能件数

●登録先選択画面の番号（0～9）が、サイト表示に使用するキー（0～9）に対応しています。登録したいボタンの番号を選択します。

●◀▶：登録先選択画面を切り替えます。

■ 簡易接続の登録を解除するとき

ブックマークが一覧で表示されている画面で解除するブックマークを選択 ▶ メニュー ▶「2 簡易接続を解除」▶ 決定 を押す

3 **登録先を選択 ▶ 決定 を押す**

簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定 を押す**

ブックマークが一覧で表示されている画面に戻ります。

●ブックマークが一覧で表示されている画面で、登録されたブックマークのマークが から に変わり、対応するボタンの番号（0～9）が表示されます。

● を押すと待受画面に戻ります。

簡易接続に登録したサイトを表示します

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。
→P184

1 **待受画面で簡易接続に登録した番号（0～9）を入力 ▶ メニュー ▶「8 簡易サイト接続」を押す**

簡易接続に登録しているサイトやインターネットホームページに接続されます。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

ブックマークを削除します

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。
● ブックマークのフォルダは削除できません。

1 待受画面で 決定 を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

ブックマークが一覧で表示されます。
● ブックマークを全件削除するときは、ブックマーク一覧で メニュー ▶「2 全て削除」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押して操作3に進みます。
● フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、ブックマーク一覧でフォルダを選択して メニュー ▶「1 フォルダ内削除」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押して操作3に進みます。

2 削除するブックマークを選択▶ メニュー ▶「3 削除する」▶「1 選択1件」を押す

ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
● フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、メニュー ▶「3 削除する」▶「2 フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押します。

3 「1 削除する」を押す

ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。
●「2 削除しない」：ブックマークが一覧で表示されている画面に戻ります。

4 決定 を押す

ブックマークが一覧で表示されている画面に戻ります。
● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

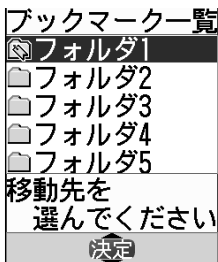
● 簡易接続に登録されているブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動します

保存されているブックマークを別のフォルダに移動します。

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

ブックマークが一覧で表示されます。

2 **移動するブックマークを選択▶メニュー▶「6 フォルダを移動」を押す**

3 **移動先フォルダを選択▶決定を押す**

ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

ブックマークが一覧で表示されている画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

ブックマーク一覧の並び順を変更します

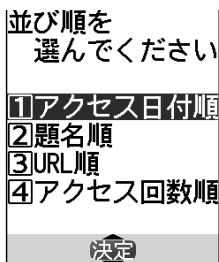
お買い上げ時 アクセス日付順

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「7 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1アクセス日付順
2題名順
3URL順
4アクセス回数順
決定

項　目	説　明
1 アクセス日付順	アクセス日時が新しい順に並べ替えます。
2 題名順	題名を五十音順に並べ替えます。
3 URL 順	URL をアルファベット順に並べ替えます。
4 アクセス回数順	アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1 アクセス日付順」～「4 アクセス回数順」のいずれか1つの番号を押す

ブックマークが一時的に並び替わります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- 題名順の場合、題名に全角／半角の文字や英字、漢字、題名が無くURL表示になっているものが混在していると、五十音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存します<画面メモ>

お好きなサイトの画面を画面メモとして保存します。

画面メモに保存します

● 保存できる画面メモのデータサイズは、画面内の画像などを含め最大100Kバイトです。

1 画面メモに保存したいサイトを表示して（メニュー）▶「3 画面メモに保存」を押す

画面メモを保存した旨のメッセージが表示されます。

2 （決定）を押す

サイト表示に戻ります。

● （終話）▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

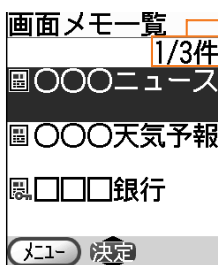
お知らせ

● 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまで上書きする画面メモを選択します。→P36

● 保護されている画面メモは上書きされません。

画面メモを表示します

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で（決定）を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ番号／画面メモ件数

● （左右キー）：画面メモが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● 画面メモの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
（通常マーク）	通常の画面メモ
（保護マーク）	保護されている画面メモ

• 画面メモを保護する→P271

i モード

画面メモ

次ページへ続く

2 表示する画面メモを選択▶決定を押す

画面メモの内容が表示されます。

● 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画面メモのURLをブックマークに登録する→P261

● 画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録できます。→P277

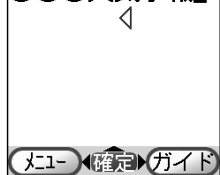
画面メモの題名を変更します

保存されている画面メモの題名を変更します。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶メニュー▶「1 題名を変更」を押す

● 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

3 題名を変更▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画面メモ表示中からも同様に操作できます。

● 文字入力のしかた→P558

画面メモを削除します

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりします。

●保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶メニュー▶「3 削除する」▶「1 選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

●画面メモを全件削除するときは、メニュー▶「3削除する」▶「2全件」▶4〜8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1 削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：画面メモ一覧に戻ります。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●画面メモ表示中から操作する場合は、メニュー▶「3 削除する」▶「1 削除する」を押して操作します。

画面メモを保護／解除します

保存領域の空きがなくなっても上書きされないように、画面メモを最大25件保護できます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶メニュー▶「4 保護する」を押す

画面メモが保護されます。

●画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが[保護マーク]に変わります。

●保護を解除するときは、保護されている画面メモを選択▶メニュー▶「4保護を解除する」を押します。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

● 画面メモ表示中からも同様に操作できます。

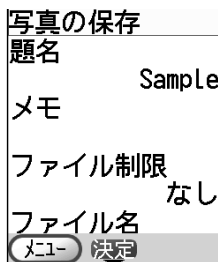
サイトから画像を取り込みます ＜画像保存＞

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。

● 保存できる画像のデータサイズは最大100Kバイトです。

● GIF形式、JPEG形式の画像を保存できます。

1 保存したい画像のあるサイトを表示して メニュー ▶「5 画像を選択」を押す

2 保存する画像を選択 ▶ 決定 を押す

● 各項目の説明→P432

● メニュー：題名の変更や待受画面などに貼り付けることができます。→P431、P432

3 決定 を押す

画像を保存する旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

サイト表示に戻ります。

●「写真のアルバムを見る」の「iモード」フォルダに保存されます。→P428

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

●画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。→P36
●画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
●画像によっては正しく表示できない場合があります。
●横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）　JPEG形式：1280×960（ドット）
●文字入力のしかた→P558

サイトからメロディを取り込みます <iメロディ>

サイトからお気に入りのメロディを取り込み、FOMA端末に保存します（iメロディ対応）。保存したメロディは再生したり、着信音に設定したりできます。

1 取り込みたいメロディのあるサイトを表示し、取り込むメロディを選択▶決定を押す

ダウンロードが
完了しました
1再生する
2保存する
3保存しない
決定

●ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止できます。
「1 再生する」：メロディを再生します。→P453 操作3
「2 保存する」：メロディを保存します。
「3 保存しない」：メロディの保存を中止します。

2 「2 保存する」を押す

題名を
入力してください
エリーゼのために

メニュー 確定 ガイド

●題名を変更するときは題名を入力▶決定を押します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

3 決定を押す

メロディを保存する旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

サイト表示に戻ります。

- 「保存した曲の詳細を設定する」の「iモード」フォルダに保存されます。
→P452
- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。→P36
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- 文字入力のしかた→P558

iモードの便利な機能

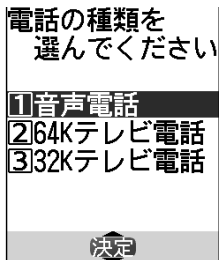
表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから、直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、電話帳に登録することもできます。

表示中の画面から電話をかけます<Phone To（AV Phone To）機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号から、直接電話（テレビ電話を含む）をかけます。

〈例〉サイト中の電話番号に電話をかけるとき

1 サイトを表示し、電話番号を選択▶決定を押す

電話の種類を
選んでください
1音声電話
264Kテレビ電話
332Kテレビ電話
決定

- 反転表示される電話番号のみ選択できます。

2 「1 音声電話」～「3 32Kテレビ電話」のいずれか1つの番号を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- テレビ電話をかけるときは、「2 64Kテレビ電話」または「3 32Kテレビ電話」を押します。

3 「1 電話をかける」を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

●「2 電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

●発信者番号通知→P48

お知らせ

●サイトによってはPhone To（AV Phone To）機能を利用できない場合があります。

表示中の画面からメールを送信します<Mail To機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のメールアドレスから、直接iモードメールを作成します。

●ショートメッセージ（SMS）は作成できません。

〈例〉サイト内のメールアドレスにiモードメールを送信するとき

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す

選択したメールアドレスがあらかじめ宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

●反転表示されるメールアドレスのみ選択できます。

2 iモードメールを作成して送信する

選択したメールアドレスにiモードメールが送信されます。

●iモードメールの作成・送信方法→P313、P317

お知らせ

●複数のメールアドレスが列記されている場合、Mail To機能を利用できない場合があります。

●サイトによってはMail To機能を利用できない場合があります。

●表示しているサイトのURLを、メールの本文に挿入してメールを作成できます。サイト表示中にメニュー▶「7 メールを作る」を押して操作します。

表示中の画面からインターネットに接続します<Web To機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモに表示されているURLに接続するとき

1 画面メモを表示し、URLを選択▶決定を押す

選択したURLサイトに接続します。

●画面メモ表示方法→P269

●反転表示されるURLのみ選択できます。

●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 表示中の画面によってはURLを選択▶決定を押すと、iモードに接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1 接続する」を押すとサイトに接続します。
- サイトによってはWeb To機能を利用できない場合があります。

URLをコピーします

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

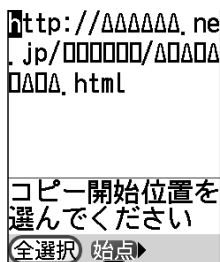
- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーしている文字に上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示してメニュー▶「1 URLをコピー」を押す

http://△△△△△△.ne.jp/□□□□□□/△□△□△□△□△.html

コピー開始位置を選んでください

全選択 始点

- サイトのURLの表示方法→P254

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶決定▶終了位置を選択▶決定を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。

- 開始位置を選択し直すときは戻るを押します。
- 開始位置を選択する前にメニュー：全文が選択されます。
- 開始位置選択後にメニュー／電話帳：カーソルが文頭／文末に移動します。

3 決定を押す

URL表示画面に戻ります。

- 終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 操作方法→P573

お知らせ

- URL は半角で最大 256 文字コピーできます。
- URL 履歴一覧、ブックマークが一覧で表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は メニュー を押し、「URL をコピー」を選択▶ 決定 を押して操作します。これらの画面から操作する場合は URL 全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

新規登録します

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「8 電話帳に登録」▶「1 新規に登録」を押す

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

3 名前などを設定して登録する

- 電話帳の登録方法→ P110

お知らせ

- サイトによっては登録できない場合があります。
- メッセージ R/F 詳細表示画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「4 登録する」▶「1 電話帳新規登録」を押して操作します。
- 画面メモ表示中から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ ▶「9 電話帳に登録」▶「1 新規に登録」を押して操作します。

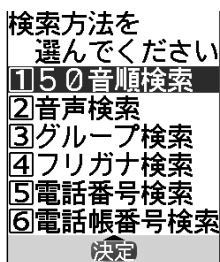
登録済みの電話帳データに追加します

●以前に登録した内容が変更されてしまう場合があるので、電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

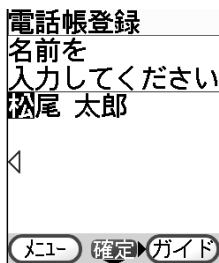
〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「8 電話帳に登録」▶「2 追加で登録」を押す

検索方法を
選んでください
1５０音順検索
2音声検索
3グループ検索
4フリガナ検索
5電話番号検索
6電話帳番号検索
決定

●反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

●検索方法→Ｐ１２４

3 追加登録する電話帳データを選択▶決定を押す

4 内容を確認し、登録する

●電話帳の登録方法→Ｐ１１０

お知らせ

●メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「4 登録する」▶「2 電話帳追加登録」を選択して操作します。

●画面メモ表示中から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶▶「9 電話帳に登録」▶「2 追加で登録」を押して操作します。

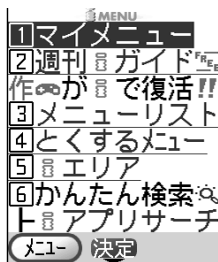
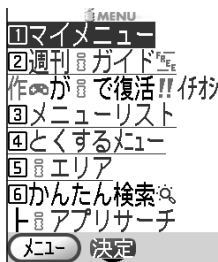
iモード
iモードの便利な機能

ｉモードの詳細機能を設定します

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字の大きさを変更します<文字サイズ設定>

お買い上げ時　標準の大きさ

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

＜標準の大きさ：
1行全角で10文字（半角20文字）＞

＜大きく表示：
1行全角で8文字（半角16文字）＞

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「6 ｉモードの詳細を設定する」▶「2 文字の大きさを選ぶ」を押す

「1 標準の大きさ」：1行全角で10文字（半角20文字）表示されます。

「2 大きく表示」　：1行全角で8文字（半角16文字）表示されます。

2 「1 標準の大きさ」または「2 大きく表示」を押す

ｉモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

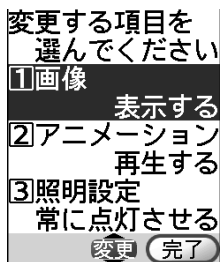
● 文字の大きさを変更すると、次にサイトを表示するときも変更後の文字の大きさで表示されます。

画像の表示、照明を設定します<画像表示・照明設定>

お買い上げ時　画像：表示する　アニメーション：再生する　照明設定：常に点灯させる

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明を設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[6] iモードの詳細を設定する」▶「[3] 画像表示・照明を設定する」を押す

変更する項目を選んでください
[1]画像 表示する
[2]アニメーション 再生する
[3]照明設定 常に点灯させる
変更 完了

項　目	説　明
[1] 画像	画像を表示するかしないかを設定します。
[2] アニメーション	アニメーションを再生するかしないかを設定します。
[3] 照明設定	ディスプレイおよびボタンの照明方法を設定します。

2 「[1] 画像」～「[3] 照明設定」のいずれか1つの番号を押す

■ 画像を表示するかしないかを設定するとき

「[1] 画像」▶「[1] 表示する」または「[2] 表示しない」を押す

●「表示しない」に設定すると、「アニメーション」は設定できません。

■ アニメーションを再生するかしないかを設定するとき

「[2] アニメーション」▶「[1] 再生する」または「[2] 再生しない」を押す

■ 照明方法を設定するとき

「[3] 照明設定」▶「[1] 端末設定に従う」または「[2] 常に点灯させる」を押す

●「端末設定に従う」に設定すると、「画面の明るさを設定する」の「照明時間」に従います。→P165

●「常に点灯させる」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイおよびボタンの照明が常時点灯します。

3 設定した後に[電話帳]を押す

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

●[終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「0 表示を設定」▶「1 表示・効果設定」を押して操作します。
- 「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置に▲が表示されます。
- 「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。
- 「画像」の設定は、メッセージR/Fの本文に表示される画像の表示／非表示には影響しますが、添付されている画像の表示／非表示には影響しません。

接続までの待ち時間を設定します<接続待ち時間設定>

お買い上げ時	60秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、ボタン操作で中断する必要はありません。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「6 ｉモードの詳細を設定する」▶「5 接続までの待ち時間を設定する」を押す

接続するまでの
最大の待ち時間を
選んでください

1 60秒間
2 90秒間
3 時間制限なし

決定

2 「1 60秒間」～「3 時間制限なし」のいずれか1つの番号を押す

接続までの待ち時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 接続するまでの待ち時間を設定せずに、接続するまで待つときは「3 時間制限なし」を押します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「時間制限なし」に設定しても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更します＜ISP接続通信＞

お買い上げ時　ｉモード

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

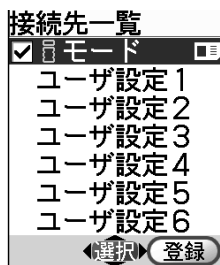
ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
  発信者番号の通知／非通知→P532
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先の設定／変更はできません。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「6 ｉモードの詳細を設定する」▶「6 接続先番号を設定する」を押す

接続先一覧
☑ ｉモード
ユーザ設定1
ユーザ設定2
ユーザ設定3
ユーザ設定4
ユーザ設定5
ユーザ設定6
選択　登録

■ ｉモードを利用する設定に戻すとき

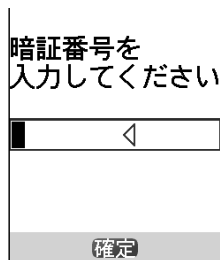
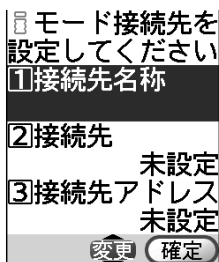
「ｉモード」を選択▶ 決定 を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

接続先を選択▶ 決定 を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

2 編集するユーザ設定を選択▶ メニュー を押す

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1 接続先名称」▶接続先名を入力▶決定を押す

- 接続先名は全角で最大6文字、半角で最大12文字入力できます。

5 「2 接続先」▶接続先を入力▶決定を押す

- 接続先は半角英数字で最大99文字入力できます。

6 「3 接続先アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す

- 接続先アドレスは半角英数字で最大30文字入力できます。
- 文字入力後にメニューを押すと、全項目に入力した内容を削除することができます。

7 電話帳▶編集した接続先を選択▶決定を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 電話帳を押す

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

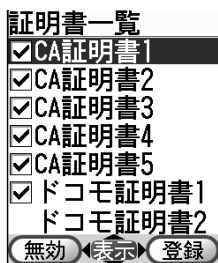
- 文字入力のしかた→P558

証明書を表示して有効／無効を設定します<証明書表示／使用設定>

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

● 青色のFOMAカードを差し込んで使用している場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「7 証明書の表示と使用を設定する」を押す

証明書一覧
☑CA証明書1
☑CA証明書2
☑CA証明書3
☑CA証明書4
☑CA証明書5
☑ドコモ証明書1
ドコモ証明書2
無効 表示 登録

● 設定状態は次のとおりです。
☑：有効 □：無効

● （左右キー）：証明書が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

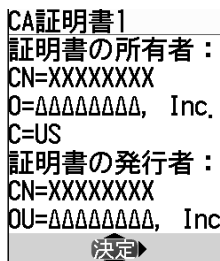
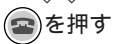
■ 証明書の有効／無効を設定するとき

① 設定する証明書を選択▶（メニュー）を押す
チェックボックスが☑または□に切り替わります。
- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② （電話帳）を押す
SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。

③ （決定）を押す
メニュー画面に戻ります。
- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

2 表示する証明書を選択▶（決定）を押す

CA証明書1
証明書の所有者：
CN=XXXXXXXX
O=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc.
C=US
証明書の発行者：
CN=XXXXXXXX
OU=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc
決定

● （左右キー）：前後の証明書を表示できます。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- CA（Certification Authority）証明書 … 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
- ドコモ証明書 … FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書 … FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。→P298
- 証明書の表示内容

  証明書の所有者

  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号

  O= …（Organization）会社名など

  C= …（Country）国名

  証明書の発行者

  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号

  OU= …（Organization Unit）会社の部署など

  O= …（Organization）会社名など

  有効期限

  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、記述がない項目は項目名のみ表示されます。

メッセージR/Fを受信したときは＜メッセージR/F受信＞

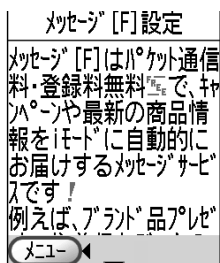
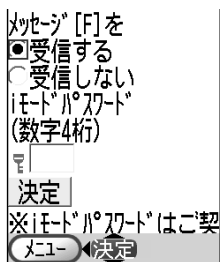
メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的に届きます。

メッセージFを受信するように設定します

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「1 i Menuを見る」▶「8 オプション設定」▶「3 メッセージ［F］設定」を押す**

メッセージ［F］設定
メッセージ［F］はパケット通信料・登録料無料FREEで、キャンペーンや最新の商品情報をiモードに自動的にお届けするメッセージサービスです！
例えば、ブランド品プレゼ
メニュー

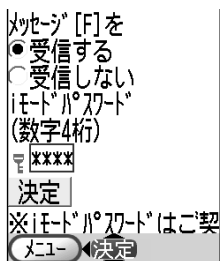
2 **「◯受信する」を選択▶決定を押す**

メッセージ［F］を
◉受信する
◯受信しない
iモードパスワード
（数字4桁）
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

●選択されると◯が◉に変わります。

■ 受信しないようにするとき

「◯受信しない」を選択▶決定を押す

3 **iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す**

メッセージ［F］を
◉受信する
◯受信しない
iモードパスワード
（数字4桁）
****
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

4 「決定」を選択▶決定を押す

メッセージFが設定されます。

●(終話)▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/Fを自動的に受信します

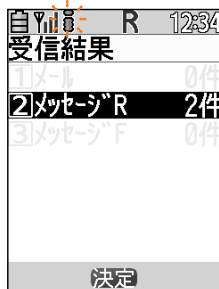
メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

1 メッセージR/Fを受信する

<メッセージRの場合>

iとRまたはFが点滅し、左の画面が表示されます。

●メッセージ受信中に決定を押すと受信を中止できます。

2 メッセージの受信結果が表示される

メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。何も操作しないで約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

●すぐに受信前の画面に戻したいときは戻るを押します。

■ 受信したメッセージR/Fをすぐに確認するとき

「2 メッセージR」または「3 メッセージF」を押す

メッセージ一覧が表示されます。→P294

■ 受信に失敗したとき

「2メッセージR」「3メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

●メッセージR/Fを受信し直すには、「届いているメール・メッセージを受信する」を行ってください。→P291

■ メッセージR/Fの自動表示を設定しているとき

受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→P289

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA 端末を折り畳んでいるときは背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→ P28
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古いメッセージ R/F から順に上書きされます。ただし、未読のメッセージ R/F と保護されているメッセージ R/F には上書きされません。残しておきたいメッセージ R/F は保護してください。→ P296
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージ R/F の受信は中止され、画面にはRやFのマークが表示されます。→ P26
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、i モードセンターに保管されているメッセージ R/F は削除されます。
- i モードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、や のマーク（→P26）が表示されます。ただし、メッセージ R/F があっても表示されない場合もあります。また、i モードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがや に変わります。
  i モードセンターの保管件数→ P245
- ショートメッセージ（SMS）受信中は、メッセージ R/F は受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示を制限しているときには、ディスプレイ上部にRまたはFが表示されてメッセージR/Fを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したメッセージ R/F を確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

受信したメッセージR/Fを自動的に表示するかどうかを設定します

お買い上げ時　メッセージR優先

メッセージR/Fの受信結果画面（→P287）から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[5] メッセージの詳細を設定する」▶「[2] 未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示する
メッセージを
選んでください
[1]メッセージRのみ
[2]メッセージFのみ
[3]メッセージR優先
[4]メッセージF優先
[5]自動表示しない
決定

項　目	説　明
[1] メッセージRのみ	受信したメッセージRを自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は自動表示されません。
[2] メッセージFのみ	受信したメッセージFを自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は自動表示されません。
[3] メッセージR優先	メッセージRとメッセージFを受信した場合に、メッセージRを優先して自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合はメッセージFを自動表示します。
[4] メッセージF優先	メッセージRとメッセージFを受信した場合に、メッセージFを優先して自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合はメッセージRを自動表示します。
[5] 自動表示しない	メッセージR/Fを受信しても、自動で表示しないように設定します。

2 「[1] メッセージRのみ」～「[5] 自動表示しない」のいずれか1つの番号を押す

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

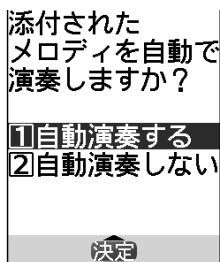
お知らせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、「届いているメール・メッセージを受信する」でメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

メッセージR/Fについているメロディの自動演奏を設定します

お買い上げ時 自動演奏する

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「5 メッセージの詳細を設定する」▶「1 メッセージのメロディを自動演奏する」を押す

2「1 自動演奏する」を押す

添付されたメロディを自動演奏するように設定された旨のメッセージが表示されます。

- 「2 自動演奏しない」：自動演奏をしないようにします。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能の設定を変更すると、「添付のメロディを自動演奏する」の設定も変更されます。
→P382

メッセージ R/F があるかどうかを問い合わせます＜ｉモード問い合わせ＞

圏外にいた間や電源を切っていた間にメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

●電波状態によってはｉモード問い合わせができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で 決定 を１秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「3 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

ｉモード問い合わせが実行されます。ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

● ｉモード問い合わせ中に 決定 を押すと、問い合わせを中止できます。
●受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P287
ただし、ｉモード問い合わせでメッセージR/Fを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。メッセージR/Fを表示せずに待受画面に戻すときは 戻る を3回押します。

お知らせ

●問い合わせを行うメッセージの種類は選択できます。→P344

メッセージ R/F が着信したときの着信音を設定します

お買い上げ時　着信音設定：鳴らす　着信音：着信音１　鳴らす時間：３秒

メッセージR、メッセージFを受信したときの着信音を設定します。

1 待受画面で 決定 を１秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「4 メッセージが届いた時の音を選ぶ」を押す

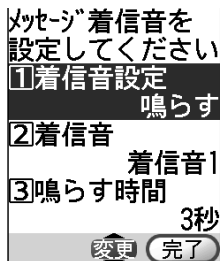
着信音を
設定するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1ﾒｯｾｰｼﾞﾘｸｴｽﾄ
2ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾘｰ

決定

次ページへ続く

2 「1 メッセージリクエスト」または「2 メッセージフリー」を押す

メッセージ着信音を設定してください
1着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1
3鳴らす時間
3秒
変更 完了

項　目	説　明
1 着信音設定	着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2 着信音	着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
3 鳴らす時間	着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。

3 「1 着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 「鳴らさない」に設定すると、「着信音」「鳴らす時間」は設定できません。操作 6 に進みます。
- 「2 着信音」　：着信音から設定します。操作 4 に進みます。
- 「3 鳴らす時間」：鳴らす時間から設定します。操作 5 に進みます。

4 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

5 鳴らす時間を入力▶決定を押す

操作 2 の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/Fが着信したときの振動パターンを設定します お買い上げ時 振動させない

メッセージR、メッセージFを受信したときの振動パターンを設定します。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ」を押す

振動パターンを
設定するメッセージを
選んでください
1メッセージリクエスト
2メッセージフリー
決定

2 「1 メッセージリクエスト」または「2 メッセージフリー」を押す

メッセージが
届いた時の振動を
選んでください
1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない
決定

●振動パターンについて→P155

3 「1 パターンAで振動」～「4 振動させない」のいずれか1つの番号を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

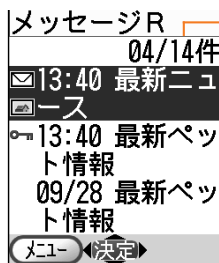
●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

受信したメッセージR/Fを表示します＜メッセージR/F＞

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

- 未読の受信メッセージR/Fがあるときは待受画面にRまたはFが表示されます。

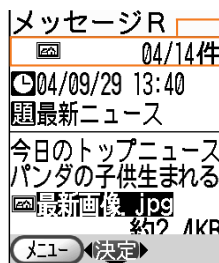
〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で 決定 を1秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「1 メッセージリクエストを見る」を押す

メッセージR/F番号／メッセージ件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、題名

- メッセージFを表示するときは 決定 を1秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「2 メッセージフリーを見る」を押します。
- ：メッセージR/Fが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- メッセージの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	✉	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	🔑	保護されたメッセージ
添　付	🖼	添付画像
	♪🖼	添付画像＋添付メロディ
	♪	添付メロディ
	✉/	異常添付データ

2 表示するメッセージRを選択▶ 決定 を押す

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号

添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示されます。→P349、P353、P356

- ：表示されている前後のメッセージR/Fを表示できます。
- メッセージ本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
🕒	メッセージを受信した日時
題	メッセージのタイトル

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージのメロディを自動演奏するように設定している場合（→P290）、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」（→P77）で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは 戻る を押します。
- 本文中に画像が挿入されている場合は画像が表示されます。
  - 画像をFOMA端末に取り込めます。操作方法はサイトから画像を保存するときと同じです。→P272
  - 画像を正常に受信できなかったときは受信し直すことができます。→下記
  - 画像が受信できなかったときは／／が表示されます。
  - 本文中に表示されている画像は削除できません。
- 詳細表示画面に表示されている電話番号やメールアドレス、URLを選択して、次の操作ができます。
  - 電話帳に登録する→P277
  - 電話をかける→P274
  - サイトを表示する→P275
  - ブックマークに登録する→P261
  - iモードメールを作成する→P275

メッセージR/Fの画像を再度読み込みます<画像再読込み>

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。

- 「画像表示・照明を設定する」で画像を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。→P280
- 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P294

2 メッセージR/Fを選択▶ 決定 を押す

メッセージR/Fの詳細表示画面が表示されます。

- は受信していない画像データがあることを示します。

3 画像を選択▶ メニュー ▶「1 再読込みをする」を押す

画像が読み込まれます。

お知らせ

- 本文中に未受信の画像がないときは、再読み込みを行っても画像は受信されません。

iモード

メッセージR/F

メッセージR/Fを削除します<メッセージ削除>

1件ずつ選択して削除したり、既読のメッセージR/FやすべてのメッセージR/Fをまとめて削除したりします。

●保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P294

2 削除するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「1 削除する」▶「1 選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

●既読のみ削除するときは、メニュー▶「1 削除する」▶「2 既読のみ全件」を押します。

●全件削除するときは、メニュー▶「1 削除する」▶「3 メッセージ全件」を押し、4〜8桁の端末暗証番号を入力▶決定▶「1 削除する」を押します。

3 「1 削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メッセージ一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●メッセージR/F詳細表示画面から1件削除する場合は、メニュー▶「2 削除する」を押して操作します。

メッセージR/Fを保護/解除します<メッセージ保護/解除>

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。

●未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P294

2 保護するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2 保護／解除する」▶「1 選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。

- 状態マークが🔑に変わります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

■ 保護を解除するとき

メッセージR/F一覧で保護を解除するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2 保護／解除する」▶「2 選択1件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、メニュー▶「2 保護／解除する」▶「3 全件解除」を押します。

お知らせ

- メッセージR/Fの最大保護件数→P36
- メッセージR/F詳細表示画面から保護／保護を解除する場合は、メニュー▶「3 保護する」もしくは「3 保護を解除する」を押して操作します。

メッセージR/F一覧の表示方法を変更します

お買い上げ時 全て表示

メッセージR/F一覧をメッセージの状態別に表示します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P294

2 メニュー▶「3 表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示
決定

項　目	説　明
1 全て表示	すべてのメッセージを一覧表示します。
2 未読のみ表示	未読のメッセージのみを一覧表示します。
3 既読のみ表示	既読のメッセージのみを一覧表示します。
4 保護のみ表示	保護されているメッセージのみを一覧表示します。

次ページへ続く

3 「1 全て表示」～「4 保護のみ表示」のいずれか1つの番号を押す

選択した表示方法で表示されます。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メッセージR/F一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。

●「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

ユーザ証明書を操作します <ユーザ証明書操作>

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。

● 青色のFOMAカードではご利用になれません。

● FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻の設定をしてください。→P46

● FirstPassセンター接続中は、によるページの移動はできません。

ユーザ証明書の発行を要求してダウンロードします

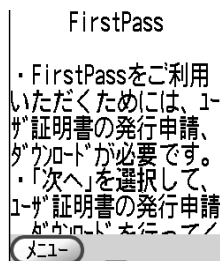
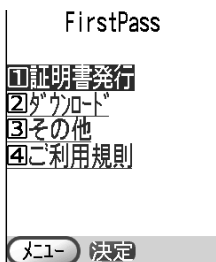
1 待受画面で メニュー ▶「* 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「8 ユーザ証明書を操作する」を押す

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請

メニュー

2 「次へ」を選択▶決定を押す

FirstPass
1証明書発行
2ダウンロード
3その他
4ご利用規則
メニュー 決定

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「その他」を選択▶決定▶「証明書失効」を選択▶決定を押す

ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1 送信する」を押す

PIN2 コード入力画面が表示されます。
→P177

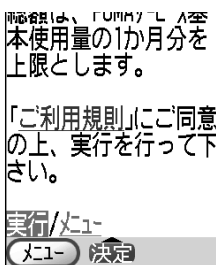
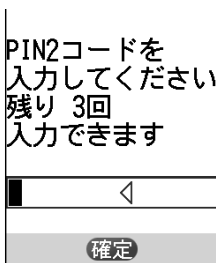
③ PIN2 コードを入力▶決定▶決定を押す

④「実行」を選択▶決定▶「次へ」を選択▶決定▶「実行」を選択▶決定を押す

3 「証明書発行」を選択▶決定を押す

本使用量の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/メニュー
メニュー 決定

4 「実行」を選択▶決定を押す

PIN2コードを入力してください
残り 3回
入力できます
確定

● PIN2 コード→P177

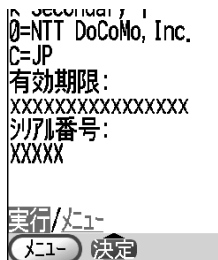
5 PIN2 コードを入力▶決定を押す

PIN2 コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

7 「ダウンロード」を選択▶決定を押す

8 「実行」を選択▶決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- FirstPass センターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPass センターに接続中は、メールの送受信やメッセージ R/F の受信はできません。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、パソコンのブラウザを使ってFirstPassの通信を行うことができます。詳しくはCD-ROM内のFirstPass Manualをご覧ください。「FirstPass Manual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPass ご使用にあたって

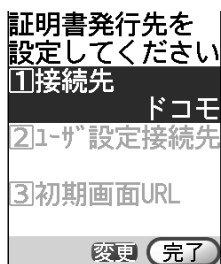
- FirstPass とはドコモの電子認証サービスです。FirstPass を利用することにより、サイト側と FOMA 端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用には PIN2 コードの入力が必要です。→ P177
PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなど窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書の発行先を変更します＜証明書発行先設定＞

お買い上げ時　接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1　待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「9 証明書の発行先を変更する」を押す

2　「1 接続先」▶「1 ドコモ」または「2 ユーザ設定」を押す

● FirstPassに接続する設定に戻すときは「1 ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3　「2 ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶（決定）を押す

● ユーザ設定接続先は、半角英数字で最大99文字入力できます。

4　「3 初期画面URL」▶URLを入力▶（決定）を押す

● 設定初期画面URLは、半角英数字で最大100文字入力できます。

5　（電話帳）を押す

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

6　（決定）を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 文字入力のしかた→P558

メール

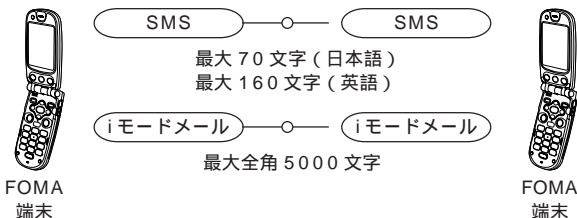
FOMA端末のメール機能について

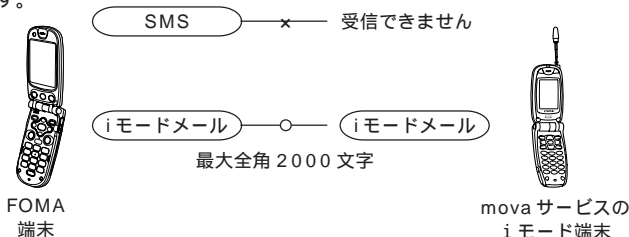
FOMA端末では、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の2種類のメール機能を利用できます。

● ｉモードメールを利用するには、ｉモードのご契約が必要です。
● ショートメッセージ（SMS）は、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

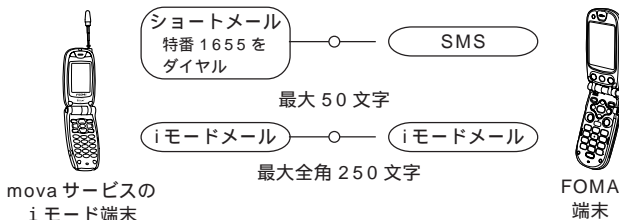
メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）のどちらも使用できます（ショートメッセージ（SMS）は相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます）。

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

※ movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはショートメッセージ（SMS）として受信します。

※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルしても送信することはできません。

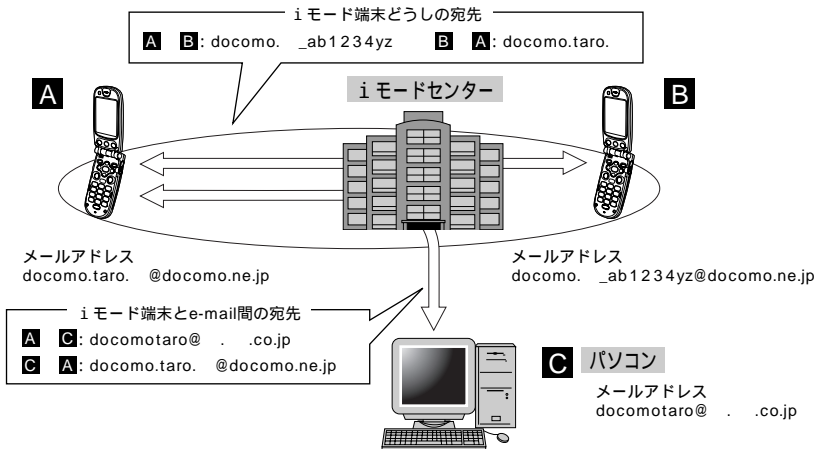
ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova 含む）間はもちろん、インターネットを経由してパソコンの e-mail とのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@ マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
（例）abc1234 ～ 789xyz@docomo.ne.jp

●お客様のメールアドレスの確認方法（詳しくは→ P363）
ｉ Menu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → アドレス確認

● ｉモード端末（mova 含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めた全体を使用します。

- ｉモードメールを送信する→ P313、P317
- ｉモードメールを受信したとき→ P339
- ｉモード問い合わせ方法→ P343

■ メールを選択して受信します

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→ P341、P342

メール設定を行います

● その他詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレスを変更します

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。→ P361

次ページへ続く

■ シークレットコードを登録します

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。→P364

■ メールアドレスを電話番号にします（アドレスリセット）

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。→P365

■ メールアドレスを確認します

現在設定されているメールアドレスを確認できます。→P363

■ 特定のメールを受信／拒否します

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。→P368

① ドメイン指定受信

- au・ボーダフォン・TU‐KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。→P372

※ NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否

- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。→P371

③ ｉモードメールのみ受信／拒否

- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。→P370

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限

- 1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。→P369

⑤ 未承諾広告※メール拒否

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）→P369

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ SMS拒否

- 全てのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

■ メール設定状況を確認します
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。
→P374

■ メールのサイズを制限します
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。→P367

■ メール機能を停止します
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。→P375

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	ー	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付データのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字です。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付データは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末がテレビ電話中、電源が入っていない、ｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定を「利用する」にしているときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信することができます。

次ページへ続く

お知らせ

● ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207〜1000件 （約2Mバイトまで）	720時間

● 保管期間が超過したｉモードメールは自動的に削除されます。
● 最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末にはまたはが表示されます。→P26
ただし、メール選択受信設定を「利用する」にしているときは、保管件数を超えてもまたはは表示されません。
● ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せ（→P343）やメール選択受信（→P342）により受信できます。また、新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fもあわせて受信できます。
● ｉモード端末でｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。→P345
● 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

●メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディデータを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディデータは送信できません）。

• 送信する→P324　　• 受信したとき→P356

●画像添付メール

サイトやインターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画データをｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画データは送信できません）。

• 送信する→P324　　• 受信したとき→P349

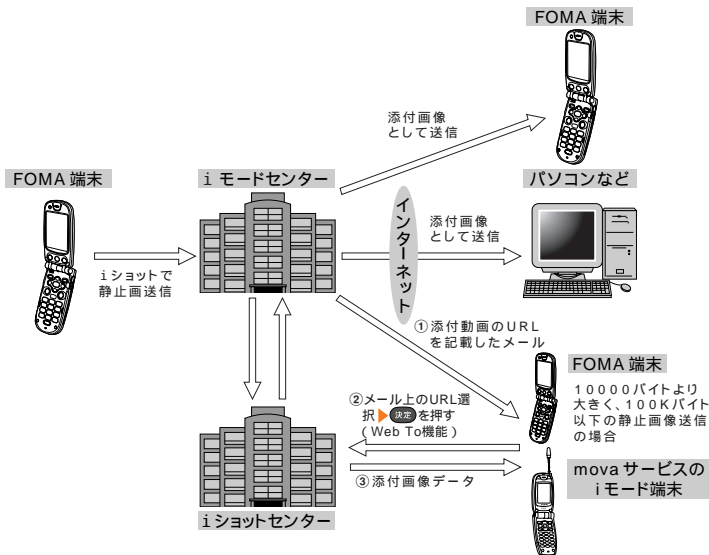
■ ｉショット

この端末で撮影した静止画データを添付データとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。ただし、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末やmovaサービスのｉモード端末へ送信した場合は、添付データ形式ではなく画像閲覧用URLと画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLをクリックすることで画像を取得できます。

10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与してください。

（例）10000 バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
10000 バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス
docomo.taro.△△@p.docomo.ne.jp

mova サービスの i モード端末へ送れるメール本文は最大全角 184 文字（369 バイト）で、複数データを添付した場合添付データは削除され、メール本文のみ通知されます。

• 送信する→ P324　　• 受信したとき→ P352

- i ショットセンターでは最大 10 日間画像が保存され、保存期間経過後に自動的に削除されます。
- i モード端末が、受信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、取得した画像は i モード端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

文字や背景の色を変えたり画像を本文中に貼り付けるなど、装飾された楽しいメールを受信することが可能です。→ P346
ただし、この端末でデコメールを作成／編集して送信することはできません。

■ メール同報送信

同じ i モードメールを、一度に複数の宛先（最大 5 件）に送信できます。
→ P322

お知らせ

● 通信料は、1 通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

■ Cc、Bcc 送受信

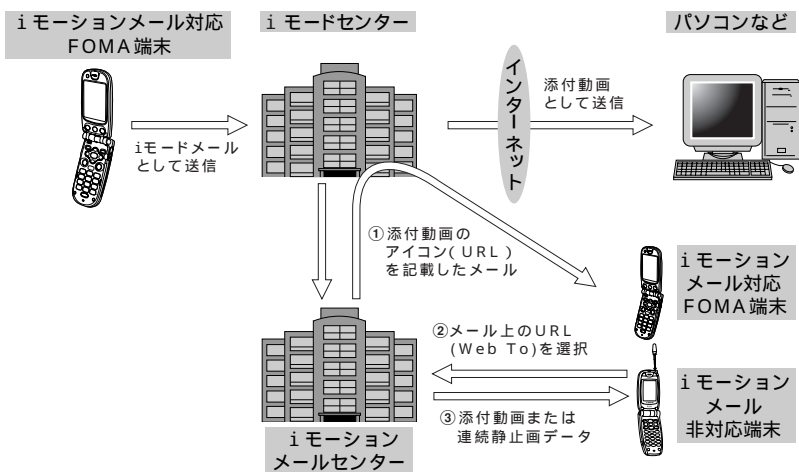
パソコンなどと同じように、i モードメール編集時に宛先を To、Cc、Bcc から選択できます。ただし、To が 1 件もない場合は、メールを送信できません。
→ P322、P338、P346

ｉモーションメールについて

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画（録音した音声を含む）やサイト、インターネットホームページから取得した動画を対応端末およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画データは送信できません）。

● ｉモーションメールを送信する→P324
● ｉモーションメールを受信したとき→P353

●サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画データはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付データとして送信されます）。
ｉモーションメール対応端末での受信時は、メール本文中に「🎥あり」と表記され、受信者はメール本文中に表示されているURLを選択して決定を押すことにより、動画を取り込むことができます。
ｉモーションメール非対応端末へ動画を添付して送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URL の記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURL を選択すると連続静止画を取り込むことができます。また、音声を添付して送信した場合、添付データは削除され、メール本文に［添付ファイル削除］と通知されます。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が、受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

ショートメッセージ（SMS）について

FOMA 端末間で文字メッセージをやりとりできます。

- ショートメッセージ（SMS）を送信する→ P383
- ショートメッセージ（SMS）を受信したとき→ P389
- SMS 問い合わせ方法→ P390

お知らせ

● 海外からはショートメッセージ（SMS）の文字メッセージを送受信できません。

ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

ショートメッセージ（SMS）で送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字	半角文字（英字・数字など）
宛先	20 文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず 70 文字	半角 160 文字※

※：半角の英数字と記号（。「」、・゛゜を除く）を送信できます。
　　記号（|^{}[]~\ ）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

● ショートメッセージ（SMS）では題名は送信できません。
● ショートメッセージ（SMS）の本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

ショートメッセージ（SMS）を受信できないとき

ショートメッセージセンターに届いたショートメッセージ（SMS）は、すぐにお客様の FOMA 端末に送信されます。ただし、お客様の FOMA 端末がテレビ電話中、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、ショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターに保管されます。

お知らせ

● ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は 72 時間です。送信者が保管する有効期間を指定することもできます。→ P401
● 保管期間が超過したショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。
● ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、SMS 問い合わせにより受信できます。→ P390
● FOMA 端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）は FOMA 端末に保存されます。→ P391

こんなこともできます

■ 送達通知

送信したショートメッセージ（SMS）が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P401

■ FOMA カードへの保存

受信したショートメッセージ（SMS）や送信したショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに保存できます。→P395

簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します<簡単メール作成・送信>

簡単な操作方法でｉモードメールを作成して送信することができます。

1 待受画面で（メールボタン）を1秒以上押す

メール作成：新規
To ：
題名：
本文：
送信する
メニュー　決定　簡単

● 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作2の画面が表示されます。

2 （電話帳）を押す

簡単メール作成：新規
送りたいメールを選んでください
1文章のみ送る
2音声を送る
3写真を送る
4ビデオを送る
決定　通常

■ 音声を添付するとき

「2 音声を送る」を押す

- 以降は「■音声を添付するとき」の操作②～⑥と同じ操作（→P326）を行います。操作後に操作3の画面が表示されます。

■ 写真をその場で撮影して添付するとき

「3 写真を送る」▶「1 今から撮影する」を押す

- 以降は「■写真をその場で撮影して添付するとき」の操作②～④と同じ操作（→P327）を行います。操作後に操作3の画面が表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して添付するとき

「3 写真を送る」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

- 以降は「■写真をアルバムから選択して添付するとき」の操作②と同じ操作（→P328）を行います。操作後に操作3の画面が表示されます。

■ ビデオをその場で撮影して添付するとき

「4 ビデオを送る」▶「1 今から撮影する」を押す

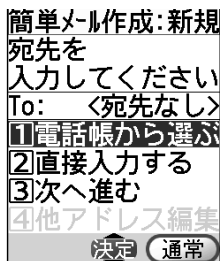
- 以降は「■ビデオをその場で撮影して添付するとき」の操作②～⑥と同じ操作（→P328）を行います。操作後に操作3の画面が表示されます。

次ページへ続く

■ ビデオをアルバムから選択して添付するとき

「4ビデオを送る」▶「2アルバムから選ぶ」を押す

- 以降は「■ビデオをアルバムから選択して添付するとき」の操作②～③と同じ操作（→P329）を行います。操作後に操作3の画面が表示されます。

3 「1 文章のみ送る」を押す

簡単メール作成：新規
宛先を
入力してください
To: <宛先なし>
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集
決定 通常

■ 電話帳から選択するとき

①「1 電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- FOMAカードの電話帳から選択する場合は電話帳を押します。

②送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶決定を押す

左の画面に戻ります。「3 次へ進む」を押すと操作5の画面が表示されます。

■ 追加された宛先を編集するとき

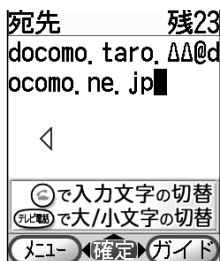
●新しくメールを作成する場合や追加された宛先が無い場合は操作できません。

①「4 他アドレス編集」▶編集するアドレスを選択▶決定を押す

宛先入力画面が表示されます。

②宛先を編集▶決定▶電話帳を押す

左の画面に戻ります。「3 次へ進む」を押すと操作5の画面が表示されます。

4 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先 残23
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

●半角で最大50文字入力できます。

●ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。

●英字入力モード時に1：

「@」「.」「-」などを入力できます。

●英字入力モード時に＊：

「docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

5 「3 次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
題名を
入力してください
題名:

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む
決定 通常

■ 例文から選択するとき

①「2 例文から選ぶ」▶例文を選択▶決定を押す

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。

- 題名を入力していた場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

「1 上書きする」:
　入力済みの文章を消去して例文を読み込みます。

「2 上書きしない」:
　左の画面に戻ります。

②決定を押す

例文が読み込まれ、左の画面に戻ります。「3次へ進む」を押すと操作7の画面が表示されます。

簡単メール作成:新規
To : docomo.tar
題名: 音声メール
音声付メールです
添付 約39.9KB
音声09291234.3
1このまま送信
2題名本文を変更
決定 通常

■ 操作 2 で音声を添付したとき

左の画面が表示されます。

● 題名には「音声メール」、本文には「音声付メールです。」と入力されています。

「1 このまま送信」:
　このままｉモードメール(音声メール)を送信します。操作 12 に進みます。

「2 題名本文を変更」:
　題名と本文を変更します。操作5の画面が表示されます。

6 「1 直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

題名 残12
おはようございます
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

● 全角で最大 15 文字、半角で最大 30 文字入力できます。

● メニュー: 絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→ P560

次ページへ続く

7 「3 次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
本文を
入力してください
本文:

1本文を編集する
2次へ進む
決定 通常

8 「1 本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

本文 残9952
お元気ですか。↵
こんどの日曜日に
おじゃまします。

で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P560
- #改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

9 「2 次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
To : docomo.tar
題名: おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。

修正 決定 通常

- メニュー：作成したｉモードメールを修正します。

10 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成:新規
メールを
送信しますか?

1送信する
2保存して終了
決定

「1 送信する」　：ｉモードメールを送信します。
「2 保存して終了」：作成したｉモードメールを「未送信のメールを見る」に保存して終了します。

11 「1 送信する」を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

12 決定を押す

待受画面に戻ります。
●送信を途中で終了する場合はを押します。ただし、タイミングにより送信される場合があります。

お知らせ

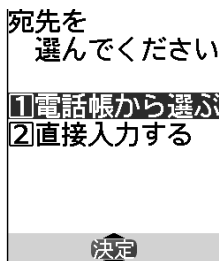
●メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P337、P406
●データを添付しているときは、本文に入力できる文字数が減ります。
●文字入力のしかた→P558

ｉモードメールを作成して送信します<ｉモードメール作成・送信>

ｉモードメールを作成して送信します。

1 待受画面でを1秒以上押す

メール作成：新規
To ：
題名：
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

●簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1 切替える」を押します。

次ページへ続く

2 To（宛先）欄を選択▶決定を押す

宛先を
　選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
決定

■ 電話帳から選択するとき

①「1電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

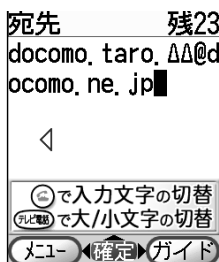
- FOMAカードの電話帳から選択する場合は電話帳を押します。

②送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

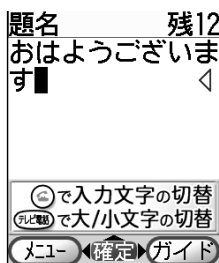
③メールアドレスを選択▶決定を押す

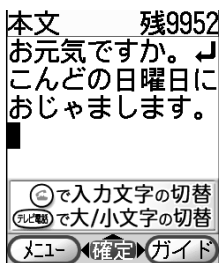
操作1の画面に戻ります。電話帳に登録されている名前がTo（宛先）欄に入力されています。操作4に進みます。

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先　残23
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

- 半角で最大50文字入力できます。
- iモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 英字入力モード時に1：
  「@」「.」「-」などを入力できます。
- 英字入力モード時に＊：
  「docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

4 題名欄を選択▶決定▶題名を入力▶決定を押す

題名　残12
おはようございます
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。
- メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P560

5 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

本文　残9952
お元気ですか。↵
こんどの日曜日に
おじゃまします。

で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P560
- #改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

6 「送信する」を選択▶決定を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

■ 署名付きで送信するとき

メニュー▶3さDEFを押す

本文の最後に署名が挿入されて送信されます。

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P379
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

7 決定を押す

待受画面に戻ります。

- 送信を途中で終了する場合はを押します。ただし、タイミングにより送信される場合があります。

電話帳を表示してｉモードメールを作成します

電話帳の検索結果一覧から、ｉモードメールを作成します。

- 電話帳データにメールアドレスが登録されていない場合は、本機能を利用できません。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→P124 操作1

次ページへ続く

2 メールを送信する相手を選択▶ メニュー ▶「2 メールを作る」を押す

メール作成：新規	
To ：	松尾 太郎
題名：	
本文：	

送信する

メニュー　決定　簡単

電話帳に登録されている名前が入力されます。

● i モードメール作成方法→ P317

お知らせ

● メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、i モードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要な i モードメール、ショートメッセージ(SMS)を削除してください。→P337、P406
● データを添付しているときは、本文に入力できる文字数が減ります。
● 定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。
● 半角カタカナや絵文字は正しく表示されない場合がありますので、i モード端末（mova 含む）どうしのやりとり以外には使用しないでください。
● 一部の絵文字（→ P570）は、相手の i モード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信が正常に終了したときは、i モードメールが「送信したメールを見る」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→ P409
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、i モードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」から i モードメールを表示して編集・送信できます。→ P337
● i モードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
● 電話帳を表示して、電話帳の検索結果一覧からメールアドレスが複数登録されている相手を選択してメールを作成すると、1 件目に登録されているメールアドレスが To（宛先）に設定されます。2 件目以降に登録されているメールアドレスを設定する場合は、FOMA 端末電話帳の詳細画面を表示し、2 件目以降のメールアドレスを選択してから作成します。→ P129
● 電話帳番号 0 ～ 9 に登録されている相手には簡単に i モードメールを作成・送信できます（ツータッチメール）。
● 文字入力のしかた→ P558

よく送る相手にボタン２つでメールを作成します<ツータッチメール>

頻繁にメールを送る相手のメールアドレスを電話帳番号（→P114）の０～９に登録しておくと、ダイヤルボタンと（メールボタン）の２つのボタンを押すだけでｉモードメールやショートメッセージ（SMS）を作成することができます。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。

1 待受画面で電話帳番号（0～9）を入力▶（メールボタン）を押す

2 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P317

■ ショートメッセージ（SMS）作成画面を表示するとき

①**電話帳番号（0～9）を入力▶（メールボタン）を１秒以上押す**

入力した電話帳番号に登録されている名前が宛先に入力されたショートメッセージ（SMS）作成画面が表示されます。

②**ショートメッセージ（SMS）を編集して送信する**

●操作方法→P383

お知らせ

●入力した電話帳番号の電話帳データに電話番号やメールアドレスが登録されていない場合や、電話帳データが登録されていない場合に（メールボタン）、または（メールボタン）を１秒以上押すと、宛先がない／該当する電話帳データがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／ショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。

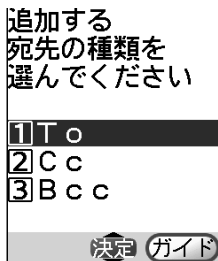
●シークレット属性が設定されている電話帳データの場合、シークレットモードに設定してから操作してください。→P187

宛先を追加します＜宛先追加＞

ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信することができます。

1 ｉモードメールを作成する

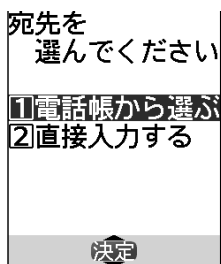
●操作方法→ P317 操作1～5

2 メニュー ▶「7 宛先を追加」を押す

「1 To」：送信相手のメールアドレスを入力します。Toに1件も入力されていないメールは送信できません。

「2 Cc」：直接の送信相手（To）以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

「3 Bcc」：ToやCcに設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

●宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択▶メニュー▶「8 宛先を削除」▶「1 削除する」を押します。

3 「1 To」～「3 Bcc」のいずれか1つの番号を押す

4 宛先の入力方法を選択し、宛先を入力して送信する

●操作方法は、宛先欄が1件の場合と同じです。→ P318

●5件まで宛先を追加できます。さらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

●「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

●送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。決定を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信します＜ｉモードメール保存＞

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールを保存します

作成途中のｉモードメールを、送信せずに保存しておきます。

1 ｉモードメールを作成する

● 操作方法→Ｐ317 操作１〜５

2 メニュー ▶「2 保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

待受画面に戻ります。

● ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。→Ｐ337

お知らせ

● 未送信メールの最大保存件数→Ｐ36
● 題名、宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。ただし、データを添付した場合は、他の項目を入力していなくても保存できます。

送信／保存したｉモードメールを編集・送信します

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールを、編集・送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集するとき

1 待受画面で ▶「4 未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

● 送信メールを再編集する場合は、 ▶「5 送信したメールを見る」を押し、フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

次ページへ続く

2 編集するｉモードメールを選択▶決定を押す

メール作成：編集
To ：docomo.tar
題名：おはようご
本文：お元気です
送信する
メニュー 決定 簡単

●送信したメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択▶電話帳を押します。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P313、P317

お知らせ

●送信メール詳細表示画面からも同様にして編集できます。
●添付メロディを自動で再生するように設定している場合は、メロディが添付されている送信メールを表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは戻るを押します。→P77、P382
●文字入力のしかた→P558

ｉモードメールで静止画やメロディ、動画／ｉモーション（音声）を送信します

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影した動画や音声を添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

●添付可能なデータは次のとおりです。

データの種類	1件のメールに添付可能な最大件数	添付の条件
メロディ	10件※4	MFi形式（→P356）のメロディデータは添付できません。
10000バイト以内の静止画		静止画（GIF、JPEG）、アニメーション（GIF）のみ添付できます。
10000バイトを超える静止画※1	1件※5	静止画（JPEG）のみ添付できます。
動画／ｉモーション※2（音声※3）		再生制限が設定（→P446）されているものは添付できません。

※1：パソコンや他社携帯電話などに送信できます。ただし、iモード端末に送る場合は宛先のアドレスを変更（@マークの後に「p.」を付けます）して送信します。→P309
※2：相手はURLの記載されたメールとして受信します。
※3：iモーションメール非対応端末へ送信した場合、添付データは削除されます。相手の端末では本文に［添付ファイル削除］と表示され、音声を聞くことはできません。
※4：静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付データのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※5：最大100Kバイトの静止画もしくは動画／iモーション（音声）の、どちらか1件のみ添付できます。

- 本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／iモーション（音声）、10000バイトを超える静止画を添付できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータは添付できません。
- movaサービスのiモード端末へ送信する場合は、JPEG形式の静止画（最大100Kバイト）1枚のみ添付できます。送信相手の端末にはURLの記載されたメール（iショットメール）として受信します。その際、送信できるメール本文の文字数は全角で最大184文字（369バイト）です。それ以外の添付データは削除されます。

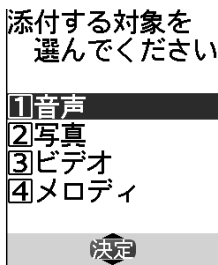
1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P317 操作1

2 メニュー ▶「4 添付データ」▶「1 追加する」を押す

添付する対象を
選んでください

1音声
2写真
3ビデオ
4メロディ

決定

3 「1 音声」～「4 メロディ」のいずれか1つの番号を押す

- 録音済みの音声を添付する場合は「■ビデオをアルバムから選択して添付するとき」の操作を行います。

次ページへ続く

●次の操作を行った後に操作 4 に進みます。

操　作	参照先
■音声を添付するとき	下記
■写真をその場で撮影して添付するとき	P327
■写真をアルバムから選択して添付するとき	P328
■ビデオをその場で撮影して添付するとき	P328
■ビデオをアルバムから選択して添付するとき	P329

■ 音声を添付するとき

●音声は送話口から録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな場所で録音してください。

●音声は 1 件につき約 60 秒録音できます。

●音声録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

①「1 音声」を押す

音声録音画面が表示されます。
着信ランプが緑色で 5 秒間隔で点滅します。

録音（保存）できる残り時間の目安が表示されます。

② 決定 を押す

録音確認音が鳴り録音が開始されます。
着信ランプが赤色で 5 秒間隔で点滅します。

●録音終了までの時間の目安が 00：00：00 になると、録音が自動的に終了して操作④の画面が表示されます。

録音終了までの時間の目安が表示されます。
録音終了までの目安が表示されます。

③ 決定 を押す

確認音が鳴り録音が休止します。

● 決定 ：録音が再開されます。

④ [メニュー]を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了して左の画面が表示されます。終了した時点までの音声が保存対象になります。

● [メニュー]：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。

● [電話帳]：録音した音声を確認できます。

⑤ [決定]を押す

録音した音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

⑥ [決定]を押す

メール作成画面に戻ります。録音した音声が添付されています。

●録音した音声は「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに動画データとして保存されます。→P223、P441

■ 写真をその場で撮影して添付するとき

① 「2 写真」▶「1 今から撮影する」を押す

着信ランプが緑色で2秒間隔で点滅します。

● [メニュー]：撮影時の設定ができます。→P228
ただし、次の設定ができません。
- 「ビデオを撮影」には切り替えられません。
- 「写真の大きさ」は「Sサイズ（176×144）」固定です。

② 被写体にカメラを向けて[決定]を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して撮影され、左の画面が表示されます。

● [メニュー]：撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

③ [決定]を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

④ [決定]を押す

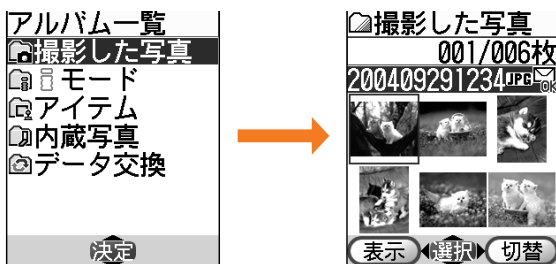
メール作成画面に戻ります。撮影した写真が添付されています。

●撮影した写真は「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」フォルダに保存されます。→P428

次ページへ続く

■ 写真をアルバムから選択して添付するとき

●添付できない画像は選択できません。

①「2 写真」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

② フォルダを選択▶決定▶静止画を選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択した静止画が添付されています。

●選択した静止画のデータサイズによっては、送信方法を選択する画面が表示されます。→P430

■ ビデオをその場で撮影して添付するとき

●ビデオ撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

①「3 ビデオ」▶「1 今から撮影する」を押す

着信ランプが緑色で3秒間隔で点滅します。

●メニュー：撮影時の設定ができます。→P228
ただし、次の設定ができません。
- 「写真を撮影」には切り替えられません。
- 「サイズ制限」は「メール添付」固定です。

撮影（保存）できる残り時間の目安が表示されます。

② 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプは赤色で3秒間隔で点滅します。

●撮影終了までの時間の目安が00：00：00になると、撮影が自動的に終了して操作④の画面が表示されます。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

③ 決定を押す

確認音が鳴り撮影が休止します。

●決定：撮影が再開されます。

④ [メニュー]を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了して左の画面が表示されます。終了した時点までのビデオが保存対象となります。

- [メニュー]：撮影したビデオを保存せずにビデオ撮影画面に戻ります。
- [電話帳]：撮影したビデオを確認します。

⑤ [決定]を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

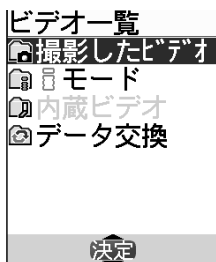
⑥ [決定]を押す

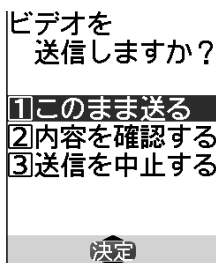
メール作成画面に戻ります。撮影したビデオが添付されています。

- 撮影したビデオは「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。→P441

■ ビデオをアルバムから選択して添付するとき

- 添付できない動画／ｉモーションは選択できません。

①「3 ビデオ」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

②フォルダを選択▶[決定]▶動画／ｉモーションを選択▶[決定]を押す

ビデオを
送信しますか？
1このまま送る
2内容を確認する
3送信を中止する

「1 このまま送る」　：ビデオをそのまま添付します。

「2 内容を確認する」：ビデオの内容を確認できます。

「3 送信を中止する」：ビデオを添付せずに動画／ｉモーション一覧に戻ります。

- 選択した動画／ｉモーションが送信できるサイズを超えていたときは、先頭から切り出して送信するかどうかの確認画面が表示されます。→P443

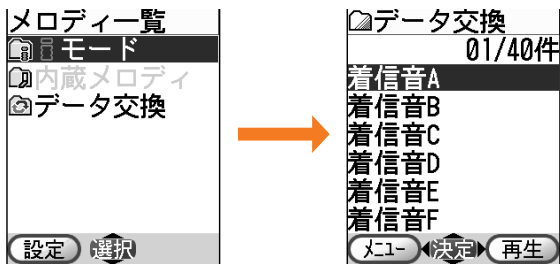
③「1 このまま送る」を押す

メール作成画面に戻ります。選択した動画／ｉモーションが添付されています。

次ページへ続く

■ メロディを添付するとき

●添付できないメロディは選択できません。

①「4 メロディ」を押す

②フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択したメロディが添付されています。

4 iモードメールを編集して送信する

●操作方法→P317

お知らせ

- 音声録音画面／ビデオ撮影画面上の時間表示は目安です。録音する音声／撮影するビデオにより誤差が生じます。
- 音声／画像／動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真／ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音／撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除します。→P36
- 音声録音中に休止操作を繰り返し行うと、録音できる時間が短くなります。
- 音声録音／ビデオ撮影中に充電を開始すると、設定によっては充電の開始を知らせる音が記録されます。→P157
- 音声録音／ビデオ撮影中にメール着信があっても、録音／撮影を継続したままメールを受信できますが、録音／撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 音声録音／ビデオ撮影中（一時停止中を含む）に電話がかかってきたり、FOMA端末を折り畳んだりすると、その時点で録音／撮影が中止されます。その後に電話を切ったり、FOMA端末を開くと、撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されます。
- 音声録音／ビデオ撮影中に目覚ましの設定時刻になった場合、その時点で録音が中止されアラーム音が鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されますが、録音／撮影したデータの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 音声録音／ビデオ撮影中に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、それまで録音／撮影していたデータは「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されますが、録音／撮影したデータの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。
- メロディを送信する場合、受信側がFOMA F880iES、F900iC、F900iT、F900i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できない場合があります。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳細はドコモのホームページをご参照ください。

添付データを追加／解除する

添付データを追加したり、解除したりします。

〈例〉添付データを1件解除するとき

1 データが添付されているメール作成画面を表示する

- 操作方法→P325 操作1～3

2 解除する添付データを選択 ▶ メニュー ▶「4 添付データ」を押す

添付データの
操作を
選んでください
1追加する
2解除する
3全て解除する
4表示/再生する
5題名を確認
決定

次ページへ続く

3 「2 解除する」を押す

解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付データを追加するとき

「1 追加する」▶追加するデータを選択する→P325

■ 添付データを全件解除するとき

「3 全て解除する」を押す

4 「1 解除する」を押す

添付データが解除されます。

●添付データを解除しない場合は「2 解除しない」を押します。

例文を利用してメールを作成します<メール例文>

例文は、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

●お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日は有難うございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しています。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	時ごろ家につきます。

●ショートメッセージ（SMS）には使用できません。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときは、電話帳に登録されていない宛先が入力されている例文を読み込むことはできません。

例文を使ってｉモードメールを作成します

例文を使ってｉモードメールを作成して送信します。

1 **待受画面で［メール］▶「3 例文を使ってメールを作る」を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です
決定 詳細

●［電話帳］：例文の本文を確認できます。
●［◁］［▷］：前後のページを表示できます。

2 **読み込む例文を選択▶［決定］を押す**

メール作成：編集
To ：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
送信する
メニュー 決定 簡単

例文の内容がメール作成画面に設定されます。

3 **内容を追加・修正して送信する**

●操作方法→Ｐ313、Ｐ317

作成したｉモードメールを例文として保存します

題名、宛先、本文のうち登録する項目を設定して、既存の例文の内容を変更します。複数の相手に送信するために追加した宛先も登録することができます。
また、登録した例文はお買い上げ時の内容に戻すことができます。
●例文は10件登録できます。
●添付データは例文に保存できません。

1 **メール作成画面を表示する**

●操作方法→Ｐ317 操作1

次ページへ続く

2 例文に保存する内容を作成する

メール作成：新規
To ：docomo.tar
題名：おはようご
本文：今日は良い
送信する
メニュー 決定 簡単

●作成方法→ P317 操作2～5

3 メニュー ▶「6 例文を使う」▶「2 例文に保存」を押す

4 保存先の例文を選択 ▶ 決定 を押す

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 保存する」を押す

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。

●「2 保存しない」：メール作成画面に戻ります。

6 決定 を押す

メール作成画面に戻ります。

● ☎ ▶「1 保存する」▶ 決定 を押すと待受画面に戻ります。

例文を編集して保存します

登録されている例文を一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。

1 **待受画面で ▶「8 メールを設定する」▶「4 例文を編集する」を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です
メニュー 決定

● ：前後のページを表示できます。

2 **編集する例文を選択 ▶ メニュー ▶「1 編集する」を押す**

例文編集
To ：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
メニュー 決定 登録

● 編集方法はｉモードメールを作成する場合と同じです。→P318 操作2～5

3 **編集した後に 電話帳 を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
保存先を
選んでください
決定

4 **保存先の例文を選択 ▶ 決定 を押す**

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

5 「1 上書きする」を押す

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。

●「2 上書きしない」：例文編集画面に戻ります。

6 決定を押す

例文一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

例文をお買い上げ時の状態に戻します

1 待受画面で（メール）▶「8 メールを設定する」▶「4 例文を編集する」を押す

例文一覧が表示されます。

2 初期化する例文を選択▶メニュー▶「2 初期状態に戻す」▶「1 選択1件」を押す

お買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

●すべての例文をお買い上げ時の状態に戻すときは、メニュー▶「2 初期状態に戻す」▶「2 全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 決定を押す

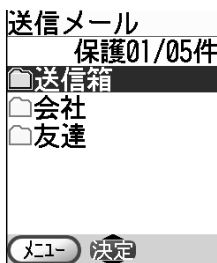
例文一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したｉモードメールを見ます<未送信／送信メール>

送信したｉモードメールは「送信したメールを見る」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。

〈例〉送信したメールを見るとき

1 待受画面で ▶「5 送信したメールを見る」を押す

保護メール数／全メール件数

- 未送信メールを表示する場合は、 ▶「4 未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。
- ：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（ブルー）	メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

送信箱
01/05件
12:34 docomo…
電話ください
09/28 docomo…
おはようござ…
09/28 docomo…
おはようござ…
ﾒﾆｭｰ 決定 編集

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

- ：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109

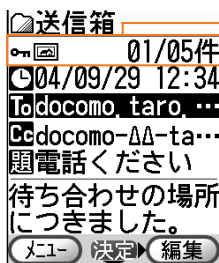
次ページへ続く

●メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	表示なし	通常のｉモードメール
		保護されたメール
添　付※		10000バイト以内の静止画が添付
		メロディが添付されたメール
		10000バイト以内の静止画とメロディが添付
		録音した音声、ｉモーションが添付
		10000バイトを超える静止画が添付
SMS		ショートメッセージ（SMS）

※：複数のデータが添付されている場合は、またはが優先して表示されます。

3 表示するｉモードメールを選択して決定を押す

送信箱
01/05件
04/09/29 12:34
To docomo taro …
Cc docomo-ΔΔ-ta…
題 電話ください
待ち合わせの場所につきました。
メニュー 決定 編集

状態マーク、添付／SMSマーク、メール番号／件数

●未送信メール一覧でメールを選択▶決定を押すと、メール編集画面が表示されます。→P323

●：前後のメールを表示できます。

●メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
	メールを送信した日時
To	メールの送信先のアドレスまたは名前
Cc Bcc	メールの送信先のアドレスまたは名前 →P322
題	メールの題名

●添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、データ名、データサイズが表示されます。→P349、P353、P356

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●送信日時・保存日時を表示するには日付・時刻の設定が必要です。→P46

●宛先や本文の文字をコピーできます。→P415

●詳細表示画面に表示されている電話番号やメールアドレス、URLを選択して次の操作ができます。
- 電話帳に登録する→P417
- 電話をかける→P274
- サイトを表示する→P275
- ブックマークに登録する→P418
- ｉモードメールを作成する→P275

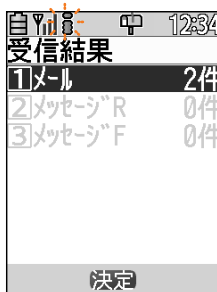
ｉモードメールを受信したときは ＜ｉモードメール受信＞

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

1 ｉモードメールを受信する

と✉が点滅し、左の画面が表示されます。

● メール受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

が点灯してメール着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

何も操作しないで約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

● すぐに受信前の画面に戻したいときは戻るを押します。

● 待受画面に戻るとが消えます。

■ 受信したメールをすぐに確認するとき

「1 メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

→P345

■ 受信に失敗したとき

「1 メール」の後ろに「×」が表示されます。

● メールを受信し直すには、「届いているメールメッセージを受信する」を行ってください。

→P343

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P28
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P409
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、iモードメールの受信は中止され、画面にはやのマークが表示されます。→P26
- iモードセンターにiモードメールが残っているときは、やのマーク（→P26）が表示されます。ただし、iモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、iモードセンターの保管件数（→P308）が満杯になったときは、マークがやに変わります。
  iモードセンターに残っているiモードメールを受信する場合は、「届いているメール・メッセージを受信する」（→P343）または「メール選択受信を行う」（→P342）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容を見る（→P345）、不要なメールを削除する（→P406）、保護を解除する（→P409）などを行う必要があります。
- 新しいiモードメールが届いたときには、iモードセンターで保管している他のiモードメールもあわせて受信します。
- 「メール選択受信を設定する」を利用するにすると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→P341、P342
- 極端に容量の大きいiモードメールは、iモードセンターで受け付けずに送信者に返信されることがあります。
- iモードメールではメロディや静止画を添付データとして送受信できます。対応していない添付データはiモードセンターで削除されます。添付データが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付データは、iモードセンターで削除されます。添付可能なデータ量→P324
- iモーションメールを受信した場合は、動画／iモーションデータはiモーションメールセンターに保存されます。
- ショートメッセージ（SMS）受信中にiモードメールは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
- FOMA端末でiモードメールを受信すると、iモードセンターのiモードメールは削除されます。
- iモードメールを自動受信できないときは、iモードメールセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大3回再送されます。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人の情報表示を制限しているときにはメールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

ｉモードメールを選択して受信します

送信されてきたｉモードメールを自動受信せず、選択して受信するように設定します。

ｉモードメールを自動で受信しないようにします＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時	利用しない

1 待受画面で（メールキー）▶「8 メールを設定する」▶「5 メール選択受信を設定する」を押す

メール選択受信を
利用しますか？
1利用する
2利用しない
決定 ガイド

● 電話帳: 本機能の動作説明を表示します。

2 「1 利用する」を押す

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。

● 選択受信を利用しない場合は「2 利用しない」を押します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

センターに
メールがあります
決定

● 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと左の画面が表示されますが、着信音や着信ランプは動作しません。
● 「届いているメール・メッセージを受信する」を行うと、ｉモードセンターに保管されているすべてのｉモードメールを受信できます。→P343
● 「利用する」に設定しても、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fは自動受信します。

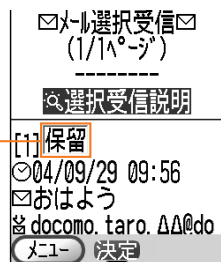
必要なメールだけを選択して受信します<メール選択受信>

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し､必要なメールだけを選択して受信します｡不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめ｢メール選択受信を設定する｣を利用する設定にしておく必要があります。→P341
- 「メール選択受信を設定する」を利用する設定にした場合でも、「届いているメール・メッセージを受信する」を行うと全メールを受信しますので、不要なメールを受信したくない場合には､｢問合せ内容を選ぶ｣の項目からメールを外しておいてください。→P344

1 待受画面で ▶「6 メールがあるか問合わせる」▶「2 メール選択受信を行う」を押す

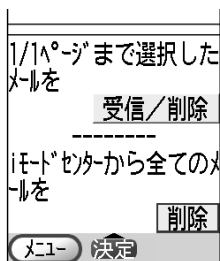
✉ﾒｰﾙ選択受信✉
(1/1ﾍﾟｰｼﾞ)

選択受信説明
[1]保留
04/09/29 09:56
✉おはよう
docomo.taro.ΔΔ@do
ﾒﾆｭｰ 決定

プルダウンメニュー

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

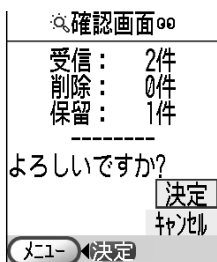
- メールの末尾の絵文字の意味は次のとおりです。

マーク	説　明
	静止画データが添付されています。
	メロディデータが添付されています。
	ｉモーションが添付されています。

2 メールごとにプルダウンメニューを選択▶決定▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶決定を押す

- ｢保留｣を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問い合わせなどで受信できます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される｢前ページ｣｢次ページ｣を選択▶決定を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶決定を押す

確認画面
受信：　2件
削除：　0件
保留：　1件

よろしいですか?
決定
ｷｬﾝｾﾙ
ﾒﾆｭｰ　決定

■ iモードセンターに保管されている全メールを削除するとき

「iモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶決定を押す

4 「決定」を選択▶決定を押す

「受信」を選択したメールはすぐに受信され、受信結果画面が表示されます。→P339

iモードメールがあるかどうかを問い合わせます<iモード問い合わせ>

圏外にいた間や電源を切っていた間にiモードメールが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはiモード問い合わせができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で✉▶「6 メールがあるか問合わせる」▶「1 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

iモード問い合わせが実行されます。iモードセンターにiモードメールが保管されていれば受信します。

● iモード問い合わせ中やメールの受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメールを受信する場合があります。

● 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。
→P339
ただし、この操作でiモードメールを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。

お知らせ

● FOMA端末を折り畳んでいるときに新しいiモードメールを受信したときは、背面ディスプレイの表示でお知らせします。→P28

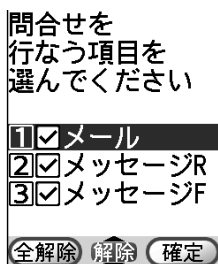
問い合わせの内容を設定します<ｉモード問い合わせ設定>

お買い上げ時 すべて選択

ｉモードセンターへ問い合わせをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

● お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。メッセージRやメッセージFの配信を希望しない場合は□にしてください。

1 **待受画面でメニュー▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「1 問合せ内容を選ぶ」を押す**

問合せを
行なう項目を
選んでください
1☑メール
2☑メッセージR
3☑メッセージF
全解除 解除 確定

● 設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効
● メニュー：すべての項目を選択／解除します。

2 **「1 メール」～「3 メッセージF」のうち、選択する項目の番号を押す**

チェックボックスが☑または□に切り替わります。

3 **電話帳を押す**

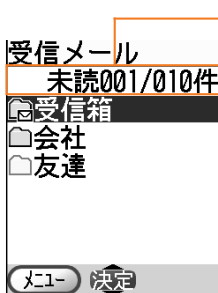
問い合わせを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

メニュー一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

受信したｉモードメールを見ます ＜受信メール＞

受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

未読メール数／全メール件数

● ：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（ブルー）	メールが保存されているフォルダ
	未読メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信箱
001/010件
12:34 docomo…
電話ください
09/28 docomo…
到着します
09/28 docomo…
急用ができま…
ﾒﾆｭｰ 決定 返信

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、題名（SMS：本文の先頭）

● ：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

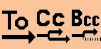
● 送信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109

● メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明	マーク		説　明
状 態		未読メール	状 態		既読メール（返信不可）
	表示なし	既読メール			保護されたメール（返信不可）
		保護されたメール			未読メール（転送済み）
		未読メール（返信済み）			既読メール（転送済み）
		既読メール（返信済み）			保護されたメール（転送済み）
		保護されたメール（返信済み）			
		未読メール（返信不可）			

次ページへ続く

マーク		説　明	マーク		説　明
添 付※	(静止画)	10000バイト以内の静止画が添付	添 付※	?	添付データ無効→P349
	♪	メロディが添付		(不正)	受信データ不正
	(静止画＋メロディ)	10000バイト以内の静止画とメロディが添付	SMS	(SMS)	ショートメッセージ（SMS）

3 iモードメールを選択▶決定を押す

状態マーク、宛先マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

- （左右キー）：前後のメールを表示できます。
- メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
To Cc Bcc	送信元からどの宛先（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク
(時計)	メールを受信した日時
F	メールの送信元のアドレスまたは名前
To Cc	メールの送信先のアドレスまたは名前→P322
題	メールの題名

- 添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示されます。→P349、P353、P356
- （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- デコメールを受信・表示できます。ただし、文字の大きさを変更する装飾がされているデコメールを表示した場合は、装飾がそのまま反映されずにこの端末内で作成される2種類の文字の大きさに置き替わります。
- iモードメールでは、送信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。ショートメッセージ（SMS）では、送信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  - iモードメールの場合、メールアドレス全体が完全に一致した場合だけ名前が表示されます。iモード端末のメールアドレスでは@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）の有無も含めて一致しないと名前は表示されません。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していても、@より前の部分が一致すれば名前が表示されます。
  - シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモードを設定していないと名前は表示されません。→P187
- 宛先や本文の文字をコピーできます。→P415

●詳細表示画面に表示されている電話番号やメールアドレス、URLを選択して、次の操作ができます。
- 電話帳に登録する→P417
- 電話をかける→P274
- サイトを表示する→P275
- ブックマークに登録する→P418
- ｉモードメールを作成する→P275

ｉモードメールに返事を出します ＜ｉモードメール返信＞

受信したｉモードメールに返信します。

●受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で [メール] ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するｉモードメールを選択▶ [電話帳] を押す

メール作成：返信
To ：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

受信メールの送信元のメールアドレスが入力されます。

先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

●[電話帳]：簡単メール作成画面に切り替えて返信できます。
→P314 操作3

■ 複数の宛先に送られた受信メールに返信するとき

返信先を選択する画面が表示されます。

「1 送信元のみ」：送信元のみに返信します。

「2 全員に返信」：自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P313、P317

●返信すると、受信メールの状態マークが[未読]／[保護]から[返信済]／[返信済]／[返信済]に変わります。→P345

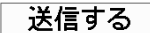
お知らせ

●受信メール詳細表示画面からも同様にして返信できます。

●返信時は本文、添付データともに引用されません。

iモードメールを他の宛先に転送します＜iモードメール転送＞

受信したiモードメールを他の宛先に転送します。

● iモードメールで転送されます。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するiモードメールを選択▶ メニュー ▶「2 転送する」を押す

先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

本文欄には受信メールの本文が入力されます。

● 電話帳：簡単メール作成画面に切り替えて転送できます。→P314 操作4

3 iモードメールを編集して送信する

● 操作方法→P313、P317

● 転送すると、受信メールの状態マークが／から／／に変わります。→P345

お知らせ

● 添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示され、本文のみを送ることもできます。

● 受信メール詳細表示画面からも同様にして転送できます。

● メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送メールに添付されません。ただし、出力が禁止されていなくても、メロディデータの種類によっては添付されない場合があります。

● 受信メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は転送メールには設定されません。

● この端末で受信したデコメールは、添付データ（本文中に挿入されている画像も含む）と文字データのみ転送できます。

ｉモードメールに添付された静止画を操作します

ｉモードメールに添付されている静止画を表示・保存します。保存した静止画は「写真のアルバムを見る」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

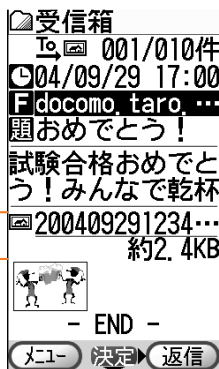
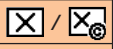
添付された静止画を表示します

データ名のみ表示されている静止画を選択して、静止画を表示したり、元に戻したりします。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す

<全体イメージ>

静止画のマークとデータ名、データサイズが表示されます。

データサイズの下に静止画が表示されます。

● 添付された静止画は、次のマークで確認できます。

マーク		説明
受信メール		メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ
		メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
	／	異常データ
送信メール		10000バイト以内のデータ
		10000バイトを超えたデータ

● を押すと待受画面に戻ります。

■ 画像表示からデータ名表示にするとき

表示されている静止画のデータ名を選択 ▶ 決定 を押す

お知らせ

● 送信メール詳細表示画面からも同様にして表示／非表示を切り替えられます。
● 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。
● メール本文の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
● 静止画の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 静止画によっては正しく表示できない場合があります。
● デコメールでは、メール詳細画面本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。

添付された静止画を保存します

添付されている静止画を保存します。

1 待受画面で ✉ ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 保存する静止画のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「2 画像を保存」を押す

●各項目の説明→ P432

4 決定 を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

●「写真のアルバムを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→ P428

●☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。→ P36
- デコメールに挿入されている画像を保存するときは、メール詳細表示画面で メニュー ▶「0 登録する」▶「4 画像を選択」▶ 保存する画像を選択 ▶ 決定 ▶ 決定 ▶ 決定 を押します。
- 送信メール詳細表示画面からも同様にして保存できます。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF 形式：640 × 480（ドット）　JPEG 形式：1280 × 960（ドット）
- 添付されているフレームのサイズが 176 × 144（ドット）、240 × 320（ドット）、352 × 288（ドット）以外の場合は保存できません。

添付された静止画の題名を確認します

静止画に付けられている題名を確認します。

1 **待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メールに表示されている静止画の題名を確認するときは ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

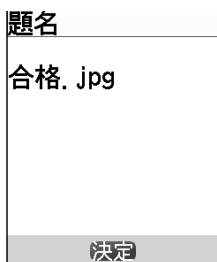
2 **静止画が添付されているｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す**

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 **題名を表示する静止画のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「5 題名を確認」を押す**

題名

合格.jpg

決定

● 送信メール詳細表示画面から操作するときは、題名を確認する静止画のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「7 添付データ確認」▶「5 題名を確認」を押します。

● 送信メールでは、「.jpg」などの拡張子は表示されません。

4 **決定 を押す**

受信メール詳細表示画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

静止画を表示するURLの記載されたメールの静止画を表示します

10000バイトを超える静止画データが添付されて送られてきたメールは、静止画を表示するURLが記載されています。静止画を表示するには、Web To機能でｉショットセンターに接続して静止画を表示します。

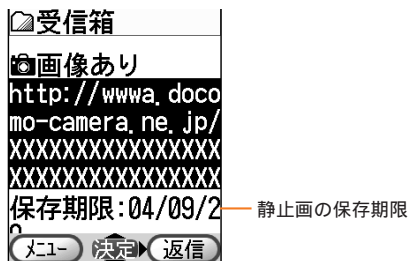
● ｉショットセンターに接続して静止画を表示すると、パケット通信料がかかります。

1 **待受画面で [メールキー] ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **静止画を表示するURLの記載されたｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す**

受信箱
画像あり
http://wwwa.docomo-camera.ne.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
保存期限:04/09/20
メニュー 決定 返信

静止画の保存期限

3 **URLを選択 ▶「1 接続する」▶ 決定 を押す**

静止画が表示されます。

● 静止画を保存する方法は、サイトの画像を保存する場合と同じです。
→P272

お知らせ

● 受信したURLの記載されたメールを、ｉモード対応機種以外に転送しても、静止画を表示できません。
● 静止画を表示するURLの記載されたｉモードメールは、静止画のマークでは確認できません。→P349

ｉモードメールからｉモーションを受信・再生します<ｉモーションメール>

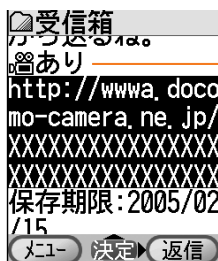
送信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、受信メールにはｉモーション閲覧のためのURLと保存期限が記載されます（ｉモーションメール）。このURLを選択して、ｉモーションを受信したり、再生したりできます。

●再生時の音量はｉモーションの音量設定に従います。→P451

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択▶ 決定 を押す

受信箱
あり
http://wwwa.docomo-camera.ne.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
保存期限:2005/02/15
メニュー 決定 返信

ｉモーションが添付されていることを示す「あり」が表示されます。

ｉモーション閲覧のためのURLが表示されます。

ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限が表示されます。

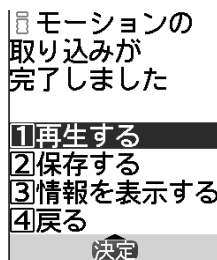
次ページへ続く

3 iモーションのURLを選択▶決定を押す

iモーションメールセンターに接続され、iモーションの受信・再生が始まります。

●再生画面の操作方法→P442

4 再生が終了する

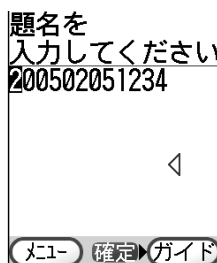
iモーションの
取り込みが
完了しました
1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る
決定

「1 再生する」　：iモーションを再生します。

「2 保存する」　：iモーションを保存します。

「3 情報を表示する」：iモーションの情報を表示します。→P444

「4 戻る」　：iモーションを保存するかしないかを選択できます。

5 「2 保存する」を押す

題名を
入力してください
200502051234
メニュー
確定
ガイド

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

6 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

ｉモーションの取り込み完了画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。
→P441

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●送信メール詳細表示画面から「ファイル名」を選択して、決定を押すと同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。

●ｉモード端末からｉモーションメールを受信した場合、ｉモーションセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。

●メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。→P606

iモードメールに添付されたメロディを操作します

iモードメールに添付されているメロディを再生・保存します。保存したメロディは再生したり、着信音に設定したりできます。

● 発信元がFOMA F880iES、F900iC、F900iT、F900i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できない場合があります。

添付されたメロディを再生します

● 添付メロディの表示形式には、メロディデータの種類によって2種類あります。

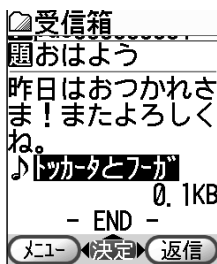
1 待受画面で ✉ ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているiモードメールを選択 ▶ 決定 を押す

本文の後にメロディのマークとファイル名、データサイズが表示されます（SMF形式）。

〈本文の後に表示〉

受信箱
題おはよう
昨日はおつかれさま！またよろしくね。
♪トッカータとフーガ
0.1KB
- END -
ﾒﾆｭｰ 決定 返信

本文中にメロディのマークと題名、データサイズが表示されます（MFi形式）。

〈本文中に表示〉

● 添付されたメロディは、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
♪	メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ※
♪©	メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
♪×／♪©×	異常データ

※：本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、メール添付や転送はできません。

3 再生するメロディを選択 ▶ 決定 を押す

メロディが再生されます。

● 再生を止めるときは 決定 を押します。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細表示画面からも同様にして再生できます。
- 本文中に表示されるメロディ（MFi形式）に題名が設定されていない場合、題名にはメールを受信した日時が表示されます。
- 添付のメロディを自動演奏する設定にしている場合は、メロディが添付されているメールを表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」で設定されている音量で自動的に再生されます。再生を止めるときは決定を押します。→P77、P382

添付されたメロディを保存します

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 保存するメロディを選択▶メニュー▶「8 添付データ確認」▶「2 メロディを保存」を押す

題名を
入力してください
melody

メニュー 確定 ガイド

- 題名を変更するときはメロディの保存画面でタイトルを入力▶決定を押します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

4 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

- 「保存した曲の詳細を設定する」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P452
- を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。→P36
- 送信メール詳細表示画面からも同様にして保存できます。
- 文字入力のしかた→P558

添付されたメロディの題名を確認します

メロディに付けられている題名を確認します。

〈例〉本文中に表示されているメロディ（MFi形式）の題名を確認するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メールに表示されているメロディの題名を確認するときは、▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押します。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶ 決定 を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 題名を確認するメロディを選択▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「4 題名を確認」を押す

題名

名曲集

決定

- 送信メール詳細表示画面から操作するときは、題名を確認するメロディを選択▶ メニュー ▶「7 添付データ確認」▶「4 題名を確認」を押します。

4 決定 を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本文の後に表示されているメロディ（SMF形式）の題名を確認するときは、メロディを選択▶ メニュー ▶「添付データ確認」を選択▶ 決定 ▶「題名を確認」を選択▶ 決定 を押して操作します。

本文中に表示されているメロディの表示を切り替えます

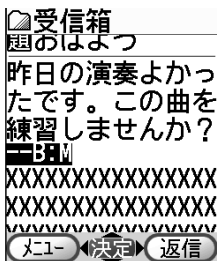
本文中に表示されているメロディのデータを文字として表示することができます。
●本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）では本機能を利用できません。

1 **待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **メロディが添付されているｉモードメールを選択▶ 決定 を押す**

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 **データ表示するメロディを選択▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「5 データ表示あり」を押す**

●を押すと待受画面に戻ります。

■ 題名表示に戻すとき

データ表示されているメロディの先頭行を選択▶ 決定 を押す

お知らせ

●本文の文字が誤ってメロディデータとして認識されてしまった場合は、この操作で文字を表示し、読むことができます。

ｉモードメールに添付されたデータを削除します

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを削除します。

●メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目（あり）や本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は削除できません。

〈例〉添付されている静止画を削除するとき

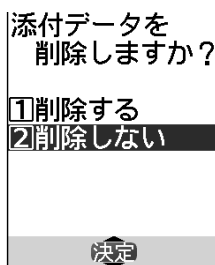
1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

●送信メールに添付されているメロディを削除するときは、▶「5送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押します。

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

3 削除する静止画のデータ名を選択▶メニュー▶「8 添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4 全て削除」を押す

●送信メール詳細表示画面から操作するときは、削除する静止画データを選択▶メニュー▶「7添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4全て削除」を押します。

4 「1 削除する」を押す

データを削除した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

●削除した添付データはデータ名が薄く表示されて選択できなくなります。

●を押すと待受画面に戻ります。

ｉモードメールのアドレスや受信拒否などを設定します<メール設定>

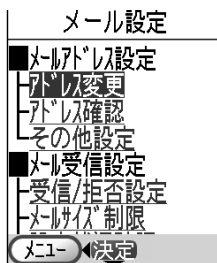
ｉモードセンターに接続して、ｉモードメールのアドレスや受信拒否などを設定します。

- メール設定ができるのはお手持ちのFOMA端末からだけです。
- 詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

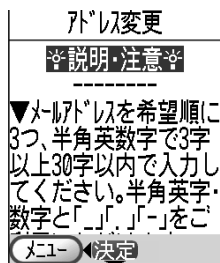
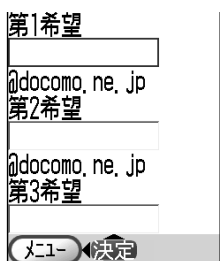
メールアドレスを変更します

ｉモードメールアドレスを任意のメールアドレスに変更できます。

- 「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、変更できるのは@マークより前の部分（下線部分）となります。変更するときは、@マークより前の部分だけを入力してください。なお、変更部分は、半角英数字と「_」（アンダーバー）、「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）の記号を使って、3文字以上30文字まで設定できます。
  - メールアドレスの先頭は英字のみ使用できます。英字の大文字・小文字の区別はありません。
  - スペース（空白）は使用できません。
  - 「.」（ピリオド）をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定したりすると、一部のプロバイダとメールを送受信できない場合があります。
- 変更される際はなるべく桁数を増やし、英字と数字の組み合わせにより他人が簡単に想定できないアドレスにすることをおすすめします。
- メールアドレスを変更すると、変更前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 変更前のアドレスではｉモードメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

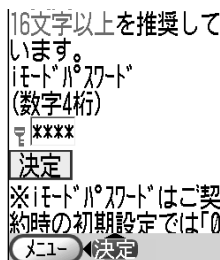
1 待受画面で（メール）▶「7 メールアドレスを確認・変更する」を押す

ｉモードに接続され、メール設定画面が表示されます。

次ページへ続く

2 「アドレス変更」を選択▶決定を押す

3 第1希望欄を選択▶決定▶任意のメールアドレスを入力▶決定を押す

●@マークより前の部分を入力します。

4 操作4と同様に第2希望、第3希望のメールアドレスを入力する

●第2希望、第3希望は入力しなくても先に進むことはできます。

5 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

●入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。
●iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

6 「決定」を選択▶決定を押す

メールアドレスが変更され、新しいメールアドレスが表示されます。

●変更が完了すると、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれます。
●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

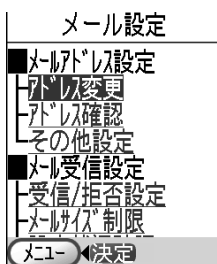
お知らせ

- メールアドレス変更前にｉモードセンターに保管されたメールは、メールアドレス変更後も受信することができます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していたｉモードメールアドレスは引き継がれます。
- メールアドレスを変更しても、個人情報に登録したメールアドレスは変更されません。変更後のメールアドレスをあらためて個人情報に登録してください。→P50
- 文字入力のしかた→P558

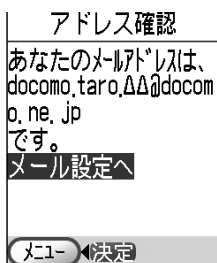
メールアドレスを確認します

現在設定されているｉモードメールアドレスを確認します。

1 メール設定画面を表示する

メール設定
■メールアドレス設定
├アドレス変更
├アドレス確認
└その他設定
■メール受信設定
├受信/拒否設定
├メールサイズ制限
メニュー ◀決定

- 操作方法→P361 操作1

2 「アドレス確認」を選択▶決定を押す

アドレス確認
あなたのメールアドレスは、
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
です。
メール設定へ
メニュー ◀決定

現在設定されているメールアドレスが表示されます。

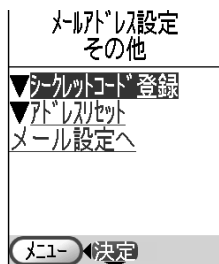
- ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

シークレットコードを登録します

「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のｉモードメールアドレスをご利用のとき、シークレットコードを登録すると、登録したシークレットコード（数字４桁）が付いたメール以外は受信しません。送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。これにより不要なｉモードメールの受信を避けることができます。

- ｉモードメールの送信時にはメールアドレスのシークレットコード部分は隠されるため、送信先にシークレットコードが表示されることはなく、受信者がそのまま返信することはできません。シークレットコードを指定せずにそのまま返信すると、宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。
- 「携帯電話番号@docomo.ne.jp」以外のメールアドレスではシークレットコードを登録できません。あらかじめアドレスリセット（→P365）でメールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してからご利用ください。

1 **メール設定画面を表示し、「■メールアドレス設定」の「その他設定」を選択▶決定を押す**

メールアドレス設定
その他
▼シークレットコード登録
▼アドレスリセット
メール設定へ
メニュー 決定

- 操作方法→P361 操作1

2 **「シークレットコード登録」を選択▶決定を押す**

3 **シークレットコード欄を選択▶決定▶シークレットコード（4桁の数字）を入力▶決定を押す**

- 入力モードは数字になっています。
- 「0000」は使用できません。

4 **ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す**

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

5 「決定」を選択▶決定を押す

シークレットコードが登録され、新しいメールアドレスが表示されます。

- 電話番号以下の4桁の数字がお客様の指定されたシークレットコードとなります。
- 登録が完了すると、すぐに新しいメールアドレスが利用できます。
- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

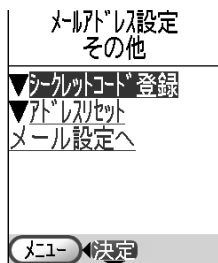
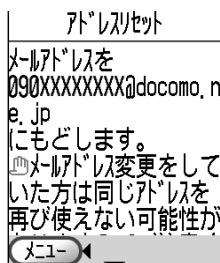
お知らせ

- シークレットコード登録を設定する前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信することができます。
- シークレットコード登録をしたときは、ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- シークレットコード登録を取り消すときは、メールアドレス変更（→P361）またはアドレスリセット（→下記）を行ってください。

電話番号をメールアドレスにします<アドレスリセット>

ｉモードメールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更します。

- アドレスリセットを行うと、変更前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- リセット前のアドレスではｉモードメールが届かなくなります。送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

1 メール設定画面を表示し、「■メールアドレス設定」の「その他設定」を選択▶決定を押す

メールアドレス設定
その他
▼シークレットコード登録
▼アドレスリセット
メール設定へ
メニュー 決定

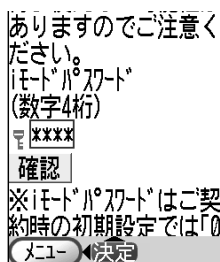
- 操作方法→P361 操作1

次ページへ続く

2 「アドレスリセット」を選択▶決定を押す

アドレスリセット
メールアドレスを
090XXXXXXXX@docomo.ne.jp
にもどします。
メールアドレス変更をしていた方は同じアドレスを再び使えない可能性が
メニュー

3 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

ありますのでご注意ください。
iモードパスワード
(数字4桁)
****
確認
※iモードパスワードはご契約時の初期設定では「0
メニュー 決定

- 入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

4 「確認」を選択▶決定を押す

メールアドレスがリセットされ、新しいメールアドレスが表示されます。

- アドレスリセットが完了すると、すぐに新しいメールアドレスが利用できます。
- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

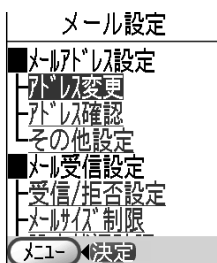
お知らせ

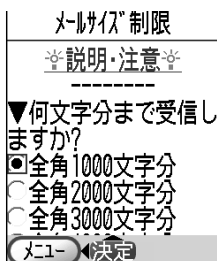
- アドレスリセット前にiモードセンターに保管されたメールは、リセット後も受信できます。

受信文字数（メールサイズ）を制限します

受信するｉモードメールを、文字数（メールサイズ）によって制限します。
●初期設定では「全角５０００文字」に設定されています。

1 メール設定画面を表示する

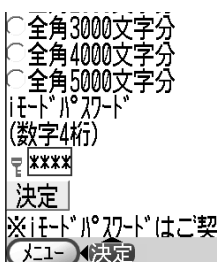
メール設定
■メールアドレス設定
├アドレス変更
├アドレス確認
└その他設定
■メール受信設定
├受信/拒否設定
├メールサイズ制限
メニュー 決定

●操作方法→Ｐ３６１ 操作１

2 「メールサイズ制限」を選択▶決定▶受信する文字分を選択▶決定を押す

メールサイズ制限
説明・注意

▼何文字分まで受信しますか?
全角1000文字分
全角2000文字分
全角3000文字分
メニュー 決定

●選択されると○が◉に変わります。

3 ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

全角3000文字分
全角4000文字分
全角5000文字分
iモードパスワード
(数字4桁)
****
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

●入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
●ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。

4 「決定」を選択▶決定を押す

メールサイズ制限が設定されます。
●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 設定された文字数を超えた場合はｉモードセンターで削除され、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、削除された部分を見ることはできませんのでご注意ください。また、添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目（🎥あり）、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））はｉモードセンターで削除されます。
- 添付データのあるｉモードメールの全体のサイズが、設定された文字数相当サイズを超えた場合、ｉモードセンターは次のような順位（①→③）でデータを削除します。
  ①静止画、メロディ
  ②メール本文
  ③動画／ｉモーションの添付データ

ｉモードメールの受信を拒否します

次のいずれかの方法でｉモードメールの受信を拒否できます。

- 未承諾広告※メール拒否
  メール表題部の最前部に未承諾広告※と記載されているメールを受信または拒否できます。これにより、受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否することができます。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール表題部欄の最前部に未承諾広告※（全角 6 文字）と記載することが法律で義務づけられています）。
  ※受信したい場合の設定方法については『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
  1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
  ※受信したい場合の設定方法については『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードメールのみ受信／拒否
  - ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。
- アドレス指定受信／拒否
  - 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。
- ドメイン指定受信
  - ｉモード、ｉショット、e ビリング請求額お知らせメール、一定額到達通知サービスおよび他の携帯電話・PHS 会社（ドコモのPHS・アステルグループを除く）からのメールと、指定するドメインからのメールを受信します。
  ※ドメインとは「××× @ △△△ .ne.jp」の下線部分のような、メールアドレスの@より後ろの部分のことです。ドメインを指定することにより、指定したドメインで終わるメールアドレスからのメールを受信できます。
  ※日本語のアドレスやドメインは設定できません。

※ドメインを指定する場合は、iモードからのすべてのメールは受信しますので、「docomo.ne.jp」を指定する必要はありません。「docomo.ne.jp」を入力してしまうと、iモードになりすましたメールが届いてしまいます。
- iモードメールのみ受信／拒否とアドレス指定受信／拒否、ドメイン指定受信は同時には利用できません。

未承諾広告※メールを拒否します

1 メール設定画面を表示する

- 操作方法→ P361 操作1

2 「■メール受信設定」の「その他設定」を選択▶決定▶「未承諾広告※メール拒否」を選択▶決定▶「拒否する」を選択▶決定を押す

- 拒否しない場合は、「拒否しない」を選択▶決定を押します。
- 選択すると○が◉に変わります。

3 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

- 入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

4 「決定」を選択▶決定を押す

未承諾広告※メール拒否が設定されます。

- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

iモードメール大量送信者からのメール受信を制限します

1 メール設定画面を表示する

- 操作方法→ P361 操作1

2 「■メール受信設定」の「その他設定」を選択▶決定▶「iモードメール大量送信者からのメール受信制限」を選択▶決定▶「拒否する」を選択▶決定を押す

- 拒否しない場合は、「拒否しない」を選択▶決定を押します。
- 選択すると○が◉に変わります。

3 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

- 入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

次ページへ続く

4 「決定」を選択▶決定を押す

ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限が設定されます。

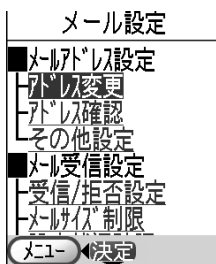
●☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

ｉモードメールのみ受信／拒否をします

●設定が完了すると、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

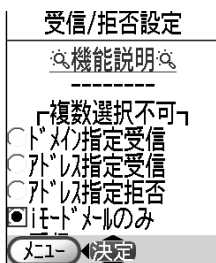
〈例〉「ｉモードメールのみ受信」に設定するとき

1 メール設定画面を表示する

メール設定
■メールアドレス設定
├アドレス変更
├アドレス確認
└その他設定
■メール受信設定
├受信/拒否設定
├メールサイズ制限
メニュー 決定

●操作方法→P361 操作1

2 「受信／拒否設定」を選択▶決定▶「ｉモードメールのみ受信」を選択▶決定を押す

受信/拒否設定
機能説明

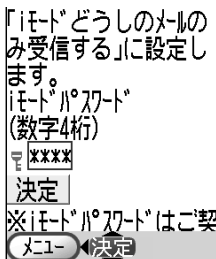
複数選択不可
○ドメイン指定受信
○アドレス指定受信
○アドレス指定拒否
◉iモードメールのみ
メニュー 決定

●選択すると○が◉に変わります。

■「ｉモードメールのみ拒否」に設定するとき

「ｉモードメールのみ拒否」を選択▶決定を押す

●現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択▶決定を押します。

3 「次へ」を選択▶決定▶ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

「iモードどうしのメールのみ受信する」に設定します。
iモードパスワード
(数字4桁)
****
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

●入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。

●ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

●既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかの確認画面が表示されます。変更する場合には「はい」を選択▶決定を押します。

4 「決定」を選択▶決定を押す

iモードメールのみ受信／拒否が設定されます。

●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● iモードメールのみ受信／拒否を設定する前にiモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信することができます。
●「iモードメールのみ受信」を設定した場合は、希望しているメール配信が届かなくなることがあります。
●設定によっては、送信したiモードメールがエラーになっても、宛先不明などのエラーメールを受信しなくなる場合があります。

アドレス指定受信／拒否をします

●設定が完了すると、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

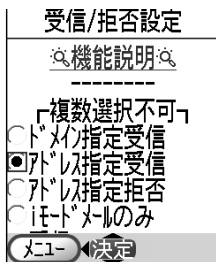
〈例〉「アドレス指定受信」を設定するとき

1 メール設定画面を表示する

●操作方法→P361 操作1

2 「受信／拒否設定」を選択▶決定▶「アドレス指定受信」を選択▶決定を押す

受信/拒否設定
機能説明

┌複数選択不可┐
○ドメイン指定受信
◉アドレス指定受信
○アドレス指定拒否
○iモードメールのみ
メニュー 決定

●選択すると○が◉に変わります。

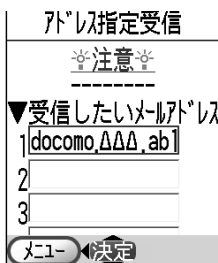
■「アドレス指定拒否」を設定するとき

「アドレス指定拒否」を選択▶決定を押す

●現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択▶決定を押します。

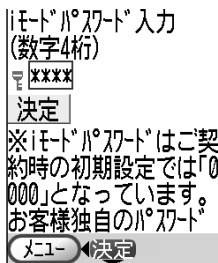
3 「次へ」を選択▶決定▶メールアドレス欄を選択▶決定▶指定するメールアドレスを入力▶決定を押す

アドレス指定受信
注意

▼受信したいメールアドレス
1 docomo.ΔΔΔ.ab
2
3
メニュー 決定

● iモード端末のメールアドレスを入力するときは「@docomo.ne.jp」は省略できます。
●既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。変更する場合には「はい」を選択▶決定を押します。

次ページへ続く

4 「登録」を選択▶決定▶ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力
(数字4桁)
****
決定
※iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはご契約時の初期設定では「0000」となっています。
お客様独自のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
ﾒﾆｭｰ 決定

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

5 「決定」を選択▶決定を押す

アドレス指定受信／拒否が設定されます。

- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

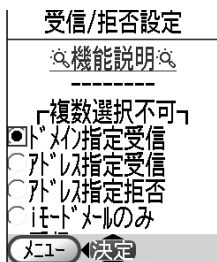
ドメイン指定受信をします

1 メール設定画面を表示する

- 操作方法→P361 操作1

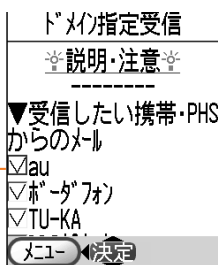
2 「受信／拒否設定」を選択▶決定▶「ドメイン指定受信」を選択▶決定を押す

受信/拒否設定
機能説明

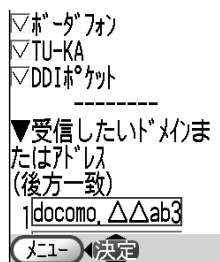
複数選択不可
◉ﾄﾞﾒｲﾝ指定受信
◯ｱﾄﾞﾚｽ指定受信
◯ｱﾄﾞﾚｽ指定拒否
◯iﾓｰﾄﾞﾒｰﾙのみ
ﾒﾆｭｰ 決定

- 選択すると◯が◉に変わります。
- 現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択▶決定を押します。

3 「次へ」を選択▶決定▶受信したい携帯・PHSのチェックボックスを選択▶決定を押す

ﾄﾞﾒｲﾝ指定受信
説明・注意

▼受信したい携帯･PHSからのﾒｰﾙ
☑au
☑ﾎﾞｰﾀﾞﾌｫﾝ
☑TU-KA
ﾒﾆｭｰ 決定

チェックボックス

- お買い上げ時は4つの携帯電話・PHS会社すべてのチェックボックス□が選択☑されています。
- 既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。変更する場合には「はい」を選択▶決定を押します。
- 受信したいドメインまたはメールアドレスを指定しない場合は、操作5に進みます。

4 受信したいドメインまたはアドレスの入力欄を選択▶決定▶受信したいドメインまたはアドレスを入力▶決定を押します

5 「登録」を選択▶決定▶ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

6 「決定」を選択▶決定を押す

ドメイン指定受信が設定されます。

- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

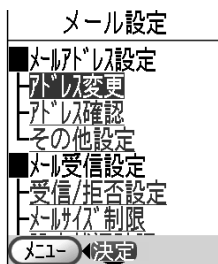
お知らせ

- アドレス指定受信／拒否、ドメイン指定受信を設定する前にｉモードセンターに保管されたメールは設定後も受信することができます。
- 「アドレス指定受信」「ドメイン指定受信」を設定した場合は、希望しているメール配信が届かなくなることがあります。
- 「アドレス指定受信／拒否」の場合、ドメインは指定できません。
- ｉモード、ｉショット、ｅビリング請求額お知らせメール、一定額到達通知サービスおよび他の携帯電話・PHS会社（ドコモのPHS・アステルグループを除く）からのメールは、ドメインを入力しなくてもすべてのメールを受信しますので入力は不要です。入力してしまうと、携帯電話、PHSから送信したようにみえる「迷惑メール」が届いてしまいますので、ご注意ください。
- 「アドレス指定受信／拒否」「ドメイン指定受信」の場合、コンテンツプロバイダなどからのメール配信サービスを受けているときは、送信元のメールアドレスまたはドメインを指定してください。
- 設定によっては、送信したｉモードメールがエラーになっても、宛先不明などのエラーメールを受信しなくなる場合があります。
- ｉモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合がありますので、これらのメールを受信するために、各サイトのドメインやメールアドレスなどを指定してご利用ください。

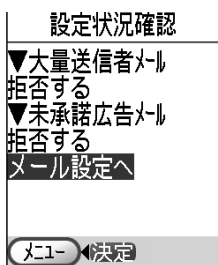
現在の拒否設定を確認します

現在の拒否設定内容を確認します。

1 メール設定画面を表示する

メール設定
■メールアドレス設定
├アドレス変更
├アドレス確認
└その他設定
■メール受信設定
├受信/拒否設定
├メールサイズ制限
メニュー 決定

● 操作方法→ P361 操作1

2 「設定状況確認」を選択 ▶ 決定 を押す

設定状況確認
▼大量送信者メール
拒否する
▼未承諾広告メール
拒否する
メール設定へ
メニュー 決定

現在の設定内容が表示されます。

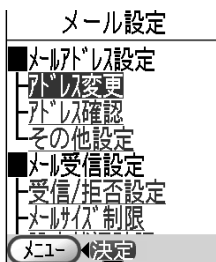
● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

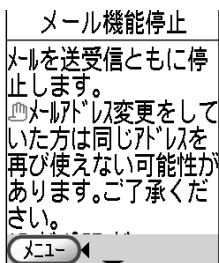
ｉモードメール機能を停止します

ｉモードのメール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

- メール機能を停止すると、停止前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- メール機能を停止すると、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にリセットされます。
- メール機能を停止した場合、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

1 メール設定画面を表示する

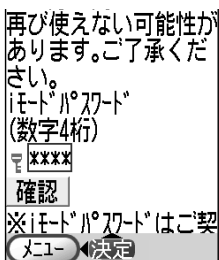
メール設定
■ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ設定
├ｱﾄﾞﾚｽ変更
├ｱﾄﾞﾚｽ確認
└その他設定
■ﾒｰﾙ受信設定
├受信/拒否設定
├ﾒｰﾙｻｲｽﾞ制限
ﾒﾆｭｰ 決定

- 操作方法→Ｐ361 操作１

2 「■メール機能停止」を選択▶決定を押す

メール機能停止
ﾒｰﾙを送受信ともに停止します。
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ変更をしていた方は同じｱﾄﾞﾚｽを再び使えない可能性があります。ご了承ください。
ﾒﾆｭｰ

3 ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

再び使えない可能性があります。ご了承ください。
iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
(数字4桁)
****
確認
※iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはご契
ﾒﾆｭｰ 決定

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。

次ページへ続く

4 「確認」を選択▶決定を押す

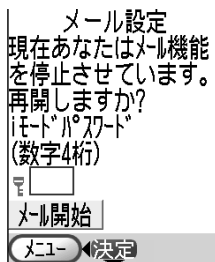
メール機能が停止されます。

●設定が完了すると、すぐにメール機能が停止します。

●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

iモードメール機能を再開します

1 メール設定画面を表示する

メール設定
現在あなたはﾒｰﾙ機能
を停止させています。
再開しますか?
iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
(数字4桁)
ﾒｰﾙ開始
ﾒﾆｭｰ 決定

●操作方法→P361 操作1

2 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

●入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。

●iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「メール開始」を選択▶決定を押す

メール機能が再開されます。

●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●メール機能停止前にiモードセンターで保管されたiモードメールは、受信時から720時間そのまま保管され、iモード問い合わせ、またはメール選択受信で受信できます。

●メール機能停止中はiモードセンターで新しいメールの保管は行いません。

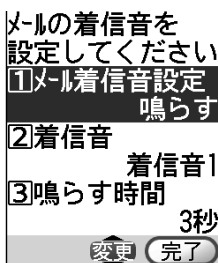
●メール機能停止中にiモードメールを送信した場合、エラーメッセージが表示されます。iモードメールの送信やiモード問い合わせの操作を行うと、iモードセンターとの通信が行われ、パケット通信料がかかります。

メール受信時の着信音を設定します<メール着信音設定>

お買い上げ時　メール着信音設定：鳴らす　着信音：着信音１　鳴らす時間：３秒

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音を設定します。

1 待受画面で（メールキー）▶「8 メールを設定する」▶「1 メールが届いた時の音を選ぶ」を押す

メールの着信音を
設定してください
1メール着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1
3鳴らす時間
3秒
変更　完了

項　目	説　明
1 メール着信音設定	着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2 着信音	着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
3 鳴らす時間	着信音を鳴らす時間を１～30秒の間で設定します。

2 「1 メール着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 「鳴らさない」に設定すると、「着信音」「鳴らす時間」は設定できません。操作５に進みます。
- 「2 着信音」　：着信音から設定します。操作３に進みます。
- 「3 鳴らす時間」：鳴らす時間から設定します。操作４に進みます。

3 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

4 鳴らす時間を入力▶決定を押す

操作１の画面に戻ります。

5 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー一覧に戻ります。

- （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

メール受信時の振動を設定します＜メール着信振動設定＞

お買い上げ時 振動させない

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの振動を設定します。

1 待受画面で ▶「8 メールを設定する」▶「2 メールが届いた時の振動を選ぶ」を押す

メールが
届いた時の振動を
選んでください

1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない
決定

●振動パターンについて→P155

2 「1 パターンAで振動」～「4 振動させない」のいずれか1つの番号を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

メールにつける署名を登録します＜署名登録／設定＞

ｉモードメールの本文に付ける署名を登録します。

署名を登録します

ｉモードメールの本文に付ける署名を登録します。署名に電話番号やメールアドレス、URL を入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手が Phone To（AV Phone To）Mail To、Web To 機能を使うことができます。

1 待受画面で（メール）▶「8 メールを設定する」▶「3 メールに付ける署名を登録する」▶ 署名を入力する

署名登録　残70
松尾 太郎↵
電話：↵
090XXXXXXXX
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

●全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

2 決定 を押す

署名を登録した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。
●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

署名を設定します

●ショートメッセージ（SMS）には署名を設定できません。

1 ｉモードメールを作成する

●操作方法→P317 操作1～5

2 メニュー ▶「3 署名付きで送信」を押す

ｉモードメールが送信されます。

メール
署名登録／設定

次ページへ続く

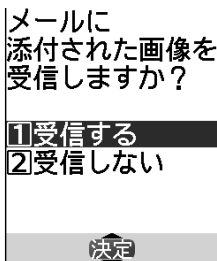
- 署名も本文の文字数に含まれます。
- 半角カタカナ、絵文字は正しく表示されない場合がありますので、ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外には使用しないでください。
- 一部の絵文字（→P570）は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 文字入力のしかた→P558

添付データを受信するかどうかを設定します<添付データ受信設定>

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

画像データを受信するかどうかを設定します

お買い上げ時　受信する

1 待受画面でメニュー▶「✻ 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「2 添付の画像を受信する」を押す

メールに
添付された画像を
受信しますか？

1受信する
2受信しない

決定

2 「1 受信する」または「2 受信しない」を押す

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

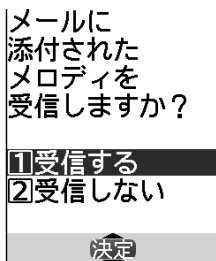
3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「受信しない」に設定すると、添付データはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。

メロディデータを受信するかどうかを設定します

お買い上げ時	受信する

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「3 添付のメロディを受信する」を押す**

メールに
添付された
メロディを
受信しますか？

1受信する
2受信しない

決定

2 **「1 受信する」または「2 受信しない」を押す**

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「受信しない」に設定すると、添付データはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
●メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、本設定に関わらず受信します。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定します

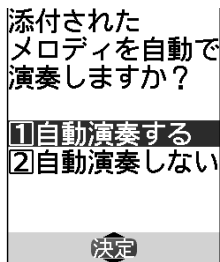
お買い上げ時　自動演奏する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

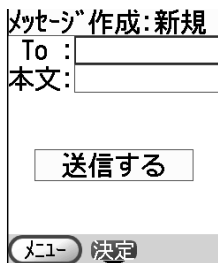
1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「4 添付のメロディを自動演奏する」を押す

添付された
メロディを自動で
演奏しますか？

1自動演奏する
2自動演奏しない

決定

2 「1 自動演奏する」または「2 自動演奏しない」を押す

自動演奏する／自動演奏しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

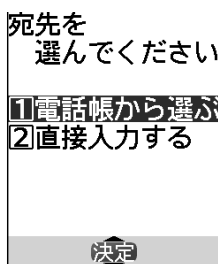
3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します<SMS作成・送信>

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、宛先に電話番号を直接入力できません。→P185

1 待受画面で[メールキー]▶「9 SMSを使う」▶「1 SMSを作る」を押す

2 To（宛先）欄を選択▶[決定]を押す

宛先を
選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
決定

■ 電話帳から選択するとき

①「1 電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶[決定]を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

• FOMAカードの電話帳から選択する場合は[電話帳]を押します。

②送信する相手を選択▶[決定]を押す

送信する相手の電話番号画面が表示されます。

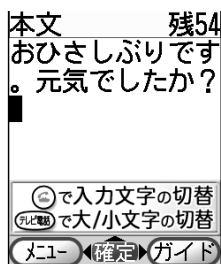
③電話番号を選択▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録されている名前がTo（宛先）欄に入力されています。操作4に進みます。

次ページへ続く

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

- 相手のFOMA端末の電話番号を入力します。

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。→P401
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号（。「」、・゛゜を除く）を最大160文字入力できます。→P401
- #改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

5 「送信する」を選択▶決定を押す

ショートメッセージ（SMS）が送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

電話帳を表示してショートメッセージ（SMS）を作成します

電話帳の検索結果一覧から、ショートメッセージ（SMS）を作成します。

- 電話帳データに電話番号が登録されていない場合は、本機能を利用できません。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→P124 操作1

2 ショートメッセージ（SMS）を送信する相手を選択▶メニュー▶「3 SMSを作る」を押す

メッセージ作成:新規
To ：松尾 太郎
本文:
送信する
メニュー 決定

電話帳に登録されている名前が入力されます。

●ショートメッセージ（SMS）作成方法→P383

お知らせ

● メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ショートメッセージ（SMS）を作成できない旨のメッセージが表示され、ショートメッセージ（SMS）を作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P337、P406
● 定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。→P565
● 半角カタカナや一部の絵文字は、相手のFOMA端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。→P570
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→P401
● ショートメッセージ（SMS）作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、メニュー▶「4 SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のショートメッセージ（SMS）にのみ設定が有効になります。
● 送信文字種により送信できない文字があります。→P312
● 送信が正常に終了したときは、ショートメッセージ（SMS）が「送信したメールを見る」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P337、P409
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ショートメッセージ（SMS）が「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からショートメッセージ（SMS）を編集・送信できます。→P337
● メッセージ作成画面で送達通知を「要求する」に設定して送信した場合（→P401）、ショートメッセージ（SMS）が相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→P345
● 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ \ ）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
● 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、ショートメッセージ（SMS）送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
● 電話帳番号0～9に登録されている相手には簡単にショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます（ツータッチメール）。→P321
● 電話帳を表示して、電話帳の検索結果一覧から電話番号が複数登録されている相手を選択してメールを作成すると、1件目に登録されている電話番号がTo（宛先）に設定されます。2件目以降に登録されている電話番号を設定する場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示し、2件目以降の電話番号を選択してから作成します。→P124
● 文字入力のしかた→P558

作成中のショートメッセージ（SMS）を保存しておき、あとで送信します<SMS保存>

作成中のショートメッセージ（SMS）を送信せずに保存したり、保存したショートメッセージ（SMS）を再編集して送信したりできます。

作成中のショートメッセージ（SMS）を保存します

作成途中のショートメッセージ（SMS）を、送信せずに保存しておきます。

1 ショートメッセージ（SMS）を作成する

● 操作方法→P383 操作1～4

2 メニュー ▶「2 保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー一覧に戻ります。

● ショートメッセージ（SMS）が「未送信のメールを見る」に保存されます。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 未送信メールの最大保存件数→P36
● 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。

送信・保存したショートメッセージ（SMS）を編集・送信します

送信したショートメッセージ（SMS）や、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたショートメッセージ（SMS）を編集・送信できます。

〈例〉未送信ショートメッセージ（SMS）を再編集するとき

1 待受画面で ▶「4 未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

● 送信ショートメッセージ（SMS）を再編集する場合は、 ▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押します。
● ショートメッセージ（SMS）は が表示されます。

2 編集するショートメッセージ（SMS）を選択▶決定を押す

メッセージ作成:編集
To :090XXXXXXX
本文:おひさしぶ
送信する
メニュー 決定

●送信したショートメッセージ（SMS）を再編集するときは、編集するショートメッセージ（SMS）を選択▶電話帳を押します。

3 ショートメッセージ（SMS）を編集して送信する

●操作方法→P383

お知らせ

●送信ショートメッセージ詳細表示画面からも同様にして編集できます。
●FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を送信した場合、送信したショートメッセージ（SMS）は本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P337、P395
●文字入力のしかた→P558

未送信／送信したショートメッセージ（SMS）を見ます<未送信／送信メール>

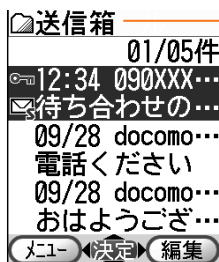
送信したショートメッセージ（SMS）は「送信したメールを見る」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたショートメッセージ（SMS）は「未送信のメールを見る」に保存されます。

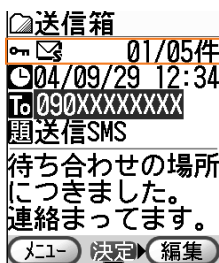
〈例〉送信したショートメッセージ（SMS）を表示するとき

1 待受画面で▶「5 送信したメールを見る」を押す

●未送信メールを表示する場合は、▶「4 未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。
●：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
●フォルダの状態をマークで確認できます。→P337

次ページへ続く

2 フォルダを選択▶決定を押す

- ：ショートメッセージ（SMS）／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- ショートメッセージ（SMS）はが表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109
- メールの状態をマークで確認できます。→P338

3 表示するショートメッセージ（SMS）を選択▶決定を押す

- 未送信ショートメッセージ（SMS）ではショートメッセージ（SMS）編集画面が表示されます。→P386
- ：前後のショートメッセージ（SMS）／メールを表示できます。
- ショートメッセージ（SMS）本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(時計)	ショートメッセージ（SMS）を送信した日時
To	ショートメッセージ（SMS）の送信先の電話番号または名前
題	ショートメッセージ（SMS）の題名「送信SMS」

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 送信日時・保存日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。→P46
- 宛先や本文の文字をコピーできます。→P415
- 詳細表示画面に表示されている電話番号やメールアドレス、URLを選択して次の操作ができます。
  - 電話帳に登録する→P417
  - ブックマークに登録する→P418
  - 電話をかける→P274
  - iモードメールを作成する→P275
  - サイトを表示する→P275

ショートメッセージ（SMS）を受信したときは<SMS受信>

ショートメッセージ（SMS）が送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したショートメッセージ（SMS）は「受信したメールを見る」に保存されます。

1 ショートメッセージ（SMS）を受信する

✉が点滅し、左の画面が表示されます。

● メッセージ受信中画面で☎を押すと、受信を中止できますが、受信中の状況によってはショートメッセージ（SMS）を受信する場合があります。

2 ショートメッセージ（SMS）の受信結果が表示される

メール着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
何も操作しないで約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

● すぐに受信前の画面に戻したいときは（戻る）を押します。

■ 受信したショートメッセージ（SMS）をすぐに確認するとき

「1 メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
→P391

■ 受信に失敗したとき

「1 メール」の後ろに「×」が表示されます。

● メールを受信し直すには、「届いているSMSを全部受信する」を行ってください。→P390

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P28
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P409
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ショートメッセージ（SMS）の受信は中止され、画面にはやのマークが表示されます。→P26
- FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が20件保存されているときは、「受信したメールを見る」に空きがあってもショートメッセージ（SMS）を受信できないことがあり、画面にはやのマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、FOMAカードのショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P398、P399
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示を制限しているときには、ショートメッセージ（SMS）を自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したショートメッセージ（SMS）を確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、ショートメッセージ（SMS）を自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。「届いているSMSを全部受信する」を行ってください。→下記
- FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではショートメッセージ（SMS）として受信します。

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせます<SMS問い合わせ>

圏外にいた間や電源を切っていた間にショートメッセージ（SMS）が届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問い合わせができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で ▶「9 SMSを使う」▶「2 届いているSMSを全部受信する」を押す

SMS問い合わせが実行されます。ショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）が保管されていれば受信します。

- ショートメッセージ問い合わせ中やショートメッセージ受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはショートメッセージ（SMS）を受信する場合があります。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P389

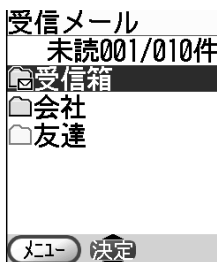
お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信したショートメッセージ（SMS）を見ます<受信メール>

受信したショートメッセージ（SMS）は「受信したメールを見る」に保存されます。

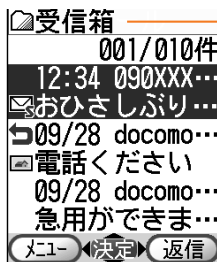
1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

受信メール
未読001/010件
受信箱
会社
友達
メニュー 決定

未読メール数／全メール件数

● ：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態をマークで確認できます。→P345

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信箱
001/010件
12:34 090XXX…
おひさしぶり…
09/28 docomo…
電話ください
09/28 docomo…
急用ができま…
メニュー 決定 返信

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、本文の先頭または「SMS 送達通知」

● ：ショートメッセージ（SMS）／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

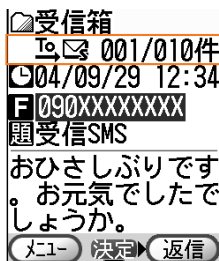
● ショートメッセージ（SMS）はが表示されます。

● 送信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109

● メールの状態をマークで確認できます。→P345

次ページへ続く

3 ショートメッセージ（SMS）を選択▶決定を押す

受信箱
To✉ 001/010件
04/09/29 12:34
F 090XXXXXXXX
題受信SMS
おひさしぶりです。お元気でしたでしょうか。
メニュー 決定 返信

宛先マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数

● ：前後のメールを表示できます。

● ショートメッセージ（SMS）本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
🕒	ショートメッセージ（SMS）を受信した日時
F	ショートメッセージ（SMS）の送信元の電話番号または名前
×↰	ショートメッセージ（SMS）の送信元（返信不可）
題	ショートメッセージ（SMS）の題名「受信SMS」

● 送達通知の詳細表示画面では送信元に「SMS Center」、題名に「SMS送達通知」と表示されます。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信したショートメッセージ（SMS）に半角英数字や記号（。「」、・゛゜を除く）以外のラテン文字、ギリシア文字、記号、および区点コード一覧表（→P595）に記載されていない全角文字が含まれていたときは、スペースで表示されます。

● データ異常のショートメッセージ（SMS）は次のように表示されます。
受信メール一覧画面：×↰が表示され、受信日時には--/--（受信当日のみ）となります。送信元は表示されません。
ショートメッセージ（SMS）詳細表示画面：×↰が表示され、F以外は表示されません。

● 宛先や本文の文字をコピーできます。→P415

● 詳細表示画面に表示されている電話番号やメールアドレス、URLを選択して次の操作ができます。
- 電話帳に登録する→P417
- 電話をかける→P274
- サイトを表示する→P275
- ブックマークに登録する→P418
- ｉモードメールを作成する→P275

ショートメッセージ（SMS）に返事を出します<SMS返信>

受信したショートメッセージ（SMS）に返信します。

● 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ（SMS）には返信できません。

● movaサービスのｉモード端末からショートメールを受信した場合、FOMA端末ではショートメッセージ（SMS）として受信しますが、受信したショートメッセージ（SMS）にショートメッセージ（SMS）で返信することはできません。メッセージの返信にはｉモードメールをご使用ください。
→P313、317

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するショートメッセージ（SMS）を選択▶ 電話帳 を押す

受信ショートメッセージ（SMS）の送信元の電話番号または名前が入力されています。

3 ショートメッセージ（SMS）を編集して送信する

● 操作方法→P383

● 返信すると、受信ショートメッセージ（SMS）の状態マークが✉／🔑から⮌／⮌／✉にに変わります。→P345

お知らせ

● 受信ショートメッセージ詳細表示画面からも同様にして返信できます。

● FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）から返信した場合、送信したショートメッセージ（SMS）は本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P337、P395

ショートメッセージ（SMS）を他の宛先に転送します<SMS転送>

受信したショートメッセージ（SMS）を他の宛先に転送します。

●ショートメッセージ（SMS）で転送されます。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するショートメッセージ（SMS）を選択▶ メニュー ▶「2 転送する」を押す

3 ショートメッセージ（SMS）を編集して送信する

●操作方法→P383

●転送すると、受信ショートメッセージ（SMS）の状態マークが ／ から ／ ／ に変わります。→P345

お知らせ

●受信ショートメッセージ詳細表示画面からも同様にして転送できます。

●FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）から転送した場合、送信したショートメッセージ（SMS）は本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P337、P395

ショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに保存します

送受信したショートメッセージ（SMS）を、FOMA 端末本体から移動またはコピーして FOMA カードに保存できます。

FOMA 端末本体の SMS を FOMA カードへ移動／コピーします

FOMA 端末本体に保存されているショートメッセージ（SMS）を、FOMA カードに移動またはコピーします。

- ｉモードメールは、FOMA カードに保存できません。
- 「未送信のメールを見る」のショートメッセージ（SMS）は、FOMA カードに保存できません。
- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に FOMA カードの「FOMA カードの受信 SMS を見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに移動／コピーするとき

1 待受画面で [メール] ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ [決定] を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーするときは、[メール] ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ [決定] を押します。

2 移動／コピーするショートメッセージ（SMS）を選択 ▶ [メニュー] ▶「6 FOMA カードへ保存」を押す

FOMAカードへの
保存方法を
選んでください

1 移動する
2 コピーする

決定

- 送信メール一覧から操作するときは、移動／コピーするショートメッセージ（SMS）を選択 ▶ [メニュー] ▶「5 FOMA カードへ保存」を押します。

3「1 移動する」または「2 コピーする」を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4「1 移動する」もしくは「1 コピーする」を押す

メッセージを移動もしくはコピーした旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

5 決定を押す

受信メール一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●FOMAカードには、送受信したショートメッセージ（SMS）を合わせて最大20件（送達通知は含まれません）保存できます。既に20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P399

●受信ショートメッセージ詳細表示画面、送信ショートメッセージ詳細表示画面からも同様にしてFOMAカードへ移動やコピーができます。

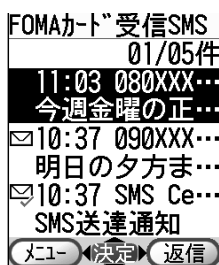
●送信ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）から送信日時のデータが消去されます。

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を見ます

FOMAカードに保存されているショートメッセージ（SMS）を表示します。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）を表示するとき

1 待受画面で（メール）▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

FOMAｶｰﾄﾞ受信SMS
01/05件
11:03 080XXX…
今週金曜の正…
10:37 090XXX…
明日の夕方ま…
10:37 SMS Ce…
SMS送達通知
ﾒﾆｭｰ 決定 返信

メッセージ番号／全メッセージ件数

受信日時※（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元または宛先

本文の先頭または「SMS送達通知」

※：送信ショートメッセージ（SMS）は、送信日時が表示されません。

●送信ショートメッセージ（SMS）を表示するときは、（メール）▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

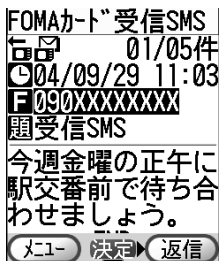
●：ショートメッセージ（SMS）が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

●送信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P109

●ショートメッセージ（SMS）の状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
✉	未読ショートメッセージ
表示なし	既読ショートメッセージ
✉	未読ショートメッセージ（返信不可能）
✕	既読ショートメッセージ（返信不可能）
✉	送達通知

2 ショートメッセージ（SMS）を選択▶決定を押す

FOMAカード受信SMS
01/05件
04/09/29 11:03
F 090XXXXXXXX
題 受信SMS
今週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせましょう。
メニュー 決定 返信

メッセージ番号／全メッセージ件数

● ◁▷：前後のメールを表示できます。

● ショートメッセージ（SMS）本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
	受信ショートメッセージ
	受信ショートメッセージ（返信不可能）
	送信ショートメッセージ
	送達通知→P401
	FOMAカード内のショートメッセージ

- 上記以外のマーク→P345

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）からも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されているショートメッセージ（SMS）と同じです。→P393、P394

FOMAカード内のSMSをFOMA端末本体へ移動／コピーします

FOMAカードに保存されているショートメッセージ（SMS）を、FOMA端末本体の「受信したメールを見る」、「送信したメールを見る」に移動またはコピーします。

●送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信したメールを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）をFOMA端末本体に移動／コピーするとき

1 待受画面で（メールキー）▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信ショートメッセージ一覧が表示されます。

●送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーするときは、（メールキー）▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 移動／コピーするショートメッセージ（SMS）を選択▶（メニュー）▶「4 本体へ保存」を押す

●送信ショートメッセージ一覧から操作するときは、移動／コピーするショートメッセージ（SMS）を選択▶（メニュー）▶「3 本体へ保存」を押します。

3 「1 移動する」または「2 コピーする」を押す

〈「1 移動する」を押した場合〉

4 移動先またはコピー先フォルダを選択▶（決定）を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信ショートメッセージ一覧に戻ります。

●（終話ボタン）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないショートメッセージ（SMS）やｉモードメールがあっても上書きされません。→P36
●受信ショートメッセージ（SMS）詳細表示画面、送信ショートメッセージ（SMS）詳細表示画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を削除します

ショートメッセージ（SMS）を１件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除できます。

●送信ショートメッセージ（SMS）を削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）を削除するとき

1 待受画面で（メールボタン）▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信ショートメッセージ一覧が表示されます。

●送信ショートメッセージ（SMS）を削除するときは、（メールボタン）▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 削除するショートメッセージ（SMS）を選択▶メニュー▶「3 削除する」を押す

削除するﾒｯｾｰｼﾞを選んでください
1 選択１件
2 FOMAｶｰﾄﾞ内全件
3 送達通知全件
決定

●送信ショートメッセージ一覧から操作するときは、削除するショートメッセージ（SMS）を選択▶メニュー▶「2 削除する」を押します。

次ページへ続く

3 「1 選択1件」～「3 送達通知全件」のいずれか1つの番号を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ FOMAカード内のメッセージを1件削除するとき

「1 選択1件」を押す

■ FOMAカード内のメッセージを全件削除するとき

「2 FOMAカード内全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

■ FOMAカード内の送達通知を全件削除するとき

「3 送達通知全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

- 受信ショートメッセージ（SMS）のみ操作できます。

4 「1 削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信ショートメッセージ一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

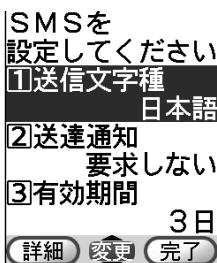
● 受信ショートメッセージ詳細表示画面、送信ショートメッセージ詳細表示画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1 削除する」を押します。

ショートメッセージ（SMS）の設定をします＜SMS設定＞

お買い上げ時	送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日 SMSC：ドコモ　Type of Number：international

ショートメッセージ（SMS）を利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で ▶「9 SMSを使う」▶「3 SMSを設定する」を押す

項　目	説　明
送信文字種	日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。→P312
送達通知	ショートメッセージ（SMS）を送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
有効期間	送信したショートメッセージ（SMS）を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間を選択します。
SMSC※	ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。 ・「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。
Type of Number※	「international」「unknown」のいずれかを設定します。

※：左の画面で（メニュー）を押すと表示され、設定できます。

メール　SMS設定

次ページへ続く

2 「1 送信文字種」～「3 有効期間」のうち、選択する項目の番号を押す

■ 送信文字種を設定するとき

「1 送信文字種」▶「1 日本語」または「2 英語」を押す

■ 送達通知を設定するとき

「2 送達通知」▶「1 要求する」または「2 要求しない」を押す

■ 有効期間設定するとき

「3 有効期間」▶「1 0 日」～「4 3 日」のいずれか 1 つの番号を押す

3 電話帳 を押す

SMS を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー一覧に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、ショートメッセージが相手の FOMA 端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。

メールを管理します

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダを作成します

メールを保存するフォルダの作成や削除をします。

●「受信したメールを見る」では「受信箱」フォルダ以外に最大29個、「送信したメールを見る」では「送信箱」フォルダ以外に最大9個作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加するとき

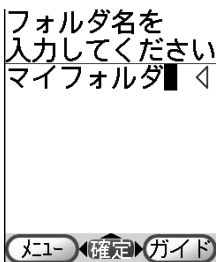
1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●送信メールのフォルダを追加するときは、▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 メニュー ▶「1 フォルダを追加」▶ フォルダ名を入力する

フォルダ名を
入力してください
マイフォルダ
メニュー 確定 ガイド

●全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダを選択 ▶ メニュー ▶「3 フォルダ名変更」▶ フォルダ名を入力する

- 「受信箱」「送信箱」フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 決定 を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

フォルダ一覧に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●文字入力のしかた→ P558

メールのフォルダを削除します

●「受信箱」「送信箱」フォルダは削除できません。
●保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。
●送信メールのフォルダを削除するときは、 ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 削除するフォルダを選択▶ メニュー ▶「2 フォルダを削除」を押す

フォルダを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
●フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押します。

3 「1 削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

フォルダ一覧に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

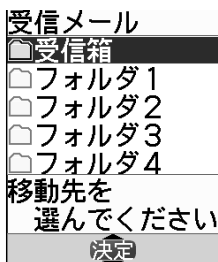
メールを他のフォルダに移動します<ｉモードメール移動>

保存されているメールを別のフォルダに移動します。

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。
●送信メールを他のフォルダに移動するときは、 ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 移動するメールを選択▶ メニュー ▶「5 フォルダを移動」を押す

●送信メール一覧から操作するときは、移動するメールを選択▶ メニュー ▶「4 フォルダを移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択▶ 決定 を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

受信メール一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

メールの保存件数を確認します<メール件数を確認>

受信メールまたは送信メールが何件保存されているかを、フォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●送信メールの保存件数を確認するときは、 ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 件数を確認するフォルダを選択▶ メニュー ▶「5 メール件数確認」を押す

次ページへ続く

3 確認が終わったら決定を押す

フォルダ一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

メールを削除します< i モードメール削除>

「受信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「送信したメールを見る」から不要なメールを削除します。

●保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除します

●次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択 1 件	選択したメール	－	○	○
フォルダ内既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
受信メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－

1 待受画面で(メール)▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

■ 受信メールを全件削除するとき

(メニュー)▶「4 メールを削除」▶「3 受信メール全件」▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

• 操作 5 に進みます。

2 フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 削除するメールを選択▶（メニュー）▶「3 削除する」を押す

4 「1 選択１件」～「3 フォルダ内全件」のいずれか１つの番号を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを１件削除するとき

「1 選択１件」を押す

■ フォルダ内の既読メールを削除するとき

「2 フォルダ内既読」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「3 フォルダ内全件」▶４～８桁の端末暗証番号を入力▶（決定）を押す

5 「1 削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

6 （決定）を押す

受信メール一覧に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したメールを削除します

●次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択 1 件	選択したメール	－	○	○※1
フォルダ内全件※1	フォルダ内の全メール	○	○	－
メール全件	全メール	○※1	○※2	－

※ 1：送信メールのみ　※ 2：未送信メールのみ

〈例〉送信メールを削除するとき

1 待受画面で ▶「5 送信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●未送信メールを削除するときは、 ▶「4 未送信メールを見る」を押して操作 3 に進みます。

■ 送信メールを全件削除するとき

メニュー ▶「4 メールを削除」▶「2 送信メール全件」▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

• 操作 5 に進みます。

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

送信メール一覧が表示されます。

3 削除するメールを選択 ▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す

●未送信メール一覧から操作するときは、削除するメールを選択 ▶ メニュー ▶「3 削除する」を押します。

メール

メールを管理します

4 「1 選択1件」または「2 フォルダ内全件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを1件削除するとき

「1 選択1件」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「2 フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

●未送信メールを全件削除するときは、「2 全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

5 「1 削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

送信メール一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

メールを保護／解除します<iモードメール保護>

受信メール、送信メール、未送信メールの保存領域の空きがなくなっても、メールやショートメッセージ（SMS）を受信したときに上書きされないように、メールを保護します。

●未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを保護するとき

1 待受画面でメールキー▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

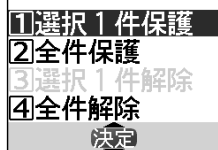
受信メール一覧が表示されます。

●未送信メールを保護するときは、メールキー▶「4 未送信メールを見る」を押します。

●送信メールを保護するときは、メールキー▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押します。

次ページへ続く

2 保護するメールを選択▶ メニュー ▶「4 保護／解除する」を押す

保護または保護を解除するメールを選んでください
1選択1件保護
2全件保護
3選択1件解除
4全件解除
決定

● 送信メール一覧から操作するときは、保護するメールを選択▶ メニュー ▶「3 保護／解除する」を押します。

3 「1 選択1件保護」または「2 全件保護」を押す

● メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
受信メール　：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
未送信メール：
送信メール　：
● を押すと待受画面に戻ります。

■ 保護を解除するとき

① 受信メール一覧、未送信メール一覧で、保護を解除するメールを選択▶ メニュー ▶「4 保護／解除する」を押す

- 送信メール一覧から操作するときは、保護を解除するメールを選択▶ メニュー ▶「3 保護／解除する」を押します。

②「3 選択1件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、「4 全件解除」を押します。

お知らせ

● 受信メール、送信メール、未送信メールの最大保護件数→ P36
● メール詳細画面から保護する場合は、メニュー ▶「保護する」を押して操作します。保護解除する場合は、メニュー ▶「保護を解除」を押して操作します。
● 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順を変更します<並び順変更>

お買い上げ時 日付順

「受信したメールを見る」、「送信したメールを見る」のメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

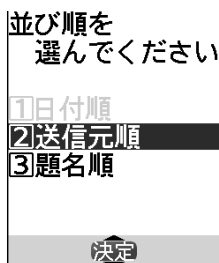
●「未送信のメールを見る」、「FOMAカードの受信SMSを見る」、「FOMAカードの送信SMSを見る」の並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

●送信メール一覧の並び替えをするときは、▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押します。

2 メニュー▶「7 並び順を変更」を押す

●送信メール一覧から操作するときは、メニュー▶「6 並び順を変更」を押します。「1 日付順」「2 宛先順」「3 題名順」から選択できます。

3 「1 日付順」～「3 題名順」のいずれか1つの番号を押す

メールが一時的に並び替わります。

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●受信メール一覧または送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

●題名順の場合、題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。

●フォルダ内にショートメッセージ（SMS）が含まれているときに題名順でソートすると、一覧画面ではショートメッセージ（SMS）は題名部分にメッセージの本文の先頭が表示されるため五十音順と一致しません。

メール一覧の表示方法を変更します<表示方法変更>

お買い上げ時 全て表示

「受信したメールを見る」のメール一覧をメールの状態別に表示します。
●「送信したメールを見る」、「未送信のメールを見る」、「FOMA カードの受信 SMS を見る」、「FOMA カードの送信 SMS を見る」の表示方法は選択できません。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「8 表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示
決定

項　目	説　明
1 全て表示	すべてのメールを一覧表示します。
2 未読のみ表示	未読のメールのみを一覧表示します。
3 既読のみ表示	既読のメールのみを一覧表示します。
4 保護のみ表示	保護されているメールのみを一覧表示します。

3 「1 全て表示」～「4 保護のみ表示」のいずれか 1 つの番号を押す

選択した表示方法で表示されます。
●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
●「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字の大きさを変更します<文字サイズ設定>

お買い上げ時 大きく表示する

受信メールや送信メール、例文などの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

●メール作成／編集時の文字サイズは変更できません。

<大きく表示する：
1行全角で8文字（半角16文字）>

<小さく表示する：
1行全角で10文字（半角20文字）>

〈例〉受信メールの文字サイズを変更するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メールを選択 ▶ 決定 ▶ メニュー ▶「7 小さく表示する」を押す

文字の大きさが変わります。

●小さく表示されている場合は、メニュー ▶「7 大きく表示する」を押します。

お知らせ

●送信メール詳細表示画面、受信／送信ショートメッセージ詳細表示画面から操作する場合は、メニュー ▶「大きく表示する」もしくは「小さく表示する」を選択 ▶ 決定 を押して操作します。

●例文表示画面から操作する場合は、メニュー を押します。押すたびに文字の大きさが切り替わります。

●文字サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールの送信元や宛先などを確認します<送信元/宛先確認>

メールに表示されているメールアドレスや名前がすべて表示できない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認するとき

1 待受画面で ✉ ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

●未送信/送信メール一覧→P337 操作1～2

2 アドレスを表示するメールを選択▶ メニュー ▶「0 送信元等を確認」を押す

送信元確認
題名:
お知らせ
From:
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
To:
docomo.taro.ΔΔ@d
決定

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「To:」「Cc:」が表示されます。

●未送信/送信メール一覧から操作するときは、アドレスを表示するメールを選択▶ メニュー ▶「宛先を確認」を選択▶ 決定 を押します。
宛先確認では「題名:」「From:」は表示されません。

●ショートメッセージ(SMS)では電話番号を表示します。

3 確認が終わったら 決定 を押す

受信メール一覧に戻ります。

■ メール詳細表示画面から表示するとき

① メール詳細表示画面を表示する

- 受信/送信メール詳細表示画面→P337 操作1～3、P345 操作1～3
- 受信/送信ショートメッセージ詳細表示画面→P387 操作1～3、P391 操作1～3

② 表示する送信元または宛先を選択▶ 決定 を押す

アドレス表示
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
決定

- ショートメッセージ(SMS)では電話番号を表示します。

③ 確認が終わったら 決定 を押す

メール詳細表示画面に戻ります。

メールの便利な機能

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中の文字をコピーします。また、本文に電話番号やメールアドレスがあるとき、それらを選択して電話帳に登録することもできます。

本文などをコピーします

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）中の文字をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

●次のコピーができます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先または送信元	宛先または送信元をコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

●記録できるのは１件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細表示画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細表示画面を表示する

●受信／送信メール詳細表示画面→ P337 操作 1 〜 3、P345 操作 1 〜 3
●受信／送信ショートメッセージ詳細表示画面→ P387 操作 1 〜 3、P391 操作 1 〜 3
●FOMA カード内の受信／送信ショートメッセージ詳細表示画面→ P396 操作 1 〜 2
●例文一覧→ P335 操作 1

次ページへ続く

2 メニュー▶「9 内容をコピー」を押す

コピーする項目を選んでください
1選択中の項目
2題名
3本文
決定

■送信メール詳細表示画面から操作するとき

メニュー▶「8 内容をコピー」を押す

■ FOMA カード内の受信ショートメッセージ詳細表示画面から操作するとき

メニュー▶「6 内容をコピー」を押す

「1 送信元」「2 本文」から選択できます。

■ FOMA カード内の送信ショートメッセージ詳細表示画面から操作するとき

メニュー▶「5 内容をコピー」を押す

「1 宛先」「2 本文」から選択できます。

■ 例文一覧から操作するとき

メニュー▶「3 内容をコピー」を押す

「1 宛先」「2 題名」「3 本文」から選択できます。

- 「3 本文」を選択すると、本文全体がコピーされます。

3 「1 選択中の項目」～「3 本文」のいずれか 1 つの番号を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

●「3 本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。→ P573

4 決定を押す

内容がコピーされます。

5 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

コピーした文字が貼り付けられます。

●操作方法→ P573

お知らせ

● コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

電話番号やアドレスを電話帳に登録します

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）中のメールアドレス、電話番号を電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

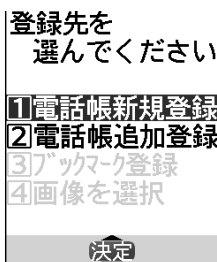
- 表示中のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）にメールアドレスや電話番号、URLが設定されていても、反転表示されていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは送信元、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）を反転表示して電話帳に登録することはでき、ｉモードメールではメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では電話番号が登録できます。

〈例〉受信メール詳細表示画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含む受信メール詳細表示画面を表示する

- 受信メール詳細表示画面→P345 操作1～3
- 反転表示されるメールアドレス、電話番号のみ登録できます。

2 項目を選択▶メニュー▶「0 登録する」を押す

登録先を
選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を選択
決定

3 「1 電話帳新規登録」または「2 電話帳追加登録」を押す

- 以降の操作はサイトからの登録操作と同様です。
→P277、P278 操作3以降

お知らせ

- 送信メール詳細表示画面、FOMAカード内の受信／送信ショートメッセージ詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「登録する」を選択▶決定を押して操作します。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録します

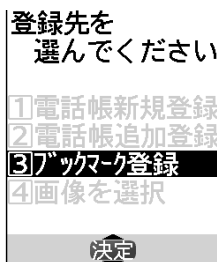
表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細表示画面からブックマーク登録するとき

1 登録するURLを含む受信メール詳細表示画面を表示する

●受信メール詳細表示画面→P345 操作1～3

2 URLを選択▶メニュー▶「0 登録する」を押す

登録先を
選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を選択
決定

3 「3 ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶決定を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●送信メール詳細表示画面、FOMAカード内の受信／送信ショートメッセージ詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「登録する」を選択▶決定を押して操作します。

ｉモーション

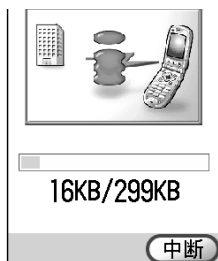
ｉモーションを取り込みます

サイトやインターネットホームページから、映像や音を取り込んで再生・保存できます。

●再生する期間や期限が設定されているｉモーションを取り込む場合には、日付・時刻の設定が必要です。→P46

サイトからｉモーションを取り込み再生します

●ストリーミングタイプのｉモーションを再生するには、「ｉモーションの動作を設定します」の「ｉモーションタイプ」設定を「標準・ストリーミング」に設定しておく必要があります。→P425

1 取り込みたいｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択▶決定を押す

ｉモーションが取り込まれます。

■ データを取り込みながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取り込みが開始されると取り込みながら再生されます。

●再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止※／再開
／（音量 大・小）	音量調節
メニュー	停止※
戻る	中断※（取り込み中）／終了※（取り込み終了後）

※：データの取り込みは継続します。

●中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「1 中断する」を押します。

●再生中に終了すると確認画面が表示されます。→P423

■ データを取り込みながら再生するｉモーション(ストリーミングタイプ)のとき

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1 再生する」を押すと取り込みながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定／戻る	中断
／(音量 大・小)	音量調節

- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「1 中断する」を押します。
- 再生が終了するとサイトに戻り、保存できません。

■ データを取り込んだ後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取り込みが完了すると自動的に再生が開始されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止／再開
／(音量 大・小)	音量調節
メニュー／戻る	終了
電話帳	早送り再生

- 再生中に終了すると確認画面が表示されます。
→P423

次ページへ続く

お知らせ

- ｉモーションには、次のような種類があります。種類は取得するｉモーションごとにあらかじめ決められており、選択できません。

種　類		説　明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）	データを取り込みながら再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。取り込み完了後は、データを取り込んだ後に再生するときと同様に操作できます。
	データを取り込んだ後に再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取り込んだ後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取り込みながら再生（最大２Ｍバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：標準タイプのｉモーションによっては、保存できないものもあります。

- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。FOMA端末にｉモーションを保存すると再生回数がカウントされます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生・保存およびダウンロードできません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存・ダウンロードできますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生・保存およびダウンロードできません。

- ストリーミングタイプのｉモーションを取り込むときに「ｉモーションタイプ」を「標準・ストリーミング」に設定していない場合、設定を変更するかどうかの確認が表示され、設定を変更することができます。→P425
- 「ｉモーションの再生を設定する」の「自動再生設定」（→P425）を「自動再生しない」にしているときは、自動的に再生されません。ただし、ストリーミングタイプのｉモーションは設定に関わらず自動的に再生されます。
- データを取り込みながらｉモーションを再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも標準タイプのｉモーションであれば、データの受信が正常に行われていると、受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- データを取り込みながらｉモーションを再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信すると自動的に再生が再開されます。
- ｉモーション再生中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で再生が中断されます。

サイトから取り込んだｉモーションを保存します

●ストリーミングタイプや保存不可のｉモーションは保存できません。

1 サイトからｉモーションを取り込み、再生が終了する

●ｉモーションの取り込み方法→P420

「1 再生する」：ｉモーションを再生します。
「2 保存する」：ｉモーションを保存します。
「3 情報を表示する」：ｉモーションの情報を表示します。→P444
「4 戻る」：サイト表示に戻ります。

2 「2 保存する」を押す

●題名を変更するときは、題名を入力▶決定を押します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

3 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

操作1の画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P441

●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●題名などの保存時の情報は「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」フォルダから参照した場合のデータの詳細情報に反映されます。→P444
●動画／ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な動画／ｉモーションを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉモーションを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の動画／ｉモーションを削除します。→P36
●文字入力のしかた→P558

テロップ中にリンクが設定されていたときは

〈例〉テロップ中のリンクに接続するとき

1 サイトからｉモーションを取り込み、再生が終了する

リンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。

● ｉモーションの取り込み方法→ P420

● ｉモーションのテロップ中にあるリンク項目は選択できません。

2 「1 続きをみる」を押す

リンク先が表示されます。

■ ｉモーションを保存するとき

ｉモーションを保存していないときには、リンク先を表示する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

①「1 保存する」を押す

ｉモーション保存画面が表示されます。

- 保存せずにリンク先を表示したときは、取り込んだｉモーションのデータは破棄されますのでご注意ください。

②タイトル（表示名）を設定▶決定▶決定を押す

保存が完了し、リンク先が表示されます。

- 操作方法→ P423

お知らせ

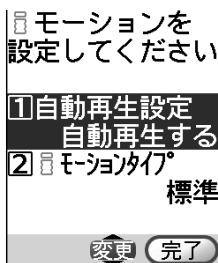
● テロップ中に電話番号（Phone To（AV Phone To）→ P274）やメールアドレス（Mail To → P275）などのリンクが設定されていたときも、再生終了時に確認画面が表示され、それぞれの操作ができます。また、表示された電話番号やメールアドレスは電話帳に登録できます。→ P277、P278

● 複数のリンク項目がある場合は、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

ｉモーションの動作を設定します ＜ｉモーション設定＞

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ：標準

受信した標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取り込み可能なｉモーションタイプを設定したりできます。

1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「6 ｉモードの詳細を設定する」▶「4 ｉモーションの再生を設定する」を押す

項　目	説　明
1 自動再生設定	ｉモーションを取り込み中、または取り込み終了後に自動的に再生するかどうかを設定します。
2 ｉモーションタイプ	取り込むｉモーションのタイプを設定します。

2 「1 自動再生設定」または「2 ｉモーションタイプ」を押す

■ ｉモーションを自動再生するかしないかを設定するとき

「1 自動再生設定」▶「1 自動再生する」または「2 自動再生しない」を押す

- 「自動再生しない」に設定しても、取り込み完了後に表示される画面から手動で再生することができます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

■ ｉモーションタイプを設定するとき

「2 ｉモーションタイプ」▶「1 標準」または「2 標準・ストリーミング」を押す

- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは、「標準・ストリーミング」に設定します。

3 電話帳 を押す

ｉモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示中から操作する場合はメニュー▶「0表示を設定」▶「2 i モーション設定」を押して操作します。

データ表示／編集／管理

静止画を使いこなします

動画を使いこなします

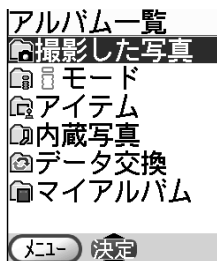
メロディを使いこなします

画像を表示します

FOMA 端末に保存されている写真や画像を表示します。

●操作できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
i モードメールに添付します	P430	情報を表示します	P431
待受画面に設定します	P431	題名などを変更します	P432

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す

●画像は、次の 5 つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
	カメラで撮影した写真が保存されているフォルダ
	i モードサイトやメールから取り込んだ画像が保存されているフォルダ
	お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されているアイテム（フレーム）や、ダウンロードしたフレームが保存されているフォルダ
	お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されている写真が保存されているフォルダ
	データリンクソフトで受信した画像が保存されているフォルダ

●アルバムを作成すると表示されます。→ P434

マーク	説　明
	作成したアルバム

2 フォルダを選択▶決定を押す

撮影した写真
001/006枚
200409291234

メニュー 決定 切替

題名
フォルダ名
画像番号／フォルダ内の画像数
データ形式マーク、メール添付マーク

- 電話帳：押すたびに6枚の画像表示と題名のリスト表示が切り替わります。
- 画像の状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
GIF	GIF形式の画像データ
JPG	JPEG形式の画像データ
OK（メール）	メールに添付可能なデータ
OK（縮小）	メールに添付可能な縮小データ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

3 表示する画像を選択▶決定を押す

200409291234
001/006枚
2004/09/29 12…
メニュー 一覧 拡大

題名
画像番号／フォルダ内の画像数

メモ表示：
「メモ表示あり」に設定しているときに表示されます。→P432

- 画面より小さい画像を表示している場合は電話帳を押すと、拡大／等倍表示に切り替えられます。
- 選択した画像がアニメーションのときは、自動的に再生されます。再生途中で決定を押すと停止します。もう一度押すと再開します。
- ：フォルダ内の前後の画像を表示できます。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 操作2の表示画面では、FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は表示されず、が表示されます。→P34
- パソコンをお持ちの場合は、添付のF880iES用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、画像をパソコンに転送・保管することができます。→P605

静止画を添付してｉモードメールを作成します

1 **P428の操作1～2を行う▶添付する静止画を選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶ｉモードメールを作成する**

選択した画像があらかじめ「ファイル名」で添付されています。→P432

● ｉモードメール作成方法→P313、P317

■ データサイズが9001～10000バイトの静止画を選択したとき

左の画面が表示されます。

「1 縮小して送る」：
　データサイズを縮小して添付します。縮小すると本文に書き込める文字数が増えます。

「2 そのまま送る」：
　データサイズを変えずに添付します。

「3 送らない」：
　添付を中止します。

■ データサイズが10000バイトを超える静止画を選択したとき

左の画面が表示されます。

「1 標準サイズで送る」：
　データサイズを縮小して添付します。
　• ｉモード端末に送信する場合に選択します。

「2 最大サイズで送る」：
　データサイズを100Kバイト以下に縮小して添付します。
　• アドレスを変更してｉモード端末にも送信できます。→P309

「3 送らない」：
　添付を中止します。

お知らせ

● 添付するときにデータサイズを変えた画像は、選択した画像と同じフォルダ内に同じ題名で保存され、アイコンが表示されます。
● 添付できない画像からはｉモードメールを作成できません。→P324
● 画像表示画面からも同様に操作できます。

画像を待受画面に設定します

1 **P428の操作1～2を行う▶設定する画像を選択▶(メニュー)▶「2 待受画面に貼る」▶「1 設定する」▶決定を押す**

待受画像を
設定しますか?
1設定する
2設定しない
決定

待受画面に設定され、画像一覧に戻ります。

- 「2 設定しない」：画像一覧に戻ります。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。また、横縦のサイズが240×320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。
- 画像表示画面からも同様に操作できます。

画像の情報を表示します

1 **P428の操作1～2を行う▶情報を確認する画像を選択▶(メニュー)▶「3 情報を見る」を押す**

画像の情報
題名
200409291234
ファイル制限
なし
表示サイズ
待受
ファイルサイズ
決定

- 情報を見終わったら決定を押します。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

項　目	説　明
題名※	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P433
表示サイズ	画像を表示したときの大きさを表示します。 Sサイズ→176×144　Mサイズ→352×288 待受　→240×320　Lサイズ→640×480 • 上記サイズ以外の画像は数値（ドット）で表示されます。
ファイルサイズ	画像データのサイズを表示します。
ファイル種別	画像データの種類を表示します。
種別	この端末内で管理するための種類（静止画／アニメーション）を表示します。
ファイル名	画像データの名前が表示されます。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	画像を保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 カメラ　→（撮影した写真） ｉモード　→ 表示なし　→（アイテム）／（内蔵写真） データ交換→
メモ※	メモを表示します。

※：内容を変更することができます。→下記

お知らせ

● 画像表示画面からも同様に操作できます。

画像の題名やメモ、ファイル制限を変更します

1 P428の操作1～2を行う▶題名などを変更する画像を選択▶メニュー▶「4 題名等を変更」▶「1 題名の変更」～「4 ファイル制限の設定」のいずれか1つの番号を押す

変更する項目を
選んでください
1題名の変更
2メモの変更
3メモ表示なし
4ﾌｧｲﾙ制限の設定
決定

■ 題名を変更するとき

「1 題名の変更」▶題名を入力▶決定▶決定を押す

• 全角で最大18文字、半角で最大36文字入力できます。

■ メモの内容を変更するとき

「2 メモの変更」▶メモを入力▶決定▶決定を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかしないかを設定するとき

「3 メモ表示なし」もしくは「3 メモ表示あり」を押す

■ ファイル制限を設定するとき

「4 ファイル制限の設定」▶「1 設定する」を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」を押します。

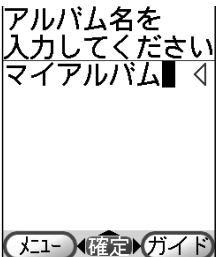
● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像表示画面からも同様に操作できます。
● 画像データによっては設定できない項目があります。
● この端末の外へ出力が禁止されている画像（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存してファイル制限が設定されている画像は、「題名」と「メモ」のみ変更できます。
● 文字入力のしかた→P558

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で撮影した写真やビデオ、またデータリンクソフトで取り込んだ画像や動画を他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。従って、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

アルバムを利用します

イベントやジャンル別などで画像を整理し、保存するアルバムを作成して利用します。

アルバムを作成します

- 最大100個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P428）のフォルダ名は変更できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶「1 アルバムを追加」▶アルバム名を入力

アルバム名を
入力してください
マイアルバム
メニュー　確定　ガイド

- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択▶[メニュー]▶「3 アルバム名変更」を押す

3 [決定]を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

アルバム一覧に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

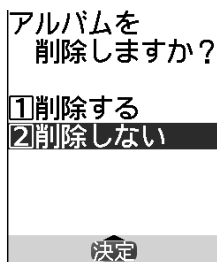
- 文字入力のしかた→P558

アルバムを削除します

●お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P428）は削除できません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す**

アルバム一覧が表示されます。

2 **削除するアルバムを選択▶[メニュー]▶「2 アルバムを削除」を押す**

3 **「1 削除する」を押す**

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：アルバム一覧に戻ります。

●アルバム内に画像が残ったままアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力▶[決定]▶「1 削除する」を押します。

4 **[決定]を押す**

アルバム一覧に戻ります。

●[終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目は標準の画像（草原）に戻ります。

作成したアルバムに画像を移動します

固定フォルダ（→P428）に保存されている画像を、作成したアルバムへ移動したり、アルバム間で移動したりします。

●フォルダによってできる操作が異なります。

移動元のフォルダ名	できる操作	説　明
撮影した写真	アルバムに移動	画像を指定したアルバムに移動できます。 • アルバム以外には移動できません。
ｉモード		
アイテム		
データ変換		
内蔵写真	移動できません	ー
アルバム	アルバムに移動	画像を指定したアルバムに移動したり、移動元の固定フォルダに戻したりできます。

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

画像一覧が表示されます。

2 **移動する画像を選択 ▶ メニュー ▶「6 アルバムを移動」を押す**

移動する写真を
選んでください
1選択１件
2アルバム内全件
3移動しない
決定

「1 選択１件」：選択した画像を移動します。
「2 アルバム内全件」：アルバム内にあるすべての画像を移動します。
「3 移動しない」：画像一覧に戻ります。

3 **「1 選択１件」▶ 移動先のアルバムを選択 ▶ 決定 を押す**

画像を移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

画像一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

■ 画像をアルバムから固定フォルダに戻すとき

① 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ アルバムを選択 ▶ 決定 を押す

画像一覧が表示されます。

② 画像を選択 ▶ メニュー ▶「7 最初の に戻す」を押す

画像を元に戻した旨のメッセージが表示されます。

③ 決定 を押す

画像一覧に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像表示画面からも同様に操作できます。

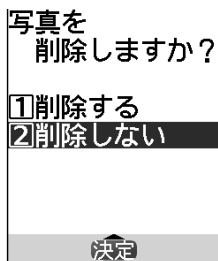
画像を削除します＜画像削除＞

1件ずつ削除したり、フォルダ内の画像をまとめて削除します。

●「内蔵写真」フォルダ内の画像は削除できません。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

画像一覧が表示されます。

2 削除する画像を選択 ▶ メニュー ▶「5 削除する」▶「1 選択1件」を押す

●フォルダ内の画像を全件削除するときは、メニュー ▶「5 削除する」▶「2 アルバム内全件」▶ 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押します。

3 「1 削除する」を押す

写真を削除した旨のメッセージが表示されます。

●削除する画像が、待受画面かワンタッチダイヤルの着信画像に利用されている場合は、待受かワンタッチに利用されている写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは「1 削除する」を押します。待受画面に設定していた場合は、削除すると標準の画像（草原）に、ワンタッチダイヤルの着信画像に設定していた場合は設定なしに戻ります。ただし、メールを受信した場合は、相手の名前とメール受信中の画面が表示されます。

4 決定 を押す

画像一覧に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●画像表示画面からも同様に操作できます。

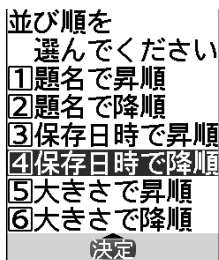
画像一覧の並び順を変更します＜並び順変更＞

お買い上げ時 保存日時で降順

画像一覧の並び順を変更します。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

画像一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「8 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を五十音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を五十音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	データサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	データサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」〜「6 大きさで降順」のいずれか 1 つの番号を押す

選択した並び順で画像一覧が並び替わります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が五十音順にならない場合があります。

画像の残り枚数を確認します <残り枚数確認>

画像をあと残り何枚まで保存できるかを確認します。

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

画像一覧が表示されます。

2 **メニュー ▶「9 残り枚数を確認」を押す**

残り枚数の目安	
Sｻｲｽﾞ	152枚
待受	152枚
Mｻｲｽﾞ	152枚
Lｻｲｽﾞ	139枚
決定	

3 **確認が終わったら 決定 を押す**

画像一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

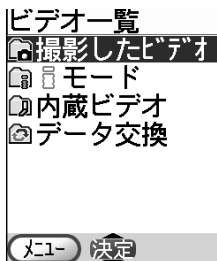
● 画像表示画面からも同様にして操作できます。
● お買い上げ時の残り枚数は 160（L サイズは 141）枚になります。
● 最大保存件数に近づくと、大きい画像サイズから残り枚数が少なくなります。

動画／ｉモーションを再生します

FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを再生します。

●操作できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P443	題名を変更します	P445
情報を表示します	P444	ファイルを制限します	P445

1 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

●動画／ｉモーションは、次の4つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
（撮影フォルダ）	カメラで撮影した動画が保存されているフォルダ
（ｉモードフォルダ）	ｉモードサイトやメールから取り込んだｉモーションが保存されているフォルダ
（内蔵フォルダ）	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されている動画が保存されているフォルダ
（データ交換フォルダ）	データリンクソフトで取り込んだ動画が保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

題名
フォルダ名
動画番号／フォルダ内の動画数
メール添付マーク

音声の場合や画像が表示できない場合に表示されます。

●電話帳：押すたびに6枚の画像表示と題名のリスト表示が切り替わります。

●動画／ｉモーションの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（OKマーク）	メールに添付可能なデータ
（切り出しOKマーク）	メールに添付可能な切り出しデータ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

次ページへ続く

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

再生バー：現在の再生位置を表示します。
再生音量：現在の音量を表示します。
再生時間：現在の再生時間を表示します。

再生状態：▶ 再生中
‖ 一時停止中
■ 停止中

● 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	一時停止／再開
／（音量 大・小）	音量調節
メニュー	停止 • 停止中に決定を押すと先頭から再生します。
電話帳	早送り再生

● 再生が終わると自動的に停止します。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 音声を再生すると次の画面が表示されます。

• 動画／ｉモーションと同様に操作できます。
• 音声データを再生しているときは、再生画面に画像などは表示されません。

● 再生可能な動画／ｉモーションは次のとおりです。

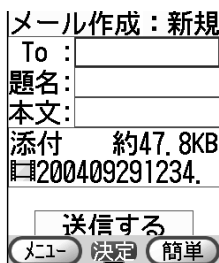
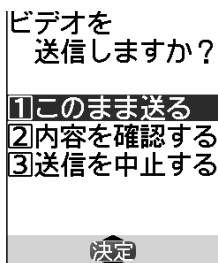
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4 または H.263 音声：AMR または AAC
表示サイズ	176 × 144 ドット以下※

※：表示サイズによっては再生できないものもあります。

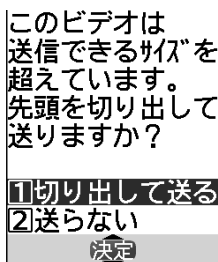
● 再生制限について→ P446
● 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限・再生期間が決められているｉモーションは再生できなくなります。

●操作2の表示画面では、他のアプリケーションの影響により6枚の画像表示が表示できないときや、音声データの場合は が表示されます。
●パソコンをお持ちの場合は、添付のF880iES用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、動画／ｉモーションをパソコンに転送・保管して再生することができます。ただし、動画／ｉモーションによっては、転送・保管ができないものがあります。→P605、P606

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成します

1 **P441の操作1～2を行う▶添付する動画／ｉモーションを選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶「1 このまま送る」▶ｉモードメールを作成する**

選択した動画／ｉモーションがあらかじめ「ファイル名」で添付されています。→P444

●「2 内容を確認する」：添付する前に再生して確認します。
●「3 送信を中止する」：添付を中止します。
●ｉモードメール作成方法→P313、P317

このビデオは
送信できるｻｲｽﾞを
超えています。
先頭を切り出して
送りますか？
1切り出して送る
2送らない
決定

■選択した動画／ｉモーションが送信できるサイズを超えていたとき

左の画面が表示されます。
「1 切り出して送る」：
先頭を切り出してメールに添付します。
「2 送らない」：
メール添付を中止します。

お知らせ

●添付できない動画／ｉモーションからはｉモードメールを作成できません。→P324
●添付したメロディ・静止画を含む本文の残りのデータ量が全角で最大100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／ｉモーションを添付できません。
●添付したときに切り出した動画は、選択した動画と同じフォルダ内に同じ題名で保存され、 が表示されます。

動画／ｉモーションの情報を表示します

1 **P441の操作1～2を行う▶情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶メニュー▶「2 情報を見る」を押す**

ビデオの情報
題名
200409291234
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
20040929123407
ファイル制限
なし
再生制限
決定

●情報を見終わったら決定を押します。
●電源を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※	動画／ｉモーション一覧で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル制限※	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力することができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P433
再生制限	再生制限が設定されているかいないかを表示します。 →P446
画像	再生可能かどうかを表示します。
音声	再生可能かどうかを表示します。
テロップ	テロップが挿入されているかどうかを表示します。→P424
再生時間	再生時間を表示します。
表示サイズ	動画／ｉモーションを再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	動画／ｉモーションのデータサイズを表示します。
ファイル種別	動画／ｉモーションのデータの種類を表示します。
音	動画／ｉモーションの音声データの種類を表示します。
ファイル名	動画／ｉモーションデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	動画／ｉモーションを保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 カメラ　→（撮影したビデオ）　ｉモード　→ 表示なし→（内蔵ビデオ）　データ交換→
説明	この動画／ｉモーションの説明を表示します。
作成者	作成者の名前などを表示します。
コピーライト	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。

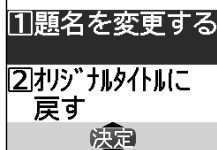
※：内容を変更することができます。→P445

お知らせ

- この端末で撮影したビデオの場合、「作成者」には個人情報に登録した名前が表示されます。個人情報に名前が登録されていないときは、「作成者」は設定されず「---」と表示されます。→P444

動画／iモーションの題名を変更します

1 **P441の操作1～2を行う▶題名を変更する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「3 題名を変更」▶「1 題名を変更する」▶題名を入力▶決定▶決定を押す**

選択した
ビデオの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2オリジナルタイトルに
戻す
- 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2 オリジナルタイトルに戻す」を押します。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P558

動画／iモーションのファイル制限を設定します

1 **P441の操作1～2を行う▶ファイル制限を設定する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「6 ファイル制限を設定」▶「1 設定する」▶決定を押す**

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」▶決定を押します。
- ファイル制限について→P433
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	説　明
回数制限	再生回数残あり	「あと×回再生できます。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「再生する」、中止するときは「再生しない」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。
期限制限	期限内	「××××年××月××日××時××分まで再生可能です」と表示されます。決定を押すと再生が始まります。中止するときは戻るを押します。
	期限が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。
期間制限	期間内	「あと××日間再生できます」と表示されます。決定を押すと再生が始まります。中止するときは戻るを押します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。決定を押すと動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。

● 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

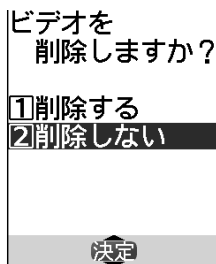
動画／ｉモーションを削除します ＜動画削除＞

1件ずつ削除したり、フォルダ内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

●「内蔵ビデオ」フォルダに保存されている動画は削除できません。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 削除する動画／ｉモーションを選択 ▶ メニュー ▶「4 削除する」▶「1 選択１件」を押す

●フォルダ内の動画／ｉモーションを全件削除するときは、メニュー ▶「4 削除する」▶「2 アルバム内全件」▶ ４～８桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押します。

3 「1 削除する」を押す

ビデオを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：動画／ｉモーション一覧に戻ります。

4 決定 を押す

動画／ｉモーション一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

動画一覧の並び順を変更します ＜並び順変更＞

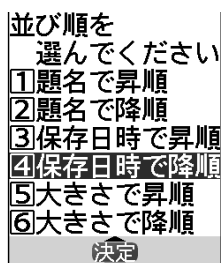
お買い上げ時　保存日時で降順

動画／ｉモーション一覧の並び順を変更します。

1 待受画面で(メニュー)▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「5 並び順を変更」を押す

並び順を
　選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を五十音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を五十音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	動画／ｉモーションのサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	動画／ｉモーションのサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれか１つの番号を押す

選択した並び順で動画／ｉモーション一覧が並び替わります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が五十音順と一致しない場合があります。

動画／iモーションの表示サイズを設定します<表示サイズ設定>

お買い上げ時　元の大きさで表示する

動画／iモーションの表示サイズ（最大240×200ドット）に合わせて拡大して表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「1 表示サイズ設定」を押す

ビデオの
表示の大きさを
選んでください

1画面に合わせて
表示する
2元の大きさで
表示する
決定

項　目	説　明
1 画面に合わせて表示する	表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大し、画面の表示サイズに合わせて表示します。
2 元の大きさで表示する	元の表示サイズに戻します。

3 「1 画面に合わせて表示する」または「2 元の大きさで表示する」を押す

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

ビデオ一覧に戻ります。

● 電話 を押すと待受画面に戻ります。

動画／ｉモーションを再生するときの照明を設定します<照明設定>

お買い上げ時　常灯にする

動画／ｉモーション再生中の照明動作を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「2 照明を設定」を押す

項　目	説　明
1 常灯にする	動画／ｉモーション再生中はディスプレイの照明が常時点灯します。
2 端末設定に従う	「画面の明るさを設定する」の「照明時間」に従います。→P165

3 「1 常灯にする」または「2 端末設定に従う」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

データ表示／編集／管理

照明設定

動画／ｉモーションを再生するときの音量を設定します<音量設定>

動画／ｉモーション再生中の音量を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「3 音量を調節」を押す

3 または（音量 大・小）を押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

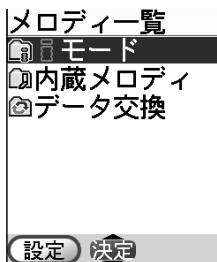
● を押すと待受画面に戻ります。

メロディを再生します

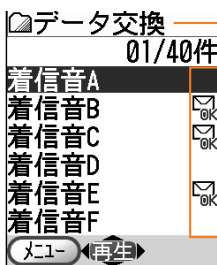
FOMA 端末に保存されているメロディを再生できます。

●操作できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P453	題名を変更します	P455
情報を表示します	P454	ファイルを制限します	P455

1 待受画面で メニュー ▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」を押す

●メロディは、次の3つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
(iモードフォルダアイコン)	ｉモードサイトやメールから取り込んだメロディが保存されているフォルダ
(内蔵フォルダアイコン)	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディが保存されているフォルダ
(データ交換フォルダアイコン)	データリンクソフトで取り込んだメロディが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

●メロディの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(OKマーク)	メールに添付可能なデータ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

データ表示／編集／管理

メロディを再生します

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

メロディ番号／フォルダ内のメロディ数

再生中のメロディの題名

再生バー：現在の再生位置を表示します。

再生音量：現在の音量を表示します。

● 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	メロディの動作
決定	一覧に戻る
(上下キー)	フォルダ内の前後のメロディを再生
(左右キー)／(サイドキー)（音量 大・小）	音量調節

● 再生が終わると一覧に戻るまで繰り返し再生します。

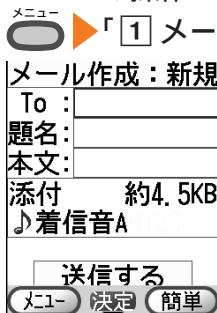
● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● パソコンをお持ちの場合は、添付のF880iES用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メロディをパソコンに転送・保管することができます。→P605

メロディを添付してｉモードメールを作成します

1 P452の操作1～2を行う▶添付するメロディを選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
To ：
題名：
本文：
添付　約4.5KB
♪着信音A
送信する
ﾒﾆｭｰ　決定　簡単

● ｉモードメール作成方法→P313、P317

選択したメロディがあらかじめ「ファイル名」で添付されています。→P454

お知らせ

● 添付できないメロディからはｉモードメールを作成できません。→P324

● 相手がF880iES、F900iC、F900iT、F900i以外の場合、メロディを正しく送受信できないことがあります。

● メロディ再生画面からも同様に操作できます。

メロディの情報を表示します

1 P452の操作1～2を行う▶情報を確認するメロディを選択▶メニュー▶「2 情報を見る」を押す

メロディの情報
題名
着信音A
オリジナルタイトル
着信音A
ファイル名
Call01
決定

- 情報を見終わったら決定を押します。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	メロディデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
ファイル制限※	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P433
ファイル種別	メロディのデータの種類を表示します。
ファイルサイズ（Kバイト）	メロディのデータサイズを表示します。
再生時間	再生時間を表示します。
保存日時	メロディを保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 iモード　→　　表示なし→（内蔵メロディ） データ交換→

※：内容を変更することができます。→P455

お知らせ

- メロディ再生画面からも同様に操作できます。

メロディの題名を変更します

1 P452の操作1～2を行う ▶ 題名を変更するメロディを選択 ▶ メニュー ▶「3 題名を変更」▶「1 題名を変更する」▶ 題名を入力 ▶ 決定 ▶ 決定を押す

選択した
メロディの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2オリジナルタイトルに
戻す
決定

- 全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
- 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2 オリジナルタイトルに戻す」を押します。
- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メロディ再生画面からも同様に操作できます。
- 文字入力のしかた→P558

メロディのファイル制限を設定します

1 P452の操作1～2を行う ▶ ファイル制限を設定するメロディを選択 ▶ メニュー ▶「6 ファイル制限を設定」▶「1 設定する」▶ 決定を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」▶ 決定を押します。
- ファイル制限について→P433
- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイトなどからダウンロードしたメロディや、お買い上げ時に登録されているメロディは、ファイル制限を変更できません。
- メロディ再生画面からも同様に操作できます。

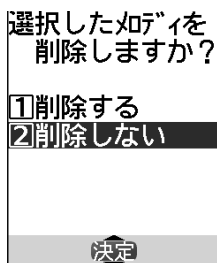
メロディを削除します <メロディ削除>

1件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。

●「内蔵メロディ」フォルダに保存されているメロディは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶決定を押す

メロディが一覧で表示されます。

2 削除するメロディを選択▶メニュー▶「4 削除する」▶「1 選択1件」を押す

●フォルダ内のメロディを全件削除するときは、メニュー▶「4 削除する」▶「2 フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1 削除する」を押す

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。

●削除するメロディが、着信音か目覚ましに利用されている場合は、着信･目覚ましで利用されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは「1 削除する」を押します。着信音に設定していた場合は、削除するとお買い上げ時の着信音（着信音1）に、目覚ましに設定していた場合は目覚まし1に戻ります。

4 決定を押す

メロディが一覧で表示されている画面に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メロディ再生画面からも同様に操作できます。

メロディ一覧の並び順を変更します ＜並び順変更＞

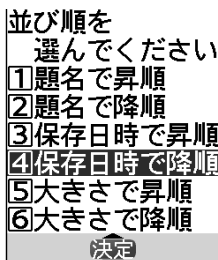
お買い上げ時 保存日時で降順

メロディを一覧で表示しているときの並び順を変更します。

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶（決定）を押す

メロディが一覧で表示されます。

2 （メニュー）▶「5 並び順を変える」を押す

並び順を
選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を五十音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を五十音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	メロディサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	メロディサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれか１つの番号を押す

選択した並び順でメロディが一覧で表示されます。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が五十音順と一致しない場合があります。

メロディを再生する位置を設定します <再生位置設定>

お買い上げ時 フルコーラス再生

メロディを再生したときの再生位置を設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[3] 音を設定する」▶「[6] 保存した曲の詳細を設定する」を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 [メニュー]を押す

項　目	説　明
[1] フルコーラス再生	メロディをすべて再生するように設定します。
[2] ポイント再生	メロディを一部分のみ再生するように設定します。 • 設定しても対応していないメロディではポイント再生を行いません。

3 「[1] フルコーラス再生」または「[2] ポイント再生」を押す

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

メロディ一覧に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話とパケット通信（ｉモード、ｉモードメール、パソコンやPDAなどとFOMA端末をつないで行うデータ通信）の2つの通信を同時に利用できる機能です。
たとえば、F880iESではｉモードを利用しながら、かかってきた音声電話を受けたり、ｉモードメールを受信したりすることができます。

マルチアクセスでできる主な操作

マルチアクセス機能を利用して、次のような操作ができます。

現在の状態	利用できる操作	参照先
音声電話通話中	ｉモードメールを受信する	下記
	ショートメッセージ（SMS）を受信する	P389
	パケット通信を行う	P461
ｉモード中	かかってきた音声電話を受ける	P462
	ｉモードメールを受信する	P339
パケット通信中	かかってきた音声電話を受ける	P462
	ショートメッセージ（SMS）を受信する	P389

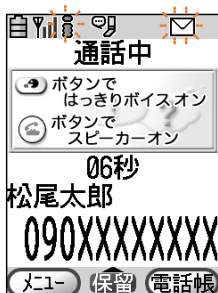
● マルチアクセス機能で同時に利用できる通信の詳細については、「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→P601

お知らせ

● マルチアクセス機能を利用中は、それぞれの通信に通信料金がかかります。

通話中にｉモードメールを受信します

音声電話通話中にｉモードメールを受信します。

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部に🄸と✉が点滅表示され、受信が終了すると📫が表示されます。
●着信音は鳴りません。

お知らせ

●通話中にメールの内容を確認することはできません。

通話中にパケット通信を行います

音声電話通話中にパケット通信を行います。

1 通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。パケット通信を行う前にスピーカーホン機能を利用して通話を行っていた場合はそのまま機能を利用でき、画面を見ながら話すことができます。→P55
- パケット通信を終了するには(電話終了キー)を押します。

お知らせ

- 音声電話の着信中にパケット通信や64Kデータ通信の着信があった場合、画面は通信画面に切り替わり、電話に出ることはできません。通信の着信が切れたり通信を終了したりすると、電話に出られるようになります。

iモード中・パケット通信中に電話をかけます

サイト閲覧中に音声電話をかけます。

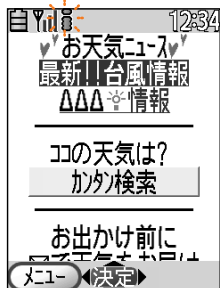
- スイッチ付イヤホンマイク（→P476）またはPhone To機能（→P274）を利用してのみ電話をかけることができます。
- パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に電話をかけるとき

1 iモード中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

電話がつながります。

次ページへ続く

2 お話しが終わったら[電話]またはスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

サイト表示中画面に戻ります。

お知らせ

● ｉモード中でもPhone To機能を利用してテレビ電話をかけることはできますが、ｉモードは切断されます。→P274

ｉモード中・パケット通信中に電話を受けます

サイト閲覧中にかかってきた音声電話を受けます。

● パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話を受けることができます。

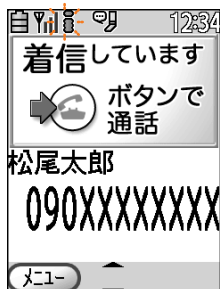
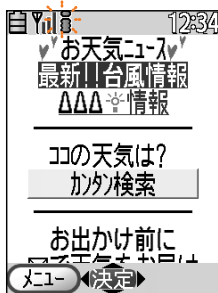
〈例〉サイト表示中に電話を受けるとき

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 [電話]を押す

電話がつながります。

その他の便利な機能
マルチアクセスについて

3 お話しが終わったら[終話キー]を押す

サイト表示中画面に戻ります。

お知らせ

● スピーカーホン機能の利用のしかた→ P55

自動的に電源を ON にします ＜自動電源 ON ＞

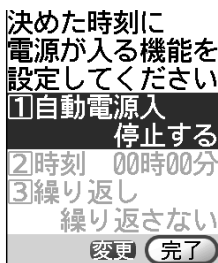
お買い上げ時 | 停止する

指定した時刻に FOMA 端末の電源が自動的に入るように設定します。また、設定を 1 回のみとするか、毎日繰り返し行うかを設定します。

● 日付・時刻の設定が必要です。→ P46

● 自動的に電源が切れる時刻と同時刻に設定することはできません。→ P465

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[9] 決めた時刻に電源を入／切する」▶「[1] 電源が入る時刻を設定する」を押す

決めた時刻に
電源が入る機能を
設定してください
1自動電源入
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない
変更　完了

「[1] 自動電源入」：自動で電源を入れるかどうかを設定します。

「[2] 時刻」：自動で電源を入れる時刻を設定します。

「[3] 繰り返し」：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

次ページへ続く

2 「1 自動電源入」を押す

決めた時刻に
電源を
入れますか？

1入れる
2入れない

決定

「1 入れる」　：自動で電源を入れるようにします。
「2 入れない」：自動で電源を入れないようにします。

3 「1 入れる」を押す

電源が入る時刻を
設定してください
(0~23時0~59分)

00時00分

確定

●「2 入れない」：操作 6 に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類を
選んでください

1毎日繰り返す
2繰り返さない

決定

「1 毎日繰り返す」：毎日指定した時刻に自動的に電源を入れます。
「2 繰り返さない」：1回のみ指定した時刻に自動的に電源を入れます。

● 24 時間制で入力します。時、分が 0 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。

5 「1 毎日繰り返す」または「2 繰り返さない」を押す

電源を入れる時刻を設定する画面に戻ります。

6 電話帳を押す

電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

- 指定した時刻にFOMA端末の電源が入っている場合は、本機能は動作しません。また、繰り返しを「繰り返さない」に設定したときは、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入り、本機能は「停止する」に設定されます。
- PIN1コードを使用するように設定しているときは（→P173）、指定した時刻に電源が入った後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。

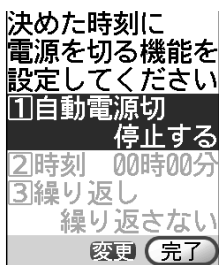
自動的に電源をOFFにします ＜自動電源OFF＞

お買い上げ時 停止する

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。また、設定を1回のみとするか、毎日繰り返し行うかを設定します。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P46
- 自動的に電源が入る時刻と同時刻に設定することはできません。→P463

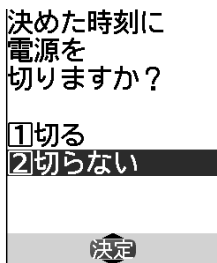
1 待受画面で メニュー ▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「9 決めた時刻に電源を入／切する」▶「2 電源が切れる時刻を設定する」を押す

決めた時刻に
電源を切る機能を
設定してください
1自動電源切
停止する
2時刻 00時00分
3繰り返し
繰り返さない
変更 完了

「1 自動電源切」：自動で電源を切るかどうかを設定します。

「2 時刻」：自動で電源を切る時刻を設定します。

「3 繰り返し」：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1 自動電源切」を押す

決めた時刻に
電源を
切りますか？
1切る
2切らない
決定

「1 切る」：自動で電源を切るようにします。

「2 切らない」：自動で電源を切らないようにします。

次ページへ続く

3 「1 切る」を押す

電源を切る時刻を設定してください(0~23時0~59分)
00時00分
確定

●「2 切らない」：操作6に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類を選んでください
1毎日繰り返す
2繰り返さない
決定

「1 毎日繰り返す」：毎日指定した時刻に自動的に電源を切ります。
「2 繰り返さない」：1回のみ指定した時刻に自動的に電源を切ります。
●24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

5 「1 毎日繰り返す」または「2 繰り返さない」を押す

電源が切れる時刻を設定する画面に戻ります。

6 電話帳を押す

電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
●終話を押すと待受画面に戻ります。

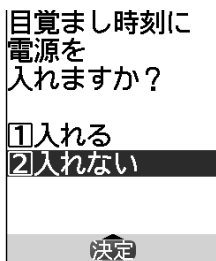
お知らせ

● 目覚まし動作中に本機能の指定した時刻になった場合、目覚ましの動作後に電源が切れます。目覚まし音鳴動中に終話以外のボタンを押してスヌーズ動作※にすると、電源は切れません。終話を押してスヌーズ動作を終了し、待受画面に戻った後に電源が切れます。→P471
● 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了して待受画面に戻った後、電源が切れます。
● 指定した時刻にFOMA端末の電源が入っていない場合は、本機能は動作しません。また、繰り返しを「繰り返さない」に設定したときは、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が切れ、本機能は「停止する」に設定されます。
※：目覚ましを止めても、一定時間おきに再度目覚まし音を鳴らす動作のことです。→P471

目覚まし時刻に自動的に電源を入れます＜目覚まし自動電源ON＞

お買い上げ時　入れない

目覚ましの時刻に電源が入っていなかったときは、電源を自動的に入れて目覚まし音が鳴るようにします。

1 **待受画面でメニュー▶「* 詳細な機能を設定する」▶「9 決めた時刻に電源を入／切する」▶「3 目覚まし時刻に電源を入れる」を押す**

2 **「1 入れる」を押す**

目覚まし時刻に電源を入れるように設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2入れない」：電源が切れているとき、目覚まし時刻に電源を入れません。
→P468

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

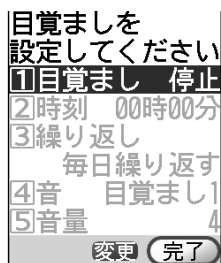
●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

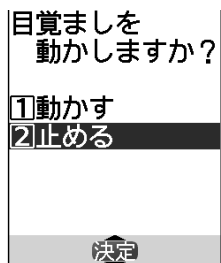
指定した時刻に目覚まし音でお知らせします<目覚まし機能>

お買い上げ時 目覚まし：停止

指定した時刻に、設定した目覚まし音でお知らせするように設定します。また、1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返して行うかを設定します。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P46
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。→P184
- 電源を切っている場合は、指定した時刻になっても目覚ましは動作しません。目覚ましを動作させるには、目覚まし時刻に自動的に電源を入れる設定を行ってください。→P467

1 待受画面で メニュー ▶「6 目覚ましを使う」を押す

項　目	説　明
1 目覚まし	目覚ましを設定／解除します。
2 時刻	目覚ましの開始時刻を設定します。
3 繰り返し	目覚ましを繰り返し動作させるかどうかを設定します。
4 音	目覚まし音の種類を設定します。
5 音量	目覚まし音の音量を設定します。

2 「1 目覚まし」を押す

「1 動かす」：目覚ましを設定します。
「2 止める」：目覚ましを解除します。

その他の便利な機能

目覚まし機能

3 「1 動かす」を押す

●「2 止める」：操作 10 に進みます。

4 時刻を入力 ▶ 決定 を押す

「1 毎日繰り返す」　：毎日目覚ましを起動させます。
「2 曜日を指定する」：特定の曜日に目覚ましを起動させます。
「3 繰り返さない」　：1回のみ目覚ましを起動させます。

● 24 時間制で入力します。時、分が 0 〜 9 のときは、前に 0 を付けます。

5 「1 毎日繰り返す」〜「3 繰り返さない」のいずれか 1 つの番号を押す

●「1 毎日繰り返す」　：操作 8 に進みます。
●「2 曜日を指定する」：操作 6 に進みます。
●「3 繰り返さない」　：操作 8 に進みます。

6 「1 日曜日」〜「7 土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

● 押したダイヤルボタンに対応した数字の□が☑に変わります。
● 決定：曜日を選択／解除します。
● メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

次ページへ続く

7 電話帳を押す

メロディ一覧が表示されます。

8 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

● 操作方法→P452

9 (上下左右キー)または(音量 大・小)を押して音量を調節▶決定を押す

目覚ましの設定画面に戻ります。

10 電話帳を押す

目覚ましを設定した旨のメッセージが表示されます。

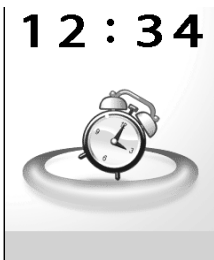
● 目覚ましと同時に電源を入れるには、待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「9 決めた時刻に電源を入／切する」▶「3 目覚まし時刻に電源を入れる」を押して設定します。→P467

11 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 目覚ましを設定すると、待受画面に(時計)が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに(時計)が表示されます。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

目覚まし時刻になると

設定した時刻になるとディスプレイのバックライトが点灯して左の画面が表示され、設定した音量で目覚まし音が鳴ります。

●FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。

●目覚まし音鳴動中に：
　目覚まし音などが止まり、待受画面に戻ります。

●目覚まし音鳴動中に次の操作をすると、左の画面はそのままで目覚まし音などが止まり、スヌーズ動作（1分間鳴った後、4分間停止）を30分間繰り返します。
- 約1分間何も操作をしない
- 、(音量 大・小)、（）以外のいずれかのボタンを押す

■ 設定した時刻に通話を行っているとき

目覚まし音ではなく警告音が鳴り、画面の表示でお知らせします。を押すと通話中画面に戻ります。

■ 設定した時刻に目覚ましの設定画面を表示しているときや電源を切っているとき、ソフトウェア更新中のとき

目覚ましは動作せず、次のようになります。

●繰り返しが「毎日繰り返す」または「繰り返さない」に設定されている場合は、翌日の同時刻に目覚ましが鳴るように再設定されます。

●繰り返しが「曜日を指定する」に設定されている場合は、翌日以降の指定された曜日の同時刻に目覚ましが鳴るように再設定されます。

■ 設定した時刻にデータの送受信（パケット通信は除く）や電話の発着信・切断を行っているとき

それぞれの動作が終了すると、目覚ましが動作します。

■ ドライブモード中のとき

目覚まし音は鳴らず、ディスプレイのバックライトも点灯せずに画面の表示のみでお知らせします。

■マナーモード中のとき

目覚まし音は鳴らず、パターンAで振動してお知らせします。→P155

お知らせ

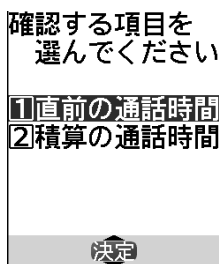
●FOMA端末を折り畳んでいるときに目覚まし音を止めるには を押します。

通話時間・積算時間を確認します <通話時間表示／積算時間表示>

最後に行った音声／テレビ電話の通話時間、またはデータ通信の通信時間を確認します。また、これまでに行った通話・通信の積算時間を確認します。

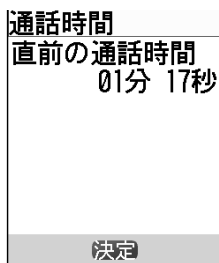
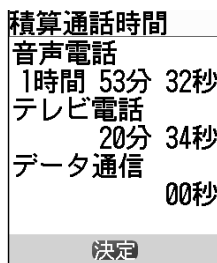
- 発信／着信どちらの場合でも、直前に行った通話・通信時間の目安が表示されます。
- 以前に積算の通話時間をリセット（→P473）した場合は、リセット時から現在までの積算した通話時間の目安が表示されます。

1 待受画面でメニュー▶「⊠ 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「1 通話時間を見る」を押す

確認する項目を
　選んでください
1直前の通話時間
2積算の通話時間
決定

2 「1 直前の通話時間」または「2 積算の通話時間」を押す

通話時間
直前の通話時間
　　01分 17秒
決定

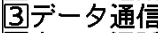
＜直前の通話時間＞

積算通話時間
音声電話
1時間 53分 32秒
テレビ電話
　　20分 34秒
データ通信
　　　　00秒
決定

＜積算の通話時間＞

- 決定を押すと項目の選択画面に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 積算の通話時間が9999時間59分59秒を超えると0秒に戻り再カウントされます。
- パケット通信で使用した時間は含まれません。
- 表示される時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。

積算時間をリセットします<積算リセット>

積算の通話時間をリセットします。

1 **待受画面でメニュー▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「3 通話時間をリセットする」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す**

積算時間を
ﾘｾｯﾄする対象を
選んでください
1音声電話
2テレビ電話
3データ通信
4全ての通話
決定

「1 音声電話」 ：音声電話の積算時間をリセットします。
「2 テレビ電話」：テレビ電話の積算時間をリセットします。
「3 データ通信」：データ通信の積算時間をリセットします。
「4 全ての通話」：すべての積算時間をリセットします。

3 **「1 音声電話」～「4 全ての通話」のいずれか1つの番号を押す**

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1 リセットする」を押す**

積算の通話時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。

●「2 リセットしない」：リセットを中止します。

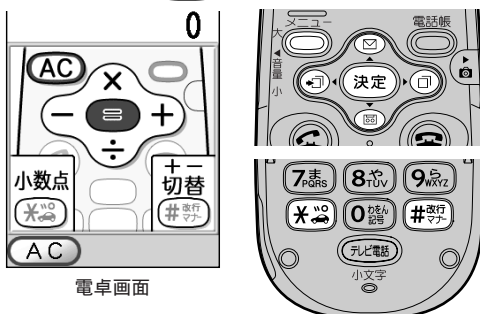
5 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

電卓として使います<電卓>

FOMA 端末で＋、－、×、÷の計算ができます。

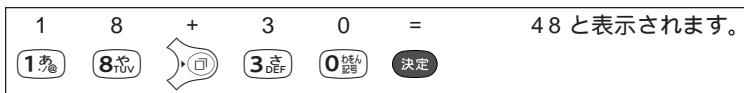
1 待受画面で[メニュー]▶「7 電卓を使う」を押す

電卓画面

● 電卓画面のデザインは、操作に使用するボタンの位置と機能がわかるようになっています。

2 計算する

● 次のボタンを押して操作ができます。

操作ボタン	説　明
0～9	数字を入力します。
↑	掛け算を行います。
↓	割り算を行います。
←	引き算を行います。
→	足し算を行います。
決定	計算を実行します。
メニュー	計算を取り消します。
＊	小数点を入力します。
＃	表示中の数字の＋と－を切り替えます。

<例> 18 ＋ 30 ＝を計算するとき

● [メニュー]を押すと計算結果が消去されます。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 最大 8 桁入力できます。
- 計算結果の整数部分が 8 桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、メニューを押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた（オプション）<スイッチ付イヤホンマイク>

イヤホンマイク端子に別売のスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

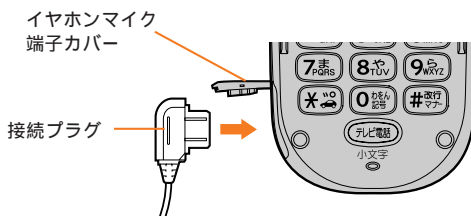
- スイッチ付イヤホンマイクのコードを FOMA 端末に巻き付けないでください。アンテナがうまく働かなくなることがあります。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部分に近づけると、雑音が入ることがあります。
- スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、確実にFOMA端末に差し込んでください。差し込みが不十分な場合は、音が聞こえないことがあります。
- ステレオイヤホンセットには、対応しておりません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続します

FOMA 端末にスイッチ付イヤホンマイクを接続します。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。

※ イヤホンジャック変換アダプタ P001を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

1 イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む

次ページへ続く

スイッチを使って電話をかけます

あらかじめ電話帳番号０の電話帳データの１件目にかけたい電話番号を登録すると、待受画面表示中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話をかけることができます。

1 待受画面でスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けます。
電話帳番号０の電話帳データ１件目に登録されている電話番号に電話がかかります。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを１秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

● [終話キー]を押しても通話を終了することができます。

お知らせ

● 個人の情報表示を制限しているときには、電話をかけることができません。→ P184
● 電話帳番号０の電話帳データにシークレット属性（→P136）が設定されている場合、シークレットモードを解除しているときは電話をかけることができません。
● 通話中に電話番号を入力してスイッチを１秒以上押しても、別の相手に電話をかけることはできず、通話中の電話が切れます。
● オートスピーカーホン機能を設定中にスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、設定が解除されます。
● スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA 端末を折り畳んでも通話は終了しません。

スイッチを使って電話を受けます

あらかじめスイッチ付イヤホンマイクを接続しておきます。

1 電話がかかってきたらスイッチを 1 秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がつながります。

- 着信音の鳴る位置は、スピーカー／イヤホン切替の設定に従って鳴ります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを 1 秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- ［終話］を押しても通話を終了することができます。

お知らせ

- スピーカー／イヤホン切替→ P159

通話中にかかってきた別の電話を受けます

キャッチホンをご契約いただくと、通話中に別の音声電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音（→P68）が聞こえます。サービスを「開始」に設定すると、キャッチホンがご利用いただけます。

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音が聞こえます。

2 スイッチを 1 秒以上押す

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に［電話帳］：通話の相手を切り替えます。
- 通話中に［決定］：現在通話中の相手も保留します。もう一度［決定］を押すと解除します。

お知らせ

- 音声電話通話中は、外部機器からのテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。キャッチホンを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。
→ P486
外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話やテレビ電話、64K データ通信の着信があった場合も同様です。
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA 端末を折り畳んでも通話は終了しません。

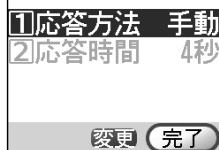
イヤホンをつないで自動で電話を受けます ＜イヤホン接続時着信設定＞

お買い上げ時 応答方法：手動

スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答することができます。
音声／テレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- テレビ電話を本機能で受けた場合、相手にはカメラオフ画像を送信して自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
- ドライブモード中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で（メニュー）▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[2] 電話の詳細を設定する」▶「[6] イヤホンマイク接続時に自動で着信する」を押す

イヤホンマイク使用中の
着信方法を
設定してください
[1]応答方法　手動
[2]応答時間　4秒
変更　完了

「[1] 応答方法」：イヤホンマイク接続時に自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
「[2] 応答時間」：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 「[1] 応答方法」▶「[2] 自動で応答する」を押す

応答時間の設定画面が表示されます。

- 「[1] 手動で応答する」：手動で応答します。操作 4 に進みます。

3 時間を入力▶（決定）を押す

イヤホンマイク使用中の着信方法の設定画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を 0 ～ 120 の間で入力します。

4 （電話帳）を押す

イヤホンマイク使用中の着信方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→P191）、着信を拒否／許可する相手（→ P188）、電話帳登録外の着信の拒否（→ P195）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

● 伝言メモの応答時間と本機能の応答時間を同じ時間には設定できません。→ P84

各種機能の設定を初期状態に戻します＜設定リセット＞

お買い上げ時　すべて選択

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

● 本機能を行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、メニュー一覧をご覧ください。→ P580

● メニュー一覧に記載されていない機能やお客様が登録したデータで、本機能を実行することでお買い上げ時の設定や状態に戻るものは次のとおりです。

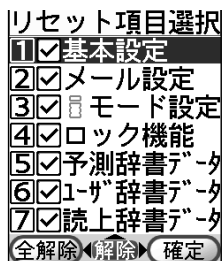
機能／データ	説　明	参照先
マナーモード	基本設定を選択すると解除されます。	P160
ドライブモード	基本設定を選択すると解除されます。	P79
ワンタッチダイヤル登録	基本設定を選択すると解除されます。	P138
予測変換機能で記録されたデータ	予測辞書データを選択すると消去されます。	P564
単語登録のデータ	ユーザ辞書データを選択すると消去されます。	P575
音声読み上げ単語登録のデータ	読上辞書データを選択すると消去されます。	P215
ボイスメニュー／ボイスダイヤル登録のデータ	呼出辞書データを選択すると消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。	P198、202

次ページへ続く

1 待受画面で（メニュー）▶「＊ 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「4 設定を初めの状態に戻す」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶（決定）を押す

リセット項目選択
1☑基本設定
2☑メール設定
3☑iモード設定
4☑ロック機能
5☑予測辞書データ
6☑ユーザ辞書データ
7☑読上辞書データ
全解除 解除 確定

3 「1 基本設定」～「8 呼出辞書データ」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す

- 押したダイヤルボタンに対応した数字の☑が□に変わり、選択が解除されます。
- （決定）：項目を選択／解除します。
- （メニュー）：すべての項目を選択／解除します。

4 （電話帳）を押す

設定をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 戻す」を押す

設定をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 戻さない」：リセットを中止します。

6 （決定）を押す

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

ネットワークサービス

● ネットワークサービスについてご不明な点は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
●「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「ｉモード」は、取扱説明書裏面のドコモｅサイトにてお申し込みいただけます。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス →P483	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。	有料	必要
キャッチホン →P486	現在お話し中の通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。	有料	必要
転送でんわサービス →P488	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、かかってきた電話を自動的に転送します。	無料	必要
迷惑電話ストップサービス →P492	相手先の電話番号を登録すると、以後登録した電話番号からの着信には、自動的にガイダンスが応答して迷惑電話を拒否します。	有料	必要
発信者番号通知 →P48	自分の電話番号を電話をかけた相手に通知します。	無料	不要
番号通知お願いサービス →P494	発信者番号が通知されない電話に番号通知をお願いする旨のガイダンスを流した後、自動的に電話を切ります。	無料	不要
ドライブモード →P79	運転中に電話がかかってくると、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが自動応答します。	無料	不要
デュアルネットワークサービス →P495	1つの電話番号でFOMA端末とmovaを使い分けて利用できます。	有料	必要
英語ガイダンス →P496	音声ガイダンスを英語で聞けます。	無料	不要
サービスダイヤル →P498	ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。	無料	不要

お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。詳しい操作や注意事項については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを利用します

電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えして伝言メッセージをお預かりします。

- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
- 電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件録音できます。
- 伝言メッセージは最長72時間保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話をかけたり、受けたりできます。
- 着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。
→P484
- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続して伝言メッセージをお預かりします。待受画面の新着情報や着信履歴で、着信があったことをお知らせします。

- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは自動的に停止になります（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません）。
- 着信中の電話を、留守番電話サービスセンターに転送できます。→P68
通話中にかかってきた電話も留守番電話サービスセンターに転送できます。→P499
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
→P500
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

次ページへ続く

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ 1

サービスを開始に設定する

ステップ 2

電話をかけてきた方が伝言を録音する※

ステップ 3

伝言メッセージを再生する

※：急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに #改行マナー を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの利用料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

留守番電話サービスを開始／停止します

留守番電話サービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

開始します

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「3 留守番サービスを開始する」を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」を押す

呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 開始しない」：
  操作を中止します。

3 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

呼出時間の入力画面が表示されます。

- 「2 設定しない」：
  呼出時間を設定せずに、ご契約時の呼出時間（10秒）で留守番電話サービスを開始します。
  操作 5 に進みます。

4 呼出時間を入力 ▶ 決定 を押す

ネットワークに接続され、留守番電話サービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 呼出時間の秒数を 0 ～ 120 の間で入力します。

5 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 呼出時間だけを設定する場合には待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「6 留守番呼出時間を設定する」を押して操作します。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を留守番電話サービスセンターでお受けすることもできます。→ P499
  かかってきた電話を手動で接続させることもできます。→ P68
- 呼出時間の設定を変更していた場合、設定は保持されます。

停止します

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「4 留守番サービスを停止する」を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、留守番電話サービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 停止しない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 待受画面でメニュー▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「7 留守番サービスの設定を確認する」を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

● 「2 確認しない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 設定内容表示中に次の操作ができます。
- 留守番電話サービスの開始：メニュー▶「1 留守番電話開始」を押します。
- 留守番電話サービスの停止：メニュー▶「2 留守番電話停止」を押します。
- 留守番電話呼出時間の設定：メニュー▶「3 呼出時間の設定」を押します。

伝言メッセージを聞きます

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に「留守番 長押し」が表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音 1）が 5 回鳴ります。

1 待受画面でメニュー▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「1 留守番メッセージを再生する」を押す

再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 再生する」を押す

ネットワークに接続され、受話口から音声ガイダンスが聞こえます。

● 「2 再生しない」：
操作を中止します。

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ

● 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく伝言メッセージを再生できます。→ P27

● FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに 留守 が表示され、着信音（着信音 1）が 5 回鳴ります。→ P25

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定します

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「5 留守番サービスの詳細を設定する」を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

2 「1 設定する」を押す

留守番電話サービスセンターに電話がかかり、受話口から音声ガイダンスが聞こえます。

● 「2 設定しない」：
操作を中止します。

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

● 新しい伝言メッセージがあるか確認するときや、伝言メッセージを聞くときは、1度電話を切ってから操作してください。

新しい伝言メッセージがあるか確認します

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「2 メッセージがあるか問合せる」を押す

メッセージを問い合わせるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 問合せる」を押す

ネットワークに接続され、問い合わせている旨のメッセージが表示されます。

● 「2 問合せない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。
● 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に「**留守番** （アイコン） **長押し**」が表示されます。

お知らせ

● 伝言メッセージの問い合わせを行った後にお預かりした伝言メッセージは、再度メッセージ問い合わせを行っても確認できない場合があります。

キャッチホンを利用します

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話することができます。

● 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
● キャッチホンは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、キャッチホンの操作はできません。電波の状態のよい場所で操作してください。
● 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。
→P494
● キャッチホンを契約している場合は、サービスを「開始する」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定していると、通話中／通信中の着信を受けることができます。→P499
● 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  • 104、110、117、118、119にかけているとき
  • ダイヤル中、および相手を呼び出し中のとき
  • 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  • 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  • テレビ電話通話中（着信履歴には不在着信として残ります）
  • 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
● キャッチホンを契約している場合は、キャッチホンを「停止する」に設定している場合でも、通話中／通信中に着信があると着信中画面が表示されたり（アイコン）が点滅したりしますが、着信を受けることはできません。
● 通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
● 通話中にテレビ電話をかけることはできません。

キャッチホンを開始／停止します

キャッチホンを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

開始します

1 待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「1 キャッチホンを開始する」を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」を押す

ネットワークに接続され、キャッチホンを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 開始しない」：
  操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- キャッチホンを使用するときは、通話中着信動作を「通常着信する」に設定してください。→P499
  他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても応答できません。

停止します

1 待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「2 キャッチホンを停止する」を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、キャッチホンを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：
  操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「3 キャッチホンの設定を確認する」を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：
  操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お話し中の通話を保留にしてかかってきた電話に出ます

1 通話中に(通話)を押す

キャッチホン（マルチ接続）中の画面が表示されます。最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

- 通話中に(電話帳)：
  通話の相手を切り替えます。
- 通話中に決定：
  現在通話中の相手も保留にします。もう一度決定を押すと解除します。

次ページへ続く

2 一方の相手との通話が終わったら を押す

一方の相手との通話が終了して着信音が鳴ります。

- ：保留中の相手との通話を再開します。

お知らせ

- キャッチホン中（マルチ接続中）の通話切り替えで保留になった相手の端末に流れる保留音は、通話中保留のときに流れるメロディとは異なります。→P56

お話し中の通話を終わらせてかかってきた電話に出ます

1 通話中に を押す

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 を押す

新しくかかってきた電話と通話できます。

お話し中の通話を保留にして別の相手に電話をかけます

1 通話中に電話番号をダイヤルする

入力した電話番号が表示されます。

2 を押す

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

- 通話中に（電話帳）：
  通話の相手を切り替えます。
- 通話中に（決定）：
  現在通話中の相手も保留します。もう一度（決定）を押すと解除します。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら を押す

新しくかけた相手との通話が終了します。

- ：保留中の相手との通話が再開します。

お知らせ

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルから電話をかける場合は、通話中に（メニュー）▶「2 電話帳を見る」／「3 着信履歴を見る」／「4 リダイヤルを見る」▶相手を選択▶ を押して操作します。

保留中の通話を終わらせます

1 キャッチホン中（マルチ接続中）に（メニュー）▶「2 保留相手を切断」を押す

保留中の相手との通話を終了します。

お知らせ

- キャッチホン中に別の電話がかかってきても受けることはできません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用します

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA 端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 全国のFOMAサービスエリア内ならどこでも利用できます。
- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額料金はかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

- 転送先の登録は1件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
- 応答しなかった電話は、転送先に転送します。
- 着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。→P490
- 着信中の電話を転送できます。→P68
  また、通話中にかかってきた電話も転送できます。→P499
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは自動的に停止になります（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始の設定にしてください。→P500
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（→P90）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1

転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ2

転送先の電話番号を登録する

ステップ3

お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ4

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

月額使用料　無料　＋　通話料

発信者 ⟷ **転送でんわサービスのご契約者** ⟷ **転送先**

電話をかけた方のご負担です。

転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスを契約している電話機より転送を行った場合、転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始／停止します

転送でんわサービスを開始または停止します。また、転送先の電話番号などの設定内容を確認します。

- 転送でんわサービスを開始に設定している場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。

開始します

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」を押す**

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 開始する」を押す**

転送先電話番号を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

●「2 開始しない」：
操作を中止します。

3 **「1 設定する」または「2 設定しない」を押す**

転送先電話番号の入力画面が表示されます。

●「2 設定しない」：
転送先電話番号を設定しません。操作6に進みます。

4 **転送先電話番号を入力する**

● 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
● 最大26桁入力できます。
●「#」「※」を入力できます。

■ **転送先電話番号を電話帳から設定するとき**

① （メニュー）▶「7 電話帳を呼出す」を押す
電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

② 転送先電話番号を検索して選択▶（決定）を押す
電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

● 操作方法→P124

5 **（決定）を押す**

呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

6 **「1 設定する」または「2 設定しない」を押す**

呼出時間の入力画面が表示されます。

●「2 設定しない」：
呼出時間を設定せずに、ご契約時の呼出時間（7秒）で転送でんわサービスを開始します。操作8に進みます。

7 **呼出時間を入力▶（決定）を押す**

ネットワークに接続され、転送でんわサービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

● 呼出時間の秒数を0〜120の間で入力します。

8 **（決定）を押す**

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
● 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
● PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
※：2001年1月から、NTTドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。
● お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送することもできます。→P499
かかってきた電話を手動で転送させることもできます。→P68
● 呼出時間の設定を変更していた場合、設定は保持されます。

停止します

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「2 転送サービスを停止する」を押す**

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、転送でんわサービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：
  操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「5 転送サービスの設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：
  操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

転送先を変更します

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「3 転送先を変更する」を押す**

転送先電話番号の入力画面が表示されます。

2 **転送先電話番号を入力▶決定を押す**

転送先に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 操作方法→P490

3 **「1 設定する」を押す**

ネットワークに接続され、転送先電話番号を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 設定しない」：
  操作を中止します。

4 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対します

転送先の電話が通話中で転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「4 転送先が通話中の時の設定をする」を押す**

留守番電話サービスセンターへ接続するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

2 「1 接続する」を押す

ネットワークに接続され、留守番電話サービスで応対するように設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 接続しない」：
  留守番電話サービスでの応対を解除します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

迷惑電話ストップサービスを利用します

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 最大30件登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 着信拒否に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。

最後に通話した電話番号を登録します

1 迷惑電話がかかってきた後に メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」を押す

登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 登録する」を押す

ネットワークに接続され、登録した旨のメッセージが表示されます。

- 最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。
- 「2 登録しない」：
  操作を中止します。

■ 既に30件登録されているとき

最も古い電話番号を削除して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1 登録する」を押すと、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

電話番号を指定して登録します

1 待受画面 1 4 4 発信キー ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作する

指定した電話番号が登録されます。

お知らせ

- 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。
- 着信拒否に登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。
- 国際電話は着信拒否に登録できません。
- 着信拒否に登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

お知らせ

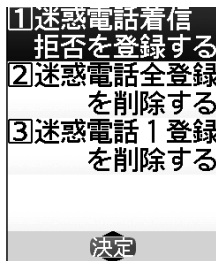
- 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

登録した電話番号を削除します

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「4 迷惑電話ストップを使う」を押す**

1迷惑電話着信拒否を登録する
2迷惑電話全登録を削除する
3迷惑電話１登録を削除する
決定

「2 迷惑電話全登録を削除する」：
電話番号を全件削除します。
「3 迷惑電話 1 登録を削除する」：
最後に登録した電話番号を削除します。

2 **「2 迷惑電話全登録を削除する」または「3 迷惑電話 1 登録を削除する」を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 削除する」を押す**

ネットワークに接続され、電話番号を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：
操作を中止します。

4 **（決定）を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （電話）を押すと待受画面に戻ります。

番号通知お願いサービスを利用します

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

- 番号通知お願いサービスは、音声電話での対応です。
- 発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料、工事費もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

番号通知お願いサービスを開始します

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「1 番号通知お願いサービスを開始する」を押す**

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 開始する」を押す**

ネットワークに接続され、番号通知お願いサービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 開始しない」：
  操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも残りません。
- 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます（留守番電話サービスや転送でんわサービスなどで可能な遠隔操作はできません→P500）。なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。
- 発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→P191）と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

お知らせ

- 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

番号通知お願いサービスを停止します

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「2 番号通知お願いサービスを停止する」を押す**

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、番号通知お願いサービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：
  操作を中止します。

3 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「3 番号通知お願いサービスを確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：
  操作を中止します。

3 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

デュアルネットワークサービスを利用します

デュアルネットワークサービスを利用すると、お使いになっているFOMA端末の電話番号で、movaを利用することができます。
FOMAサービスエリア外でも、movaに切り替えることで通信が可能になります。

- FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、FOMA端末とmovaの切り替えはできません。電波状態のよい場所で操作してください。

movaを使えるようにします

1 **movaで「1540」をダイヤル▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**

movaが利用できるようになります。

FOMA端末を使えるようにします

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「3 デュアルネットワークを使う」▶「1 デュアルネットワークを切替える」を押す**

切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

2 「1 切替える」を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

● 「2 切替えない」：
　操作を中止します。

3 4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す

ネットワークに接続され、ネットワークを切り替えた旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ネットワーク暗証番号→P171

利用状況を確認します

1 待受画面でメニュー▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「3 デュアルネットワークを使う」▶「2 デュアルネットワークの状態を確認する」を押す

利用状況を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、現在の利用状況が表示されます。

● 「2 確認しない」：
　操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMA端末では従来どおりFOMAのｉモードが利用できます。movaでもｉモードを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、movaそれぞれのネットワーク設備を利用するための制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ガイダンスを日本語と英語で切り替えます

電波が届かない所にいたり、電源を切っている場合などに相手が聞くガイダンスを、英語に変更します。自分が聞くガイダンス（電話をかけたときの言語）と相手へのガイダンス（電話をかけてきたときの言語）の両方が切り替えられます。

● 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
● 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、ガイダンスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
● テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。
● ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは発信者側の発信時の設定が着信時の設定より優先されます。

1 **待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「2 英語ガイダンスを使う」▶「1 ガイダンスを設定する」を押す**

電話をかけたときの言語を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 設定する」または「2 設定しない」を押す**

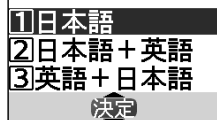
電話をかけた時の音声案内の言語を選んでください
1日本語
2英語
決定

「1 日本語」：自分が聞くガイダンスを日本語にします。
「2 英語」　：自分が聞くガイダンスを英語にします。
● 「2 設定しない」：
電話をかけたときの言語を設定しません。操作4に進みます。

3 **「1 日本語」または「2 英語」を押す**

電話をかけてきたときの言語設定をするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1 設定する」または「2 設定しない」を押す**

電話をかけてきた相手に聞こえる音声案内の言語を選んでください
1日本語
2日本語＋英語
3英語＋日本語
決定

「1 日本語」：
相手が聞くガイダンスを日本語にします。
「2 日本語＋英語」：
相手が聞くガイダンスを日本語→英語の順にします。
「3 英語＋日本語」：
相手が聞くガイダンスを英語→日本語の順にします。
● 「2 設定しない」：
電話をかけてきたときの言語を設定しません。操作6に進みます。ただし、電話をかけたときの言語も設定しなかった場合は、メニュー画面に戻ります。

5 **「1 日本語」〜「3 英語＋日本語」のいずれか1つの番号を押す**

ネットワークに接続され、音声ガイダンスを設定した旨のメッセージが表示されます。

6 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「2 英語ガイダンスを使う」▶「2 ガイダンスの設定を確認する」を押す**

確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：
  操作を中止します。

3 **（決定）を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

サービスダイヤルを利用します

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、サービスダイヤルの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。

総合案内・受付へ電話をかけます

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「4 サービスダイヤルを使う」▶「1 ドコモ総合案内・受付に電話する」を押す**

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 電話する」を押す**

ドコモ総合案内・受付に電話がかかります。

- 「2 電話しない」：
  操作を中止します。

故障の問い合わせをします

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「4 サービスダイヤルを使う」▶「2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する」を押す**

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 電話する」を押す**

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

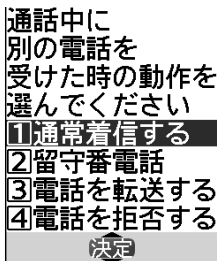
- 「2 電話しない」：
  操作を中止します。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選びます
<通話中着信動作選択>

音声電話通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所でも操作できます。
- 通話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。

1 **待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「7 通話中着信動作を選ぶ」を押す**

通話中に
別の電話を
受けた時の動作を
選んでください
1通常着信する
2留守番電話
3電話を転送する
4電話を拒否する
決定

「1 通常着信する」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、応答、切断、保留の操作ができます。キャッチホンをご契約の上、サービスを開始している場合に有効です。

「2 留守番電話」：
通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスで応答します。

「3 電話を転送する」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送します。

「4 電話を拒否する」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否して呼び出されないようにします。

2 **「1 通常着信する」～「4 電話を拒否する」のいずれか1つの番号を押す**

通話中着信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 着信動作を選択しても、通話中着信設定は開始にはなりません。開始操作をしてください。→P500
- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」に設定した場合は留守番電話サービスは自動的に開始に設定され、動作します。

通話中着信設定を利用します

通話中着信動作（→P499）で設定した応答方法を開始／停止します。
また、設定内容を確認します。

● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、通話中着信設定はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

通話中着信設定を開始します

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「6 通話中着信設定を使う」▶「1 通話中着信設定を開始する」を押す

通話中着信設定を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」を押す

ネットワークに接続され、通話中着信設定を開始した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 開始しない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

通話中着信設定を停止します

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「6 通話中着信設定を使う」▶「2 通話中着信設定を停止する」を押す

通話中着信設定を停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、通話中着信設定を停止した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 停止しない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「6 通話中着信設定を使う」▶「3 通話中着信設定を確認する」を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

● 「2 確認しない」：
操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

遠隔操作を利用します

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

● FOMA 端末から固定留守番電話機などを操作する場合、相手側の機器によっては受信できないことがあります。

遠隔操作を開始します

1 **待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「1 遠隔操作を開始する」を押す**

遠隔操作を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 開始する」を押す**

ネットワークに接続され、遠隔操作を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 開始しない」：
  操作を中止します。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

遠隔操作を停止します

1 **待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「2 遠隔操作を停止する」を押す**

遠隔操作を停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、遠隔操作を停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：
  操作を中止します。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で(メニュー)▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「3 遠隔操作の設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：
  操作を中止します。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

データ通信

データ通信をはじめる前に

通信設定ファイルについて

FOMA PC 設定ソフトを利用します

FOMA PC 設定ソフトを利用しない設定方法について

AT コマンドについて

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

FOMA端末から利用できるデータ通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmuseaと接続してデータ通信を行う場合、musea をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 384kbps、送信最大 64kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
本通信は、添付の CD-ROM より関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

64K データ通信

64K データ通信はネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN の同期 64K アクセスポイントを利用します。
本通信は、添付の CD-ROM より関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

データ転送

データ転送はFOMA USB接続ケーブルを使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。
FOMA 端末と他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどを接続することによって利用できます。パソコンとデータを送受信する場合には、添付の CD-ROM より関連ソフトをパソコンにインストールしてからご利用ください。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA USB 接続ケーブル（別売）を使って、USB ポートを装備したパソコンと接続します。→ P507

- ご使用前に通信設定ファイルのインストールが必要です。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内のFirstPass Manualをご覧ください。「FirstPass Manual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

- 動作環境の確認
  FirstPass PCソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Windows 98 SE、 Windows Me、 Windows 2000 Professional、 Windows XP （各日本語版）
必要メモリ	Windows 98 SE、 Windows Me、 Windows 2000 Professional： 32MB以上 Windows XP： 128MB以上
ハードディスク容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ※Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

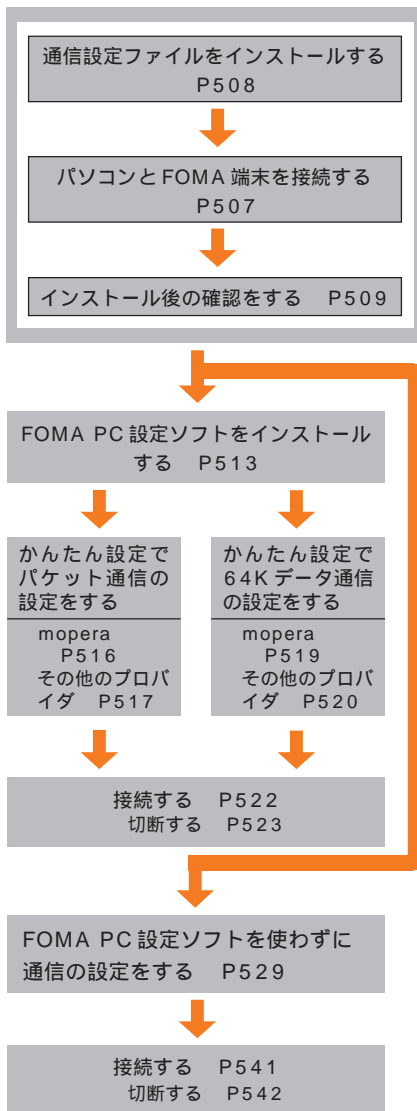
パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）に対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

※：「mopera」はお申し込み手続き不要のドコモのインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

■データ通信の用語集

● APN（Access Point Name）

パケット通信で接続するインターネットサービスプロバイダや社内ＬＡＮを識別する文字列。モペラは、「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）

パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

● DNS（Domain Name System）

ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

● OBEX（Object Exchange）

データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

● QoS（Quality of Service）

サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。→P553、P554

● W-CDMA

世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

● W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

● パソコンの管理者権限を持ったユーザ

Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

通信設定ファイルについて

FOMA 端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付の CD-ROM から通信設定ファイルをインストールする必要があります。→P508

FOMA PC 設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA 端末とパソコンを接続して、データ通信を行うのに必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行うことができます。→P512

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC-AT 互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ※2	Windows 98、Windows Me：32MB 以上 Windows 2000 Professional：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量※2	5MB 以上の空き容量

※1：USB 接続の場合は、USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC 設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。

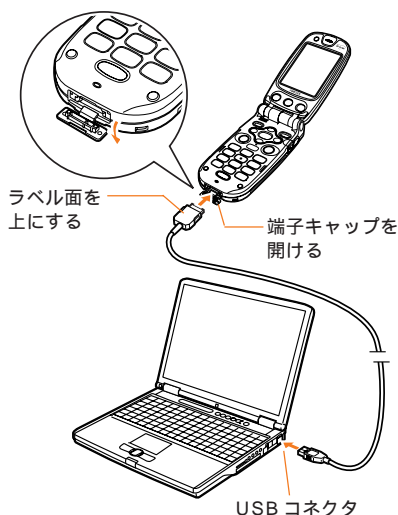
● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続します

パソコンと FOMA 端末は、電源が入っている状態で接続してください。

● 初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイルをインストール後に接続してください。→P508

FOMA USB接続ケーブルで接続します

1 **FOMA USB 接続ケーブルの FOMA 端末側を FOMA 端末の外部接続端子に差し込む**

● 通信設定ファイルがインストールされている場合は、パソコンと FOMA 端末が接続されると、FOMA 端末の画面に ⚲ が表示されます。

データ通信　データ通信の準備の流れ／パソコンとFOMA端末を接続します

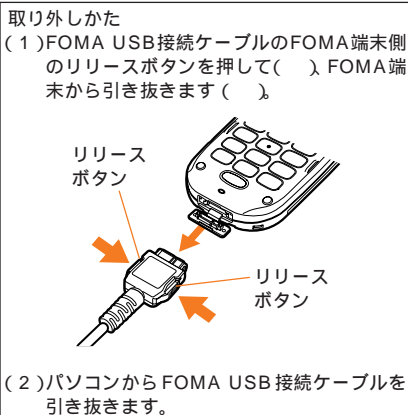
次ページへ続く→

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

取り外しかた

（1）FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押して（①）、FOMA端末から引き抜きます（②）。

（2）パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜きます。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールします

通信設定ファイルのインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに必要です。2回目以降の接続からは、インストールは不要です。

- Windows XP、2000 Professionalで「通信設定ファイル」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。
- インストール時には、あわせてパソコンの取扱説明書もご参照ください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA F880iES用CD-ROMをパソコンにセットする

※ FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 ［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］の順にクリック▶「名前」に「< CD-ROMドライブ名>：\USBDRIVE\F880iESi.exe」と入力▶［OK］をクリックする

FOMA F880iESドライバをインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする

FOMA F880iESをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA 端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA 端末は電源の入った状態で接続してください。
- 接続方法→ P507
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→ P510

お知らせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA 端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、P508 の操作 2 でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは表示に従ってアンインストールを行った後、もう一度操作1～4 を行って通信設定ファイルをインストールしてください。
- インストールに失敗して P511 の操作 1 の画面で「FOMA F880iES USB」が表示されていないときは、［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「<CD-ROM ドライブ名>：￥USBDRIVE￥F880iESi.exe」を指定▶［OK］をクリックして直接通信設定ファイルをアンインストールした後、再度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA 端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（→ P511）、再度インストールしてください。

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認します

インストールしたドライバをパソコンで確認する方法について説明します。

- FOMA 端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。

〈例〉Windows XP で確認するとき

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンの順にクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000 Professional、Me、98 のとき

［スタート］メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択▶［システム］アイコンをダブルクリックする

2 ［ハードウェア］タブをクリック▶［デバイスマネージャ］をクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

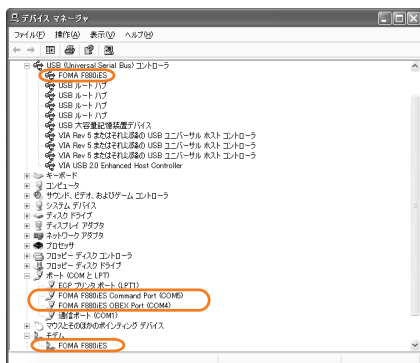
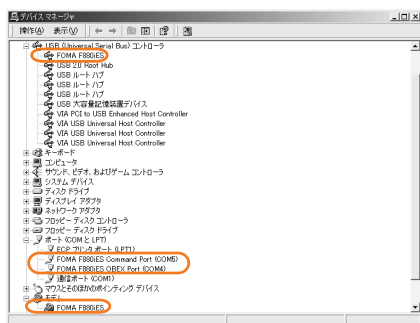
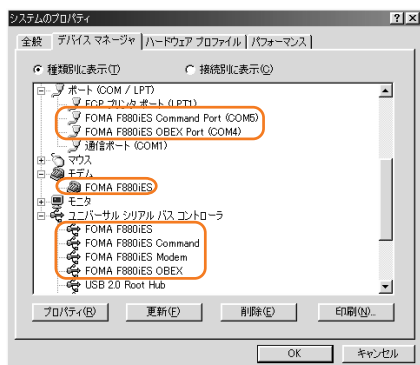
■ Windows Me、98 のとき

［デバイスマネージャ］タブをクリックする

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

次ページへ続く→

3 各デバイスをクリック▶インストールされたデバイス名を確認する

「ポート（COMとLPT）」または「ポート（COM／LPT）」、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」、「モデム」の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

Windows XPの場合

Windows 2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

● 通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）	● FOMA F880iES Command Port（COMx） ● FOMA F880iES OBEX Port（COMx） （COMxはお使いのパソコンによって異なります）
モデム	● FOMA F880iES
ユニバーサル シリアル バス（USB：Universal Serial Bus）コントローラ	● FOMA F880iES ● FOMA F880iES Command※ ● FOMA F880iES Modem※ ● FOMA F880iES OBEX※

※：Windows Me、98の場合のみ表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールします

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

- OSによって画面表示などが異なります。
- Windows XP、2000 Professionalで「通信設定ファイル」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA端末をパソコンから取り外す必要があります。

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 **［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンの順にクリックする**

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ **Windows 2000 Professional、Me、98のとき**

［スタート］メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択▶［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面（Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面）が表示されます。

2 **「FOMA F880iES USB」を選択▶［変更と削除］をクリックする**

FOMA F880iESドライバをアンインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

3 **［はい］をクリックする**

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 **［OK］をクリックする**

通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA F880iES USB」が表示されていないときは、［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「＜CD-ROMドライブ名＞：￥USBDRIVE￥F880iESi.exe」を指定→［OK］をクリックして直接通信設定ファイルをアンインストールしてください。
- Windows Me、98では通信設定ファイルをアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定について

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

● **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

● **W-TCPの設定**
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

● **接続先(APN)の設定**
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先(APN)の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの1番には標準で、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

お知らせ

● FOMA PC設定ソフトを使わずにパケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
• パケット通信、64Kデータ通信→P529

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。→P507

ステップ1　FOMA PC設定ソフトをインストールする→P513

「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

ステップ2　設定前の準備

設定を行う前に次のことを確認してください。
● FOMA端末とパソコンの接続→P507
● FOMA端末がパソコンに認識されているか→P509

ステップ3　かんたん設定で通信の設定を行う

● moperaを利用したパケット通信→P516
● その他のプロバイダを利用したパケット通信→P517
● moperaを利用した64Kデータ通信→P519
● その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信→P520
その他の設定は、P529以降を参照してください。

ステップ4　接続する→P522

インターネットに接続します。

お知らせ

● FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。その場合はWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。→P530

FOMA PC設定ソフトをインストールします

● 次のFOMA端末に同梱されている「W-TCP環境設定ソフト（以後、旧「W-TCP設定ソフト」と呼びます）」、および「FOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」と呼びます）」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）

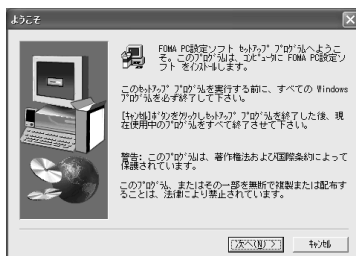
● Windows XP、2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼動中のプログラムがあった場合は、使用中のプログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

● Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA F880iES用CD-ROMをパソコンにセットする

2 ［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］の順にクリック▶「名前」に「< CD-ROMドライブ名>:\FOMA_PCSET\SETUP.EXE」を指定▶［OK］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする

製品ライセンス契約の確認画面が表示されます。

● 旧「W-TCP設定ソフト」および旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P514を参照してください。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

●「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書です。［いいえ］をクリックすると、インストールは中止されます。

次ページへ続く

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認▶［次へ］をクリックする

● セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。
→P525
これは、「W-TCP通信」の最適化の設定･解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認▶［次へ］をクリックする

● 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認▶［次へ］をクリックする

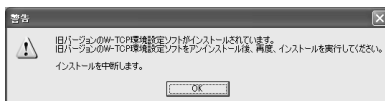
● 変更する場合はフォルダ名を入力して［次へ］をクリックします。

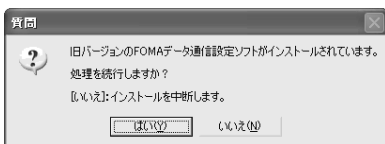
8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

● このまま各種設定を行えます。
→P515

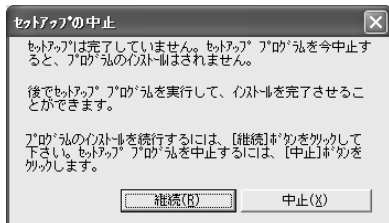
FOMA PC設定ソフト インストール時の留意事項

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合に表示されます。「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧「W-TCP設定ソフト」を削除してください。→P524

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合に表示されます。［はい］をクリックすると、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールされます。

既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合に表示されます。「はい」をクリックすると、「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールし直されます。

インストール途中で［キャンセル］をクリックした場合

セットアップ途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックし、インストールを中断した場合に表示されます。インストールを継続する場合は［継続］を、意図的に中止する場合は［中止］をクリックしてください。

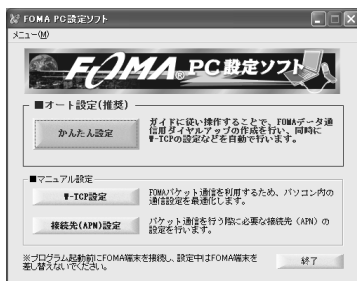
通信の設定を行います（かんたん設定）

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P507

FOMA PC設定ソフトを起動します

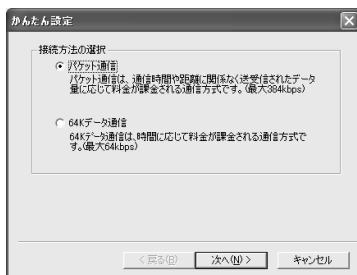
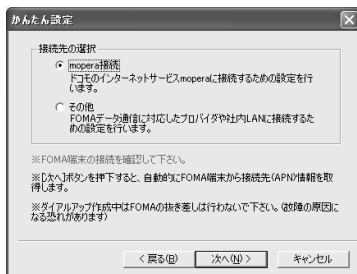
1 **［スタート］メニューをクリック▶「プログラム」（Windows XPの場合は、「すべてのプログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択▶「FOMA PC設定ソフト」をクリックする**

「FOMA PC設定ソフト」が起動し、下の画面が表示されます。

かんたん設定からパケット通信を選択します

mopera を利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。利用するプロバイダはドコモのインターネット接続サービス「mopera」です。

※：【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動▶［かんたん設定］をクリックする

2 「パケット通信」を選択▶［次へ］をクリックする

3 「mopera 接続」を選択▶［次へ］をクリックする

FOMA端末設定取得の確認画面が表示されます。

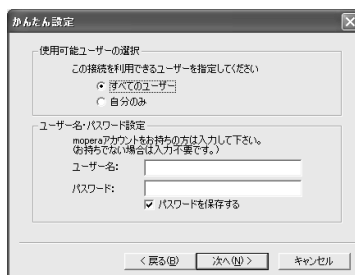
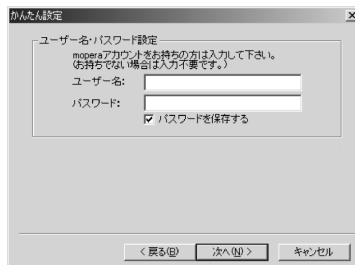
- mopera 以外のプロバイダをご利用の場合→P517

4 ［OK］をクリックする

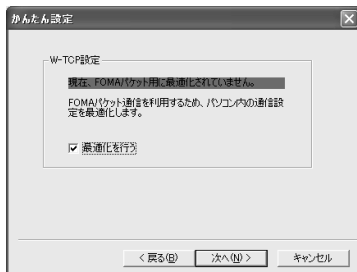
パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

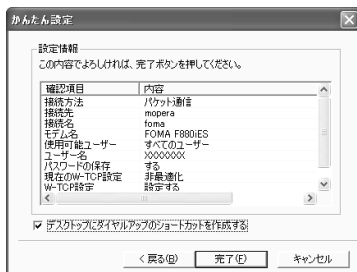
5 接続名を入力▶［次へ］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  \ /:＊?!<>|”

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98 の場合

6 ［次へ］をクリックする

● 接続先が mopera の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。
● ご使用の OS が Windows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択してください。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認▶［次へ］をクリックする

パケット通信に必要な W-TCP 設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

9 ［OK］をクリックする

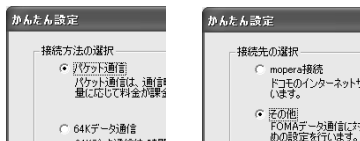
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。
● 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
● 通信を行う→ P522

その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

最大 384kbps の高速パケット通信※の設定を行います。
※：高速パケット通信→ P516

1 P516 の操作 1 ～ 4 を行う

操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

次ページへ続く

2 接続名を入力▶［接続先（APN）設定］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

● 次の記号（半角文字）は入力できません。
　\/:＊?!<>|”
　「接続先（APN）の選択」にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。

●「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する

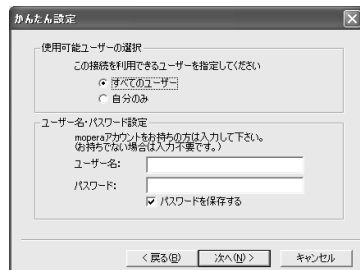
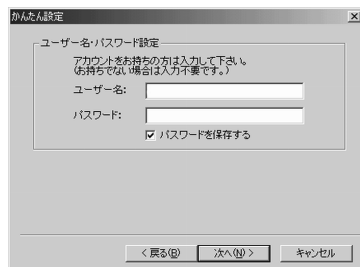
番号（cid※1）にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。

① ［追加］をクリックする
　「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

② 「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックする
　「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
　●「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。
　※ cidは1～10まで登録可能です。

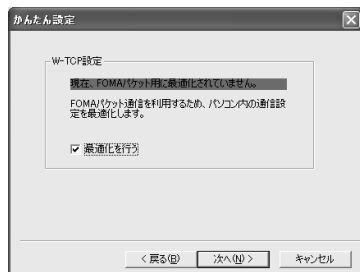
4 ［OK］をクリックする

操作1の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

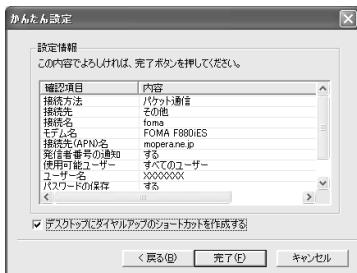
5 「接続先（APN）の選択」で接続先名（APN）を確認▶［次へ］をクリックする

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

6 ユーザー名・パスワードを入力▶［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

● ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択してください。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認▶［次へ］をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

● 既に最適化されている場合には、操作6の画面は表示されません。

8 設定情報を確認▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。

● 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。

● 設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

● 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。

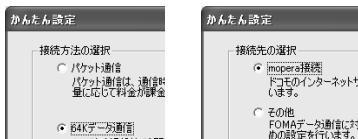
● 通信を行う→P522

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合

moperaを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。利用するプロバイダはドコモのインターネット接続サービス「mopera」です。

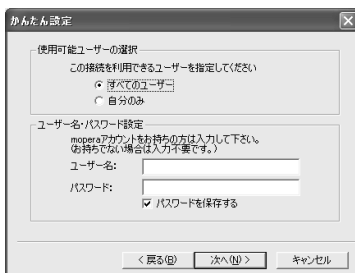
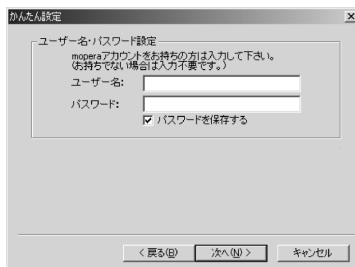
※：【64Kデータ通信】64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されますので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信をする場合に適しています。

1 P516の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 接続名の入力とモデムを入力▶［次へ］をクリックする

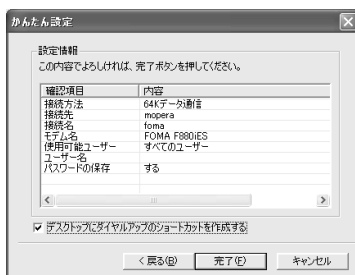
「接続名」に任意の接続名を入力します。

● 次の記号（半角文字）は入力できません。
\/:＊?!<>|”
「モデムの選択」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認してください。

次ページへ続く

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

3 ［次へ］をクリックする

● 接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

● ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択してください。

4 設定情報を確認▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。

●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。

● 設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

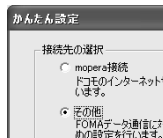
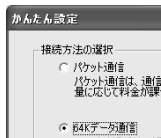
5 ［OK］をクリックする

● 通信を行う→P522

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。

※：64Kデータ通信→P519

1 P516の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定▶［次へ］をクリックする

ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

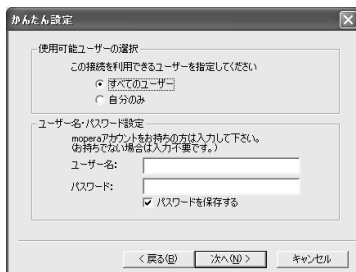
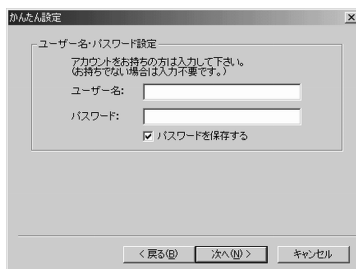
● 接続名：任意

● モデムの選択：FOMA F880iES

● 電話番号：
プロバイダ情報を基に正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
0123456789ABCDPTWabcdptw!@＄-.( )+＊#,&および半角スペース

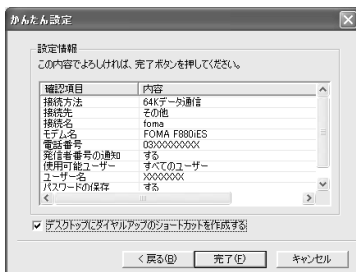
●「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

Windows XP、2000 Professional の場合

Windows Me、98 の場合

3 ユーザー名・パスワードを入力▶［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

● ご使用の OS が Windows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択してください。

4 設定情報を確認▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。

「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。

設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

5 ［OK］をクリックする

● 通信を行う→ P522

FOMA PC設定ソフトで設定した通信を実行します

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。また、64Kデータ通信中や音声電話通話中に着信したときなどの対応についても説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

● 接続方法→P507

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

アイコンはOSによって異なります。

通信が開始されます。

● 次の方法でも接続することができます。

■ **Windows XPのとき**

[スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択▶「ネットワーク接続」をクリック▶接続アイコンをダブルクリックする

■ **Windows2000 Professional、Me、98のとき**

[スタート]メニューをクリック▶「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

3 接続を実行する

● moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、［ダイヤル］をクリックします。

● その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。

● OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。

お知らせ

● FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

<パケット通信のとき>

<64Kデータ通信のとき>

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

● データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

● F880iES以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。→P508

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 **タスクトレイの をダブルクリックする**

接続の画面が表示されます。

画面はOSにより異なります。

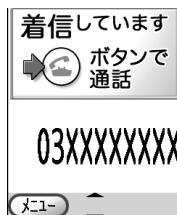
2 **［切断］をクリックする**

接続が切断されます。

64Kデータ通信の着信があったときは

64Kデータ通信の着信があると表示されます。パソコンで対応する操作をしてください。

● 64Kデータ通信中にさらに別の64Kデータ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

64Kデータ通信中に音声電話がかかってきたときは

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると表示されます。

(メニュー)を押して次の項目から選択できます。

サブメニュー	説　明
留守番電話	留守番電話の設定に従って、かかってきた音声電話に対応します。
転送でんわ	転送でんわの設定に従って、かかってきた音声電話を転送します。
電話を拒否	かかってきた音声電話を切断します。
データ通信終了	現在通信中の64Kデータ通信を切断します。

音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったときは

音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

お知らせ

● 全ての操作を制限中（→P182）に64Kデータ通信の着信があったときや、音声電話がかかってきたときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

● 外部機器が未接続の状態で着信があった場合は、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

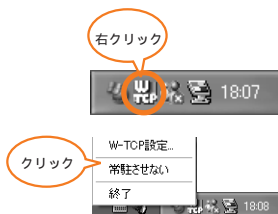
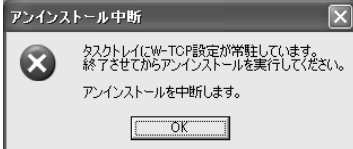
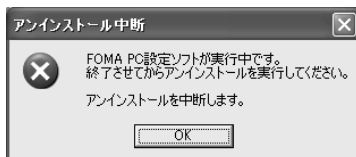
FOMA PC設定ソフトをアンインストールします

FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

- OSによって画面表示などが異なります。
- Windows XP、2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

- **「W-TCP設定ソフト」の常駐設定を解除する**
  画面右下のタスクトレイのアイコンを右クリックして、「常駐させない」をクリックします。

- **「FOMA PC設定ソフト」を終了させる**
  「終了」をクリックします。
  常駐設定を解除せずにアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールします

〈例〉 Windows XPでアンインストールするとき

1 **[スタート] メニュー→「コントロールパネル」の順にクリック▶[プログラムの追加と削除] アイコンをクリックする**

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ **Windows 2000 Professional、Me、98のとき**

[スタート]メニューをクリック▶「設定」→「コントロールパネル」の順に選択▶[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面（Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面）が表示されます。

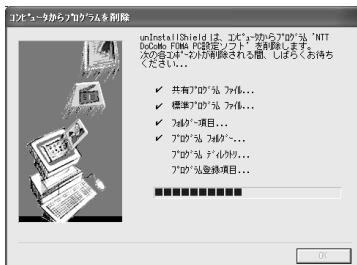
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して

ここをクリック

2 **「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶[変更と削除] をクリックする**

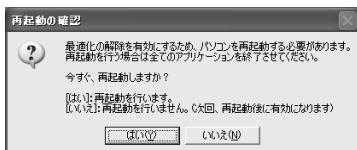
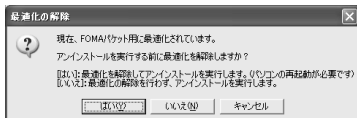
ファイル削除の確認画面が表示されます。

3 削除するプログラム名を確認▶［はい］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

■「W-TCP最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は下の画面が表示されます。
アンインストールする場合は［はい］をクリックしてください。
「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。

W-TCP設定でパケット通信の設定を最適化します

「W-TCP設定ソフト」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。

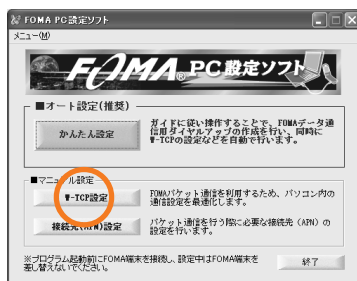
W-TCPの役割

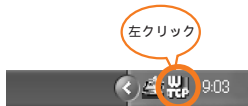
「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

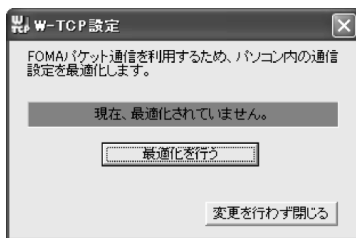
1 「FOMA PC設定ソフト」を起動する

● 起動方法→P515

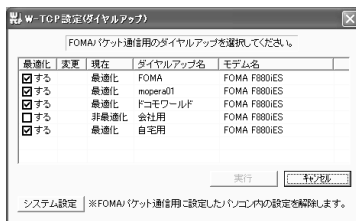
■ タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合

タスクトレイのを左クリックすると、W-TCP設定を直接起動できます。その場合は、操作3に進みます。

次ページへ続く➜

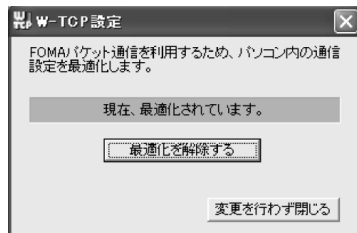
2 ［W-TCP 設定］をクリックする

3 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

［最適化を行う］をクリックすると、「W-TCP 設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。
最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動後に有効になります。

■ システム設定が最適化されているとき

内容を変更する場合は設定を行ってください。
変更した内容はパソコンを再起動後に有効になります。

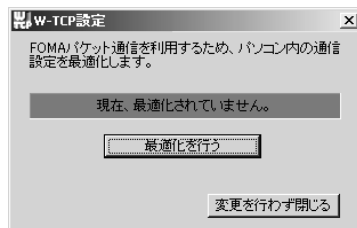
■ 最適化を解除するとき

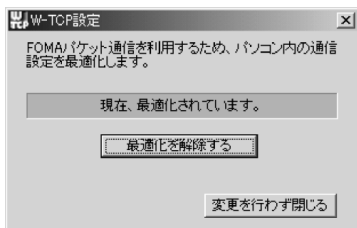
「W-TCP 設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックします。

［最適化を解除する］をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動すると、最適化が解除されます。

Windows 2000 Professional、Me、98 の場合

1 P525 の操作 1 ～ 2 を行う

2 次の操作を行う

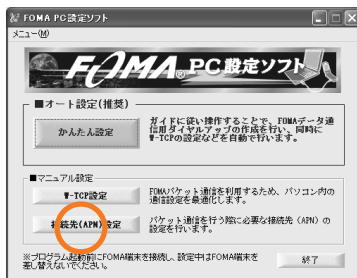
■ システム設定が最適化されていないとき

［最適化を行う］をクリックすると、再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。

■ システム設定が最適化されているとき

FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、［最適化を解除する］をクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、パソコンを再起動してください。

接続先（APN）を設定します

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P507
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合せください。

1 **「FOMA PC設定ソフト」を起動する**

- 起動方法→P515

2 **［接続先（APN）設定］をクリック▶FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする**

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 **接続先（APN）の設定を行う**

次の操作ができます。

次ページへ続く

接続先（APN）の追加・編集・削除

■ 接続先（APN）を追加するとき

「接続先（APN）設定」画面で、[追加]をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集または修正するとき

「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［削除］をクリックする

- 番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」の順にクリックします。

ファイルからの読み込み

パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「開く」の順にクリックします。

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込む場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「FOMA端末から設定を取得」の順にクリックします。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込む場合は、「接続先（APN）設定」画面で［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックします。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリックします。「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されますので、［はい］をクリックしてください。FOMA端末へ接続（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください（moperaの場合は不要）。ユーザー名とパスワードを入力して（Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーの選択をして）[OK]をクリックしてください。
ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。
設定を入力後、［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
- お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。
- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。その場合はWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。
→P530

ダイヤルアップネットワークを設定します

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。次のような流れになります。

- パケット通信、64Kデータ通信→P504
- パケット通信および64Kデータ通信の条件→P505

パケット通信の設定方法	64Kデータ通信の設定方法
	※ 64Kデータ通信の設定方法については、「64Kデータ通信を設定する」をあわせてご覧ください。→P541

通信設定ファイルをインストールする→P508
パソコンとFOMA端末を接続する→P507

接続先（APN）を設定する→P530
※接続先がmoperaの場合は、この設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する→P532

その他の設定をする（ATコマンド）→P543

（右の段につづきます）

ダイヤルアップネットワークの設定をする→P532

ご使用のOS	参照先	
	接続先を設定する	TCP/IPを設定する
Windows XPをお使いのとき	P532	P534
Windows 2000 Professionalをお使いのとき	P535	P537
Windows Meをお使いのとき	P538	P538
Windows 98をお使いのとき	P539	P540

※設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続する→P541
●切断する→P542

お知らせ

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- 64Kデータ通信のアクセスポイントとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、接続先の番号を「＊9601」に設定します。
- 「発信者番号の通知／非通知」は必要に応じて設定してください（moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります）。
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の設定をします

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

接続先（APN）を設定します

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid2～10：設定なし

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号cid1～cid10（→P531）を付けて管理します。cid1には、あらかじめドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定することをおすすめします。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。→P531
- mopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

〈例〉Windows XPで設定する場合

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面表示が異なります。

1 **FOMA端末とパソコンを接続する**

- 接続方法→P507

2 **［スタート］メニューをクリック▶「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ハイパーターミナル」をクリック（98ではさらに「Hypertrm」アイコンをダブルクリック）する**

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

ハイパーターミナルが起動します。

3 **「名前」に接続先名など任意の名前を入力▶［OK］をクリックする**

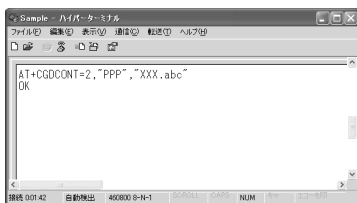
電話番号の詳細設定画面が表示されます。

4 **「接続方法」から「FOMA F880iES」を選択▶「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力▶［OK］をクリックする**

- 市外局番には、Windowsに設定されている値「03」などが表示されていますが、接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 **接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリックする**

6 接続先（APN）を入力▶↵を押す

- 「AT+CGDCONT=<cid>,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。
  →P553
  - <cid>：2～10までのうち任意の番号を入力します。
  - “PPP”：そのまま“PPP”と入力します。
  - “APN”：接続先（APN）を“　”で囲んで入力します。
- 「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。
- 現在の接続先（APN）設定を確認する場合は、「AT+CGDCONT?↵」と入力すると、APN設定が一覧で表示されます。→P553

7 「OK」と表示されていることを確認▶［ファイル］メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

ハイパーターミナルが終了します。

- 「セッションXXXを保存しますか?」と表示されますが、保存する必要はありません。

■ ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットするとき

リセットした場合、<cid>=1のみ「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、<cid>=2～10の設定は未登録になります。

- AT+CGDCONT=↵:
  すべてのcidをリセットする場合
- AT+CGDCONT=<cid>↵:
  特定のcidのみリセットする場合

■ ATコマンドで接続先（APN）設定を確認するとき

- AT+CGDCONT?↵
  詳細→P553

■ ATコマンドを入力しても画面に何も表示されないとき

- ATE1↵
  詳細→P549

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～cid10に設定できます。お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。mopera以外のインターネットサービスプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2～cid10にAPNを登録してください。

- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えることができます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

ダイヤルアップの接続先を指定するときは、次のように入力します。

＊99＊＊＊（cidの番号）＃

〈例〉cid2に設定されている接続先（APN）を指定するとき
＊99＊＊＊2＃

発信者番号の通知／非通知を設定します

お買い上げ時 設定なし

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

1 **P530の操作1～5を行う**

2 **パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する**

- 「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。→P545

  AT＊DGPIR=1⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

  AT＊DGPIR=2⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 **「OK」と表示されていることを確認▶［ファイル］メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする**

ハイパーターミナルが終了します。

■ **ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について**

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊1#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊1#	非通知		
186＊99＊＊＊1#	通知		

- ＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号の通知／非通知を「通知」に設定する必要があります。

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定します

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定します

〈例〉<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 **［スタート］メニューをクリック▶「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ネットワーク接続」をクリックする**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする

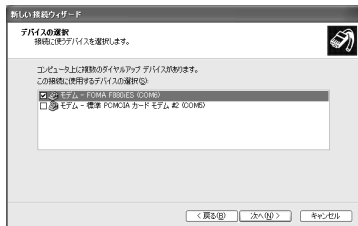
ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

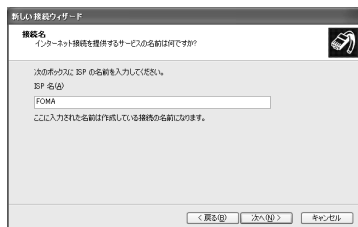
4 「インターネットに接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

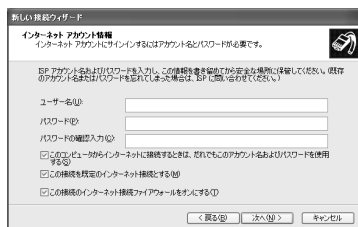
準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択▶［次へ］をクリックする

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

● モデムが複数インストールされていない場合、この画面は表示されません。操作 8 に進みます。

7 「モデム－ FOMA F880iES (COMx)」を選択▶［次へ］をクリックする

8 「ISP 名」に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリックする

9 「電話番号」に接続先の番号を入力▶［次へ］をクリックする

10 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、各項目を画面例のように設定▶［次へ］をクリックする

新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。

● mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

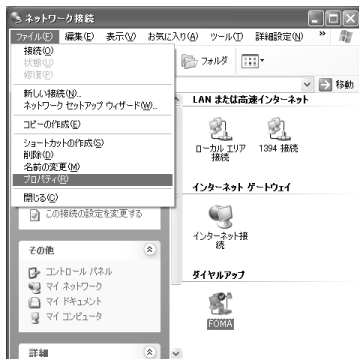
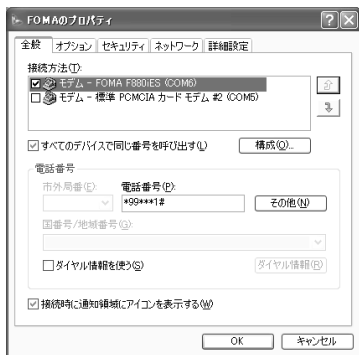
11 ［完了］をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 設定内容を確認▶［キャンセル］をクリックする

● ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定します

1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

● パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の「モデム-FOMA F880iES」を選択します。
Windows 2000では、選択されていたモデムから違うモデムに変更すると「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。

●「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認する

●「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。

●「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

4 ［設定］をクリックする

「PPP 設定」画面が表示されます。

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

接続先とTCP/IP プロトコルが設定されます。

Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークを設定します

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定します

〈例〉<cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 [スタート]メニューをクリック▶「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は[新しい接続の作成]アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5に進みます。

3 「市外局番」を入力▶[OK]をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 [OK]をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶[次へ]をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択▶[次へ]をクリックする

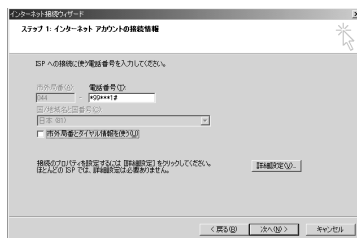
インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶[次へ]をクリックする

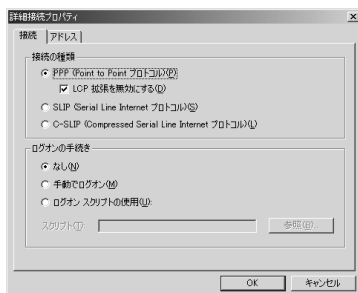
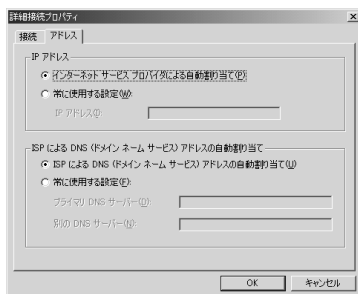
- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作10に進みます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認▶[次へ]をクリックする

- 「FOMA F880iES」に設定されていない場合は、「FOMA F880iES」に設定してください。

次ページへ続く➜

10 「電話番号」に接続先の番号を入力▶［詳細設定］をクリックする

詳細接続プロパティ画面が表示されます。

● 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

11 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定する

12 ［アドレス］タブをクリック▶各項目を画面例のように設定する

13 ［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリックする

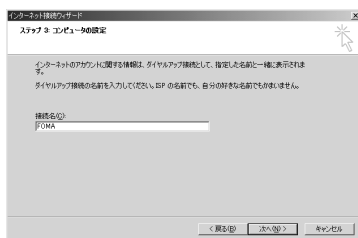
インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

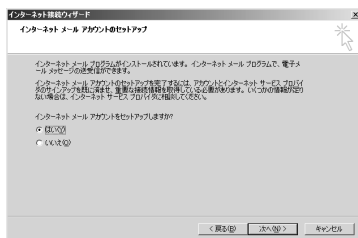
15 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、［次へ］をクリックする

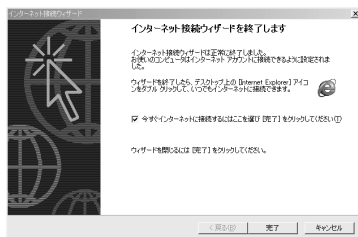
確認画面が表示されます。

● mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して操作17に進みます。

16 「はい」をクリック▶続けて表示される画面でもう一度「はい」をクリックする

コンピュータの設定画面が表示されます。

17 「接続名」に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリックする

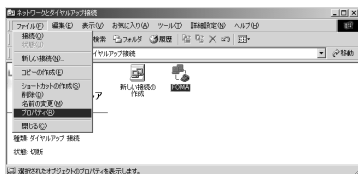
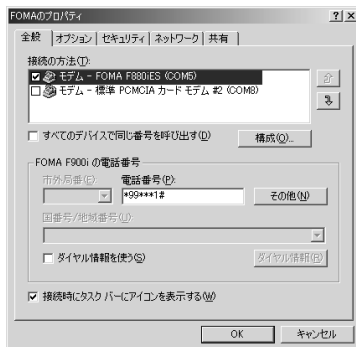
インターネットメールアカウントの設定画面が表示されます。

18 「いいえ」を選択▶［次へ］をクリックする

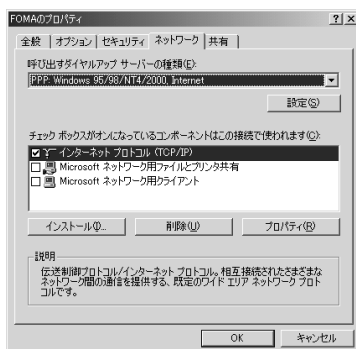
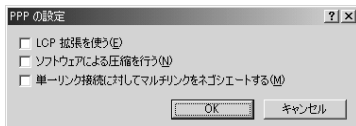
インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

19 ［完了］をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定します

1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム-FOMA F880iES（COMX）」を選択します。
  Windows 2000では、選択されていたモデムから違うモデムに変更すると「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「PPP の設定」画面が表示されます。

次ページへ続く

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

接続先と TCP/IP プロトコルが設定されます。

Windows Me でダイヤルアップネットワークを設定します

接続先を設定します

〈例〉 ＜cid＞=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 ［スタート］メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- 2 回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作 3 に進みます。

2 ［次へ］をクリックする

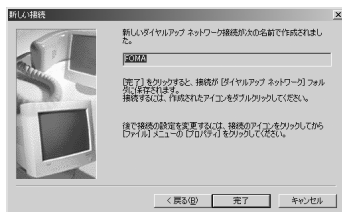
「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 「接続名」に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリックする

- 「モデムの選択」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F880iES」に設定します。

5 接続先の番号を入力▶［次へ］をクリックする

- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認▶［完了］をクリックする

接続先が設定されます。

TCP/IP プロトコルを設定します

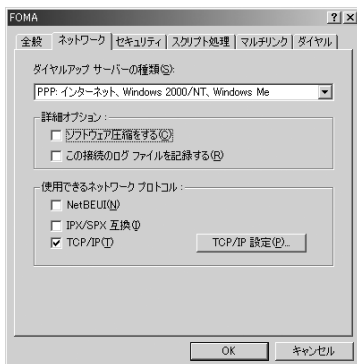
1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

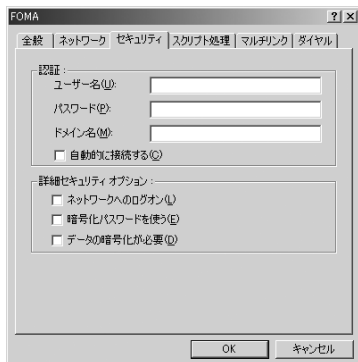
接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。
- 「接続方法」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F880iES」に設定します。

3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 ［セキュリティ］タブをクリック▶「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、［OK］をクリックする

TCP/IP が設定されます。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

Windows 98 でダイヤルアップネットワークを設定します

接続先を設定します

〈例〉<cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 ［スタート］メニューをクリック▶「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ダイヤルアップネットワーク」▶クリックする

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- 2 回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作 3 に進みます。

2 ［次へ］をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

次ページへ続く➜

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

接続先電話番号の指定画面が表示されます。

●「モデムの選択」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F880iES」に設定します。

5 接続先の番号を入力▶［次へ］をクリックする

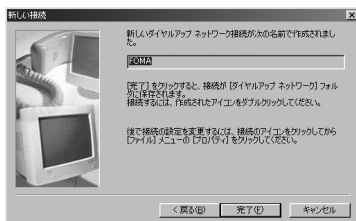
●「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認▶［完了］をクリックする

接続先が設定されます。

TCP/IP プロトコルを設定します

1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

●「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。

●「接続の方法」が「FOMA F880iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F880iES」に設定します。

3 ［サーバーの種類］タブをクリック▶各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 ［OK］をクリックする

TCP/IP が設定されます。

64K データ通信を設定します

64K データ通信の接続先および TCP/IP プロトコルを設定します。64K データ通信では、接続先（APN)の設定の代わりにインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。その他のダイヤルアップネットワークの設定は、パケット通信と同様です。

- 64K データ通信のアクセスポイントとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、接続先の番号を「＊9601」に設定します。
- 「発信者番号の通知／非通知」は必要に応じて設定してください（moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります)。
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

ダイヤルアップ接続します

FOMA PC 設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

〈例〉 Windows XP でダイヤルアップ接続するとき

- Windows XP 以外の OS をご使用のときは、画面の表示などが異なります。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P507

2 ［スタート］メニューをクリック▶「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、［スタート］メニューをクリック▶「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

次ページへ続く

3 接続先のアイコンをダブルクリックする

「接続」画面が表示されます。

4 各項目を確認▶［ダイヤル］をクリックする

接続先へ接続されます。

- Windows XP 以外の OS をお使いの場合は、各項目を確認して、「接続」をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先が mopera の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイのをダブルクリックする

2 ［切断］をクリックする

接続が切断されます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊1#⏎

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、最大160文字（「AT」含む）入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

● オフラインモード

FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。

● オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード

FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作（→下記）をすればATコマンドでFOMA端末を操作することができる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

● ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えます

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C（＊）のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

（＊）USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

● ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
● FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されない場合があります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンをVerX.XXなどの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.00 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n＝0：回路CDを常にON n＝1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化します（お買い上げ時） 「&C1」に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n＝0：状態を無視します（常にONとみなす） n＝1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード n＝2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	―	AT&F↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n＝0：常時ON（お買い上げ時） n＝1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	―	AT&W↵ OK
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベル表示を数字で表示します。	「AT＊DANTE」を設定すると「DANTE:＜n＞」の形式で表示されます。 n＝0：圏外 n＝1： n＝2： n＝3：	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=?↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGANSM=<n>	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を「OFF」に設定します（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定を「ON」にします n=2：着信許可設定を「ON」にします	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM：0 OK
AT＊DGAPL=<n>[，<cid>]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>＝0）あるいは削除（<n>＝1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されてない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。） n=1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。）	AT＊DGAPL=0,1↵ OK AT＊DGAPL？↵ AT＊DGAPL：1 OK
AT＊DGARL=<n>[，<cid>]	パケット着信に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>＝0）あるいは削除（<n>＝1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n＝0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。） n＝1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します。）	AT＊DGARL=0,1↵ OK AT＊DGARL？↵ ＊DGARL：1 OK
AT＊DGPIR=<n>	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。※2	n＝0：パケット通信確立時、APNにそのまま接続します（お買い上げ時） n＝1：パケット通信確立時、APNに「184」を付けて接続します n＝2：パケット通信確立時、APNに「186」を付けて接続します 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）／「184」（非通知）を設定した場合については、532ページの表をご覧ください。	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR? ↵ ＊DGPIR：0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	「AT＊DRPW」を設定すると「＊DRPW:<n>」の形式で表示されます。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=？↵ ＊DRPW:(0-75) OK （表示可能な値の範囲を表示する）

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
＋＋＋	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「１秒」の固定値です。	—	—
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照。→P552	AT+CEER↵ +CEER :36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P553	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P553
AT+CGEQMIN	パケット通信を確立したときにネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P553	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P553
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立したときにネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P554	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P554
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	—	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=＜n＞	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	＜n＞ 0：設定しません（お買い上げ時） 1：設定します 「AT+CGREG=1」に設定すると、"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4,5」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏外（visitor）	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	—	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	＜n＞ 0：リザルトを出しません（お買い上げ時） 1：リザルトを出します 「CLIP？」のとき、AT+CLIP=＜n＞,＜m＞を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK AT+CLIP?↵ +CLIP:0,1 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=<n>	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しません 2：通知します（お買い上げ時） 「+CLIR？」のとき、AT+CLIR=<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していません（常時通知） 1：CLIRは常時起動しています（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK AT+CLIR?↵ +CLIR:2,4 OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示します（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示します 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示します 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 +CME ERROR：xxxx（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P552）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR :10
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	number：電話番号 type　：129もしくは145 129 ：国際アクセスコード+を含まない 145 ：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM : "+8190 12345678", 145 OK
AT+CR=<mode>	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しません（お買い上げ時） 1：回線接続時に表示します	AT+CR=1↵ OK ATD*99***1#↵ +CR : GPRS CONNECT
AT+CRC=<n>	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しません（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用します	AT+CRC=0↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=＜n＞	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1	「AT+CREG=1」で圏内／圏外に設定すると、"+CREG:<n>, <stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0, 1,4」をサポートします。 <n> 0:通知なし 1:通知あり <stat> 0:圏外 1:圏内 4:不明	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG？↵ +CREG：1, 0 OK （圏外を意味している）
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	—	AT+GMI↵ FUJITSU OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名の略称(FOMA F880iES)がアルファベットおよび数字で表示されます。	—	AT+GMM↵ FOMA F880iES OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンをVerX.XXなどの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時）	AT+IFC=2, 2↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響を与えるものではありません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。	—	A/ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD	発信処理を行います。※3	パケット通信： ATD＊99＊＊＊＜cid＞#↵ 「ATD＊99#」を入力した場合： 「＜cid＞＝1」を用います。（＜cid＞の入力を省略した場合は、「＜cid＞＝1」になります）。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合： 指定した＜cid＞に規定したAPNに対して"184"が付加されます（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます）。 64Kデータ通信： ATD[パラメータ][電話番号]↵ 相手の電話番号に「0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　　　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。	―	（通信中） +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示します（FOMA F880iES） n=2：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻る。	―	ATO↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：リザルトコードを表示します（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを表示しません	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：リザルトコードを数字表記で表示します n=1：リザルトコードを英文字表記で表示します（お買い上げ時）	ATV1↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n>	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0 =<n>	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信しません（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信します	ATS0=0↵ OK
ATS2=<n>	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時 n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=<n>	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=<n>	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、［CR］キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時 n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時 n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=<n>	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時 n=5）	ATS6=10↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS７＝<n>	接続完了までの待ち時間(秒)を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時 n=60） 64Kデータ通信呼およびパケット通信発呼の発呼時に、FOMA端末がパソコンからATD入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK
ATS８＝<n>	カンマダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間(3秒)に影響しません。 n=0：ポーズしません n：1～255（お買い上げ時 n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS１０＝<n>	自動切断の遅延時間(秒)を設定します。(1/10秒)※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時 n=１）	ATS10=1↵ OK
ATS３０＝<n>	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時 n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS１０３＝<n>	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n＝0：＊アスタリスク n＝1：／スラッシュ(お買い上げ時) n＝2：￥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS１０４＝<n>	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n＝0：#シャープ n＝1：%パーセント(お買い上げ時) n＝2：&アンド	ATS104=0 ↵ OK
AT￥S	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	―	AT￥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ￥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT￥V<n>	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド(→P550)がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しません(お買い上げ時) n=1：拡張リザルトコードを使用します	AT￥V1↵ OK

次ページへ続く→

※1 ：「& W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 ：「& F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3 ：「ATDN⏎」や「ATDL⏎」でリダイヤル発信ができます。
※4 ：「& W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMA カードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するＩＣカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT＝[パラメータ]

●概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

●書式

+CGDCONT＝[＜cid＞[,"PPP"[,"＜APN＞"]]]↵

●パラメータ説明

＜cid＞＊　：1～10
＜APN＞＊　：任意

「＊＜cid＞」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、「＜cid＞=1」には、mopera に接続するための APN（「mopera.ne.jp」）が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

●実行例

「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）

AT+CGDCONT＝3，"PPP"，"abc"↵
OK

●パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT＝
すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT＝＜cid＞
指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT＝？
設定可能な値のリスト値を表示します。

AT+CGDCONT？
現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN＝[パラメータ]

●概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

●書式

AT+CGEQMIN＝[＜cid＞[,,＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]]↵

●パラメータ説明

＜cid＞＊：1～10
＜Maximum bitrate UL＞＊
　：なし（初期値）または64
＜Maximum bitrate DL＞＊
　：なし（初期値）または384

「＊＜cid＞」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

●実行例

（1）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド
（＜cid＞=2の場合）
AT+CGEQMIN＝2↵
OK

（2）上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
（＜cid＞＝3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK

次ページへ続く→

（3）上り64kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド
（＜ cid ＞＝4の場合）
AT+CGEQMIN＝4,, 64↵
OK

（4）上りすべての速度／下り384 kbps速度のみ許容する場合のコマンド
（＜ cid ＞＝5の場合）
AT+CGEQMIN＝5,,,384↵
OK

●パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN＝
すべての＜cid＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN＝＜ cid ＞
指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN＝？
設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ＝[パラメータ]

●概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

●書式

AT+CGEQREQ＝[＜ cid ＞]↵

●パラメータ説明

上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜ cid ＞＊　：1～10
「＊＜cid＞」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。

●実行例

（＜ cid ＞＝3の場合）
AT+CGEQREQ＝3↵
OK

●パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ＝
すべての＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ＝＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ＝？
設定可能な値のリスト値を表示します。

AT+CGEQREQ？
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■リザルトコード

数字表示 文字表示	意　味
0 OK	正常に実行しました。
1 CONNECT	相手と接続しました。
2 RING	着信が来ています。
3 NO CARRIER	回線が切断されました。
4 ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6 NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7 BUSY	話中音の検出中です。
8 NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100※ RESTRICTION※	ネットワークが規制中です。
101 DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

※：「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■拡張リザルトコード

数字表示 文字表示	意　味
5 CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10 CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11 CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13 CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12 CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15 CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16 CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17 CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18 CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19 CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20 CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21 CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

お知らせ

- ATV<n>コマンド（→P549）がn=1に設定されている場合には英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116，1，0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）［32K］で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

AT\Vコマンド（→P551）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1

ATX 1が設定されているとき

- ATX1、AT\V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。
  文字表示例：
  ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800
  数字表示例：
  ATD＊99＊＊＊1#
  1 21

- ATX1、AT\V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞　＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※2
  文字表示例：
  ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800
  PACKET mopera.ne.jp/64/384
  （mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：
  ATD＊99＊＊＊1#
  1 21 5

※1：ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。AT\V0だけでのご利用をおすすめします。

※2：AT\V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

FOMA端末には電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力は「かな方式」で行います。かな方式は、1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が変わります。文字の割り当てについては付録の「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P592
- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
  全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力することができます。→P574
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略して表示されます。
- 全角の英数字の入力モードはありません。全角の英数字、記号の入力については付録の「記号・特殊文字入力一覧」をご覧ください。→P593

文字の種類

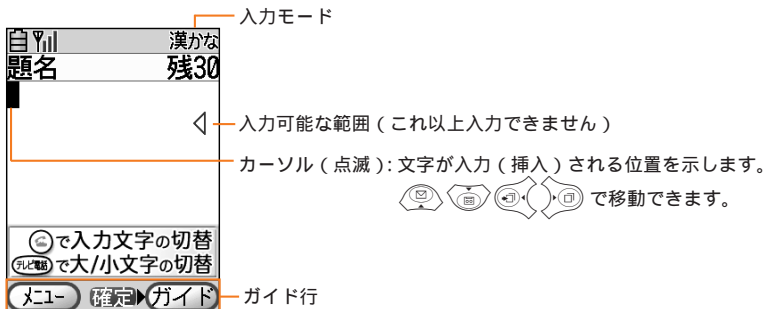
○：入力可　―：入力文字なし

文字の種類	全角	半角
ひらがな／漢字	○	―
カタカナ	○	○
英字	○	○
数字	○	○
記号	○	○
絵文字	○	―

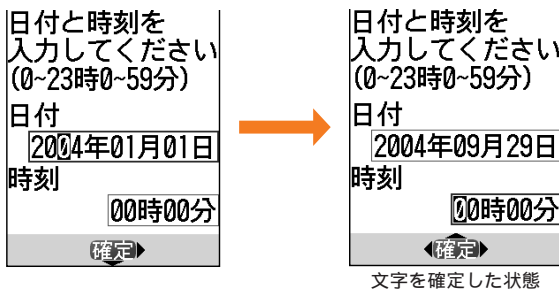
文字入力画面の見かた

文字の入力欄には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄に直接文字を入力するインライン入力の 2 種類があります。

全画面入力

入力欄を選択して決定を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄を選択して 0 ～ 9、＊、# を押すと、入力欄に文字が直接入力できます。

〈文字を確定した状態〉

文字入力のガイド表示について

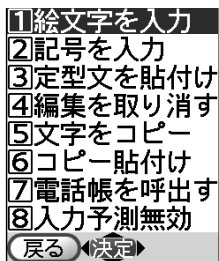
画面右下にガイドが表示されている画面で電話帳を押すと、文字入力のガイド画面を表示することができます。ガイド画面では、入力文字の切り替え、大／小文字の切り替えの操作を画像で説明しています。改行が可能な画面では、ガイド画面に改行の操作も表示されます。

〈文字入力のガイド表示の例〉

● ガイド画面の画像は、改行ができない場合は改行のガイド表示が表示されないなど、表示する画面により異なります。

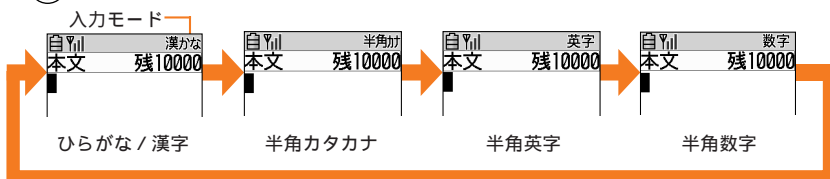
文字入力画面のサブメニュー

入力欄によって表示される項目が異なります。

1絵文字を入力
2記号を入力
3定型文を貼付け
4編集を取り消す
5文字をコピー
6コピー貼付け
7電話帳を呼出す
8入力予測無効
戻る 決定

項　目	説　明	参照先
1 **絵文字を入力**	絵文字を一覧から入力します。	P566
2 **記号を入力**	記号を一覧から入力します。	P566
3 **定型文を貼付け**	定型文を一覧から入力します。	P565
4 **編集を取り消す**	文字入力を終了します。	－
5 **文字をコピー**	文字をコピーします。	P573
6 **コピー貼付け**	コピーした文字を貼り付けます。	P573
7 **電話帳を呼出す**	電話帳データの内容を入力します。	P577
8 **入力予測有効／入力予測無効**	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。	P578
9 **区点コード入力**	区点コードを使って入力します。	P574

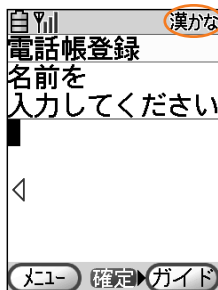
※ひらがな／漢字入力モード中は、文字が確定されているときに表示されます。

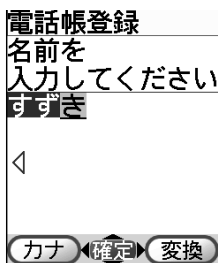
入力モードを切り替えます

（ボタン）を押すたびに、次のように入力モードが切り替わります。

※入力画面によっては、表示されない入力モードがあります。

かな方式で文字を入力します <かな方式>

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 待受画面で[電話帳]▶「2 電話帳に登録する」を押す

漢かなと表示されます。

2 「すずき」と入力する

「す」→ [3] を 3 回押します。
[→] を押して、カーソルを 1 つ右に移動します。
「ず」→ [3] を 3 回押して [＊] を押します。
「き」→ [2] を 2 回押します。

● ボタンを押し間違えたときは [戻る] を押して取り消します。

■ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

最初の文字を入力した後に [→] を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

■ 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

続けてボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ 文字に「゛」「゜」を付けるとき

文字を入力して [＊] を押します。

〈例〉「ほ」を入力して [＊] を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と入力が切り替わります。
「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。

次ページへ続く

■ 小文字を入力するとき

文字入力後に(テレビ電話)を押します。英字の大文字を入力するときも同様に操作します。小文字への切り替えが可能な文字については付録の「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」(→P592)をご覧ください。

〈例〉「あ」を入力して(テレビ電話)を押すと「ぁ」→「あ」→「ぁ」と入力が切り替わります。

3 (電話帳)を押す

- 予測変換候補が表示されていない場合は(下)を押しても変換されます。予測変換→P564
- (戻る):変換前の状態に戻ります。

■ 変換候補を一覧表示するとき

(電話帳)を1回押しても目的の文字が表示されないときは、(上)(下)または(電話帳)を押すと変換候補が一覧表示されます。

(上)(下)を押して変換候補を選択し、(決定)を押します(候補の番号のダイヤルボタンを押しても選択できます)。

- 変換候補の一覧が複数ページあるときは、(電話帳)を押して次ページ、(メニュー)を押して前ページに切り替えることができます。

変換候補の番号／変換候補の件数

4 (決定)を押す

文字が確定します。

■ ひらがなのまま確定するとき

ひらがなを入力した状態で(決定)を押します。

■ カタカナに変換するとき

ひらがなを入力した状態で(メニュー)を押します。

文字入力　かな方式

■ 文字を挿入するとき

上下左右キーを押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

● カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木一郎）
- 戻る：カーソル位置の 1 文字を削除します。
- 戻る を 1 秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字を削除します。

● カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木一郎）
- 戻る：カーソルの左の 1 文字を削除します。
- 戻る を 1 秒以上：すべての入力文字を削除します。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動して #改行マナー を押します。

● 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。

● 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 決定 を押す

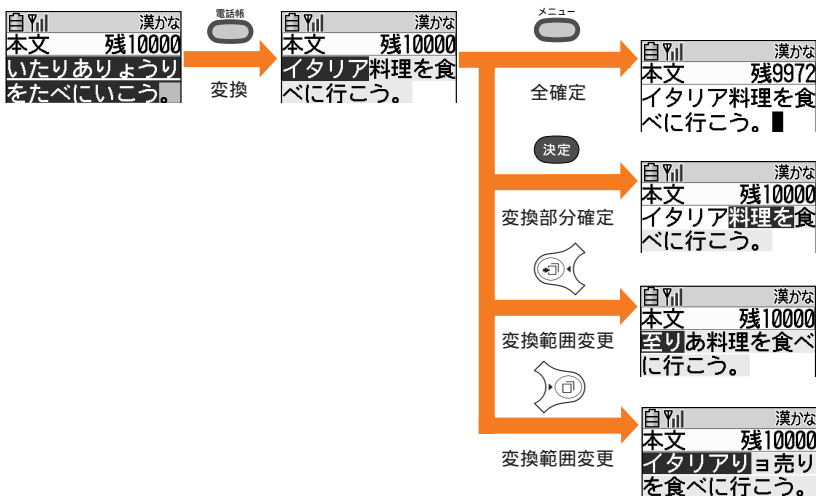
文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

● 入力した文字を無効にして文字入力を終了するには、すべての文字を削除してから 戻る を押します。

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

● 全角で最大 24 文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べに行こう。」と入力するとき

> **お知らせ**
>
> ● ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「記号・特殊文字入力一覧」「絵文字入力変換・読み上げ一覧」をご覧ください。→P593、P599

入力予測機能を利用します

FOMA端末には、文字を入力すると、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される入力予測機能が搭載されています。予測変換候補には一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

● 次の単語や文字列が候補として表示されます。
- 標準搭載の単語
- かな方式で入力した単語
- 単語登録した文字列

● 入力予測機能は、ひらがな／漢字入力モードだけ利用できます。

● 予測変換候補を表示しないように設定することもできます。→P578

1 文字を入力する

予測変換候補リストが表示されます。

本文 残10000
あ
候補選択 27
明日 明後日
あの時
相変わらず
カナ 確定 変換

● 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

● [電話帳]：変換候補を表示します。

● [決定]：ひらがなのまま確定します。

● [メニュー]：全角カタカナに変換します。

2 [ナビ] ▶ 候補を選択 ▶ [決定] を押す

● 目的の候補がない場合、[電話帳]を押すと変換候補が表示され、予測変換候補が消えます。

● 続けて文字を入力すると候補が絞り込まれます。候補が絞り込まれた後は、再度[ナビ]を押してから候補を選択します。

● 入力予測機能で登録された単語や文字列（予測辞書データ）は、設定リセットで削除されます。
→P479

定型文・記号・絵文字を入力します

定型文・記号・絵文字を一覧から入力します。

定型文を入力します

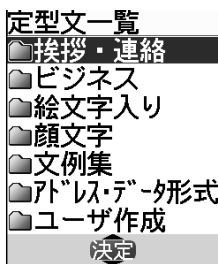
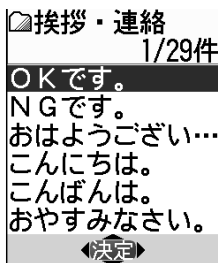
1 文字入力画面で[メニュー]▶「3 定型文を貼付け」を押す

定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ・ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成
決定

● 定型文が入力できる場合のみ選択できます。

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

挨拶・連絡
1/29件
OKです。
NGです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。
決定

定型文の番号／定型文の件数

3 一覧から選択▶[決定]▶[決定]を押す

定型文が挿入されます。

● [←][→]：前後のページを表示できます。

お知らせ

● 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。
● 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1 貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。
● 顔文字の一部は「かお」の変換候補として表示されます。
● 定型文一覧→P567

記号・絵文字を入力します

1 文字入力画面で メニュー ▶「1 絵文字を入力」または「2 記号を入力」を押す

〈記号入力の場合〉

● 記号・絵文字が入力できる場合のみ選択できます。

2 一覧から選択 ▶ 決定 を押す

記号・絵文字が挿入されます。

● メニュー／電話帳：前後のページを表示できます。

● 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。

- 半角記号：( )　[ ]　{ }　「 」
- 全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

お知らせ

● 記号は文字入力画面で入力できるものが一覧で表示されます。

● 記号や絵文字は、データ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

● 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。

● 絵文字２（→P570）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

● 記号・絵文字一覧→P570

● 記号・特殊文字入力一覧→P593

● 絵文字入力変換・読み上げ一覧→P599

定型文一覧

挨拶・連絡（29 種類）			
OK です。	NG です。	おはようございます。	こんにちは。
こんばんは。	おやすみなさい。	ごぶさたしております。	さようなら。
お疲れさま。	ありがとうございました。	ごめんなさい。	いってらっしゃい。
おまかせします。	お待ちしています。	すぐ行きます。	お休みします。
遅れます。	あとで連絡します。	先に行きます。	戻ってきます。
出席します。	欠席します。	再開します。	すぐに戻って下さい。
もう少し待って下さい。	すぐ連絡下さい。	迎えに来て下さい。	先に行って下さい。
今どこにいますか？			
ビジネス（16 種類）			
○○の件、よろしくお願い致します。	待ち合わせの変更です。場所は○○です。時間は○○時です。	○○の件、確認しました。	予定変更です。至急電話下さい。
○○時頃まで携帯電話の電源を切ります。	○○時頃出社します。	直行します。	直帰します。
本日の会議は、○○となりました。	本日のご訪問は、○○となりました。	FAX を確認して下さい。	ご報告いたします。
お知らせします。	よろしくお伝えください。	ご伝言をお願いいたします。	いつもお世話になっています。

次ページへ続く

絵文字入り（15 種類）			
【おはよう】 おはよう☀今日も一日頑張りましょう！	【おやすみ】 おやすみなさい🌙また明日ねzzz	【楽しかったよ】 今日はとっても楽しかったよ。ありがとう😊	【元気？】 お元気ですか？ご無沙汰しております😊
【遅れます】 ごめんなさい😥遅れます。あと○○分くらいで着きます。	【外食して帰る】今日は外で食べて帰ります🍴ご飯はいりません。	【誕生日】 ✨HAPPY BIRTHDAY！お誕生日おめでとう🎁	【アドレス変更】 ✉アドレス変更しました。新アドレスは @docomo.ne.jp です。電話帳を変更してください。番号は変わりません。
【乗車中です】 😥すみません。今、電車に乗っているため電話に出られません。降りたら折り返し連絡します☎	【今から帰る】 今、終わりました😊これから帰ります🏠	【洗濯物】 雨が降りそうです。洗濯物を取りこんでおいてください🏠	【今夜の夕食】 今から買い物して帰ります♪今夜の夕食は何がいいですか？
【ビデオ録画】 ○○時から○○チャンネルで放送する○○をビデオ録画しておいてください📺	【帰ってきなさい】 今、どこに居るんですか⁉遅くならないうちに帰ってきなさい🏠	【お届けもの】 🎁今日○○を送っておきました。届いたら連絡ください📲	
顔文字（15 種類）			
(^^)	(^^;	(; ;)	(-_-)
(^_^)/	(^_^)V	m(__)m	＼(^_^)／
(*_*)	(?_?)	(・・)	(..)
(>_<)	(@_@)	o(^-^)o	

文例集（16 種類）			
【寒中見舞い】 寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。	【暑中見舞い】 暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。盛夏	【御礼】 時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。	【残暑見舞い】 残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏
【結婚祝い】 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。	【出産祝い】 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。	【入学祝い】 ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。	【卒業祝い】 ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝い】 ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。	【病気見舞い】 お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。	【転居案内】 転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。	【詫状】 この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝い】 心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念いたします。	【成功祝い】 ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。	【就任祝い】 この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後ますますのご健勝とご隆盛をお祈りいたします。	【人事異動通知】 この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。
アドレス・データ形式（9 種類）			
http://www.	@docomo.ne.jp	.com	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.go.jp	.ac.jp
.html			
ユーザ作成（最大 50 件）			

お知らせ

●顔文字を使ったメールを送信する場合、相手端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントにより、形がくずれたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。

記号・絵文字一覧

■ 絵文字一覧

絵文字 1

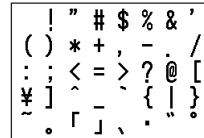
絵文字 2

■ 記号一覧

全角記号

？！゛゜´｀¨＾
￣＿ヽヾゝゞ〃仝
々〆〇ー―‐／＼
～∥｜…‥‘’“
”（）〔〕［］｛
｝〈〉《》「」『
』【】＋－±×÷
＝≠＜＞≦≧∞∴
♂♀°′″℃￥＄
¢£％＃＆＊＠§
☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼※〒→
←↑↓〓∈∋⊆⊇
⊂⊃∪∩∧∨¬⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇
≡≒≪≫√∽∝∵
∫∬Å‰♯♭♪†
‡¶◯ΑΒΓΔΕ
ΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦ
ΧΨΩαβγδε
ζηθικλμν
ξοπρστυφ
χψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛ
МНОПРСТУ
ФХЦЧШЩЪЫ
ЬЭЮЯабвг
деёжзийк
лмнопрст
уфхцчшщъ
ыьэюя─│┌
┐┘└├┬┤┴┼
━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿
┝┰┥┸╂①②③
④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪
⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲
⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘
㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣
㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏
㏄㎡㍻〝〟№㏍℡
㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑
√⊥∠∟⊿∵∩∪

半角記号

 ! " # $ % & '
( ) * + , - . /
: ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | }
~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ

お知らせ

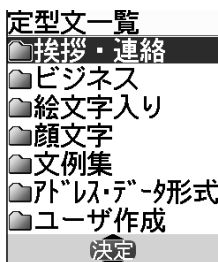
- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。

() [] {} ｢｣「 」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝＜ ＞《 》『 』【 】

定型文を修正／登録します
<定型文登録>

定型文を新しく登録することや、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録することができます。新しく登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

● 「ユーザ作成」には最大 50 件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「✱ 詳細な機能を設定する」▶「1 入力に関する設定を行う」▶「3 よく使う定型文を登録する」を押す

■ 登録済みの定型文を修正して登録するとき

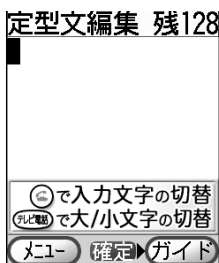
① 利用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す

定型文が表示されます。

② 決定を押す

定型文編集の画面が表示されます。操作 3 に進みます。

2 「ユーザ作成」のフォルダを選択▶決定▶「<新しい定型文>」を選択▶決定を押す

次ページへ続く

3 定型文を入力▶決定を押す

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 全角で最大 64 文字、半角で最大 128 文字入力できます。

4 決定を押す

定型文一覧に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 定型文一覧→ P567

定型文を削除します

- 「ユーザ作成」に登録されている定型文のみ削除できます。

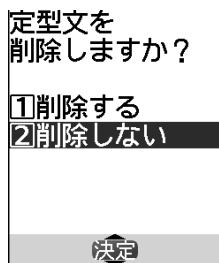
1 「ユーザ作成」の定型文一覧を表示する

- 操作方法→ P571

2 定型文を選択▶メニューを押す

定型文を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

決定

3 「1 削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

定型文一覧に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 操作2で定型文を選択して決定を押し、定型文の詳細画面でメニューを押しても操作できます。

文字のコピーと貼り付け ＜文字コピー＞

文字入力画面から文字のコピーを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

● コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

● 保持できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

文字をコピーします

入力済みの文字を選択してコピーを行います。

1 文字入力画面でメニュー▶「5 文字をコピー」を押す

2 開始位置にカーソルを合わせて決定を押す

● メニュー：全文を選択します。

3 終了位置にカーソルを合わせて決定を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

● メニュー／電話帳：カーソルを文頭／文末に移動します。

4 決定を押す

文字入力画面に戻ります。

文字を貼り付けます

コピーした文字を文字入力画面に貼り付けます。

● 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、入力可能な文字数以降は削除されます。

次ページへ続く

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて メニュー ▶「6 コピー貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

お知らせ

- コピーした文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コードで入力します <区点コード入力>

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を 4 桁の区点コードを使って入力します。

〈例〉「携」（区点コード 2340）を入力するとき

1 文字入力画面で メニュー ▶「9 区点コード入力」を押す

区点コードを
入力してください
(0101～8406)

区点ｺｰﾄﾞ 0101

確定

2 4 桁の区点コード（この場合は 2 3 4 0）を入力 ▶ 決定 を押す

「携」が入力されます。

- 有効な区点コードは 0101 ～ 8406 です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

お知らせ

- 区点コード一覧→ P595

よく使う単語を登録します <単語登録>

よく使う単語をあらかじめユーザ辞書データに登録しておき、文字の変換のときに簡単に呼び出します。

●最大 50 件登録できます。

1 待受画面で［メニュー］▶「[＊] 詳細な機能を設定する」▶「[1] 入力に関する設定を行う」▶「[2] よく使う単語を登録する」を押す

単語登録状況
登録数　0件
残り　50件
決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 ［決定］を押す

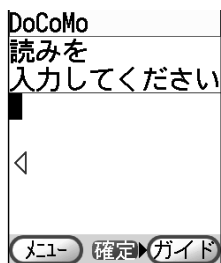
単語が登録されている場合は、登録した単語の一覧が表示されます。

■ 登録済みの単語を修正するとき

修正する単語を選択▶［電話帳］を押す

単語の入力画面が表示されます。操作 4 に進みます。

3 「新規登録」を選択▶［決定］を押す

次ページへ続く

4 単語を入力▶決定を押す

●全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
●登録できる文字の種類は次のとおりです。
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字
- 全角／半角数字
- 全角／半角記号
- 絵文字

5 読みを入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。
●ひらがなを入力できます。
●最大16文字入力できます。

6 決定を押す

単語の一覧に戻ります。
●終話を押すと待受画面に戻ります。

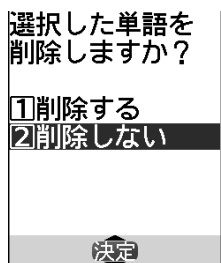
お知らせ

●単語と読みが入力されていないと登録できません。
●読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
●単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は登録できません。
●同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
●単語登録で登録された単語（ユーザ辞書データ）は、設定リセットで削除されます。→P479

単語を削除します

1 単語の一覧を表示する

●操作方法→P575

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2 削除する」を押す

3 「1 削除する」を押す

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 登録内容の確認画面からも同様に操作できます。

電話帳を引用して入力します <電話帳呼出>

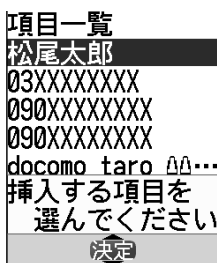
電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を利用できません。
  →P184

1 文字入力画面でメニュー▶「7 電話帳を呼出す」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

2 引用する電話帳データを検索して選択▶決定を押す

項目一覧
松尾太郎
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo_taro_ΔΔ…
挿入する項目を
選んでください

- 操作方法→P124

3 引用する内容を選択▶決定を押す

選択した内容が挿入されます。

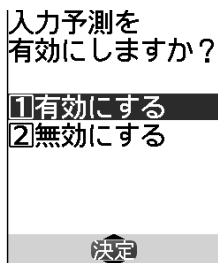
お知らせ

- 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

入力予測機能を使用します／使用しません＜文字入力方法設定＞

お買い上げ時　有効にする

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

1 **待受画面で［メニュー］▶「［＊］詳細な機能を設定する」▶「［1］入力に関する設定を行う」▶「［1］文字の入力方法を設定する」を押す**

2 **「［1］有効にする」または「［2］無効にする」を押す**

入力予測機能を有効／無効に設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

文字入力中に設定を変更します

1 **文字入力画面で［メニュー］▶「［8］入力予測無効」を押す**

入力予測機能が無効に設定されます。

● 入力予測機能が無効に設定されているときに有効にする場合は、文字入力画面で［メニュー］▶「［8］入力予測有効」を押します。

お知らせ

● 入力予測の予測辞書データは、設定リセットでお買い上げ時の状態に戻ります。→P479

付録

困ったときには

メニュー一覧

- メニューの右側に「」があるときはさらにメニューが分類されています。
- 表中の「—」は、該当する項目がないことを表しています。
- 音声読み上げをするように設定しているときは、音声で機能の説明を行います。→P207

メインメニュー一覧

メニュー				お買い上げ時	参照先
1 電話してきた相手を見る	—			—	P71
2 電話を使う	1 電話帳の内容を見る	—		—	P124
	2 電話帳に登録する	—		—	P110
	3 電話を受けた時の音を選ぶ	1 音声電話の着信音を選ぶ	—	着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1	P152
		2 テレビ電話の着信音を選ぶ	—	着信音設定：鳴らす 着信音：ハープ	P152
	4 電話を受けた時の振動を選ぶ	1 音声電話の振動を選ぶ	—	振動させない	P155
		2 テレビ電話の振動を選ぶ	—	振動させない	P155
	5 電話を受けた時の音量を調節する	—		音量4	P76
	6 相手の声の音量を調節する	—		音量4	P74
	7 伝言メモを使う	1 伝言メモを再生する	—	—	P87
		2 伝言メモを開始する	—	停止する※	P81

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

メニュー				お買い上げ時	参照先
2 電話を使う	7 伝言メモを使う	3 伝言メモのメッセージを選ぶ	—	標準※	P85
	8 電話帳のグループ名を変更する	—		—	P119
3 メールを使う	1 受信したメールを見る	—		—	P345、391
	2 メールを作る	—		—	P313、317
	3 例文を使ってメールを作る	—		—	P332
	4 未送信のメールを見る	—		—	P337
	5 送信したメールを見る	—		—	P337
	6 メールがあるか問合わせる	1 届いているメール・メッセージを受信する	—	—	P343
		2 メール選択受信を行う	—	—	P342
	7 メールアドレスを確認・変更する	—		—	P361
	8 メールを設定する	1 メールが届いた時の音を選ぶ	—	着信音設定：鳴らす 着信音：着信音 1 鳴らす時間：3 秒	P377
		2 メールが届いた時の振動を選ぶ	—	振動させない	P378
		3 メールに付ける署名を登録する	—	—	P379

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→ P479

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	参照先
3 メールを使う	8 メールを設定する	4 例文を編集する	—	—	P335
		5 メール選択受信を設定する	—	利用しない	P341
	9 SMSを使う	1 SMSを作る	—	—	P383
		2 届いているSMSを全部受信する	—	—	P390
		3 SMSを設定する	—	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	P401
		4 FOMAカードの受信SMSを見る	—	—	P396
		5 FOMAカードの送信SMSを見る	—	—	P396
4 写真・ビデオを撮る・見る	1 写真を撮影する	—		—	P223
	2 ビデオを撮影する	—		—	P226
	3 写真のアルバムを見る	—		—	P428
	4 ビデオのアルバムを見る	—		—	P441
5 iモードを使う	1 i Menuを見る	—		—	P247

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

メニュー				お買い上げ時	参照先
5 iモードを使う	2 ブックマークを見る	–	–	–	P262
	3 インターネットに接続する	1 URLを入力して接続する	–	–	P258
		2 サイトの入力履歴から接続する	–	–	P259
	4 画面メモを見る	–		–	P269
	5 メッセージを見る	1 メッセージリクエストを見る	–	–	P294
		2 メッセージフリーを見る	–	–	P294
		3 届いているメール・メッセージを受信する	–	–	P291
		4 メッセージが届いた時の音を選ぶ	–	着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1 鳴らす時間：3秒	P291
		5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ	–	振動させない	P293
6 目覚ましを使う	–			目覚まし：停止※	P468
7 電卓を使う	–			–	P474
8 初めに行う設定	1 発信者番号通知を使う	1 発信者番号通知を設定する	–	–	P48
		2 発信者番号通知設定を確認する	–	–	P49

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	参照先
8 初めに行う設定	2 待受画面の画像を設定する		―	標準の画像（草原）	P161
	3 画面の配色を設定する		―	ブルー	P164
	4 画面の明るさを設定する		―	画面の明るさ：標準の明るさ 照明時間：30 秒	P165
	5 ボタンを押した時の音を設定する		―	鳴らす	P156
	6 音声読み上げを使う	1 音声読み上げを設定する	―	動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量 4	P207
		2 音声読み上げ用の単語を登録する	―	―	P215
		3 スピーカー／受話口の切替を行う	―	スピーカー	P210
	7 音声呼出しを登録する	1 音声で呼出す電話帳を登録する	―	―	P198
		2 音声で呼出す機能を登録する	―	―	P202
	8 時計を設定する	1 日付と時刻を設定する	―	―	P46
		2 待受画面に時計を表示する	―	待受時計表示：表示する 表示形式：24 時間形式	P166
9 ネットワークサービスを使う	1 留守番サービスを使う	1 留守番メッセージを再生する	―	―	P485
		2 メッセージがあるか問合せる	―	―	P486

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

メニュー				お買い上げ時	参照先
9 ネットワークサービスを使う	1 留守番サービスを使う	3 留守番サービスを開始する	―	―	P484
		4 留守番サービスを停止する	―	―	P484
		5 留守番サービスの詳細を設定する	―	―	P485
		6 留守番呼出時間を設定する	―	―	P484
		7 留守番サービスの設定を確認する	―	―	P485
	2 キャッチホンを使う	1 キャッチホンを開始する	―	―	P487
		2 キャッチホンを停止する	―	―	P487
		3 キャッチホンの設定を確認する	―	―	P487
	3 転送サービスを使う	1 転送サービスを開始する	―	―	P490
		2 転送サービスを停止する	―	―	P491
		3 転送先を変更する	―	―	P491
		4 転送先が通話中の時の設定をする	―	―	P491
		5 転送サービスの設定を確認する	―	―	P491
	4 迷惑電話ストップを使う	1 迷惑電話着信拒否を登録する	―	―	P492

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	参照先
9 ネットワークサービスを使う	4 迷惑電話ストップを使う	2 迷惑電話全登録を削除する	—	—	P493
		3 迷惑電話 1 登録を削除する	—	—	P493
	5 番号通知お願いサービスを使う	1 番号通知お願いサービスを開始する	—	—	P494
		2 番号通知お願いサービスを停止する	—	—	P495
		3 番号通知お願いサービスを確認する	—	—	P495
	6 通話中着信設定を使う	1 通話中着信設定を開始する	—	—	P500
		2 通話中着信設定を停止する	—	—	P500
		3 通話中着信設定を確認する	—	—	P500
	7 通話中着信動作を選ぶ	—		通常着信する※	P499
	8 その他のサービスを使う	1 遠隔操作設定を使う	1 遠隔操作を開始する	—	P501
			2 遠隔操作を停止する	—	P501
			3 遠隔操作の設定を確認する	—	P501
		2 英語ガイダンスを使う	1 ガイダンスを設定する	—	P496
			2 ガイダンスの設定を確認する	—	P498

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→ P479

メニュー				お買い上げ時	参照先
9 ネットワークサービスを使う	8 その他のサービスを使う	3 デュアルネットワークを使う	1 デュアルネットワークを切替える	—	P495
			2 デュアルネットワークの状態を確認する	—	P496
		4 サービスダイヤルを使う	1 ドコモ総合案内・受付に電話する	—	P498
			2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	—	P498
		5 ソフトウェアを更新する	—	—	P617
0 自分の電話番号を見る	—			—	P50
* 詳細な機能を設定する	1 入力に関する設定を行う	1 文字の入力方法を設定する	—	有効にする	P578
		2 よく使う単語を登録する	—	—	P575
		3 よく使う定型文を登録する	—	—	P571
	2 電話の詳細を設定する	1 電話帳の登録件数を見る	—	—	P147
		2 着信を拒否する相手を指定する	—	解除する	P190
		3 着信を許可する相手を指定する	—	解除する	P190
		4 電話帳登録外の着信を拒否する	—	許可する	P195

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	参照先
[*]詳細な機能を設定する	[2]電話の詳細を設定する	[5]発番通知のない着信を設定する	―	非通知設定：設定を解除 通知不可能：設定を解除 公衆電話：設定を解除	P191
		[6]イヤホンマイク接続時に自動で着信する	―	応答方法：手動	P478
		[7]背面の画面表示を設定する	―	表示する	P163
		[8]オートスピーカーホンを設定する	―	解除する	P70
		[9]無音着信時間を設定する	―	設定しない	P193
		[0]テレビ電話を設定する	[1]テレビ電話画面の表示を設定する	相手を大きく	P100
			[2]テレビ電話画面の明るさを設定する	標準の明るさ	P101
			[3]音声再発信を設定する	かけ直さない	P102
			[4]発信時の自画像送信を設定する	送る	P103
			[5]テレビ電話着信先の機器を設定する	携帯電話本体※	P105
			[6]テレビ電話画面の大きさを設定する	拡大して表示	P104

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

メニュー				お買い上げ時	参照先
✱ 詳細な機能を設定する	3 音を設定する	1 充電開始と完了時の音を設定する	—	知らせる	P157
		2 電池残量の警告音を設定する	—	鳴らす	P44
		3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する	—	イヤホンマイク＋スピーカー	P159
		4 通話状態が悪い時に音で知らせる	—	高音で鳴らす	P158
		5 再接続した時の音を選ぶ	—	高音で鳴らす	P65
		6 保存した曲の詳細を設定する	—	—	P452
	4 メールの詳細を設定する	1 問合せ内容を選ぶ	—	すべて選択	P344
		2 添付の画像を受信する	—	受信する	P380
		3 添付のメロディを受信する	—	受信する	P381
		4 添付のメロディを自動演奏する	—	自動演奏する	P382
	5 メッセージの詳細を設定する	1 メッセージのメロディを自動演奏する	—	自動演奏する	P290
		2 未読メッセージを自動で表示する	—	メッセージR優先	P289
	6 ｉモードの詳細を設定する	1 問合せ内容を選ぶ	—	すべて選択	P344
		2 文字の大きさを選ぶ	—	標準の大きさ※	P279

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	参照先
＊ 詳細な機能を設定する	6 ｉモードの詳細を設定する	3 画像表示・照明を設定する	―	画像：表示する アニメーション：再生する 照明設定：常に点灯させる	P280
		4 ｉモーションの再生を設定する	―	自動再生設定：自動再生する ｉモーションタイプ：標準	P425
		5 接続までの待ち時間を設定する	―	60 秒間	P281
		6 接続先番号を設定する	―	ｉモード	P282
		7 証明書の表示と使用を設定する	―	―	P284
		8 ユーザ証明書を操作する	―	―	P298
		9 証明書の発行先を変更する	―	接続先：ドコモ	P302
	7 情報の表示やリセットを行う	1 通話時間を見る	―	―	P472
		2 電池残量を確認する	―	―	P43
		3 通話時間をリセットする	―	―	P473
		4 設定を初めの状態に戻す	―	すべて選択	P479
	8 操作の制限をする	1 全ての操作を制限する	―	―	P182
		2 セルフモードを設定する	―	解除する	P183

メニュー				お買い上げ時	参照先
[＊] 詳細な機能を設定する	[8] 操作の制限をする	[3] シークレットモードに設定する	－	解除する	P187
		[4] 履歴の表示を制限する	－	制限しない	P186
		[5] 個人の情報表示を制限する	－	制限しない※	P184
		[6] 暗証番号を変更する	－	0000※	P172
		[7] FOMAカードのPINコードを設定する	－	PIN1コード変更：0000※ PIN2コード変更：0000※ PIN1コード使用：使用しない※	P173
		[8] ダイヤル入力での発信を制限する	－	制限しない	P185
	[9] 決めた時刻に電源を入／切する	[1] 電源が入る時刻を設定する	－	停止する	P463
		[2] 電源が切れる時刻を設定する	－	停止する	P465
		[3] 目覚まし時刻に電源を入れる	－	入れない	P467

※：設定を変更している場合、設定リセットを実行してもお買い上げ時の設定には戻りません。→P479

電話帳メニュー一覧

メニュー	参照先
[1] 電話帳の内容を見る	P124
[2] 電話帳に登録する	P110
[3] 音声で呼出す電話帳を登録する	P198
[4] 電話帳のグループ名を変更する	P119

お知らせ

● 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式では、ダイヤルボタンには次のように文字が割り当てられています。

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>ひらがな／漢字入力モード※1</th><th>半角カタカナ入力モード</th><th>半角英字入力モード</th><th>半角数字入力モード※2</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あ い う え お 1</td><td>ア イ ウ エ オ 1</td><td>. / @ ~ ─ : _
[￥] ^ ` { | }
1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>か き く け こ 2</td><td>カ キ ク ケ コ 2</td><td>a b c 2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さ し す せ そ 3</td><td>サ シ ス セ ソ 3</td><td>d e f 3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>た ち つ て と 4</td><td>タ チ ツ テ ト 4</td><td>g h i 4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>な に ぬ ね の 5</td><td>ナ ニ ヌ ネ ノ 5</td><td>j k l 5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>は ひ ふ へ ほ 6</td><td>ハ ヒ フ ヘ ホ 6</td><td>m n o 6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>ま み む め も 7</td><td>マ ミ ム メ モ 7</td><td>p q r s 7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>や ゆ よ 8</td><td>ヤ ユ ヨ 8</td><td>t u v 8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>ら り る れ ろ 9</td><td>ラ リ ル レ ロ 9</td><td>w x y z 9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わ を ん ー 、 。 ・
？ ！ 「 」 □ 0</td><td>ワ ヲ ン ー 、 。 ・
？ ！ 「 」 □ 0</td><td>! ” # $ % &
’ ( ) ＊ + , ;
< = > ? □ 0</td><td>0
+※3</td></tr>
<tr><td>＊</td><td>゛ ゜</td><td>゛ ゜</td><td>@docomo.ne.jp
.com .or.jp .go.jp
.ne.jp .co.jp .ac.jp
http://www. www.
.html .htm</td><td>＊
P※3</td></tr>
<tr><td>#</td><td>改行（↵）</td><td>改行（↵）</td><td>改行（↵）</td><td>改行(↵)
#
T※3</td></tr>
<tr><td>テレビ電話</td><td>大文字と小文字の切り替え</td><td>大文字と小文字の切り替え</td><td>大文字と小文字の切り替え</td><td></td></tr>
</table>

□：空白を示します。

■：文字入力後にテレビ電話（小文字）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：数字は半角で入力されます。

※2：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄でだけ入力できます。

※3：該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

記号・特殊文字入力一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→ P561

読　み	入力文字
あーる	R r ㌃
あい	Ⅰ i
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ε e
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	X x
えっち	H h
えー	A a
えい	A a
えいち	H h
えす	S s
えぬ	N n
えふ	F f
えむ	M m
える	L l
えん	￥
おー	O o
おう	O o
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪

読　み	入力文字
かっこ	「」【】『』《》〈〉{}〔〕[]()
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ K.K.
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
きゅー	Q q
きゅう	⑨ Ⅸ
きごう	〃 々 @ × ÷ ∴ ／ ＼ ∞ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ⊿ Σ ∮ 〟 〝 ∟ ≧ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ≫ ‰ † ‡ ∨ ¶ § ≦ ＞ ＜ ≠ ≪ ∧ ¬ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ±
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	K k

読　み	入力文字
けい	K k
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ Ⅴ
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	C c
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
じぇー	J j
じぇい	J j
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯

次ページへ続く ➜

読　み	入力文字
じー	Ｇ ｇ
すらっしゅ	／ ＼
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	㌢ ㎝
せんちめーとる	㎝
せんと	㌣ ￠
ぜーた	Ζ ζ
ぜっと	Ｚ ｚ
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
てぃー	Ｔ ｔ
てー	Ｔ ｔ
てん	‘ ゝ 、 ヾ ¨ … ‥ ｀ ゞ ´ ヽ ” “ ’
てんてん	‥ …
でぃー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧
どう	々 〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦ Ⅶ

読　み	入力文字
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳
のま	々
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	Ｖ ｖ
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	m²
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	－

読　み	入力文字
まる	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯ ⑰⑱⑲⑳ ㊤㊥㊦㊧ ㊨○◎● ◯。
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍
めいじ	㍾
めす	♀
やじるし	↑↓→ ←⇔⇒
ゆー	Ｕ ｕ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わっと	㍗
わい	Ｙ ｙ
わる	÷

※特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
※入力文字の中には、全角文字しか存在しないもの、半角文字しか存在しないもの、
　全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

区点コード一覧

※区点コード入力の操作→ P574

※区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る										
466	瑠	塁	涙	累	類					
れ										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点コード一覧（つづき）

区点 1~3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

絵文字入力変換・読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→ P561
また、一覧から入力することもできます。→ P566

読　み	変 換	音声読み上げ
えもじ		くいっくきゃすとまーく
		きつえんまーく
		きんえんまーく
		かめらまーく
		かばんまーく
		ほんまーく
		りぼんまーく
		ぷれぜんとまーく
		ばーすでーまーく
		でんわまーく
		けいたいでんわまーく
		めもまーく
		てれびまーく
		げーむまーく
		しーでぃーまーく
		くつまーく
		めがねまーく
		くるまいすまーく
		いぬまーく
		ねこまーく
		りぞーとまーく
		くりすますまーく
		あいもーどまーく
		あいもーどまーく
		めーるまーく
		おんせんまーく
		かわいいまーく
		ちゅっまーく
		ぴかぴかまーく
		ひらめきまーく
		むかっまーく
		ぱんちまーく
		ばくだんまーく
	zzz	ねむいまーく
	!	びっくりまーく
	!?	びっくりまーく
	!!	びっくりまーく
		どーんまーく
		あせあせまーく
		あせたらーっまーく
えもじ		だっしゅまーく
		うーまーく
		うーんまーく
おんぷ		るんるんまーく
		むーどまーく
かお		わーいまーく
		ぷんぷんまーく
		がくーまーく
		もうやだーまーく
		ふらふらまーく
からだ		めまーく
		みみまーく
		ぐーまーく
		ちょきまーく
		ぱーまーく
		あしまーく
すうじ	1	しかくいち
	2	しかくに
	3	しかくさん
	4	しかくよん
	5	しかくご
	6	しかくろく
	7	しかくなな
	8	しかくはち
	9	しかくきゅう
	0	しかくぜろ
すぽーつ		すぽーつまーく
		やきゅうまーく
		ごるふまーく
		てにすまーく
		さっかーまーく
		すきーまーく
		ばすけっとまーく
		もーたーすぽーつまーく
せいざ		おひつじざまーく
		おうしざまーく
		ふたござまーく
		かにざまーく
		ししざまーく
		おとめざまーく
せいざ		てんびんざまーく
		さそりざまーく
		いてざまーく
		やぎざまーく
		みずがめざまーく
		うおざまーく
そのた		でんわへまーく
		めーるへまーく
	FAX	ふぁっくすへまーく
		どこもていきょうまーく
		どこもぽいんとまーく
		ゆうりょうまーく
	FREE	むりょうまーく
	ID	あいでぃーまーく
		ぱすわーどまーく
		つぎありまーく
	CL	くりあまーく
		さーちまーく
	NEW	にゅーまーく
		いちじょうほうまーく
		ふりーだいやるまーく
	#	しゃーぷだいやるまーく
		もばきゅうまーく
	OK	けっていまーく
ちず		いえまーく
		びるまーく
		ゆうびんきょくまーく
		びょういんまーく
	BK	ぎんこうまーく
	ATM	えーてぃーえむまーく
	H	ほてるまーく
	CVS	こんびにまーく
	GS	がそりんすたんどまーく
	P	ちゅうしゃじょうまーく
		しんごうまーく
		といれまーく
		れすとらんまーく
		きっさてんまーく
		ばーまーく
		びーるまーく

次ページへ続く

読み	変換	音声読み上げ
ちず		ふぁーすとふーどまーく
		ぶてぃっくまーく
		びよういんまーく
		からおけまーく
		えいがまーく
		ゆうえんちまーく
		おんがくまーく
		あーとまーく
		えんげきまーく
		いべんとまーく
		ちけっとまーく
つき		しんげつまーく
		かけづきまーく
		はんげつまーく
		みかづきまーく
		まんげつまーく
てんき		はれまーく

読み	変換	音声読み上げ
てんき		くもりまーく
		あめまーく
		ゆきまーく
		かみなりまーく
		たいふうまーく
		きりまーく
		こさめまーく
トランプ		はーとまーく
		すぺーどまーく
		だいやまーく
		くらぶまーく
のりもの		でんしゃまーく
		ちかてつまーく
		しんかんせんまーく
		せだんまーく
		あーるぶいまーく
		ばすまーく

読み	変換	音声読み上げ
のりもの		ふねまーく
		ひこうきまーく
はーと		はーとまーく
		はーとまーく
		しつれんまーく
		はーとまーく
やじるし		みぎななめうえやじるしまーく
		みぎななめしたやじるしまーく
		ひだりななめうえやじるしまーく
		ひだりななめしたやじるしまーく
		ぐっどまーく
		ばっどまーく

の絵文字は、絵文字を選択して入力してください。→P566

変換	音声読み上げ	変換	音声読み上げ	変換	音声読み上げ	変換	音声読み上げ
	かちんこまーく		ごうかくまーく		ちゅーりっぷまーく		むむまーく
	ふくろまーく		まんしつまーく		わかばまーく		ほっまーく
	ぺんまーく		きけんまーく		もみじまーく		ひやあせまーく
	ひとかげまーく		こぴーらいとまーく		さくらまーく		ひやあせまーく
	いすまーく		とれーどまーく		かたつむりまーく		ぷくっまーく
	よるまーく		れじすとれっどまーく		ひよこまーく		ぼけーまーく
	すーんまーく		あいあぷりまーく		ぺんぎんまーく		らぶらぶまーく
	おんまーく		あいあぷりまーく		さかなまーく		あっかんべーまーく
	えんどまーく		どるぶくろまーく		うままーく		うぃんくまーく
	とけいまーく		うでどけいまーく		ぶたまーく		うれしいまーく
	じてんしゃまーく		とけいまーく		てぃーしゃつまーく		がまんまーく
	れんちまーく		おにぎりまーく		じーんずまーく		ねこまーく
	ぱそこんまーく		しょーとけーきまーく		けしょうまーく		なきまーく
	えんぴつまーく		ぱんまーく		ゆびわまーく		なみだまーく
	くりっぷまーく		どんぶりまーく		おうかんまーく		うまいまーく
	さゆうまーく		ゆのみまーく		ちゃぺるまーく		うっしっしまーく
	じょうげまーく		とっくりまーく		どあまーく		げっそりまーく
	りさいくるまーく		わいんぐらすまーく		がっこうまーく		おーけーまーく
	えぬじーまーく		ばななまーく		なみまーく		らぶれたーまーく
	まるひまーく		りんごまーく		ふじさんまーく		がまぐちさいふまーく
	きんしまーく		さくらんぼまーく		すのぼーまーく		
	くうしつまーく		くろーばーまーく		はしるひとまーく		

お知らせ

- 絵文字１の と絵文字２（→Ｐ570）はひらがな／漢字入力モードで変換して入力することができません。入力方法→Ｐ566
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字２（→Ｐ570）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

マルチアクセスの組み合わせについて

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理 ／ 現在の状態	音声電話の発着信	テレビ電話の発着信	ｉモード接続	ｉモードメールの送受信	ショートメッセージ（SMS）の送受信	64Kデータ通信の発着信	パケット通信の発着信
音声電話通話中	×※1、18	×※2	×	○※9、16	○※9、16	×※2、20	○
テレビ電話通話中	×※2、18	×※2	×	×	×	×※2	×
ｉモード中	○※3、4	×※2、4、6	－	○※10、16	○※13、16	×※2、6	×
ｉモードメール送受信中	○※3	×※2、6	○※8	×※11	○※14、19	×※2、6	×
ショートメッセージ（SMS）送受信中	○※3	×※7	×	○※12、19	○※15、19	○※17	○
64Kデータ通信中	×※5、18	×※2	×	×	×※16	×※2	×
パケット通信中	○※3	×※2、6	×	×	○※13、16	×※2、6	×

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：発着信や送受信できません。
－：実現しない組み合わせです。

※１：キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の電話をかけたり受けたりできます。
※２：キャッチホンをご契約の場合は、電話の着信動作は行われずに着信履歴には不在着信として残ります。
※３：スイッチ付イヤホンマイクを利用して電話をかけることができます。
※４：Phone To機能を利用して電話をかけることができます。ただし、テレビ電話をかける場合は、ｉモードの通信は切断されます。
※５：キャッチホンをご契約の場合、現在の通信を終了して電話に出るか着信を拒否するかを選択できます。
※６：転送でんわサービスをご契約の場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※７：電話を受けることができます。
※８：ｉモードの通信が切断されたサイト画面表示中のみメール受信中にｉモードに接続できます。
※９：電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※10：Mail To機能を利用して、またはサブメニューから「7 メールを作る」を押してメールを作成・送信できます。

次ページへ続く

※11：受信できますが、送信中に受信した場合は、受信できないことがあります。
※12：ショートメッセージ（SMS）送信中は受信できます。ショートメッセージ（SMS）受信中は受信できず、ｉモードセンターに保管されます。
※13：かかってきた音声電話を受けて通話中に、電話帳からショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます。
※14：ｉモードメール送信中は受信できます。ｉモードメール受信中は受信できず、ショートメッセージセンターに保管されます。
※15：送信中に受信した場合は、受信できないことがあります。
※16：着信／受信することはできますが、着信音は鳴りません。
※17：ネットワークの状況により着信に失敗する場合があります。
※18：留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は、かかってきた電話に各サービスで対応できます。
※19：送信どうしは実行できません。
※20：着信しませんが、着信履歴には不在着信として残ります。

FOMA端末から利用できるサービス

こんなサービスが利用できます

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

※全ての操作を制限しているときには、緊急通報（110番、119番、118番）もできません。→P182

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2004年8月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2004年8月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報して、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取扱いしていない商品もあります。
詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ F03
- FOMA ACアダプタ 01
- 卓上ホルダ F06
- 電池パック F06
- リアカバー F06
- キャリングケース F06
- DCアダプタ F01
- FOMA DCアダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル
- スイッチ付イヤホンマイク P001※／P002※
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンターミナル P001※
- ステレオイヤホンセット P001※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01

※：イヤホンジャック変換アダプタ P001を接続しないとご使用になれません。

主な仕様

品名	FOMA F880iES
サイズ	高さ 103 ×幅 51 ×厚さ 23mm（折り畳み時）
質量	約 120g（電池パック装着時）
連続待受時間	静止時：約 380 時間 移動時：約 290 時間
連続通話時間	音声電話時　：約 120 分 テレビ電話時：約 85 分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	730mAh
AC アダプタ F03 での充電時間	約 130 分
DC アダプタ F01 での充電時間	約 135 分
カメラ画素数	内側カメラ：有効画素数約 11 万画素 （記録画素数約 10 万画素） 外側カメラ：有効画素数約 32 万画素 （記録画素数約 31 万画素）
デジタルズーム	内側カメラ：最大 2 倍 外側カメラ：最大 3 倍

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと連続通話（通信）・連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、音声読み上げをすると連続通話・連続待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA 端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

データリンクソフトのご紹介

FOMA Fシリーズ データリンクソフト（以後、「データリンク」と呼びます）を利用して、FOMA端末の電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンにバックアップできます。
詳しい操作については、データリンクのヘルプをお読みください。

- データリンクのインストールや起動、アンインストールなど、操作に関する詳細は、添付のCD-ROMをご覧ください。
- Windows XP、2000 Professionalでインストールやアンインストールを行う場合は、パソコンの管理者権限を持ったユーザで実行してください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。

動作環境の確認

- データリンクは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
OS	Windows XP、Windows 2000 Professional、Windows Me
CPU	Pentium 166MHz以上の性能を持つプロセッサを推奨
必要メモリ	32MB以上
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color (16bit)以上推奨
ドライバ	FOMA F880iES 通信設定ファイル

- データ転送を行うにはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- データリンクはF880iES、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051に対応しています。

転送可能データ

- データリンクを使うと次のデータをF880iESに保存できる最大件数まで転送することができます。→P36、P108
  - 電話帳データ（FOMA端末／FOMAカード）
  - 受信メール
  - 送信メール
  - 未送信メール
  - ブックマーク
  - メロディ
  - 画像
  - 動画／iモーション
- ワンタッチダイヤルに設定されている着信画像、FOMA端末外への出力が禁止されている（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）画像や動画／iモーション、メロディは、パソコンへの転送はできません。
- F880iES以外で撮影された動画／iモーションは、転送できない場合があります。

次ページへ続く

● データリンクでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なるものがあります。

FOMA F シリーズ データリンクソフト

■データリンクソフトに関するホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社
0120-176-769
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00〜19：00 （日・祝日を除く）
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

● FOMA Fシリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtをご覧ください。
● 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失及び逸失利益等について、いかなる責任も負いません。

FOMA 端末と外部機器とのデータ連携

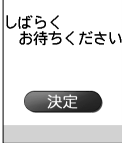
FOMA 端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生します

FOMA 端末で撮影した動画（MP4 ファイル）をメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生することができます。

● FOMA 端末内で対応している動画ファイル→ P442

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4 ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）の QuickTime™ Player（無料）ver.6.4 以上（または ver.6.3 ＋ 3GPP）が必要です。

QuickTimeは、http://www.apple.co.jp/quicktime/download/よりダウンロードしていただけます。

● ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
● 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

故障かな？と思ったときは、まず下記の点をお調べください。

■ 電話関連

症　状	チェック
ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない	しばらく お待ちください 決定 ● 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。決定を押すと、「しばらくお待ちください」の文字情報を消すことができます。
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル入力での発信を制限していませんか。 →P185
ダイヤルしたが話中音（プープー音）が鳴ってつながらない	● 市外局番を忘れていませんか。 →P54 ● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ●「圏外」が表示されていませんか。 →P45 ● FOMAカードが取り付けられていますか。→P33
ディスプレイに「圏外」が表示され、話中音（プープー音）が鳴る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 →P45

■ 設定・操作関連

症　状	チェック
FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードを挿入してください」とメッセージが表示される	● FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。 →P33
ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される	● FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。 →P33
ディスプレイに「全ての操作を制限しています」と表示されている	● 全ての操作を制限しています。解除してください。 →P182
自動的に電源が入る時刻を設定しても、指定した時刻に電源が入らない	● 通常の電源を切る操作や自動的に電源が切れる時刻の設定（→P465）以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能（→P463）は動作しません。

■ 設定・操作関連

症　状	チェック
目覚ましを設定しても、電源が切れているときに指定した時刻に動作しない	• 通常の電源を切る操作や自動的に電源が切れる時刻の設定（→P465）以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。 • 目覚まし時刻に電源を入れるように設定してください。 →P467

■ 電源・充電関連

症　状	チェック
FOMA 端末の電源が入らない（FOMA 端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 →P38 • 電池切れになっていませんか。 →P44 • デュアルネットワークサービスで mova が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
充電中に充電ランプが点滅する	• 通話／通信中の場合は、ただちに終了してください。FOMA 端末から AC アダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電を行ってください。 →P39 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。
ディスプレイ上部が点滅してピピピというアラーム音が鳴っている	• 電池が少なくなってきています。充電してください。 →P39

■ メール・データ関連

症　状	チェック
ダウンロードデータ・メール添付のデータ・メッセージ R/F の表示や再生ができない	• FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。 →P34
メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る	• ワンタッチダイヤルのメール着信音が設定されていませんか。メール着信音を設定したワンタッチダイヤルの相手からメールを受信すると、ワンタッチダイヤルで設定したメール着信音が鳴ります。 →P144、377
受信メール、送信メール、未送信メールの一覧を表示したときに「データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？」と表示される	• 予期しない操作などにより、データが壊れています。「1戻す」を押すとデータは削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

こんな表示が出たら

電話やカメラ、ｉモードやショートメッセージサービス（SMS）利用中の主なエラーメッセージを示します（五十音順）。

●エラーメッセージ中の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

■ 電話関連

エラーメッセージ	説　明
個人の情報表示が制限されています	個人の情報表示を制限しているため、電話帳などの個人情報から電話をかけることができません。→P184
セルフモード中です	セルフモードを設定中のため、電話をかけることができません。→P183
ダイヤル発信が制限されています	ダイヤル入力での発信を制限しているため、電話をかけることができません。→P185
FOMAカードを挿入してください	FOMAカードが取り付けられていないため、電話をかけることができません。FOMAカードを取り付けてください。→P33
PINロック解除コードがロックされています	PINコードがロックされています。PINロック解除コードを入力してください。→P179

■ カメラ関連

エラーメッセージ	説　明
写真の保存件数がいっぱいです。不要な写真を削除しますか？	保存件数が最大数のため、写真を保存できません。不要な写真を削除してください。→P438
写真の保存領域がいっぱいです。不要な写真を削除しますか？	FOMA端末の保存領域が不足しているため、写真を保存できません。不要な写真を削除してください。→P438
ビデオの保存件数がいっぱいです。不要なビデオを削除しますか？	保存件数が最大数のため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→P447
ビデオの保存領域がいっぱいです。不要なビデオを削除しますか？	FOMA端末の保存領域が不足しているため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→P447

次ページへ続く

■ iモード関連

エラーメッセージ	説　明
いくつかの宛先に送信できませんでした（561）	決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらく待ってから操作し直してください。
カード情報を認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P33
桁数が多いため宛先を設定できません	ショートメッセージ（SMS）の宛先に21桁以上の電話番号が設定されているため、送信できません。宛先が正しいか確認してください。→P384
圏外です	電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。
このカードは認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P33
このサイトとのSSL通信は無効です	サイトの証明書が書き替えられています。接続できません。
このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？	サイトの証明書が、FOMA端末でサポートしていない証明書です。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。
このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？	サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日時を正しく設定してください。→P46
この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？	FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。→P46
この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？	サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。→P285
このデータは再生できない可能性があります	動画／iモーションがサポートしていない形式です。再生できない場合があります。
このデータを取得するためには時刻設定をしてください	日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→P46
このビデオは再生できません	iモーションのデータが再生できない場合に表示されます。
このメロディは再生できません	メロディのデータが再生できない場合に表示されます。

エラーメッセージ	説　明
このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプを変更してください	ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションをダウンロードしようとしました。ｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。→P425
サービス未契約です	ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
サービス未提供です	ショートメッセージサービス（SMS）が未提供です。
再生可能日前です。再生できません	ｉモーションに設定されている再生期間より前なので、再生できません。→P446
再生制限データに誤りがあるため取得できません	再生制限データが誤っているため受信できません。
最大サイズを超えたので中断しました	サイト画面の受信中に最大サイズを超えたため、中断しました。サイト画面では決定を押すと受信済みの画面を表示できます。
サイトが移動しました（301）	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。
サイトに接続できませんでした（403）	指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。
指定サイトに表示データがありません（204）	指定のサイトにデータがありませんでした。
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
しばらくお待ちください	回線がたいへん混み合っています。しばらく待ってから送信し直してください。
	ｉモードの利用が現在規制されています。しばらく待ってから操作し直してください。
受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります	受信中にエラーが発生したため、ショートメッセージ（SMS）をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問い合わせを行ってください。→P390
受信に失敗しました	受信中にエラーが発生したため受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合はしばらく待ってから操作し直してください。
受信を拒否されました	SMSセンターにショートメッセージ（SMS）の受信を拒否されました。
情報が正しくないため再生できません	添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。
既にメッセージをお預かりしています	既にショートメッセージ（SMS）は送信済みです。

エラーメッセージ	説　明
接続が中断されました	電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
接続できません	ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。
設定時間内に接続できませんでした	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
センターにメッセージがいっぱいです	ｉモードセンターにメッセージがいっぱいの場合に表示します。FOMA端末内のメール・メッセージ受信領域を空けた状態で、メール・メッセージを受信してください。→P343
送信できませんでした。宛先を確認してください(451)	ｉモードメールの宛先が正しいか確認してください。
送信できませんでした 送信できませんでした(xxx)	ｉモードメールまたはショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。
送信を拒否されました	ショートメッセージ（SMS）の送信が拒否されました。
ダウンロードできませんでした	受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。
データ転送モード中です	データ送受信中の場合に表示します。データ送受信中はｉモード接続できません。→P504、605
添付された画像はｉモード携帯電話へ送信できません。宛先を変更するか画像を添付する際縮小してください	10000バイトを超える静止画はｉモード端末（〜@docomo.ne.jp）には送信できません。送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与することで、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信することができます。→P309
問合せできませんでした	電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
登録中です。しばらくしてからご利用ください(554)	ｉモードへのユーザ登録中です。
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。
入力データをご確認ください（205）	サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。
認証タイプに未対応です(401)	指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。
認証を中止しました	「基本認証」の画面で 戻る を押して認証を中止したときに表示されます。

エラーメッセージ	説　明
パスワードをご確認ください（401）	サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。
保存領域がいっぱいで保存できません	FOMA端末の保存領域が不足しているため、ショートメッセージ（SMS）を保存できません。ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに移動するか削除してください。→P396、399
無効なデータを受信しました（xxx）	指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。URLが間違っている可能性があります。
	受信データにエラーがあるため表示できませんでした。
メールがいっぱいです	受信メールの保存領域の空きが不足しているためメールを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。 →P345、391、395、406、409
メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません	受信メールが最大保存件数に達しているためショートメッセージ（SMS）を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。 →P345、391、395、399、406、409
メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります	ショートメッセージ（SMS）を受信中に受信メールが最大保存件数に達したため、ショートメッセージ（SMS）をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから、SMS問い合わせを行ってください。 →P345、390、391、395、399、406、409
メッセージがいっぱいです	メッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。→P294、296
メモリ不足です。メインメニューに戻ります。	メモリが不足したため処理を中断します。決定を押すと元の画面に戻ります。
ユーザ証明書がありません。接続しますか？	クライアント証明書がダウンロードされていません。 →P300
ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続しますか？	クライアント証明書の有効期限が切れています。→P298
FOMAカードがいっぱいです	FOMAカードの保存領域が不足しているため、ショートメッセージ（SMS）を保存できません。ショートメッセージ（SMS）をFOMA端末に移動するか削除してください。 →P398、399
FOMAカードが異なるためご利用できません	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付データ、メッセージR/Fの表示・再生を保存したときは異なるFOMAカードを挿入しています。 →P34

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが挿入されていないためご利用できません	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。
ｉモーションが再生サイズを超えています	ｉモーション（標準タイプ）データ取得時または、データ取得中の再生時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P422
ｉモーションが最大サイズを超えています	データ取り込み中の再生（ストリーミングタイプ）時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P422
ｉモード接続中のため設定できません	ｉモード接続中は実行できません。
SMSセンター設定を確認してください	SMS設定のショートメッセージセンターの設定が誤っています。→P401
SSL通信が切断されました	SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのため中断しました。
SSL通信が無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P284
SSL通信を切断しました	サイトの証明書に問題があるときに表示される接続確認画面で「接続しない」を選択した場合に表示されます。
URLが長すぎて登録できません	URLが長すぎるためブックマークに登録できません。

保証とアフターサービス

保証について

●FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→P607
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

●保証書の規定に基づき無償で修理を行います。

●故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。

●ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

●水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

●ご要望により有償修理いたします。

◎部品の保有期間は

●FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。

次ページへ続く

◎ **お願い**

- FOMA 端末、FOMA カードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA 端末、FOMA カードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の ON/OFF 設定などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェア更新を利用します＜ソフトウェア更新＞

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはｉモードを使ってソフトウェアの一部をダウンロードしてソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。
ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。

- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。→P619
- 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。→P621

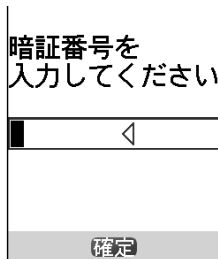
●次の場合はソフトウェアを更新できません。

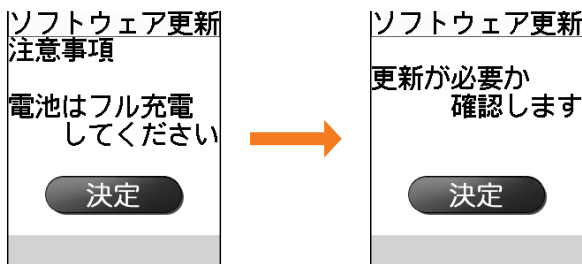
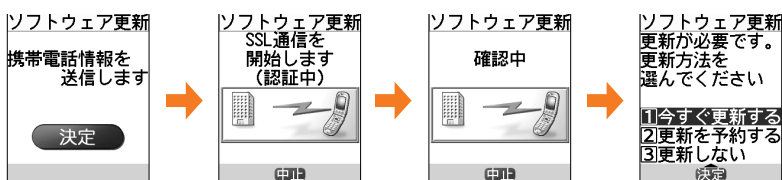
- 全ての操作を制限しているとき→P182
- 日付・時刻を設定していないとき→P46
- 電池残量が十分残っていないとき→P43
- 通話中
- 「圏外」が表示されているとき→P45
- 個人の情報表示を制限しているとき→P184
- セルフモードを設定中→P183
- 他の機能を使用しているとき
- FOMAカードが未挿入のとき→P32
- PIN1コード入力中→P174
- PIN1コードロック中→P179
- 電源が入っていないとき→P45

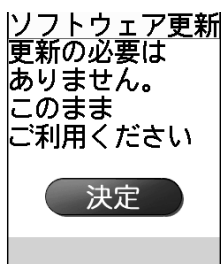
●ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

次ページへ続く

お知らせ

- 接続先番号を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行うことができます。→P282
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コードを使用するように設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信や、各種通信機能の操作ができません。→P174
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けることができます。
- ソフトウェア更新中に目覚ましなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、目覚ましなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効に設定してください。→P284
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▮）で実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（Yıll）で、移動せずに実行することをおすすめします。
- ソフトウェア更新後、表示されたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メールを選択して受信するように設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。→P343
- ソフトウェア更新中は、電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。更新に失敗すると、電源を入れる／切る以外の操作はできなくなります。その場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。

1 待受画面で[メニュー]▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「5 ソフトウェアを更新する」を押す

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定▶注意事項を確認▶決定を押す

3 決定▶決定▶ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する

- 携帯電話情報を送信する旨のメッセージで決定を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。決定を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新します<即時更新>

- サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示する

- 操作方法→P618

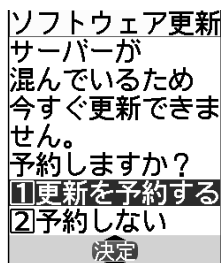
次ページへ続く

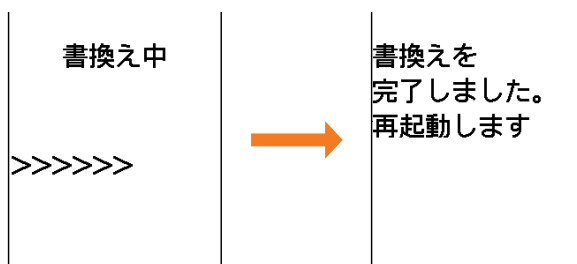
2 「1 今すぐ更新する」▶ 決定 を押す

ダウンロードが開始されます。ダウンロード中は着信ランプが点滅します。

- 決定を押さずに約5秒経過すると、自動的に更新情報のダウンロードが開始されます。
- ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。
- ダウンロードを途中で中止したときは、最初からソフトウェア更新をやり直してください。

■ サーバが混み合っているとき

ソフトウェア更新
サーバーが
混んでいるため
今すぐ更新できません。
予約しますか？
1更新を予約する
2予約しない
決定

サーバが混み合っている場合は左の画面が表示されます。「1 更新を予約する」を押して、更新日時を予約してください。→ P621

3 決定 を押す

ソフトウェアの書き換えが開始されます。書き換え中は、着信ランプが点滅します。

書き換えが終了すると、自動的に再起動が行われます。

- 約 5 秒間何も操作をしないと、自動的に書き換えが開始されます。
- ソフトウェアの書き換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 自動的に再起動する

再起動すると、再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

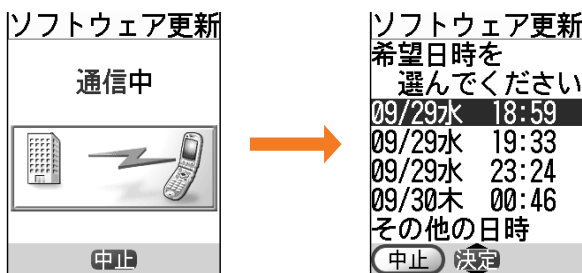
日時を予約してソフトウェアを更新します<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 更新方法の選択画面を表示する

●操作方法→P618

2 「2 更新を予約する」を押す

次ページへ続く

3 希望日時を選択▶▶「1 予約する」を押す

ソフトウェア更新

9月29日(水)
18:59に
予約しました

決定

● ：希望日時の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択▶〔決定〕を押す

② 希望日を選択▶〔決定〕を押す

● 〔◀▶〕：希望日の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

③ 希望時間帯を選択▶〔決定〕を押す

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

● 〔◀▶〕：希望時間帯の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● 〔電話帳〕：時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④希望日時を選択▶決定を押す

ソフトウェア更新
9月29日(水)
18:59に
予約しますか?
1予約する
2予約しない
決定

● ◁ ▷：希望日時の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

⑤「1 予約する」を押す

指定した日時に予約した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

予約の設定が完了してメニュー画面に戻ります。
予約日時になると、携帯電話は自動的にソフトウェア更新を開始します。
予約日時前には、電池が十分充電されていることを確認の上、電波の十分届くところで携帯電話を待受画面にしておいてください。

- 予約中は、待受画面にが表示されます。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの日時が表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをします

ソフトウェア更新の予約日時を確認することができます。

1 待受画面で メニュー ▶「9 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「5 ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

ソフトウェア更新
9月29日(水)
18:59に
予約されています
1終了する
2変更する
3取消す
決定

付録 ソフトウェア更新

次ページへ続く

3 内容を確認する

●「1 終了する」：確認を終了します。

■ 予約を変更するとき

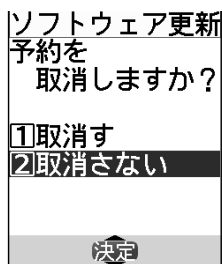
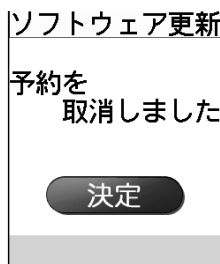
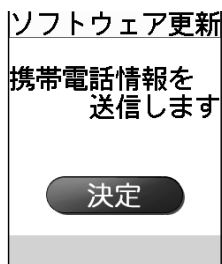
「2 変更する」▶ 決定 を押す

予約候補の選択画面が表示されます。

● 以降の操作は、予約更新の「表示されている予約候補以外から選択するとき」の操作②からと同じです。→P622

● 携帯電話情報を送信する旨のメッセージで 決定 を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「3 取消す」を押す

②「1 取消す」▶ 決定 を押す

③ 決定 を押す

予約が取り消され、メニュー画面に戻ります。

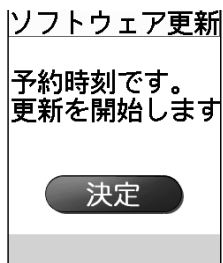
● 携帯電話情報を送信する旨のメッセージで 決定 を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

予約の日時になると

ソフトウェア更新

予約時刻です。
更新を開始します

決定

●予約日時になると左の画面が表示され、自動的にダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。
●ソフトウェア更新を中止する場合は☎▶「1終了する」を押します。

お知らせ

●他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
●同じ日時に目覚ましなどが設定されていた場合には、目覚ましなどが優先され、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。

索引／クイックマニュアル

目的別索引

電源の入れかた／切りかた

いろいろな電話のかけかた

電話を受ける

伝言メモを使いたい

時計を利用したい

テレビ電話を利用したい

メニューについて

文字を入力したい

個人情報を確認したい

メールアドレスを変えたい

暗証番号を変えたい

電話帳を使いたい

ディスプレイの表示を変えたい

音の大きさや種類を変えたい

カメラを使いたい

保存した画像、動画／ｉモーション、メロディを操作したい

声で操作したい

音声読み上げを使いたい

電卓として使いたい

機能を制限したい

メールを使いたい

メールを見たい

メールを整理したい

ｉモードを使いたい

ｉモーションを再生したい

メッセージサービスを利用したい

ネットワークサービスを使いたい

データ通信をしたい

索引

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

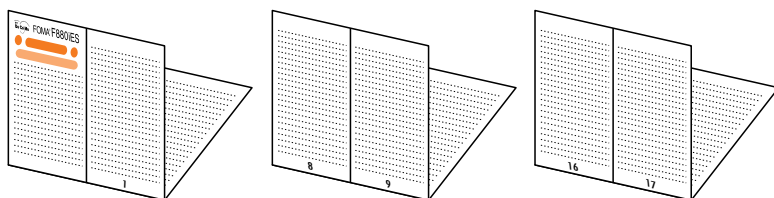
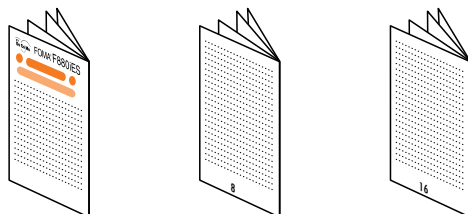
英数字・記号

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 **キリトリ線から切り離す（5 枚）**

※切り離しの際にはケガなどにご注意ください。

2 **それぞれを横半分に折る**

3 **それぞれを縦半分に折る**

クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo FOMA® F880iES

クイックマニュアル

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

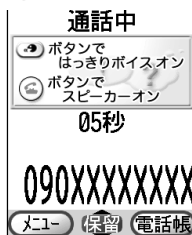
・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力する
2. 電話をかける

●音声電話をかけるとき

（発信キー）を押す

・（発信キー）を 1 秒以上：
　スピーカーホン機能を利用して音声電話をかけます。

●テレビ電話をかけるとき

テレビ電話 を押す

・テレビ電話 を 1 秒以上：
　スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかけます。

・テレビ電話の通信速度を指定する場合：
　メニュー ▶「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」▶「1 64K テレビ電話」または「2 32K テレビ電話」を押す

3. 通話する
4. 通話が終了したら（終話キー）を押す

発信者番号を通知する／通知しない

●音声電話をかけるとき

待受画面で電話番号を入力▶ メニュー ▶「3 通知で音声電話」または「4 非通知音声電話」を押す

●テレビ電話をかけるとき

待受画面で電話番号を入力▶ メニュー ▶「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」を押す

キリトリ線

通話を保留する

通話中に決定を押す

・決定を押すたびに保留／解除されます。

スピーカーホン機能を利用する

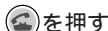
通話中にを押す

・を押すたびに設定／解除されます。

電話／テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. 電話を受ける

●音声電話を受けるとき

を押す

●テレビ電話を受けるとき

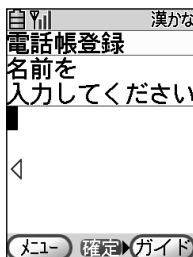
テレビ電話を押す

・：カメラオフ画像でテレビ電話を受けます。

3. 通話する
4. 通話が終了したらを押す

電話帳の登録

FOMA 端末電話帳の登録

1. 待受画面で電話帳▶「2 電話帳に登録する」を押す

2. 名前を入力▶決定を押す
3. フリガナを確認／修正▶決定を押す
4. 電話番号を入力▶決定を押す
5. 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す
   - 「1 入力する」：
     2～3 件目を入力します。操作 4 を繰り返します。
   - 「2 入力しない」：入力しません。

6. メールアドレスを入力▶決定を押す
7. 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す
   - 「1 入力する」：
     2～3 件目を入力します。操作 6 を繰り返します。
   - 「2 入力しない」：入力しません。
8. グループを選択▶決定を押す
9. 電話帳番号(0～499) を入力▶決定を押す
10. 「1 登録する」または「2 終了する」を押す
    - 「1 登録する」：
      音声呼出し／ワンタッチダイヤル登録を設定します。
    - 「2 終了する」：設定しません。
11. 登録先を選択する

●ワンタッチダイヤル登録を設定するとき

「1 ワンタッチダイヤル登録」▶「1 ワンタッチ 1」～「3 ワンタッチ 3」▶電話番号／メールアドレスの選択▶音声／テレビ電話／メール着信音を設定▶決定を押す

●音声呼出しを設定するとき

「2 音声呼出し登録」▶単語を入力▶決定▶決定を押す

12. 「3 終了する」を押す

電話帳の検索

1. 待受画面で電話帳▶「1 電話帳の内容を見る」を押す
2. 「1 50 音順検索」～「6 電話帳番号検索」を押す

● FOMA カード電話帳を検索するとき

電話帳▶「1 50 音順検索」～「4 電話番号検索」を押す

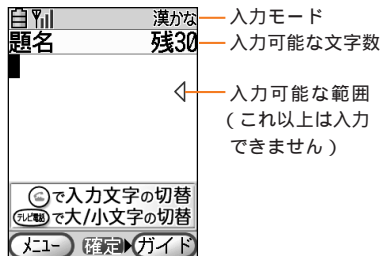
3. 目的の相手を検索して選択する

キリトリ線

電話帳の修正

1.「電話帳の検索」（→P7）の操作1～3を行う
2. メニュー ▶「4 修正する」を押す
3. 必要な項目を修正する
4.「1 上書きする」または「2 新規登録する」を押す
・「1 上書きする」：
上書きして登録します。
・「2 新規登録する」：
新しく登録します。電話帳番号を入力▶決定を押します。
・以降の操作は「FOMA端末電話帳の登録」の操作10～12と同じです。

文字の入力

文字入力画面の見かた

入力モードの切り替え

文字入力画面表示中に を複数回押す
・入力モードの切り替わりかた
→ ひらがな／漢字 → 半角カタカナ → 半角英字 → 半角数字 →

文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字入力モードで文字を入力する
「す」：3を3回▶（カーソルを1つ右に移動）を押す
「ず」：3を3回▶＊を押す
「き」：2を2回押す
・文字を挿入する場合：
カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力する
・入力した文字の確定前にできる操作
戻る：入力した文字を取り消します。
テレビ電話：大文字／小文字を切り替えます。
＊（複数回）：
濁点「゛」や半濁点「゜」を付加します。

2. 電話帳を押す
・／／電話帳：
変換候補一覧を表示します。
・戻る：変換前の状態に戻します。
3. 決定を押す

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

戻る：カーソル位置の文字を削除します。
戻るを1秒以上：
カーソル位置から最後までの文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

戻る：カーソル位置の左にある文字を削除します。
戻るを1秒以上：
入力した文字をすべて削除します。

キリトリ線

絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

1. 文字入力中にメニュー▶「1 絵文字を入力」を押す
2. 絵文字を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

記号を入力する

1. 文字入力中にメニュー▶「2 記号を入力」を押す
2. 記号を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

定型文を入力する

1. 文字入力中にメニュー▶「3 定型文を貼付け」を押す
2. フォルダを選択▶決定▶定型文を選択▶決定▶決定を押す
   - ◁▷：ページを切り替えます。

カメラ機能

写真／ビデオの撮影

写真を撮影する

1. 待受画面で⊖（📷）を押す

写真の大きさと撮影（保存）できる残りの枚数

2. 被写体にカメラを向けて決定を押す
3. 「1 保存する」▶決定を押す

ビデオを撮影する

1. 待受画面で⊖（📷）を押す
2. メニュー▶「1 ビデオを撮影」を押す

撮影（保存）できる残り時間の目安

3. 被写体にカメラを向けて決定を押す
4. メニューを押す
5. 「1 保存する」▶決定を押す

撮影した写真の表示／ビデオの再生

写真を表示する

1. 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「3 写真のアルバムを見る」を押す
3. 「撮影した写真」のアルバムを選択▶決定を押す
4. 表示する写真を選択▶決定を押す

- △▽：アルバム内の他の写真を表示します。

キリトリ線

ビデオを再生する

1. 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「4 ビデオのアルバムを見る」を押す
3. 「撮影したビデオ」のアルバムを選択 ▶ 決定 を押す
4. 再生するビデオを選択 ▶ 決定 を押す

- ／ (音量 大・小)：再生中の音量を調整します。
- 決定 ：再生を一時停止／再開します。
- メニュー ：再生を停止します。

i モードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	—	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

i モードメールの作成・送信

未送信メールと送信メールは、それぞれ最大 50 件保存できます。

1. 待受画面で を 1 秒以上押す

2. 宛先欄を選択 ▶ 決定 を押す
3. 宛先を入力する
   - 「1 電話帳から選ぶ」：電話帳から選択します。電話帳を検索（→ P 7）▶ 相手を選択 ▶ 決定 を押します。
   - 「2 直接入力する」：直接入力します。宛先を入力 ▶ 決定 を押します。
4. 題名欄を選択 ▶ 決定 ▶ 題名を入力 ▶ 決定 を押す
5. 本文欄を選択 ▶ 決定 ▶ 本文を入力 ▶ 決定 を押す
6. 「送信する」を選択 ▶ 決定 を押す
   - メールを保存する：メニュー ▶「2 保存する」▶ 決定 を押します。

データの添付

1. 待受画面で を 1 秒以上押す
2. メニュー ▶「4 添付データ」▶「1 追加する」を押す
   - 添付データを解除する：「2 解除する」または「3 全て解除する」を押します。
3. 「1 音声」～「4 メロディ」を押す

●音声を添付するとき

「1 音声」▶ 音声を録音して保存する

●写真を添付するとき

「2 写真」▶ 写真を撮影／アルバムから写真を選択する

●ビデオを添付するとき

「3 ビデオ」▶ ビデオを撮影／アルバムからビデオを選択する

●メロディを添付するとき

「4 メロディ」▶ メロディを選択する

キリトリ線

ｉモードメールの受信

受信メールは、最大200件保存できます。

1. メールを受信する
   メール着信音が鳴り、着信ランプが点滅して受信結果画面が表示されます。
2. 「1 メール」を押す
3. フォルダを選択▶決定を押す
4. メールを選択▶決定を押す

ｉモード問い合わせ

1. 待受画面で▶「6 メールがあるか問合わせる」を押す
2. 「1 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

その他の機能

リダイヤルを表示する

1. 待受画面でを押す

リダイヤルから電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. またはテレビ電話を押す

●**発信者番号通知／非通知で音声電話をかけるとき**
リダイヤル表示中に音声電話をかけるときと同様に操作します。→Ｐ3

●**発信者番号通知／非通知でテレビ電話をかけるとき**
リダイヤル表示中にテレビ電話をかけるときと同様に操作します。→Ｐ3

キリトリ線

着信履歴を表示する

1. 待受画面でを押す

着信履歴から電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. またはテレビ電話を押す

●**発信者番号通知／非通知で音声電話をかけるとき**
着信履歴表示中に音声電話をかけるときと同様に操作します。→Ｐ3

●**発信者番号通知／非通知でテレビ電話をかけるとき**
着信履歴表示中にテレビ電話をかけるときと同様に操作します。→Ｐ3

マナーモードを設定／解除する

1. 待受画面で#を１秒以上▶決定を押す
   ・解除する：マナーモードを設定中に#を１秒以上▶決定を押す

ドライブモードを設定／解除する

1. 待受画面で*を１秒以上▶決定を押す
   ・解除する：ドライブモードを設定中に*を１秒以上▶決定を押す

伝言メモを設定／解除する

1. 待受画面でを１秒以上▶決定を押す
   ・解除する：伝言メモを設定中にを１秒以上▶決定を押す

伝言メモを再生する

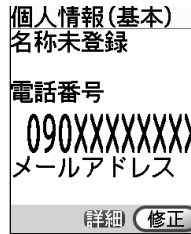
1. 待受画面で（ボタン）▶決定を押す
2. 目的の伝言メモを選択▶決定を押す
3. 「1 削除する」または「2 削除しない」を押す
   - 「1 削除する」：
     伝言メモを削除します。決定を押します。
   - 「2 削除しない」：
     伝言メモを削除しません。

クイック伝言メモを利用する

1. 電話がかかってくる
2. メニュー▶「1 伝言メモ」を押す

自分の電話番号を確認する

1. 待受画面でメニュー▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス
詳細　修正

●**通話中に自分の電話番号を見るとき**

通話中にメニュー▶「0 自分の電話番号」を押す

- 戻る：通話中の画面に戻ります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

①　②③④⑤　⑥　⑦　⑧　⑨

① ：電池残量の表示
② ：受信レベルの表示
圏外：圏外の表示
self：セルフモードの設定中
TML：ターミナルリンク中
：データ転送（送受信）中など
③ ：ｉモード接続中・パケット通信中
SSL：SSLページ表示中
：パソコンを接続してパケット通信中
：パソコンを接続してデータ送受信中
④ ：シークレットモードの設定中
⑤ ：音声電話の通話中
64K：テレビ電話の通話中（64K）
32K：テレビ電話の通話中（32K）
64K：64Kでデータの通信中
：外部機器と接続してテレビ電話通話中
：音声読み上げ可能など

⑥ ：メールの受信完了通知
※待受画面に戻ると表示が消えます。
⑦ ：スピーカーホン機能の動作中
AUTO：オートスピーカーホン機能の設定中
通信中：ｉモード通信中
取得中：ｉモーションデータの取り込み中
⑧ ：マナーモードの設定中
SV：音声電話のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中
V：音声電話のバイブレータを設定中
S：着信音量を消音に設定中
漢かな：文字入力モードの表示
：メールの受信中
R：メッセージRの受信中
F：メッセージFの受信中
⑨ ：ドライブモードの設定中
：FOMAカードを読み込み中

キリトリ線

ディスプレイ下部

① ② ③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩

① ：伝言メモが満杯
：未確認の伝言メモあり
：伝言メモの設定中
② ：未確認の不在着信情報あり
③ ：受信メール状態表示
④ R ：受信メッセージ R 状態表示
⑤ F ：受信メッセージ F 状態表示
⑥ ：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦ ：ソフトウェア更新の予約中
⑧ ：FOMA USB ケーブルの接続中
⑨ ：個人の情報表示の制限中
：ダイヤル入力での発信を制限中
⑩ ：目覚ましを設定中

メニュー一覧

各機能の先頭の数字や記号は、ショートカット操作のボタンを示します。
<操作例>電卓を使う：メニュー 7 を押す

- 1 電話してきた相手を見る
- 2 電話を使う
  - 1 電話帳の内容を見る
  - 2 電話帳に登録する
  - 3 電話を受けた時の音を選ぶ
    - 1 音声電話の着信音を選ぶ
    - 2 テレビ電話の着信音を選ぶ
  - 4 電話を受けた時の振動を選ぶ
    - 1 音声電話の振動を選ぶ
    - 2 テレビ電話の振動を選ぶ
  - 5 電話を受けた時の音量を調節する
  - 6 相手の声の音量を調節する
  - 7 伝言メモを使う
    - 1 伝言メモを再生する
    - 2 伝言メモを開始する
    - 3 伝言メモのメッセージを選ぶ
  - 8 電話帳のグループ名を変更する
- 3 メールを使う
  - 1 受信したメールを見る
  - 2 メールを作る
  - 3 例文を使ってメールを作る
  - 4 未送信のメールを見る
  - 5 送信したメールを見る

- 3 メールを使う
  - 6 メールがあるか問合わせる
    - 1 届いているメール・メッセージを受信する
    - 2 メール選択受信を行う
  - 7 メールアドレスを確認・変更する
  - 8 メールを設定する
    - 1 メールが届いた時の音を選ぶ
    - 2 メールが届いた時の振動を選ぶ
    - 3 メールに付ける署名を登録する
    - 4 例文を編集する
    - 5 メール選択受信を設定する
  - 9 SMS を使う
    - 1 SMS を作る
    - 2 届いている SMS を全部受信する
    - 3 SMS を設定する
    - 4 FOMA カードの受信 SMS を見る
    - 5 FOMA カードの送信 SMS を見る
- 4 写真・ビデオを撮る・見る
  - 1 写真を撮影する
  - 2 ビデオを撮影する
  - 3 写真のアルバムを見る
  - 4 ビデオのアルバムを見る
- 5 ｉモードを使う
  - 1 ｉ Menu を見る
  - 2 ブックマークを見る
  - 3 インターネットに接続する
    - 1 URL を入力して接続する
    - 2 サイトの入力履歴から接続する
  - 4 画面メモを見る

- 5 ｉモードを使う
  - 5 メッセージを見る
    - 1 メッセージリクエストを見る
    - 2 メッセージフリーを見る
    - 3 届いているメール・メッセージを受信する
    - 4 メッセージが届いた時の音を選ぶ
    - 5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ
- 6 目覚ましを使う
- 7 電卓を使う
- 8 初めに行う設定
  - 1 発信者番号通知を使う
    - 1 発信者番号通知を設定する
    - 2 発信者番号通知設定を確認する
  - 2 待受画面の画像を設定する
  - 3 画面の配色を設定する
  - 4 画面の明るさを設定する
  - 5 ボタンを押した時の音を設定する
  - 6 音声読み上げを使う
    - 1 音声読み上げを設定する
    - 2 音声読み上げ用の単語を登録する
    - 3 スピーカー／受話口の切替を行う
  - 7 音声呼出しを登録する
    - 1 音声で呼出す電話帳を登録する
    - 2 音声で呼出す機能を登録する
  - 8 時計を設定する
    - 1 日付と時刻を設定する
    - 2 待受画面に時計を表示する
- 9 ネットワークサービスを使う
  - 1 留守番サービスを使う
    - 1 留守番メッセージを再生する
    - 2 メッセージがあるか問合せる

キリトリ線

- 9 ネットワークサービスを使う
  - 1 留守番サービスを使う
    - 3 留守番サービスを開始する
    - 4 留守番サービスを停止する
    - 5 留守番サービスの詳細を設定する
    - 6 留守番呼出時間を設定する
    - 7 留守番サービスの設定を確認する
  - 2 キャッチホンを使う
    - 1 キャッチホンを開始する
    - 2 キャッチホンを停止する
    - 3 キャッチホンの設定を確認する
  - 3 転送サービスを使う
    - 1 転送サービスを開始する
    - 2 転送サービスを停止する
    - 3 転送先を変更する
    - 4 転送先が通話中の時の設定をする
    - 5 転送サービスの設定を確認する
  - 4 迷惑電話ストップを使う
    - 1 迷惑電話着信拒否を登録する
    - 2 迷惑電話全登録を削除する
    - 3 迷惑電話 1 登録を削除する
  - 5 番号通知お願いサービスを使う
    - 1 番号通知お願いサービスを開始する
    - 2 番号通知お願いサービスを停止する
    - 3 番号通知お願いサービスを確認する
  - 6 通話中着信設定を使う
    - 1 通話中着信設定を開始する
    - 2 通話中着信設定を停止する
    - 3 通話中着信設定を確認する
  - 7 通話中着信動作を選ぶ

- 9 ネットワークサービスを使う
  - 8 その他のサービスを使う
    - 1 遠隔操作設定を使う
      - 1 遠隔操作を開始する
      - 2 遠隔操作を停止する
      - 3 遠隔操作の設定を確認する
    - 2 英語ガイダンスを使う
      - 1 ガイダンスを設定する
      - 2 ガイダンスの設定を確認する
    - 3 デュアルネットワークを使う
      - 1 デュアルネットワークを切替える
      - 2 デュアルネットワークの状態を確認する
    - 4 サービスダイヤルを使う
      - 1 ドコモ総合案内・受付に電話する
      - 2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する
    - 5 ソフトウェアを更新する
- 0 自分の電話番号を見る
- * 詳細な機能を設定する
  - 1 入力に関する設定を行う
    - 1 文字の入力方法を設定する
    - 2 よく使う単語を登録する
    - 3 よく使う定型文を登録する
  - 2 電話の詳細を設定する
    - 1 電話帳の登録件数を見る
    - 2 着信を拒否する相手を指定する
    - 3 着信を許可する相手を指定する
    - 4 電話帳登録外の着信を拒否する
    - 5 発番通知のない着信を設定する
    - 6 イヤホンマイク接続時に自動で着信する
    - 7 背面の画面表示を設定する

- * 詳細な機能を設定する
  - 2 電話の詳細を設定する
    - 8 オートスピーカーホンを設定する
    - 9 無音着信時間を設定する
    - 0 テレビ電話を設定する
      - 1 テレビ電話画面の表示を設定する
      - 2 テレビ電話画面の明るさを設定する
      - 3 音声再発信を設定する
      - 4 発信時の自画像送信を設定する
      - 5 テレビ電話着信先の機器を設定する
      - 6 テレビ電話画面の大きさを設定する
  - 3 音を設定する
    - 1 充電開始と完了時の音を設定する
    - 2 電池残量の警告音を設定する
    - 3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する
    - 4 通話状態が悪い時に音で知らせる
    - 5 再接続した時の音を選ぶ
    - 6 保存した曲の詳細を設定する
  - 4 メールの詳細を設定する
    - 1 問合せ内容を選ぶ
    - 2 添付の画像を受信する
    - 3 添付のメロディを受信する
    - 4 添付のメロディを自動演奏する
  - 5 メッセージの詳細を設定する
    - 1 メッセージのメロディを自動演奏する
    - 2 未読メッセージを自動で表示する

- * 詳細な機能を設定する
  - 6 ｉモードの詳細を設定する
    - 1 問合せ内容を選ぶ
    - 2 文字の大きさを選ぶ
    - 3 画像表示・照明を設定する
    - 4 ｉモーションの再生を設定する
    - 5 接続までの待ち時間を設定する
    - 6 接続先番号を設定する
    - 7 証明書の表示と使用を設定する
    - 8 ユーザ証明書を操作する
    - 9 証明書の発行先を変更する
  - 7 情報の表示やリセットを行う
    - 1 通話時間を見る
    - 2 電池残量を確認する
    - 3 通話時間をリセットする
    - 4 設定を初めの状態に戻す
  - 8 操作の制限をする
    - 1 全ての操作を制限する
    - 2 セルフモードを設定する
    - 3 シークレットモードに設定する
    - 4 履歴の表示を制限する
    - 5 個人の情報表示を制限する
    - 6 暗証番号を変更する
    - 7 FOMA カードの PIN コードを設定する
    - 8 ダイヤル入力での発信を制限する
  - 9 決めた時刻に電源を入／切する
    - 1 電源が入る時刻を設定する
    - 2 電源が切れる時刻を設定する
    - 3 目覚まし時刻に電源を入れる

キリトリ線

ネットワークサービス

主なネットワークサービスを開始／停止する

1. 待受画面で（メニュー）▶「9 ネットワークサービスを使う」

●留守番電話サービスを設定するとき

「1 留守番サービスを使う」▶「3 留守番サービスを開始する」または「4 留守番サービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

●キャッチホンを設定するとき

「2 キャッチホンを使う」▶「1 キャッチホンを開始する」または「2 キャッチホンを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

●転送でんわサービスを設定するとき

「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」または「2 転送サービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

●迷惑電話ストップサービスを利用するとき

「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」▶「1 登録する」▶（決定）を押す

●番号通知お願いサービスを設定するとき

「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「1 番号通知お願いサービスを開始する」または「2 番号通知お願いサービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

キリトリ線

FOMA 端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料） 午前 8 時～午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

FOMA 端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所で FOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード

ボタン確認音・着信音など FOMA 端末から鳴る音をすべて消します。→ P160

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。→ P79

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→ P155

●伝言メモ

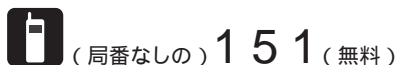
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→ P81

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→ P483、P488

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、
「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」は
ドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●iモードはこちら iMenu ▶□料金&お申込 ▶■ドコモeサイト パケット通信料無料
●パソコンなどはこちら http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

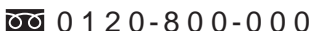
※iモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) 151 (無料)

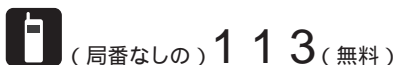
※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

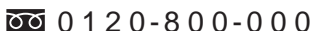
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州

製造元　富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・iモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'05.5 (4版)
TA00002-1390